

青少年の意識と行動調査
【中学生・高校生等、青年等(18～39歳)】

平成30年度

福岡市

< 目 次 >

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の性格	1
4. 調査主体	2
5. 調査の監修	2
6. 調査結果の見方	2

II 中学生・高校生等調査結果

第1章 回答者及び家庭の概況	5
1. 回答者の基本属性	5
(1) 性別	5
(2) 居住区	5
(3) 所属団体	6
2. 家庭の概況	7
(1) きょうだいの有無・人数	7
(2) 同居家族	8
第2章 就学・就業状況	9
1. 就学・就業状況	9
2. 現在学生でない人の状況	9
(1) 最終学歴	9
(2) 病気やけがの経験	9
(3) 家の生計を立てている人	9
(4) これまでの就業経験	10
(5) 就職または進学希望	10
(6) 現在の就職活動の有無	10
(7) 就職活動等の悩みについての相談先	10
(8) 相談したい機関	10
(9) 相談したくない理由	10
第3章 現在の生活状況	11
1. 就寝時刻と起床時刻	11
(1) 就寝時刻	11
(2) 起床時刻	12
2. 自分でしていること	13
3. 自宅での過ごし方	15
4. 生活時間	17
(1) 生活時間（中学生）	17
(2) 生活時間（高校生世代）	19
5. 休日の過ごし方	23
6. 放課後や休日によいしょに過ごす相手	25
7. 居心地のいい場所	27
(1) 居心地のいい場所	27
(2) あればよいと思う場所	29
8. 普段の外出について	31
(1) 外出頻度	31
(2) ひきこもりの状況	32

(3)	外出を普段しなくなった年齢	33
(4)	外出を普段しなくなってからの期間	34
(5)	外出を普段しなくなったきっかけ	35
(6)	病気やけがの経験（外出を普段しない人）	36
(7)	相談先（外出を普段しない人）	37
(8)	相談したい機関（外出を普段しない人）	38
(9)	相談したくない理由	38
9.	利用した公共施設	39
第4章	生活意識と環境	41
1.	友だちづきあいについて	41
2.	交際相手との関係について	43
(1)	DV・デートDVの経験	43
(2)	DV・デートDVについて	45
(3)	「DV」「デートDV」という言葉の認知度	47
(4)	交際相手からの暴力に関する相談先の認知度	48
3.	無気力感や気分の減退	49
4.	悩みや心配ごとの相談相手	51
(1)	悩みや心配ごと	51
(2)	悩みや心配ごとの相談相手	53
5.	地域での活動やボランティア活動	55
(1)	地域での活動やボランティア活動への参加経験	55
(2)	地域での活動やボランティア活動の参加意向	57
6.	近所の大人との関係	59
第5章	家族や家庭	61
1.	家庭生活の満足度	61
2.	親との会話	62
(1)	父親との会話の程度	62
(2)	母親との会話の程度	63
3.	両親の日頃の様子	64
(1)	父親の日頃の様子（中学生）	64
(2)	父親の日頃の様子（高校生世代）	66
(3)	母親の日頃の様子（中学生）	68
(4)	母親の日頃の様子（高校生世代）	70
第6章	携帯電話やインターネットの使用状況	72
1.	携帯電話やスマートフォンなどの有無	72
2.	携帯電話やスマートフォンなどの使用目的	73
3.	インターネットの使用状況	75
(1)	インターネットの使用目的	75
(2)	インターネットやSNS等の1日あたり使用時間	76
(3)	インターネットやSNS等の使用上の経験	77
(4)	インターネットやSNS等の使用上の家庭のルール	79
(5)	インターネットの危険性について学んだ経験	81
第7章	将来について	82
1.	将来の目標	82
2.	将来したい仕事	83
第8章	自由意見	85

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

第1章 回答者及び家庭の概況	87
1. 回答者の基本属性	87
(1) 性別・年齢	87
(2) 居住区	87
(3) 同居家族	88
(4) 所属団体	88
第2章 日ごろの生活状況	89
1. 家庭生活の満足度	89
2. 自分でしていること	90
3. 自宅での過ごし方	92
4. 普段の外出について	94
(1) 外出頻度	94
(2) ひきこもりの状況	95
(3) 外出を普段しなくなった年齢	96
(4) 外出を普段しなくなってからの期間	97
(5) 外出を普段しなくなったきっかけ	98
(6) 相談先（外出を普段しない人）	100
(7) 相談したい機関（外出を普段しない人）	102
(8) 相談したくない理由	103
(9) 病気やけがの経験（外出を普段しない人）	104
(10) 生計を立てている人（外出を普段しない人）	105
5. 居心地のいい場所	106
(1) 居心地のいい場所	106
(2) あればいいと思う場所	108
6. 近所づきあいの程度	110
7. 利用した公共施設	111
第3章 生活意識と環境	113
1. 暮らし方の希望	113
2. 無気力感や気分の減退	115
3. 悩みや心配ごとの相談相手	118
(1) 悩みや心配ごと	118
(2) 悩みや心配ごとの相談相手	121
第4章 就業・就学状況について	124
1. 仕事や就学等の状況	124
(1) 現在の就学状況	124
(2) 最終学歴	125
(3) 現在の就業状況	126
2. 現在働いていない人の状況	128
(1) 現在働いていない理由	128
(2) 現在働いていない人の就業経験	130
(3) 現在働いていない人の就業・進学希望	132
(4) 現在働いていない人の就職活動の有無	134
(5) 現在働いていない人の相談先	135
(6) 現在働いていない人の相談先の希望	136
(7) 現在働いていない人の相談したくない理由	137
(8) 現在働いていない人の病気やけがの経験	137
(9) 現在働いていない人の家の生計を立てている人	138

第5章 結婚と子育て.....	139
1. 結婚.....	139
(1) 婚姻状況.....	139
(2) 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ.....	141
(3) 結婚していない理由.....	143
2. 子ども.....	145
(1) 子どもの有無と人数.....	145
(2) 理想の子どもの数.....	147
3. 結婚や出産についての考え.....	148
4. 男性の子育てに必要なこと.....	150
5. 子育てと仕事の両立に必要なこと.....	152
第6章 自由意見.....	154
IV 監修を終えて	
1. 中高生・高校生等に対する調査結果について.....	155
2. 青年等に対する調査結果について.....	156
V 参考資料（使用した調査票）	
青少年の意識と行動調査（中学生・高校生等）.....	159
青少年の意識と行動調査（青年等）.....	168

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

青少年の意識や生活実態などについて把握し、「第5次福岡市子ども総合計画」（令和2～6年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査の項目

●中学生・高校生等

- (1) 自身について
- (2) 普段の生活について
- (3) 友だちや交際相手との関係について
- (4) 日ごろの考えについて
- (5) 家庭について
- (6) 就学・就業の状況について
- (7) 地域での活動やボランティア活動について
- (8) 携帯電話やインターネットの使用状況について

●青年等（18～39歳）

- (1) 自身について
- (2) 普段の生活について
- (3) 日ごろの考えについて
- (4) 就業・就学の状況について
- (5) 結婚や子どもについて

3. 調査の性格

	中学生・高校生等調査	青年等（18～39歳）調査
調査対象者	中学生・高校生等	青年等（18～39歳）
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布，郵送回収	郵送配布，郵送回収
配布数	2,000	4,000
有効回収数 (有効回収率)	986 (49.3%)	1,496 (37.4%)
調査期間	平成31年1月～2月	

I 調査概要

4. 調査主体

福岡市こども未来局こども部総務企画課

5. 調査の監修

福岡大学人文学部
准教授 添田祥史

6. 調査結果の見方

- 回答比率の合計は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。
- 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超えることがある。
- 数表、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- 「問〇-〇」は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。
- 文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して文中に表記する場合は『』とした。
- 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。
「平成25年度青少年の意識と行動調査」平成25年10月～11月実施
※本報告書においては、「前回調査」と記載している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「V 参考資料（使用した調査票）」を参照のこと。
- ひきこもりに関する定義は、内閣府『若者の生活に関する調査』報告書（平成28年9月）における定義に従い、右ページのとおりとした。

中学生・高校生等調査

〔狭義のひきこもり〕

(問13「ふだんどのくらい外出していますか」の回答が6～8のいずれか) かつ
 (問13-1②「現在の状態となってどのくらい経ちますか」の回答が2～6のいずれか) の者
 から

(問13-1③「現在の状態になったきっかけは何ですか」の回答が6又は7又は
 [8に、自宅での仕事、出産、育児をしている旨を記入]) 又は
 (問8「ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか」の回答が8～10のいずれか) の者
 を除いた群

〔準ひきこもり〕

(問13「ふだんどのくらい外出していますか」の回答が5) かつ
 (問13-1②「現在の状態となってどのくらい経ちますか」の回答が2～6のいずれか) の者
 から

(問13-1③「現在の状態になったきっかけは何ですか」の回答が6又は7又は
 [8に、自宅での仕事、出産、育児をしている旨を記入]) 又は
 (問8「ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか」の回答が8～10のいずれか) の者
 を除いた群

〔広義のひきこもり〕 = 〔狭義のひきこもり〕 + 〔準ひきこもり〕

〔一般群〕 = 全回答者(有効回収数) - 〔広義のひきこもり〕

青年等(18～39歳)調査

〔狭義のひきこもり〕

(問8「ふだんどのくらい外出していますか」の回答が6～8のいずれか) かつ
 (問8-1②「現在の状態となってどのくらい経ちますか」の回答が2～6のいずれか) の者
 から

(問8-1③「現在の状態になったきっかけは何ですか」の回答が7又は8又は
 [9に、自宅での仕事、出産、育児をしている旨を記入]) 又は
 (問7「ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか」の回答が8～10のいずれか) の者
 を除いた群

〔準ひきこもり〕

(問8「ふだんどのくらい外出していますか」の回答が5) かつ
 (問8-1②「現在の状態となってどのくらい経ちますか」の回答が2～6のいずれか) の者
 から

(問8-1③「現在の状態になったきっかけは何ですか」の回答が7又は8又は
 [9に、自宅での仕事、出産、育児をしている旨を記入]) 又は
 (問7「ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか」の回答が8～10のいずれか) の者
 を除いた群

〔広義のひきこもり〕 = 〔狭義のひきこもり〕 + 〔準ひきこもり〕

〔一般群〕 = 全回答者(有効回収数) - 〔広義のひきこもり〕

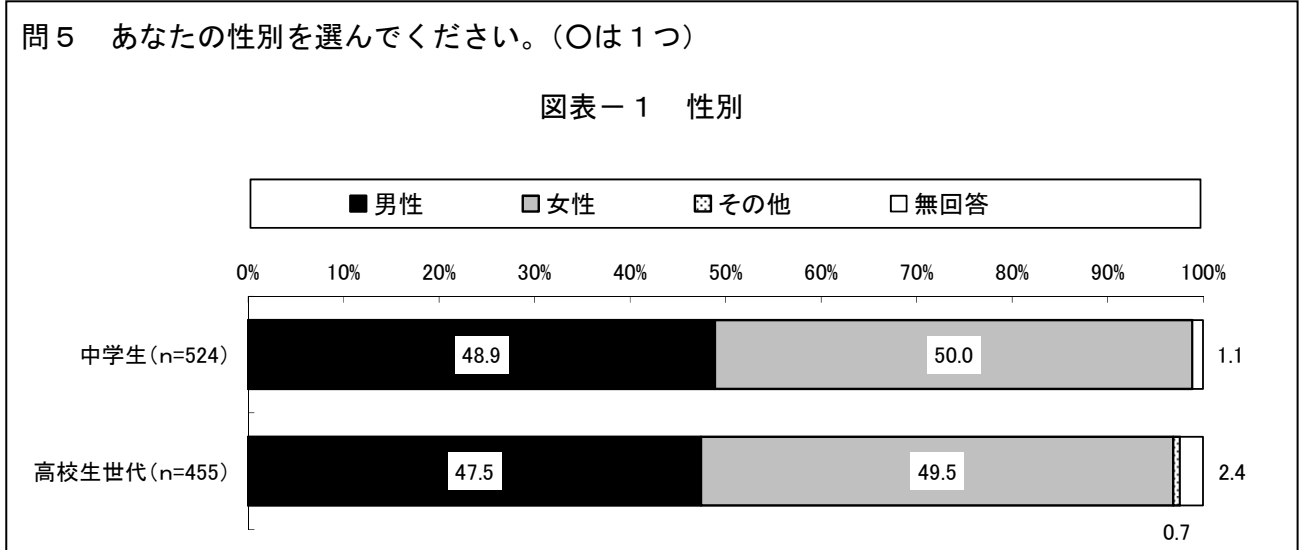
Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

第1章 回答者及び家庭の概況

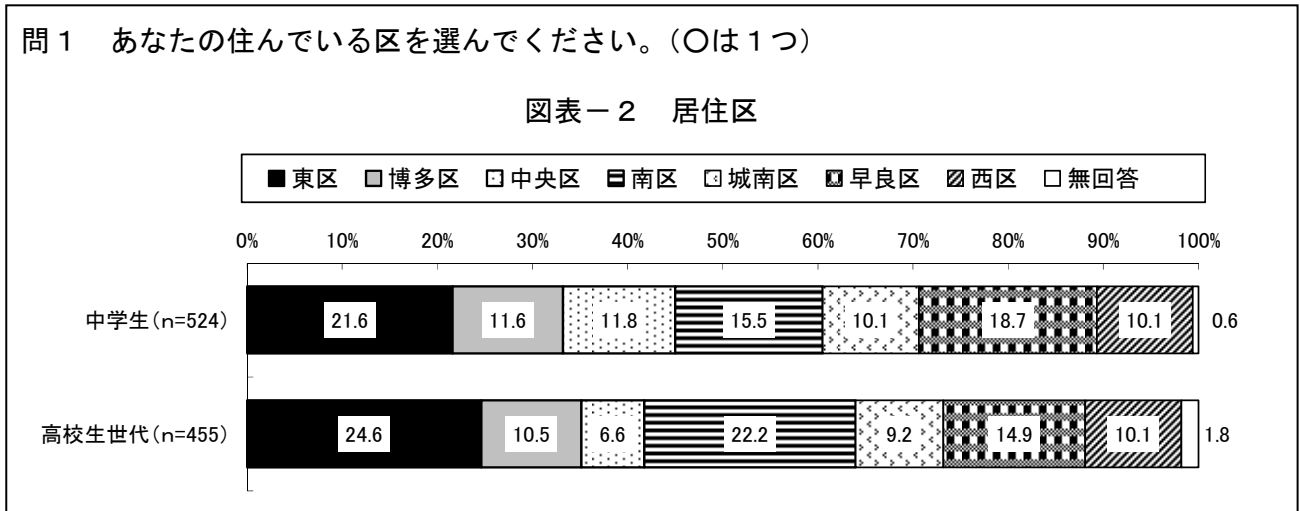
1. 回答者の基本属性

(1) 性別



回答者の性別は、中学生では男性48.9%、女性50.0%、高校生世代は男性47.5%、女性49.5%となっており、いずれも女性が若干多くなっている。

(2) 居住区

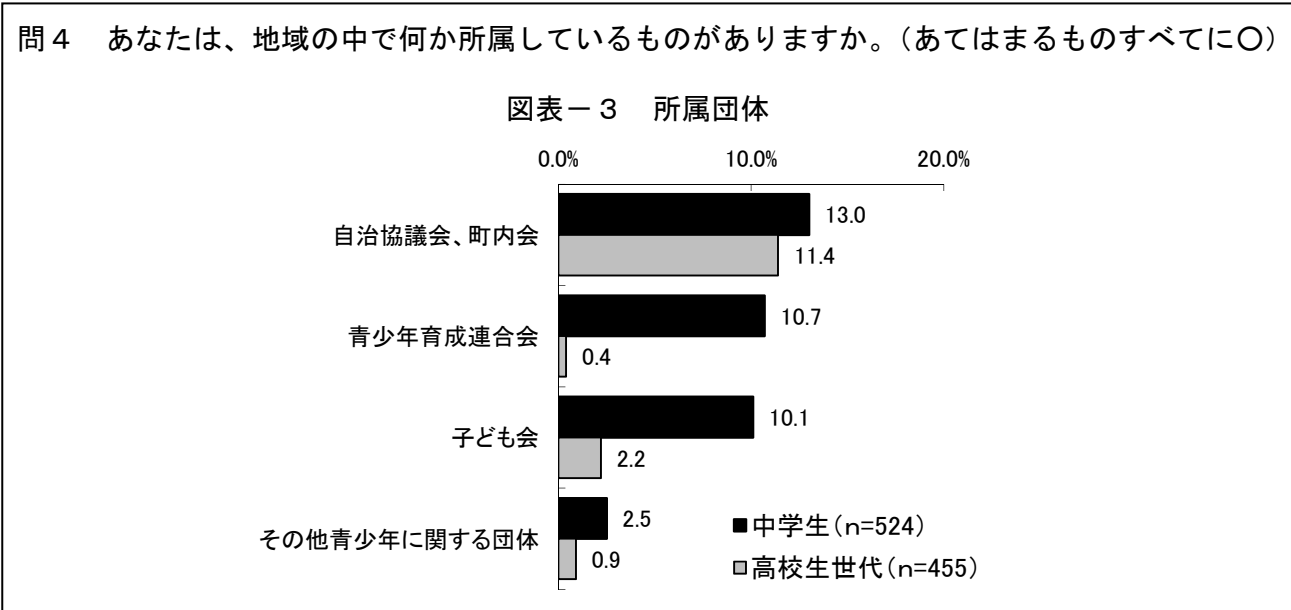


回答者の居住区は、中学生では、最も多いのは「東区」(21.6%)、次いで「早良区」(18.7%)、「南区」(15.5%)、「中央区」(11.8%)、「博多区」(11.6%)、「城南区」「西区」(ともに10.1%)となっている。

高校生世代では、最も多いのは「東区」(24.6%)、次いで「南区」(22.2%)、「早良区」(14.9%)、「博多区」(10.5%)、「西区」(10.1%)、「城南区」(9.2%)、「中央区」(6.6%)となっている。

(3) 所属団体

問4 あなたは、地域の中で何か所属しているものがありますか。(あてはまるものすべてに○)



地域の中で所属している団体やグループは、中学生では、「自治協議会、町内会」(13.0%)の割合が最も高く、次いで「青少年育成連合会」(10.7%)、「子ども会」(10.1%)、「その他青少年に関する団体」(2.5%)となっている。

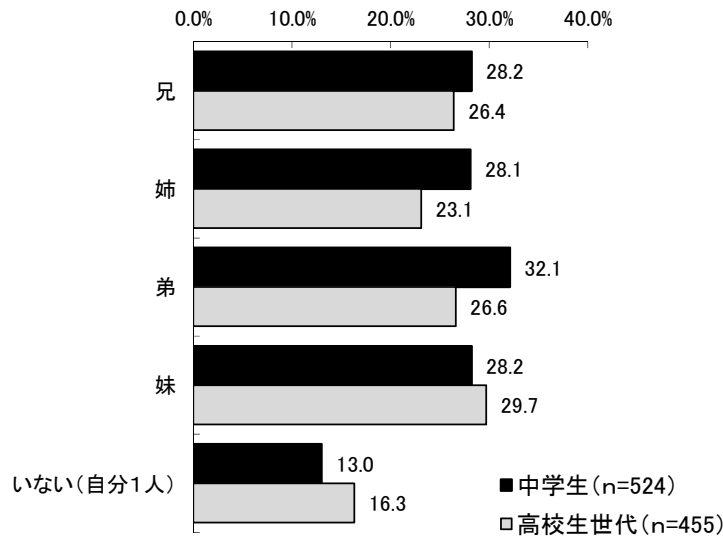
高校生世代では、「自治協議会、町内会」(11.4%)の割合が最も高く、次いで「子ども会」(2.2%)、「その他青少年に関する団体」(0.9%)、「青少年育成連合会」(0.4%)となっている。

2. 家庭の概況

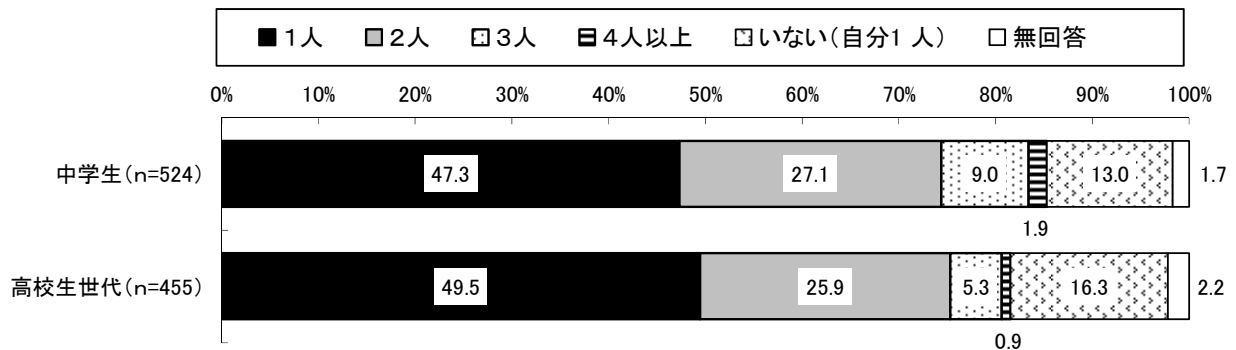
(1) きょうだいの有無・人数

問2 兄弟・姉妹の人数をご記入ください。(あてはまるものすべてに○。人数も記入)

図表-4 きょうだいの有無



図表-5 きょうだいの人数

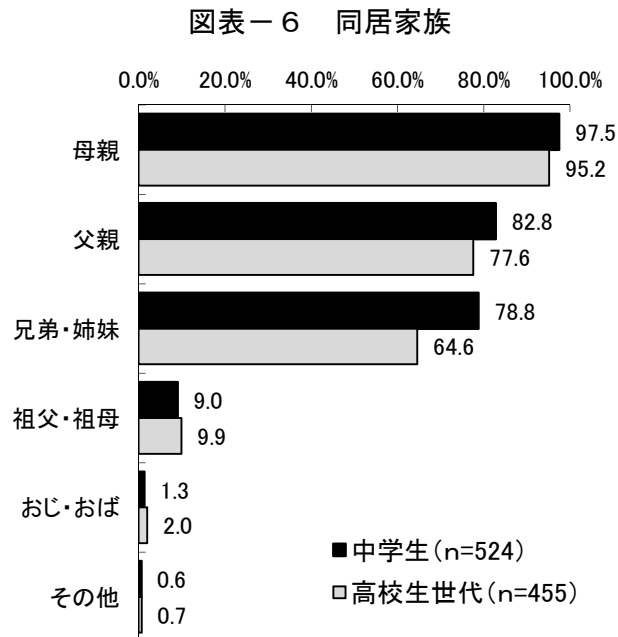


きょうだいの有無は、中学生では85.3%、高校生世代では81.6%の人にきょうだいがいる。

きょうだいの人数は、中学生・高校生世代いずれも「1人」(中学生:47.3%、高校生世代:49.5%)、「2人」(中学生:27.1%、高校生世代:25.9%)、「いない(自分1人)」(中学生:13.0%、高校生世代:16.3%)、「3人」(中学生:9.0%、高校生世代:5.3%)、「4人以上」(中学生:1.9%、高校生世代:0.9%)の順となっている。

(2) 同居家族

問3 同居している家族について選んでください。(あてはまるものすべてに○)



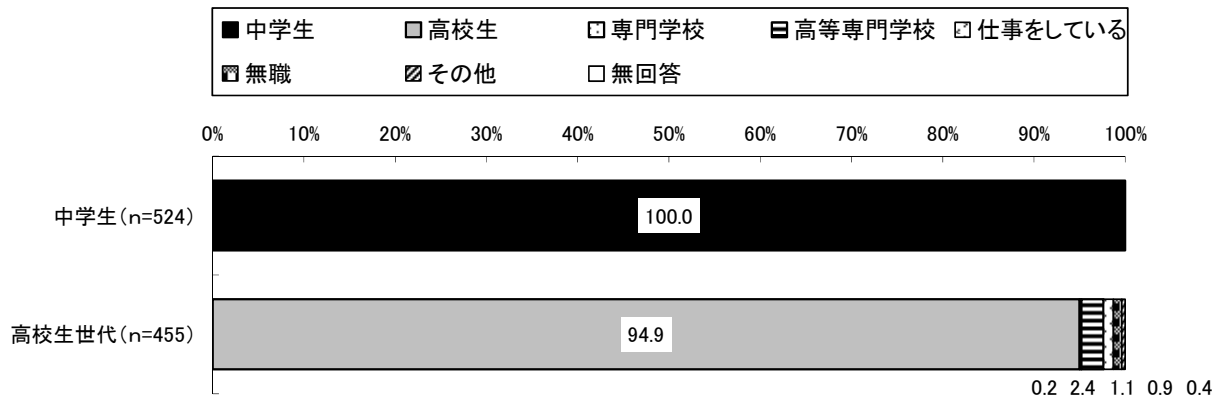
同居家族は、中学生・高校生世代いずれも「母親」(中学生：97.5%、高校生世代：95.2%)、「父親」(中学生：82.8%、高校生世代：77.6%)、「兄弟・姉妹」(中学生：78.8%、高校生世代：64.6%)、「祖父・祖母」(中学生：9.0%、高校生世代：9.9%)、「おじ・おば」(中学生：1.3%、高校生世代：2.0%)の順となっている。

第2章 就学・就業状況

1. 就学・就業状況

問28 あなたの現在の所属または状況を選んでください。(○は1つ)

図表-7 就学・就業状況



高校生世代は、94.9%が高校生で、そのほか、専門学校生0.2%、高等専門学校生2.4%、就労者1.1%、無職0.9%となっている。

2. 現在学生でない人の状況

(1) 最終学歴

問28-1 【問28で「5」(仕事をしている)または「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】あなたが最後に卒業(中退)した、または現在在学している学校はどれですか。(○は1つ)

現在仕事をしている人(5人)・無職の人(4人)の最終学歴は、中学校1人、高等学校6人、その他2人となっている。

(2) 病気やけがの経験

問28-2 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在無職の人(4人)に、これまでの病気やけがの経験をたずねたところ、「精神的な病気」(2人)、「心臓や血管の病気」「骨折・大けが」(ともに1人)となっている。

(3) 家の生計を立てている人

問28-3 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担(または仕送り)している人をお答えください。(○は1つ)

現在無職の人(4人)に、家の生計を立てている人をたずねたところ、「父親」「母親」(ともに2人)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

(4) これまでの就業経験

問28-4① 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】あなたは今までに働いていたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在無職の人(4人)に、これまでの就業経験をたずねたところ、「働いたことはない」(3人)、「パート・アルバイトとして働いていた(学生時代の経験を除く)」(1人)となっている。

(5) 就職または進学希望

問28-4② 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】現在就職又は進学を希望していますか。(○は1つ)

現在無職の人(4人)に、就職または進学希望をたずねたところ、「就職したい」「進学したい」「どちらも希望していない」がともに1人ずつとなっている。

(6) 現在の就職活動の有無

問28-4③ 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】現在就職活動をしていますか。(○は1つ)

現在無職の人(4人)に、現在の就職活動の有無をたずねたところ、「していない」(3人)、「している」(1人)となっている。

(7) 就職活動等の悩みについての相談先

問28-4④ 【問28で「6」(無職)を選んだ方にうかがいます。】現在の状態や就職活動の悩みについて相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

現在無職の人(4人)に、現在の状態や就職活動の悩みを相談しているかたずねたところ、全員が「過去も今も相談していない」と回答している。

(8) 相談したい機関

問28-4⑤ 【上記④で「7」(過去相談していたが今は相談していない)または「8」(過去も今も相談していない)を選んだ方にうかがいます。】どのような機関なら相談したいと思いますか(あてはまるものすべてに○)

現在無職の人(4人)に、どのような機関なら相談したいかたずねたところ、3人が「相談したくない」と回答している。

(9) 相談したくない理由

問28-4⑥ 【上記⑤で「8」(相談したくない)を選んだ方にうかがいます】相談したくない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

上記で相談したくないと回答した3人に相談したくない理由をたずねたところ、「相談しても解決できないと思うから」(2人)、「自分のことを知られたくないから」「相手にうまく話せないから」「あてはまるものはない」(いずれも1人)となっている。

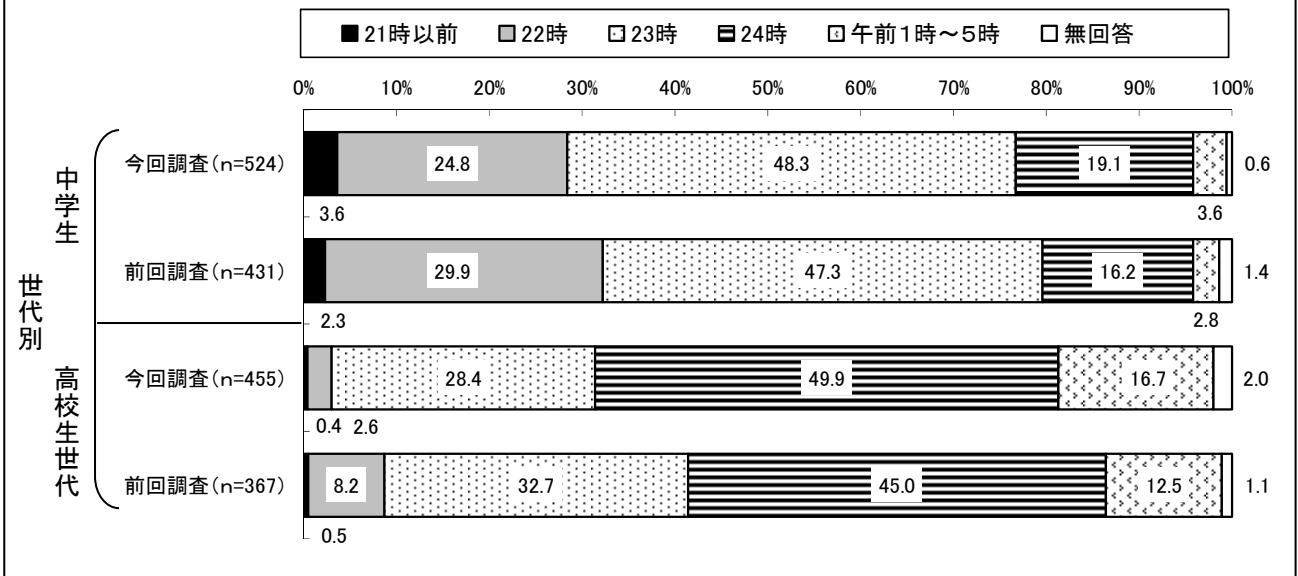
第3章 現在の生活状況

1. 就寝時刻と起床時刻

(1) 就寝時刻

問6 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。枠内に数字を記入してください。(時間は24時間制で記入してください)

図表-8 就寝時刻



就寝時刻は、中学生では「23時」(48.3%)の割合が最も高く、次いで「22時」(24.8%)、「24時」(19.1%)、「21時以前」「午前1時～5時」(ともに3.6%)となっている。前回調査と比較すると、24時以降が約4ポイント増加している。

高校生世代では、「24時」(49.9%)の割合が最も高く、次いで「23時」(28.4%)、「午前1時～5時」(16.7%)、「22時」(2.6%)、「21時以前」(0.4%)となっている。前回調査と比較すると、24時以降が約9ポイント増加している。

性別にみると、いずれの世代も女性の方が、就寝時間がやや遅い傾向にある。

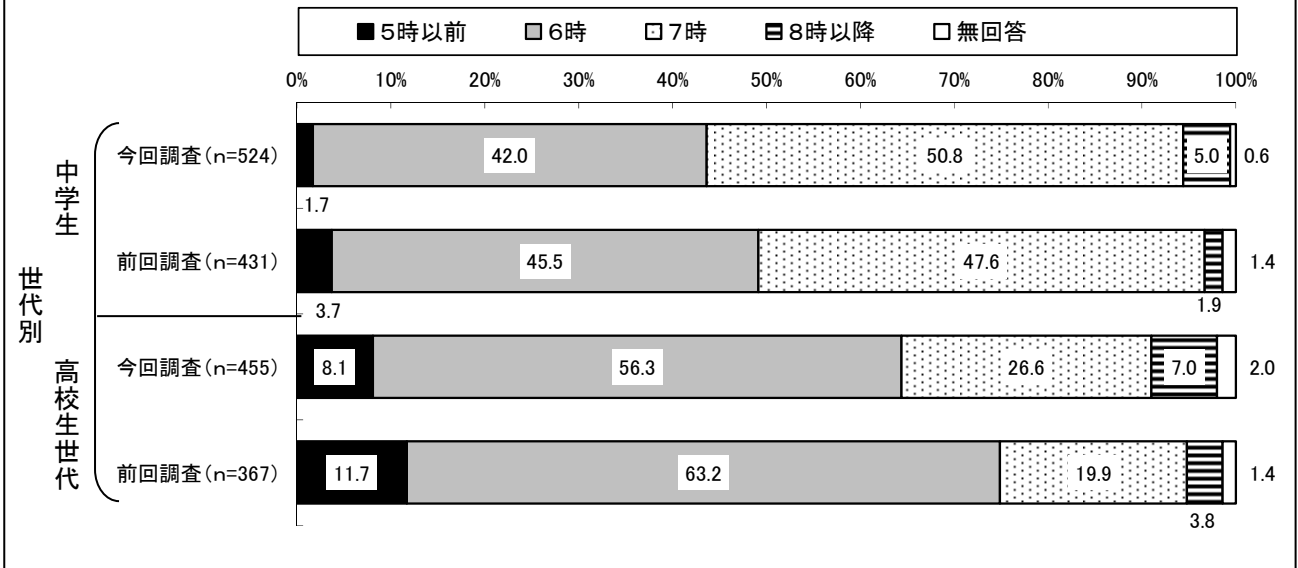
図表-9 性別 就寝時刻 (単位: %)

		標本数(人)	21時以前	22時	23時	24時	午前1時～5時	無回答
全体		986	2.1	14.4	39.1	33.4	9.7	1.2
性別	中学生:男性	256	5.9	29.7	48.0	13.3	3.1	-
	中学生:女性	262	1.5	20.2	49.2	25.2	3.8	-
	高校生世代:男性	216	0.5	2.3	33.3	50.5	13.4	-
	高校生世代:女性	225	0.4	3.1	25.3	50.7	20.0	0.4
	高校生世代:その他	3	-	-	-	33.3	66.7	-
	無回答	24	-	4.2	20.8	20.8	8.3	45.8

(2) 起床時刻

問6 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。枠内に数字を記入してください。(時間は24時間制で記入してください)

図表－10 起床時刻



起床時刻は、中学生では「7時」(50.8%)の割合が最も高く、次いで「6時」(42.0%)、「8時以降」(5.0%)、「5時以前」(1.7%)となっている。前回調査と比較すると、7時以降が約6ポイント増加している。

高校生世代では、「6時」(56.3%)の割合が最も高く、次いで「7時」(26.6%)、「5時以前」(8.1%)、「8時以降」(7.0%)となっている。前回調査と比較すると、7時以降が約10ポイント増加している。

性別にみると、高校生世代の女性は他に比べて「5時以前」(11.6%)の割合が高くなっている。

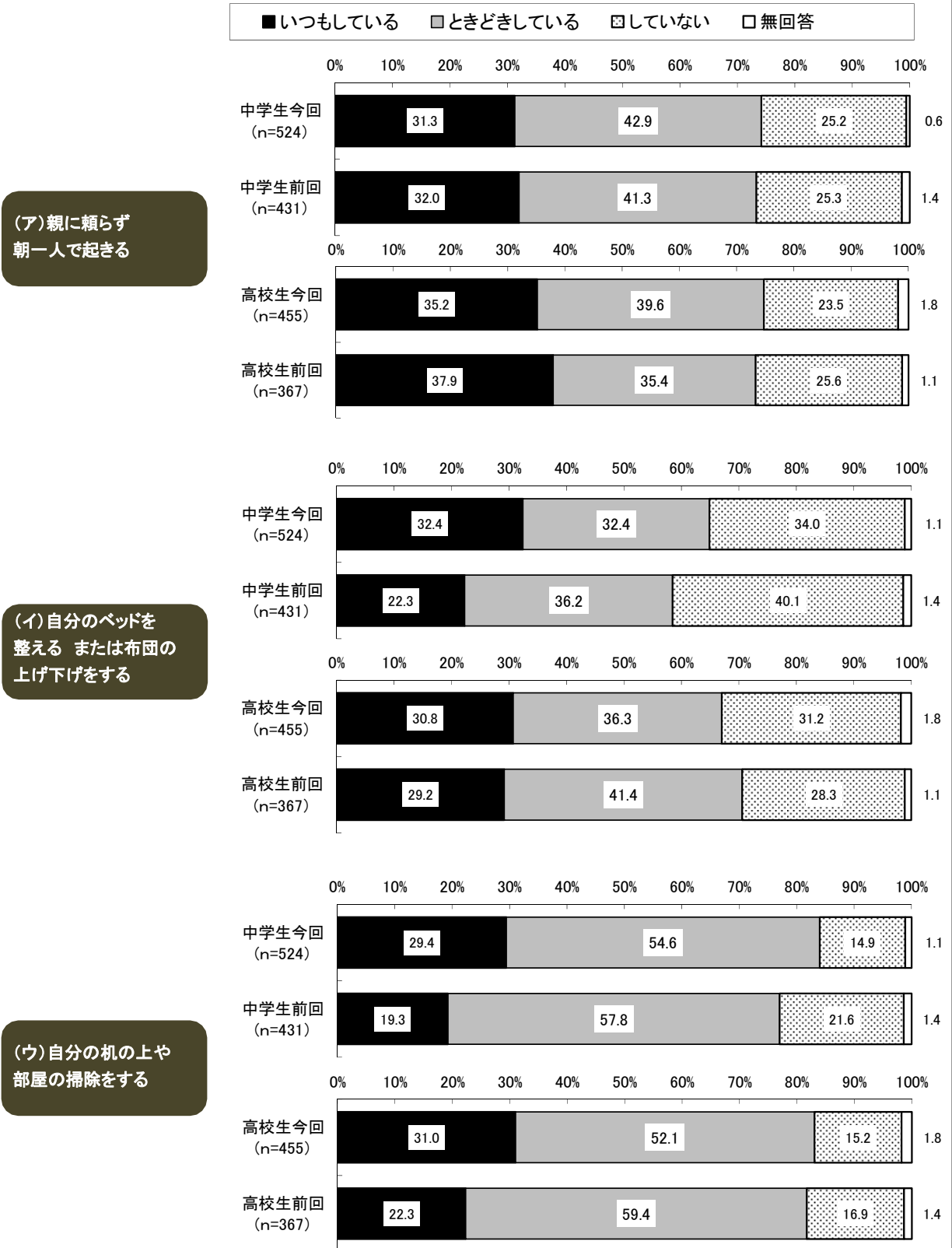
図表－11 性別 起床時刻 (単位：%)

		標本数 (人)	5時 以前	6時	7時	8時 以降	無 回答
全体		986	4.7	48.7	39.6	5.9	1.2
性別	中学生:男性	256	1.2	44.1	48.8	5.9	-
	中学生:女性	262	2.3	40.1	53.4	4.2	-
	高校生世代:男性	216	5.1	56.9	30.1	7.9	-
	高校生世代:女性	225	11.6	57.8	24.4	5.8	0.4
	高校生世代:その他	3	-	33.3	-	66.7	-
無回答		24	-	33.3	20.8	-	45.8

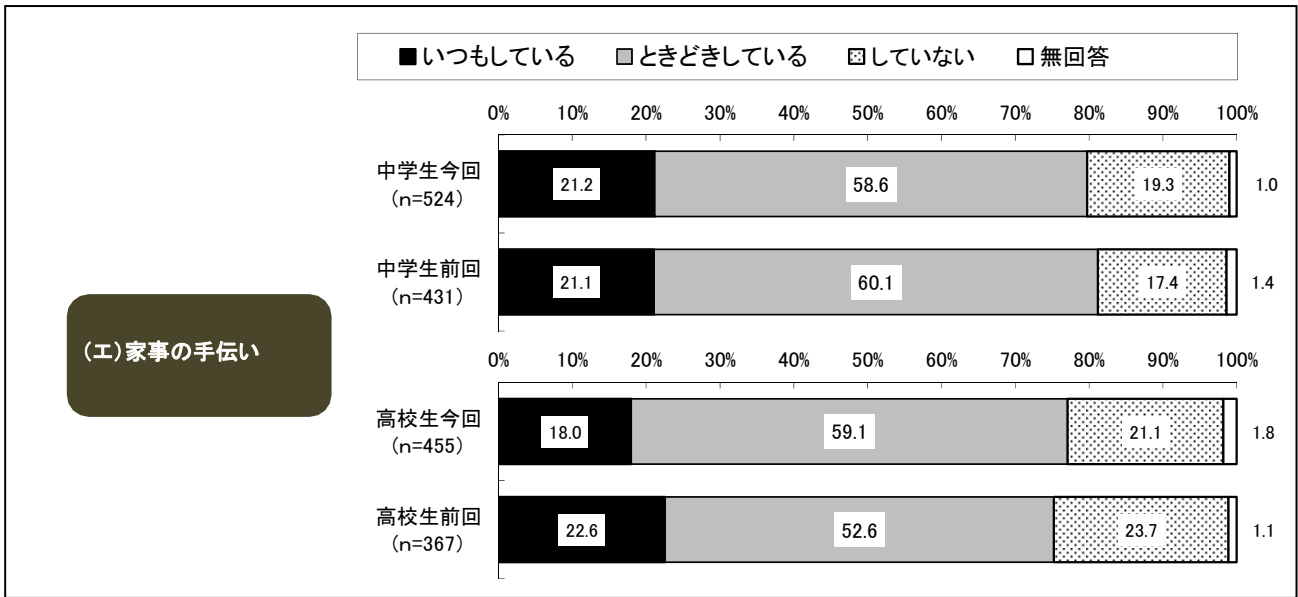
2. 自分でしていること

問7 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。(ア)から(エ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

図表-12 自分でしていること



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果



日常生活において自分で「いつもしている」割合をみると、「(ア) 親に頼らず朝一人で起きる」は中学生で31.3%、高校生世代で35.2%、「(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする」は中学生で32.4%、高校生世代で30.8%、「(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする」は中学生で29.4%、高校生世代で31.0%、「(エ) 家事の手伝い」は中学生で21.2%、高校生世代で18.0%となっている。

前回調査と比較すると、自分で「いつもしている」の割合は、「(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする」が中学生で約10ポイント増加、「(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする」は中学生で約10ポイント、高校生世代で約9ポイント増加している。

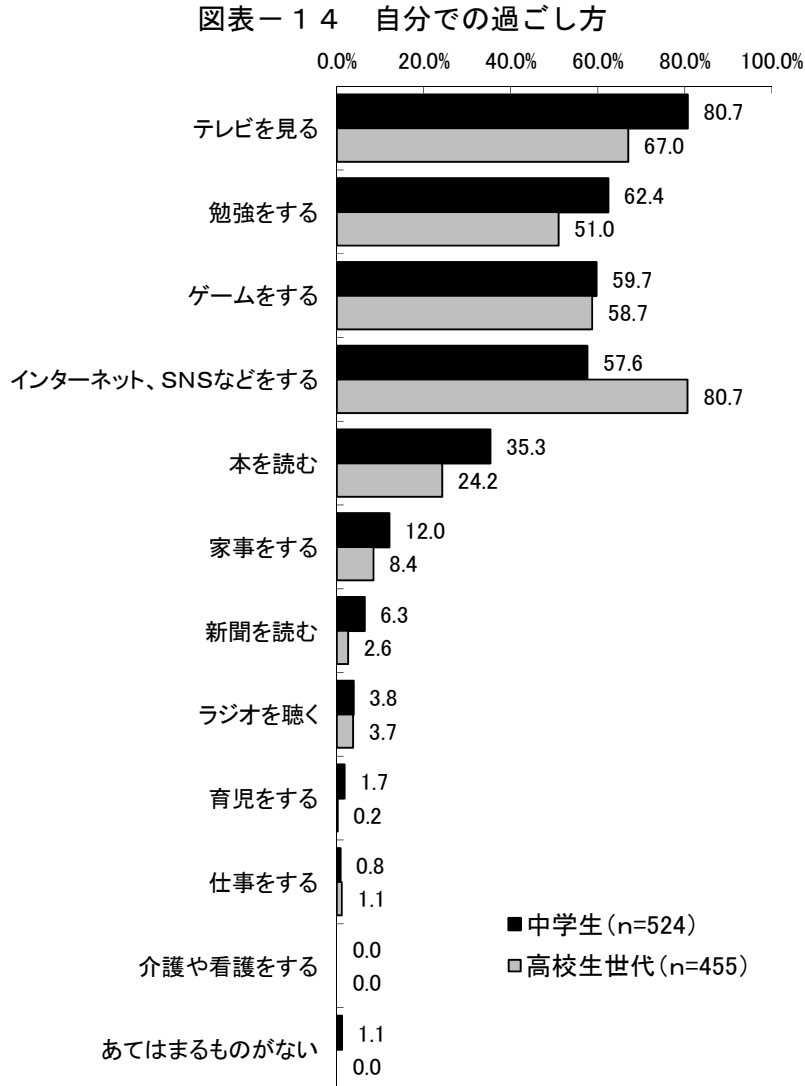
性別にみると、いずれの世代でも、女性の方がほとんどの項目で「いつもしている」割合が高くなっている。

図表－13 性別 自分でしていること（「いつもしている」の割合）（単位：％）

		標本数 (人)	で(ア) 起きる 親に 頼ら ず朝 一 人	げえ(イ) をる す ま た 自 分 の 布 団 の ベ ッ ド 上 げ を 下 整	屋(ウ) の掃 除を す る 自 分 の 机 の 上 や 部	(エ) 家事 の手 伝い
全体		986	33.1	31.5	30.0	19.7
性別	中学生:男性	256	30.5	32.8	25.4	19.5
	中学生:女性	262	32.1	32.1	33.2	22.5
	高校生世代:男性	216	28.7	28.7	28.7	13.0
	高校生世代:女性	225	42.7	34.7	34.7	24.0
	高校生世代:その他	3	66.7	-	-	-
無回答		24	16.7	12.5	16.7	12.5

3. 自宅での過ごし方

問8 ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



自宅での過ごし方は、中学生では「テレビを見る」(80.7%)の割合が最も高く、次いで「勉強をする」(62.4%)、「ゲームをする」(59.7%)、「インターネット、SNSをする」(57.6%)となっている。

高校生世代では「インターネット、SNSをする」(80.7%)の割合が最も高く、次いで「テレビを見る」(67.0%)、「ゲームをする」(58.7%)、「勉強をする」(51.0%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、中学生の女性は他に比べて「本を読む」(40.5%)の割合が高く、高校生世代の男性は「ゲームをする」(81.5%)、高校生世代の女性は「インターネット、SNSをする」(87.6%)の割合が高くなっている。

図表－15 性別 自宅での過ごし方(単位：%)

		標本数(人)	テレビを見る	ラジオを聴く	本を読む	新聞を読む	ゲームをする	勉強をする	仕事をする
全体		986	74.4	3.8	30.1	4.6	59.3	57.1	0.9
性別	中学生:男性	256	77.7	3.9	29.7	7.0	79.3	59.4	0.8
	中学生:女性	262	83.6	3.4	40.5	5.7	40.8	65.3	0.8
	高校生世代:男性	216	62.0	3.2	26.4	3.2	81.5	53.2	0.5
	高校生世代:女性	225	71.6	4.0	22.7	2.2	37.3	49.3	1.3
	高校生世代:その他	3	33.3	-	33.3	-	100.0	33.3	-
	無回答	24	83.3	8.3	25.0	-	50.0	54.2	4.2

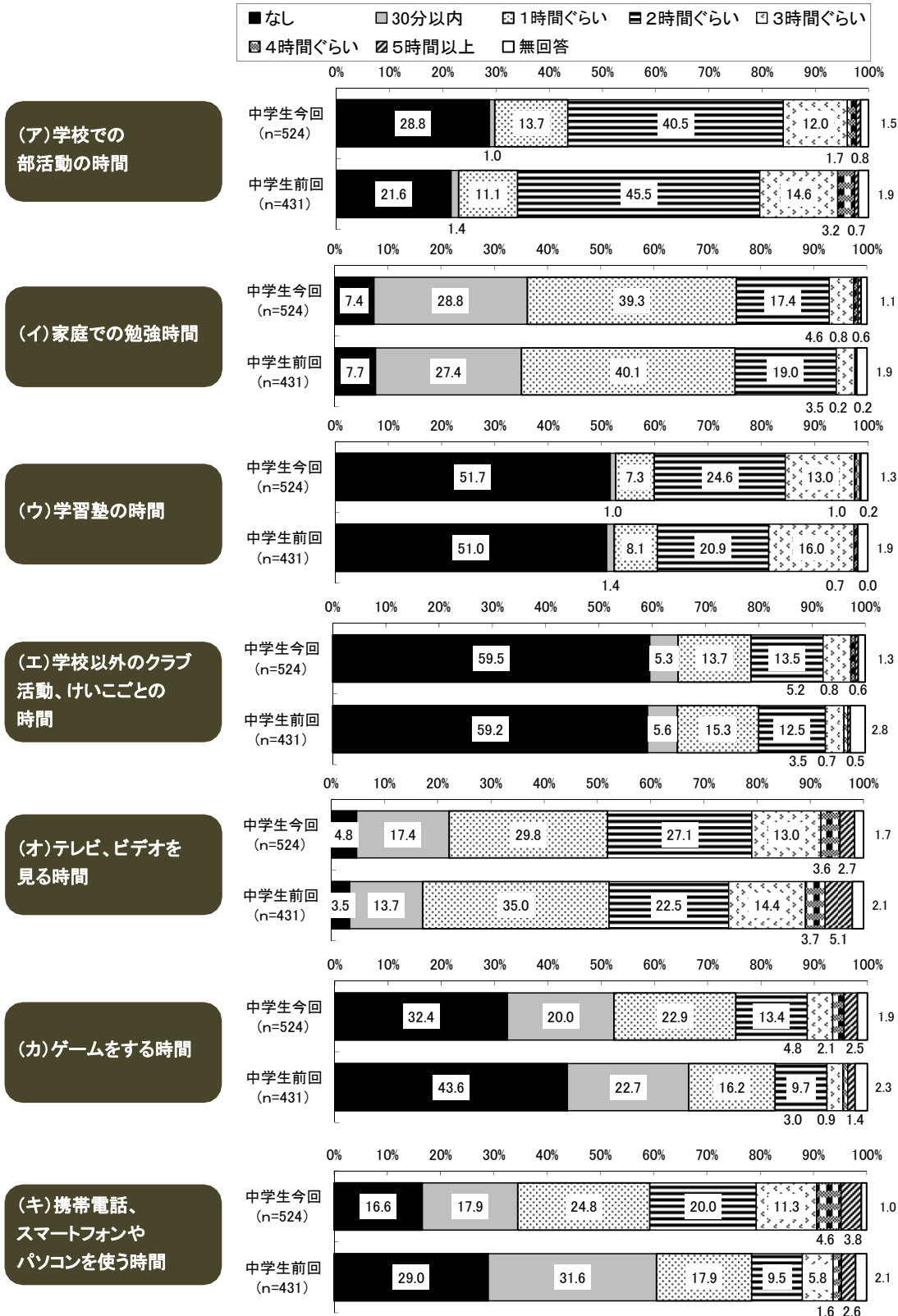
		標本数(人)	家事をする	育児をする	介護や看護をする	インターネット、SNS などをする	あてはまるものがない	無回答
全体		986	10.3	1.0	-	68.3	0.6	1.2
性別	中学生:男性	256	9.4	1.6	-	46.9	0.8	1.2
	中学生:女性	262	14.5	1.5	-	67.6	1.5	0.4
	高校生世代:男性	216	6.0	-	-	73.6	-	0.5
	高校生世代:女性	225	10.2	0.4	-	87.6	-	2.2
	高校生世代:その他	3	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	24	16.7	4.2	-	70.8	-	8.3

4. 生活時間

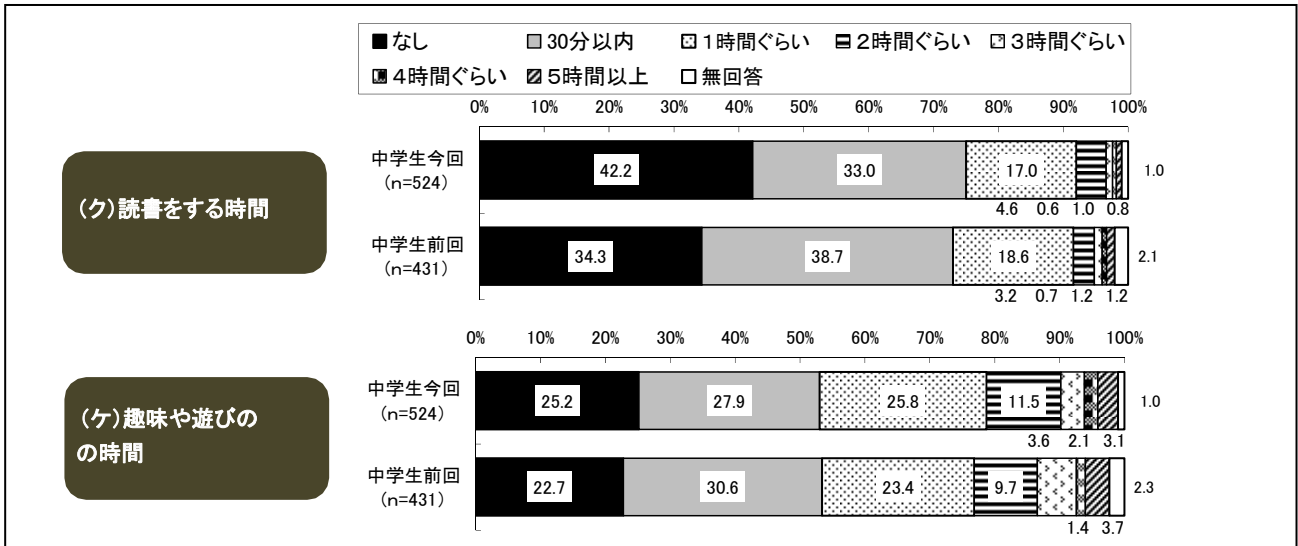
(1) 生活時間（中学生）

問9 あなたの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。
 (ア) から (ケ) についてそれぞれ1つずつ選んでください

図表－16 生活時間（中学生）



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果



中学生の生活時間について、それぞれたずねた。

「(ア) 学校での部活動の時間」は、「2時間ぐらい」(40.5%)の割合が最も高く、次いで「なし」(28.8%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約7ポイント増加している。

「(イ) 家庭での勉強時間」は、「1時間ぐらい」(39.3%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(28.8%)、「2時間ぐらい」(17.4%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「(ウ) 学習塾の時間」は、「なし」(51.7%)の割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」(24.6%)となっている。前回調査と比較すると、「2時間ぐらい」の割合が約4ポイント増加している。

「(エ) 学校以外のクラブ活動、けいこごとの時間」は、「なし」(59.5%)の割合が最も高く、次いで「1時間ぐらい」(13.7%)、「2時間ぐらい」(13.5%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「(オ) テレビ、ビデオを見る時間」は、「1時間ぐらい」(29.8%)の割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」(27.1%)、「30分以内」(17.4%)となっている。前回調査と比較すると、「2時間ぐらい」の割合が約5ポイント増加している。

「(カ) ゲームをする時間」は、「なし」(32.4%)の割合が最も高く、次いで「1時間ぐらい」(22.9%)、「30分以内」(20.0%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約11ポイント減少している。

「(キ) 携帯電話、スマートフォンやパソコンを使う時間」は、「1時間ぐらい」(24.8%)の割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」(20.0%)、「30分以内」(17.9%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約12ポイント減少している。

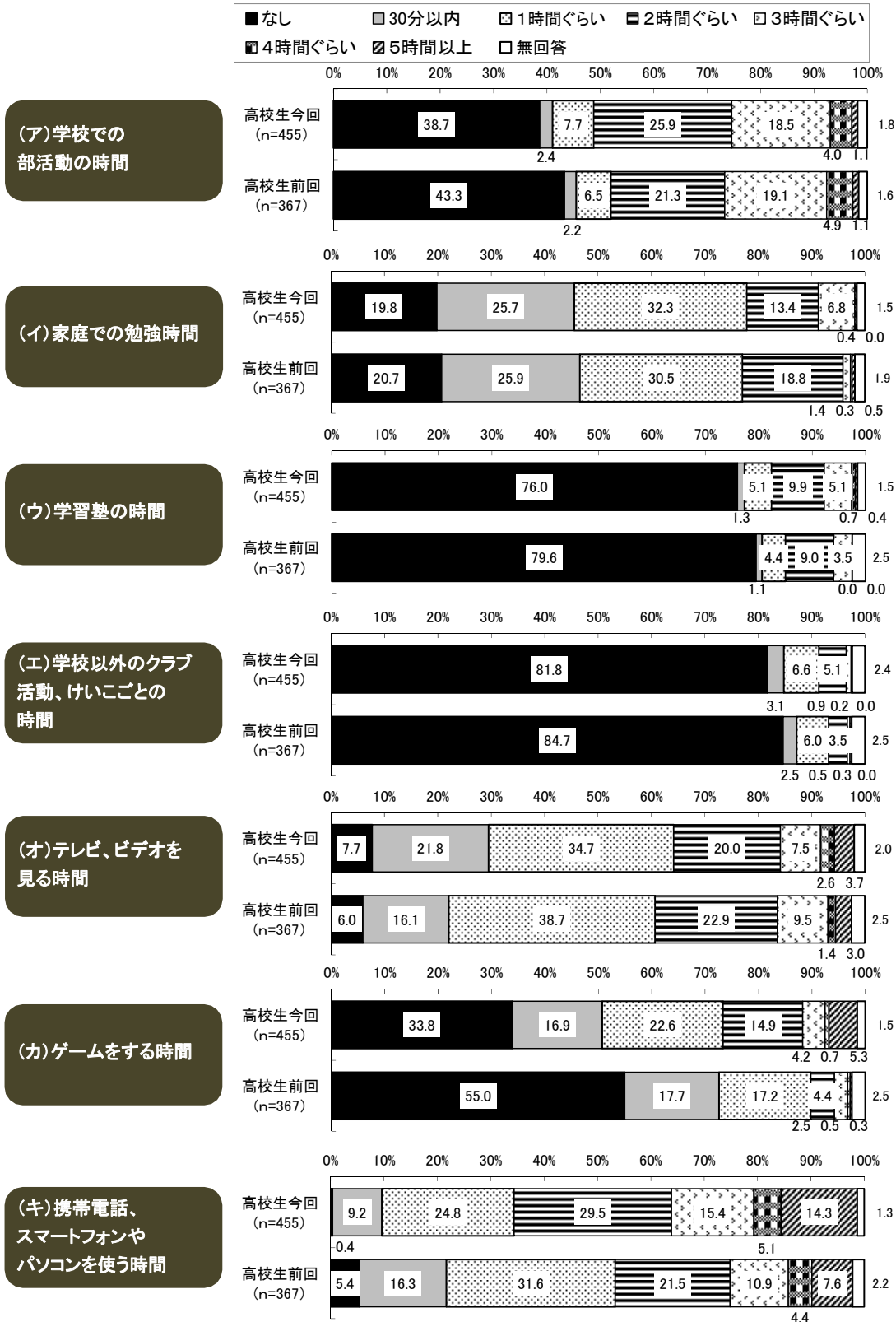
「(ク) 読書をする時間」は、「なし」(42.2%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(33.0%)、「1時間ぐらい」(17.0%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約8ポイント増加している。

「(ケ) 趣味や遊びの時間」は、「30分以内」(27.9%)の割合が最も高く、次いで「1時間ぐらい」(25.8%)、「なし」(25.2%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

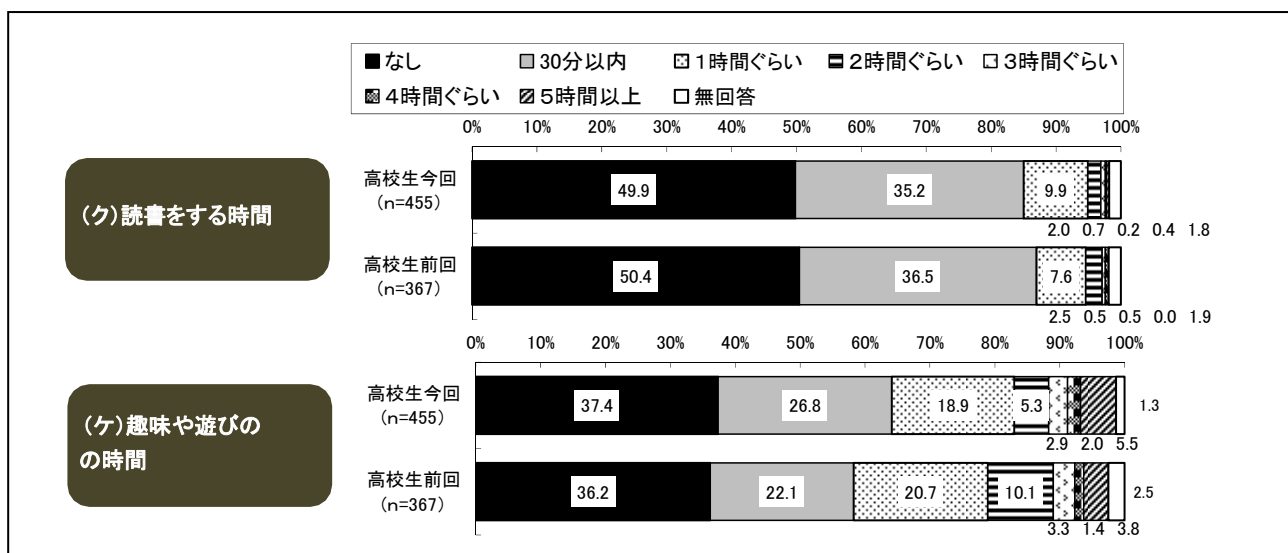
(2) 生活時間（高校生世代）

問9 あなたの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。
 (ア) から (ケ) についてそれぞれ1つずつ選んでください

図表-17 生活時間（高校生世代）



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果



高校生世代の生活時間について、それぞれたずねた。

「(ア) 学校での部活動の時間」は、「なし」(38.7%)の割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」(25.9%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約5ポイント減少している。

「(イ) 家庭での勉強時間」は、「1時間ぐらい」(32.3%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(25.7%)、「なし」(19.8%)となっている。前回調査と比較すると、「2時間ぐらい」の割合が約5ポイント減少している。

「(ウ) 学習塾の時間」は、「なし」(76.0%)の割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」(9.9%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約4ポイント減少している。

「(エ) 学校以外のクラブ活動、けいこごとの時間」は、「なし」(81.8%)の割合が最も高くなっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「(オ) テレビ、ビデオを見る時間」は、「1時間ぐらい」(34.7%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(21.8%)、「2時間ぐらい」(20.0%)となっている。前回調査と比較すると、「30分以内」の割合が約6ポイント増加している。

「(カ) ゲームをする時間」は、「なし」(33.8%)の割合が最も高く、次いで「1時間ぐらい」(22.6%)、「30分以内」(16.9%)となっている。前回調査と比較すると、「なし」の割合が約21ポイント減少している。

「(キ) 携帯電話、スマートフォンやパソコンを使う時間」は、「2時間ぐらい」(29.5%)の割合が最も高く、次いで「1時間ぐらい」(24.8%)、「3時間ぐらい」(15.4%)となっている。前回調査と比較すると、「2時間ぐらい」の割合が8ポイント増加している。

「(ク) 読書をする時間」は、「なし」(49.9%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(35.2%)、「1時間ぐらい」(9.9%)となっており、前回調査と比較するとほぼ同様の結果となっている。

「(ケ) 趣味や遊びの時間」は、「なし」(37.4%)の割合が最も高く、次いで「30分以内」(26.8%)、「1時間ぐらい」(18.9%)となっている。前回調査と比較すると、「30分以内」の割合が約5ポイント増加している。

性別にみると、「(ア) 学校での部活動の時間」は、中学生では男性の方が「なし」(31.6%)の割合がやや高く、高校生世代では女性の方が「なし」(39.6%)の割合が高くなっている。

「(イ) 家庭での勉強時間」は、中学生では男性の方が「なし」(10.5%)の割合が高く、高校生世代では女性の方が「なし」(21.3%)の割合が高くなっている。

「(ウ) 学習塾の勉強時間」は、中学生の女性は他に比べて「3時間ぐらい」(15.6%)の割合が高くなっている。

「(エ) 学校以外のクラブ活動、けいこごとの時間」は、中学生では男性の方が「なし」(62.9%)の割合が高くなっている。

「(オ) テレビ、ビデオを見る時間」は、いずれの世代でも女性の方が長い傾向にある。

「(カ) ゲームの時間」は、いずれの世代でも男性の方が長い傾向にある。

図表-18 性別 生活時間 (単位: %)

	標本数(人)	(ア) 学校での部活動の時間							(イ) 家庭での勉強時間									
		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
全体	986	33.2	1.6	11.1	33.8	15.0	2.7	0.9	1.7	13.2	27.4	36.1	15.5	5.6	0.6	0.3	1.3	
性別	中学生:男性	256	31.6	1.2	9.4	39.8	13.7	2.0	0.4	2.0	10.5	31.3	38.7	12.9	3.5	0.8	0.8	1.6
	中学生:女性	262	26.0	0.8	17.9	41.2	10.7	1.5	0.8	1.1	4.2	27.1	39.7	21.4	5.7	0.8	0.4	0.8
	高校生世代:男性	216	37.0	1.4	7.4	28.2	19.9	3.7	0.9	1.4	17.6	29.6	33.8	13.0	4.2	0.5	-	1.4
	高校生世代:女性	225	39.6	3.6	7.6	24.9	16.9	4.4	1.3	1.8	21.3	22.2	31.1	13.8	9.8	0.4	-	1.3
	高校生世代:その他	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
無回答	24	33.3	-	16.7	20.8	16.7	-	-	4.2	8.3	16.7	16.7	41.7	20.8	-	-	4.2	

	標本数(人)	(ウ) 学習塾の勉強時間							(エ) 学校以外のクラブ活動、けいこごとの時間									
		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
全体	986	62.9	1.1	6.2	17.8	9.3	0.8	0.3	1.5	69.8	4.3	10.4	9.6	3.1	0.5	0.3	1.9	
性別	中学生:男性	256	51.6	1.2	8.6	26.6	9.8	0.4	-	2.0	62.9	4.3	8.6	15.2	6.6	0.4	0.8	1.2
	中学生:女性	262	51.5	0.8	6.1	23.3	15.6	1.5	0.4	0.8	55.7	6.5	19.1	11.8	3.8	1.1	0.4	1.5
	高校生世代:男性	216	75.5	1.4	6.9	10.6	4.6	-	-	0.9	84.7	1.9	4.2	5.6	0.5	0.5	-	2.8
	高校生世代:女性	225	76.9	1.3	3.1	9.8	4.9	1.3	0.9	1.8	80.0	4.4	8.9	4.0	0.9	-	-	1.8
	高校生世代:その他	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
無回答	24	62.5	-	-	8.3	20.8	-	-	-	8.3	70.8	-	4.2	12.5	4.2	-	-	8.3

	標本数(人)	(オ) テレビ、ビデオを見る時間							(カ) ゲームをする時間									
		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
全体	986	6.1	19.3	32.3	23.8	10.4	3.1	3.1	1.8	32.9	18.8	22.8	14.1	4.6	1.4	3.8	1.7	
性別	中学生:男性	256	5.9	20.3	28.9	26.2	11.3	3.9	1.6	2.0	12.9	20.7	31.3	21.5	5.9	2.7	3.5	1.6
	中学生:女性	262	3.8	14.1	30.5	28.6	14.5	3.1	3.8	1.5	51.1	19.5	14.9	5.3	3.8	1.5	1.5	2.3
	高校生世代:男性	216	9.3	25.9	31.9	19.4	6.0	0.9	4.6	1.9	12.5	14.4	31.0	25.5	6.5	1.4	8.3	0.5
	高校生世代:女性	225	5.8	18.7	36.4	21.3	8.9	4.4	2.7	1.8	53.8	19.6	15.6	5.3	1.8	-	1.8	2.2
	高校生世代:その他	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-
無回答	24	4.2	8.3	54.2	12.5	12.5	4.2	-	4.2	37.5	20.8	16.7	12.5	8.3	-	-	4.2	

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

「(キ) 携帯電話、スマートフォンやパソコンを使う時間」は、中学生の男性は他に比べて「なし」(23.0%)の割合が高くなっている。

「(ク) 読書をする時間」は、中学生では男性の方が「なし」(47.3%)の割合がやや高く、高校生世代では女性の方が「なし」(55.1%)の割合がやや高くなっている。

「(ケ) 趣味や遊びの時間」は、いずれの世代でも女性の方が長い傾向にある。

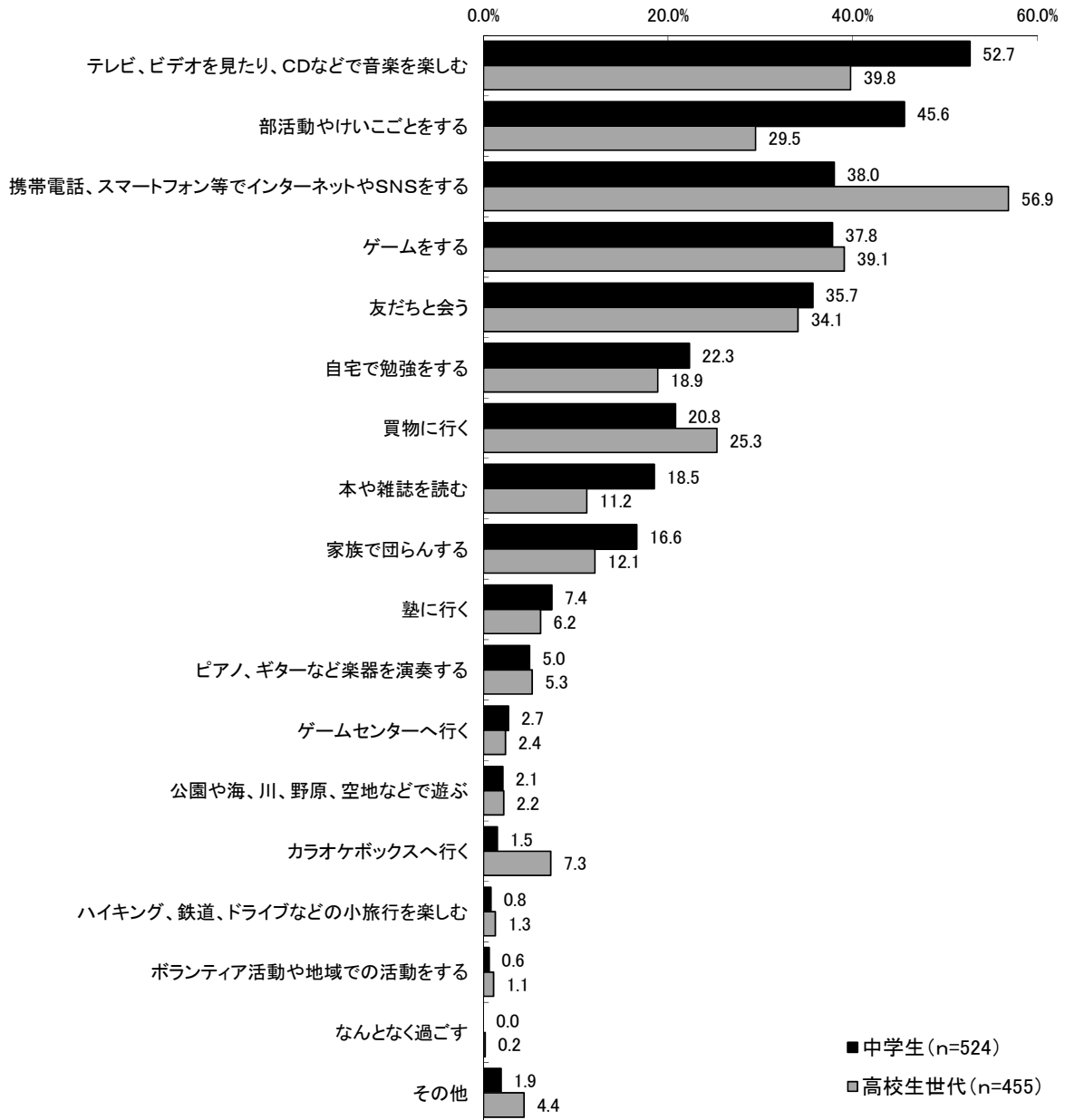
	標本数(人)	(キ) 携帯電話、スマートフォンやパソコンを使う時間								(ク) 読書をする時間								
		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
全体	986	9.0	14.0	24.9	24.3	13.2	4.8	8.6	1.1	45.6	34.0	13.7	3.3	0.8	0.5	0.6	1.4	
性別	中学生:男性	256	23.0	21.5	19.9	19.9	8.6	2.7	2.7	1.6	47.3	30.5	15.6	3.5	0.4	0.8	0.8	1.2
	中学生:女性	262	10.3	14.9	29.0	20.6	13.7	6.1	5.0	0.4	37.4	34.7	18.7	5.7	1.5	0.4	0.8	0.8
	高校生世代:男性	216	0.5	8.3	29.2	31.9	13.4	4.6	11.6	0.5	44.0	38.9	13.0	0.9	0.9	0.5	-	1.9
	高校生世代:女性	225	0.4	10.2	20.9	28.0	17.8	5.8	15.6	1.3	55.1	32.9	6.7	2.7	0.4	-	0.9	1.3
	高校生世代:その他	3	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
	無回答	24	4.2	12.5	37.5	12.5	8.3	4.2	12.5	8.3	50.0	29.2	8.3	-	-	4.2	-	8.3

	標本数(人)	(ケ) 趣味や遊びの時間(上記以外)								
		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
全体	986	31.0	27.3	22.5	8.5	3.2	2.1	4.2	1.1	
性別	中学生:男性	256	28.1	28.9	21.5	9.8	3.9	3.1	3.1	1.6
	中学生:女性	262	22.1	27.5	29.0	13.4	3.4	1.1	3.1	0.4
	高校生世代:男性	216	39.4	24.1	22.2	5.6	1.4	1.4	5.1	0.9
	高校生世代:女性	225	36.4	29.8	15.6	5.3	3.6	2.2	5.8	1.3
	高校生世代:その他	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	24	33.3	12.5	29.2	-	8.3	8.3	4.2	4.2

5. 休日の過ごし方

問10 あなたは、学校が休みの日は主にどのように過ごすことが多いですか。(〇は3つまで)

図表-19 休日の過ごし方



休日の過ごし方は、中学生では「テレビ、ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」(52.7%)の割合が最も高く、次いで「部活動やけいごとをする」(45.6%)、「携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする」(38.0%)、「ゲームをする」(37.8%)となっている。

高校生世代では「携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする」(56.9%)の割合が最も高く、次いで「テレビ、ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」(39.8%)、「ゲームをする」(39.1%)、「友だちと会う」(34.1%)となっている。

II 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生では「テレビ、ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」の割合が約8ポイント、「ゲームをする」の割合が約14ポイント、「携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする」の割合が約15ポイント、「自宅で勉強する」の割合が約7ポイント増加している。

高校生世代では、「ゲームをする」の割合が約24ポイント、「携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする」の割合が約10ポイント増加している。

性別にみると、中学生の女性は他に比べて「テレビ、ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」(56.9%)の割合が高く、高校生世代の男性では「ゲームをする」(63.4%)、高校生世代の女性は「携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする」(60.0%)の割合が高くなっている。

図表-20 前回比較・性別 休日の過ごし方(単位:%)

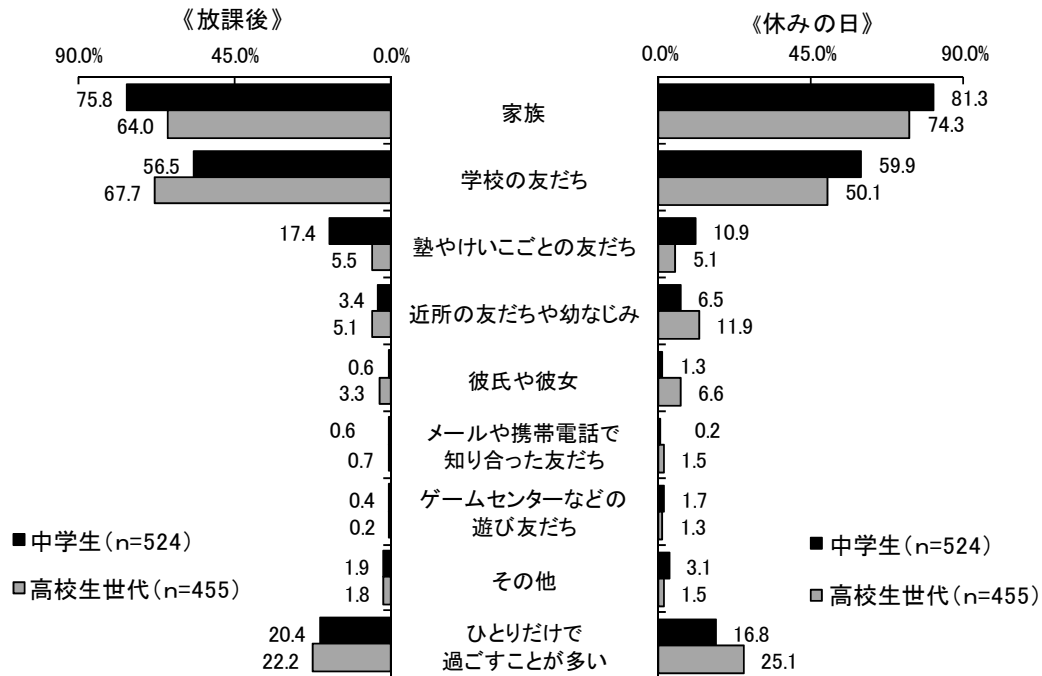
		標本数(人)	テレビ、ビデオなど音楽を楽しむ	ゲームをする	本や雑誌を読む	買物に行く	ピアノ、ギターなど楽器を演奏する	携帯電話、スマートフォン等でインターネットやSNSをする	家族で団らんする	自宅で勉強をする	塾に行く
全体		986	46.7	38.7	15.2	22.7	5.3	46.9	14.6	20.7	6.9
世代別	中学生今回	524	52.7	37.8	18.5	20.8	5.0	38.0	16.6	22.3	7.4
	中学生前回	431	44.8	23.9	15.8	20.9	4.4	23.4	14.2	15.8	10.0
	高校生世代今回	455	39.8	39.1	11.2	25.3	5.3	56.9	12.1	18.9	6.2
	高校生世代前回	367	43.3	14.7	13.9	23.2	4.4	46.3	11.4	14.2	3.5
	無回答	7	42.9	85.7	28.6	-	28.6	57.1	28.6	14.3	14.3
性別	中学生:男性	256	48.4	61.7	15.2	12.9	1.2	27.0	14.5	21.1	6.6
	中学生:女性	262	56.9	14.9	21.8	28.6	8.0	47.7	19.1	23.3	8.4
	高校生世代:男性	216	36.1	63.4	13.4	18.5	5.1	52.8	7.4	18.1	6.5
	高校生世代:女性	225	43.1	16.0	9.8	31.1	5.8	60.0	17.3	20.9	6.2
	高校生世代:その他	3	-	100.0	-	-	-	66.7	-	-	-
	無回答	24	50.0	37.5	12.5	25.0	16.7	70.8	8.3	12.5	4.2

		標本数(人)	カラオケボックスへ行く	ゲームセンターへ行く	ボランティア活動や地域での活動をする	友だちと会う	部活動やけいこごとをする	公園や海、川、野原、空地などで遊ぶ	ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ	なんとなく過ごす	その他
全体		986	4.2	2.5	0.8	34.8	38.1	2.1	1.0	0.1	3.0
世代別	中学生今回	524	1.5	2.7	0.6	35.7	45.6	2.1	0.8	-	1.9
	中学生前回	431	2.1	3.5	0.2	33.4	48.5	3.0	0.7	14.2	2.1
	高校生世代今回	455	7.3	2.4	1.1	34.1	29.5	2.2	1.3	0.2	4.4
	高校生世代前回	367	5.7	1.9	0.3	38.1	28.9	1.4	0.8	19.1	5.2
	無回答	7	-	-	-	14.3	42.9	-	-	-	-
性別	中学生:男性	256	1.2	3.1	0.4	36.7	47.7	3.9	1.6	-	1.6
	中学生:女性	262	1.9	2.3	0.8	34.7	44.3	0.4	-	-	2.3
	高校生世代:男性	216	9.3	2.8	0.5	31.0	34.3	3.7	1.9	-	2.3
	高校生世代:女性	225	4.9	2.2	1.3	36.9	24.4	0.4	0.9	0.4	6.2
	高校生世代:その他	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
	無回答	24	8.3	-	-	29.2	33.3	4.2	-	-	4.2

6. 放課後や休日にいっしょに過ごす相手

問11 あなたは日ごろ、放課後や学校が休みの日には、誰といっしょに過ごすことが一番多いですか。それぞれ主なものを2つまで選んで、下の欄の□の中に番号を記入してください

図表-21 放課後や休日にいっしょに過ごす相手



放課後にいっしょに過ごす相手は、中学生では、「家族」(75.8%)の割合が最も高く、次いで「学校の友だち」(56.5%)、「ひとりだけで過ごすことが多い」(20.4%)、「塾やけいこごとの友だち」(17.4%)となっている。

高校生世代では、「学校の友だち」(67.7%)の割合が最も高く、次いで「家族」(64.0%)、「ひとりだけで過ごすことが多い」(22.2%)となっている。

休みの日にいっしょに過ごす相手は、中学生・高校生世代ともに、「家族」(中学生：81.3%、高校生世代：74.3%)の割合が最も高く、次いで「学校の友だち」(中学生：59.9%、高校生世代：50.1%)、「ひとりだけで過ごすことが多い」(中学生：16.8%、高校生世代：25.1%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生では、放課後にいっしょに過ごす相手として、「家族」の割合が15ポイント増加し、「学校の友だち」の割合が約15ポイント減少している。休みの日に一緒に過ごす相手は、前回調査とほぼ同様である。

高校生世代では、放課後にいっしょに過ごす相手として、「家族」の割合が約6ポイント増加し、休みの日にいっしょに過ごす相手としては、「家族」の割合が約10ポイント増加、「学校の友だち」の割合が約5ポイント減少している。

性別にみると、高校生世代の男性は他に比べて、休みの日に「ひとりだけで過ごすことが多い」(30.6%)の割合が高くなっている。

図表－２２ 前回比較・性別 放課後や休日にいっしょに過ごす相手（単位：％）

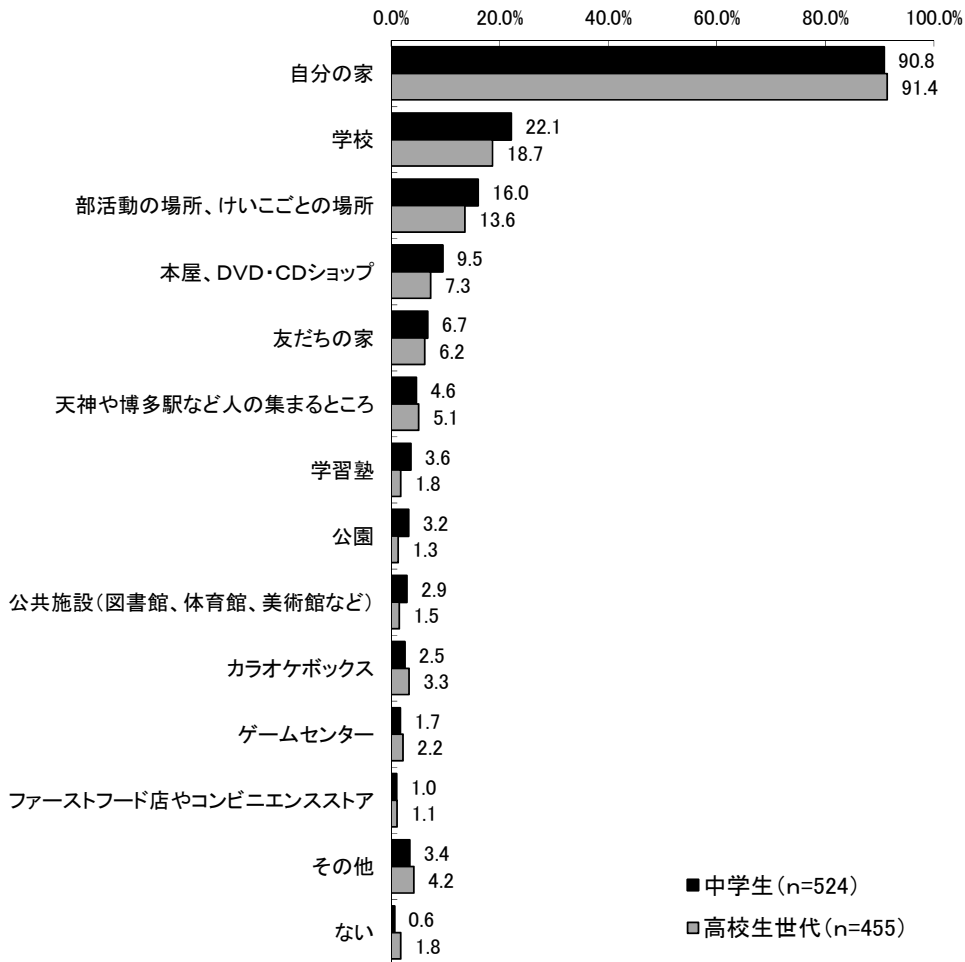
		標本数（人）	放課後								
			家族	学校の友だち	塾やけいこごとの友だち	近所の友だちや幼なじみ	ひゲームセンターなどの遊友だち	彼氏や彼女	メールや携帯電話で知り合った友だち	その他	がひとりだけで過ごすこと
全体		986	70.1	61.7	11.9	4.2	0.3	1.8	0.6	1.8	21.3
世代別	中学生今回	524	75.8	56.5	17.4	3.4	0.4	0.6	0.6	1.9	20.4
	中学生前回	431	60.8	70.1	15.1	3.2	0.2	0.7	0.7	3.9	11.6
	高校生世代今回	455	64.0	67.7	5.5	5.1	0.2	3.3	0.7	1.8	22.2
	高校生世代前回	367	57.8	66.2	6.3	6.0	0.8	2.2	0.8	4.6	17.2
	無回答	7	42.9	57.1	14.3	-	-	-	-	-	28.6
性別	中学生：男性	256	73.8	55.5	19.1	4.7	0.4	1.2	0.4	2.0	18.4
	中学生：女性	262	77.5	57.6	16.0	1.9	0.4	-	0.8	1.9	21.8
	高校生世代：男性	216	63.0	66.7	6.0	6.0	0.5	2.8	0.9	1.9	21.8
	高校生世代：女性	225	65.8	68.4	5.3	3.6	-	3.6	0.4	1.8	21.8
	高校生世代：その他	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	33.3
	無回答	24	62.5	62.5	4.2	8.3	-	4.2	-	-	37.5
		標本数（人）	休みの日								
			家族	学校の友だち	塾やけいこごとの友だち	近所の友だちや幼なじみ	ひゲームセンターなどの遊友だち	彼氏や彼女	メールや携帯電話で知り合った友だち	その他	がひとりだけで過ごすこと
全体		986	77.9	55.3	8.2	8.9	1.5	3.8	0.8	2.3	20.6
世代別	中学生今回	524	81.3	59.9	10.9	6.5	1.7	1.3	0.2	3.1	16.8
	中学生前回	431	81.4	61.9	9.5	4.9	2.6	0.9	1.6	3.7	11.8
	高校生世代今回	455	74.3	50.1	5.1	11.9	1.3	6.6	1.5	1.5	25.1
	高校生世代前回	367	64.0	55.0	3.3	17.4	1.4	5.7	1.6	3.5	24.3
	無回答	7	57.1	42.9	14.3	-	-	-	-	-	14.3
性別	中学生：男性	256	77.3	56.3	13.7	7.0	3.1	1.6	-	3.9	17.2
	中学生：女性	262	85.5	63.0	8.4	6.1	0.4	1.1	0.4	2.3	16.0
	高校生世代：男性	216	69.9	45.4	6.5	14.8	2.8	5.1	1.4	1.9	30.6
	高校生世代：女性	225	79.1	54.2	4.0	9.3	-	7.6	1.8	1.3	19.1
	高校生世代：その他	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	66.7
	無回答	24	66.7	62.5	4.2	4.2	-	4.2	-	-	25.0

7. 居心地のいい場所

(1) 居心地のいい場所

問12 あなたが居心地のいい場所はどこですか。(○は2つまで)

図表－23 居心地のいい場所



居心地のいい場所は、中学生・高校生世代ともに、「自分の家」(中学生：90.8%、高校生世代：91.4%)の割合が9割以上と最も高く、次いで、「学校」(中学生：22.1%、高校生世代：18.7%)、「部活動の場所、けいこごとの場所」(中学生：16.0%、高校生世代：13.6%)となっており、中学生・高校生世代ともに、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

II 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、中学生の女性は、他に比べて「学校」(24.0%)「本屋、DVD・CDショップ」(11.8%)の割合がやや高く、「自分の家」(87.8%)がやや低くなっている。中学生の男性は、他に比べて「自分の家」(93.8%)「部活動の場所、けいこごとの場所」(18.0%)の割合がやや高くなっている。

高校生世代では、男女で大きな違いはみられなかった。

図表－24 前回比較・性別 居心地のいい場所 (単位：%)

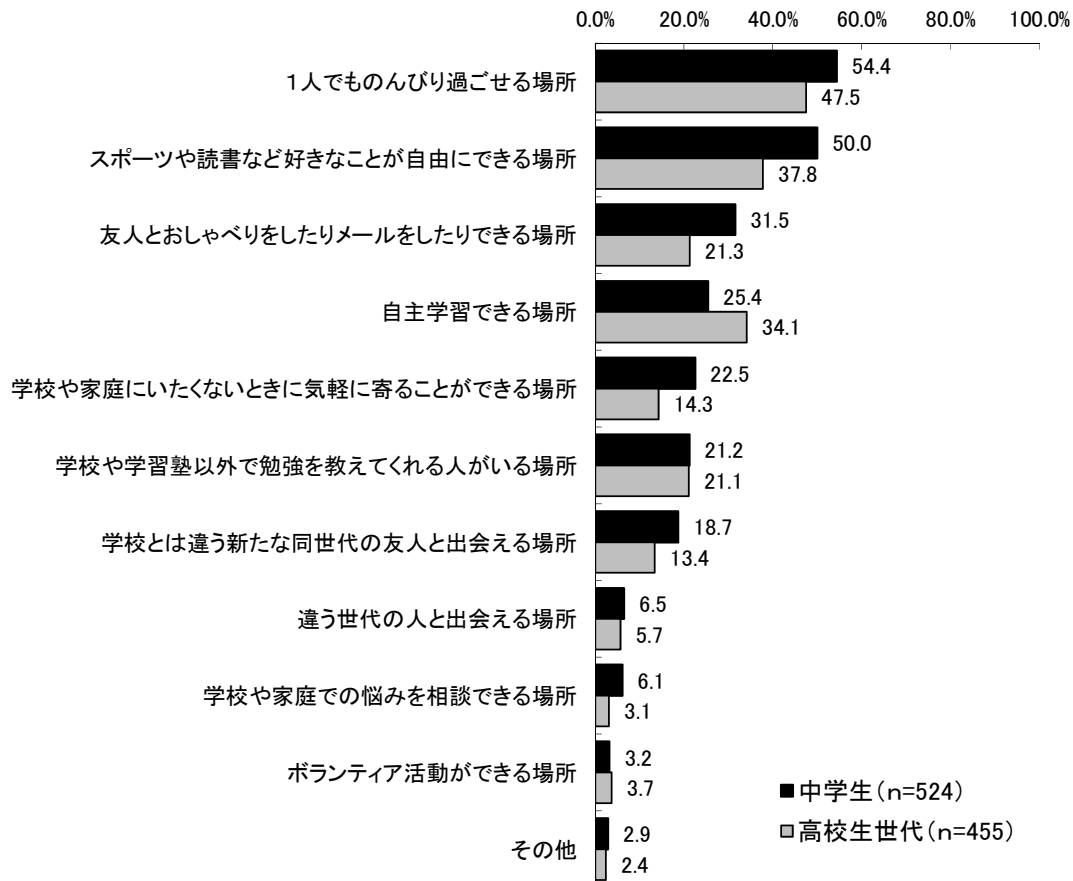
		標本数 (人)	自分の家	友だちの家	学校	学習塾	と部の活動の場所、けいこご	公園	ファーストフード店やコンビニエンスストア
全体		986	91.2	6.4	20.5	2.8	14.9	2.3	1.0
世代別	中学生今回	524	90.8	6.7	22.1	3.6	16.0	3.2	1.0
	中学生前回	431	88.4	8.1	18.3	4.2	15.8	2.6	1.6
	高校生世代今回	455	91.4	6.2	18.7	1.8	13.6	1.3	1.1
	高校生世代前回	367	89.1	7.6	18.0	2.2	16.3	2.5	1.4
	無回答	7	100.0	-	14.3	14.3	14.3	-	-
性別	中学生：男性	256	93.8	7.8	19.9	2.3	18.0	3.5	1.6
	中学生：女性	262	87.8	5.7	24.0	5.0	14.5	3.1	-
	高校生世代：男性	216	91.7	8.3	19.9	1.4	12.0	0.5	1.4
	高校生世代：女性	225	91.6	4.4	18.2	1.8	15.6	2.2	0.9
	高校生世代：その他	3	66.7	-	-	-	-	-	-
	無回答	24	95.8	-	16.7	8.3	8.3	-	4.2

		標本数 (人)	ゲームセンター	カラオケボックス	本屋、DVD・CDショップ	天神や博多駅など人の集まるところ	公共施設(図書館、美術館など)	その他	ない
全体		986	1.9	2.8	8.4	4.8	2.2	3.8	1.1
世代別	中学生今回	524	1.7	2.5	9.5	4.6	2.9	3.4	0.6
	中学生前回	431	1.6	2.1	8.4	2.6	2.8	4.4	1.9
	高校生世代今回	455	2.2	3.3	7.3	5.1	1.5	4.2	1.8
	高校生世代前回	367	1.4	2.5	8.2	2.7	1.9	3.5	1.9
	無回答	7	-	-	-	-	-	-	-
性別	中学生：男性	256	2.3	1.6	7.0	3.1	2.0	3.9	0.4
	中学生：女性	262	1.1	3.1	11.8	6.1	3.8	3.1	0.8
	高校生世代：男性	216	3.2	3.7	8.3	4.6	1.9	4.6	1.9
	高校生世代：女性	225	0.9	2.7	5.8	5.8	1.3	3.6	1.3
	高校生世代：その他	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3
	無回答	24	4.2	8.3	8.3	-	-	4.2	-

(2) あればいいと思う場所

問12-1 問12の選択肢以外で、あればいいなと思う場所はどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-25 あればいいと思う場所



あればいいと思う場所は、中学生では「1人でものんびり過ごせる場所」(54.4%)の割合が最も高く、次いで「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」(50.0%)、「友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所」(31.5%)、「自主学習できる場所」(25.4%)となっている。

高校生世代では、「1人でものんびり過ごせる場所」(47.5%)の割合が最も高く、次いで「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」(37.8%)、「自主学習できる場所」(34.1%)、「友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所」(21.3%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、中学生の女性は、他に比べて「友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所」(38.5%)、「学校や家庭にいたくないときに気軽に寄ることができる場所」(29.4%)の割合が高くなっている。

図表－２６ 性別 あればいいと思う場所（単位：％）

	標本数（人）	自主学習できる場所	学校や学習塾以外で勉強を教えられる人がいる場所	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所	ボランティア活動ができる場所	学校の友人とは違う新たな場所	違う世代の人と出会える場所	1人でものんびり過ごせる場所	学校や家庭での悩みを相談できる場所	学校や家庭にいたくないときに気軽に寄ることができる場所	その他	無回答	
全体	986	29.6	21.3	44.5	26.8	3.5	16.1	6.1	51.1	4.8	18.7	2.6	8.1	
性別	中学生：男性	256	19.5	17.6	53.1	23.8	3.1	18.0	6.3	52.0	2.3	14.5	1.6	9.8
	中学生：女性	262	30.9	24.8	46.9	38.5	3.4	18.7	6.9	56.1	9.9	29.4	3.8	6.5
	高校生世代：男性	216	32.9	15.7	44.9	17.6	3.2	10.6	6.0	47.2	1.9	9.7	2.8	8.3
	高校生世代：女性	225	37.3	26.2	31.1	24.9	4.4	16.0	5.3	47.6	4.4	18.7	2.2	7.6
	高校生世代：その他	3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	無回答	24	25.0	29.2	50.0	33.3	4.2	16.7	-	58.3	4.2	29.2	4.2	8.3

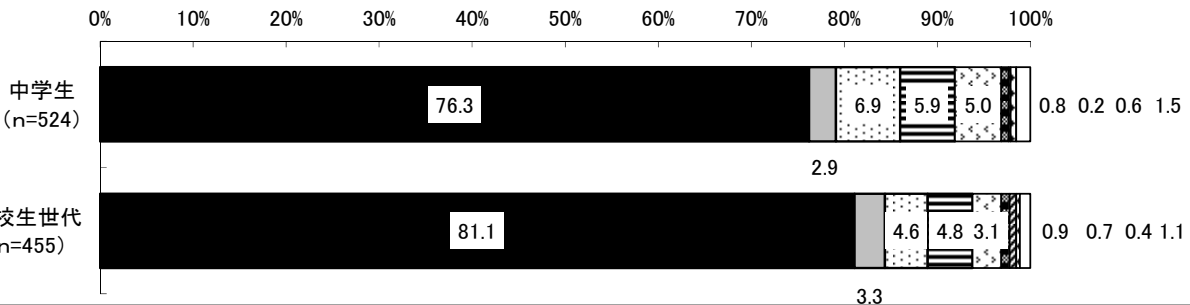
8. 普段の外出について

(1) 外出頻度

問13 ふだんどのくらい外出していますか。(もっとも近いもの1つに○)

図表-27 外出頻度

- 仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する
- 仕事(家事を含む)や学校で週に3~4日外出する
- ▨ 遊び等で頻繁に外出する
- ▩ 人付き合いのためにときどき外出する
- ▧ ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する (選択肢5)
- ▦ ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける (選択肢6)
- ▤ 自室からは出るが、家からは出ない (選択肢7)
- ▣ 自室からほとんど出ない (選択肢8)
- 無回答



普段の外出の頻度は、中学生・高校生世代ともに、「仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する」の割合が8割前後と大半を占めている。一方、「自室からは出るが、家からは出ない」(中学生:0.2%、高校生世代:0.7%)、「自室からはほとんど出ない」(中学生:0.6%、高校生世代:0.4%)との回答もみられる。

性別にみると、中学生・高校生世代ともに、女性の方が「仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する」の割合が高くなっている。

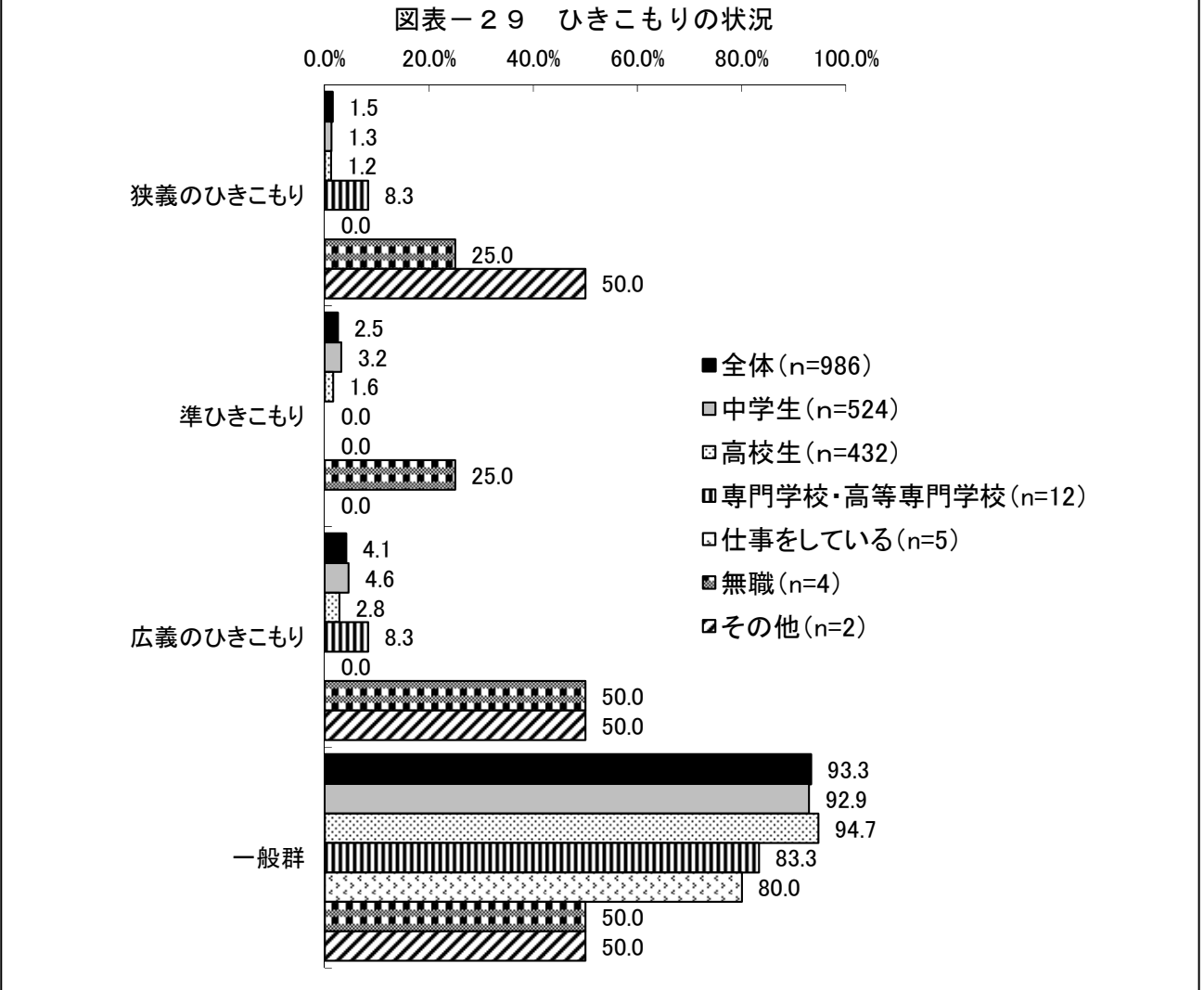
図表-28 性別 外出頻度 (単位: %)

		標本数(人)	仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する	仕事(家事を含む)や学校で週に3~4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人付き合いのためにときどき外出する	自分の趣味に関する用事の自	ふだんは家の中にいるが、近	所だんは家になど	ふだんは家には出ないが、家	自室からはほとんど出ない	無回答
全体		986	78.4	3.0	6.0	5.5	4.1	0.8	0.4	0.5	1.3	
性別	中学生:男性	256	71.5	3.1	9.8	7.0	5.1	1.2	0.4	0.8	1.2	
	中学生:女性	262	81.7	2.7	4.2	3.8	5.0	0.4	-	0.4	1.9	
	高校生世代:男性	216	78.7	3.7	5.1	6.0	2.8	1.4	-	0.9	1.4	
	高校生世代:女性	225	84.0	3.1	4.4	3.6	3.6	-	0.9	-	0.4	
	高校生世代:その他	3	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	
無回答		24	66.7	-	8.3	20.8	-	-	-	-	4.2	

(2) ひきこもりの状況

問13（外出頻度）、問8（ふだん自宅できていること）などの回答から、ひきこもりの状況をまとめると以下ようになる。

※ひきこもりに関する定義は、「I 調査概要 7. 調査結果の見方」(P3) 参照



ひきこもりの状況を見ると、「広義のひきこもり」に分類される中学生は4.6%（狭義のひきこもり1.3%+準ひきこもり3.2%）、高校生は2.8%（狭義のひきこもり1.2%+準ひきこもり1.6%）となっている。

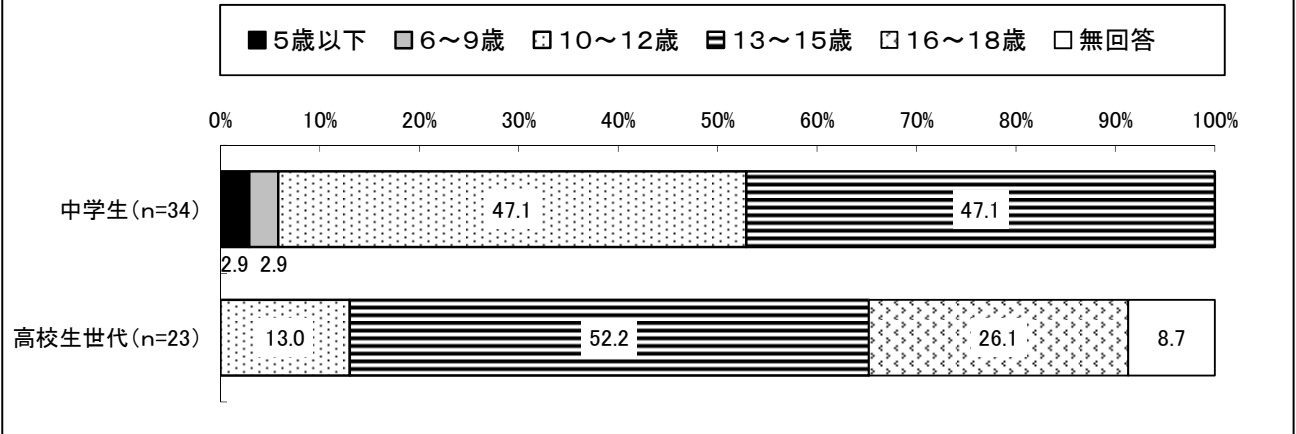
中学生及び高校生世代（12歳～17歳）全体の有効回答数（986人）のうち「広義のひきこもり」に分類される割合は4.06%（40人）であり、この出現率4.06%を市内12～17歳人口79,411人（平成31年1月末）にかけた「広義のひきこもり」推計人口は、3,224人となる。

専門学校・高等専門学校の者は12人のうち1人が「狭義のひきこもり」に分類され、無職の者は4人のうち1人が「狭義のひきこもり」、1人が「準ひきこもり」に分類される。

(3) 外出を普段しなくなった年齢

問13-1① 【問13で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態になったのはあなたが何歳の頃ですか。(枠内に数字を記入)

図表-30 外出を普段しなくなった年齢



外出を普段しなくなった年齢は、中学生では「10～12歳」「13～15歳」（ともに47.1%）となっており、小学校高学年～中学生の間が大半を占めている。

高校生世代では、「13～15歳」（52.2%）の割合が最も高く、次いで「16～18歳」（26.1%）、「10～12歳」（13.0%）となっており、中学校入学以降が大半を占めている。

ひきこもりの状況別にみると、〔狭義のひきこもり〕に分類される15人のうち9人が「13～15歳」、4人が「10～12歳」、1人が「16～18歳」と回答しており、〔準ひきこもり〕に分類される25人のうち10人が「10～12歳」、同じく10人が「13～15歳」、3人が「16～18歳」、1人が「5歳以下」、同じく1人「6～9歳」と回答している。

図表-31 性別・ひきこもりの状況 ふだん外出をしなくなった年齢（単位：%）

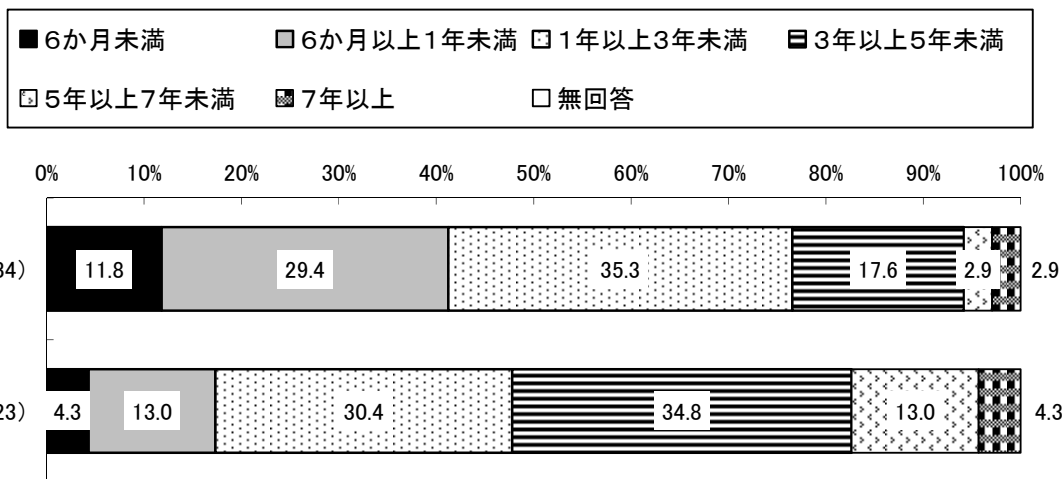
		標本数 (人)	5歳以下	6～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	無回答
全体		57	1.8	1.8	33.3	49.1	10.5	3.5
性別	中学生:男性	19	-	5.3	52.6	42.1	-	-
	中学生:女性	15	6.7	-	40.0	53.3	-	-
	高校生世代:男性	11	-	-	9.1	63.6	27.3	-
	高校生世代:女性	10	-	-	10.0	40.0	30.0	20.0
	高校生世代:その他	2	-	-	50.0	50.0	-	-
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	15	-	-	26.7	60.0	6.7	6.7
	準ひきこもり	25	4.0	4.0	40.0	40.0	12.0	-
	広義のひきこもり	40	2.5	2.5	35.0	47.5	10.0	2.5
	一般群	16	-	-	31.3	50.0	12.5	6.3
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

(4) 外出を普段しなくなってからの期間

問13-1② 【問13で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

図表-32 外出を普段しなくなってからの期間



外出を普段していない期間は、中学生では、「1年以上3年未満」(35.3%)の割合が最も高く、次いで「6か月以上1年未満」(29.4%)、「3年以上5年未満」(17.6%)、「6か月未満」(11.8%)となっている。

高校生世代では、「3年以上5年未満」(34.8%)の割合が最も高く、次いで「1年以上3年未満」(30.4%)、「6か月以上1年未満」「5年以上7年未満」(ともに13.0%)となっている。

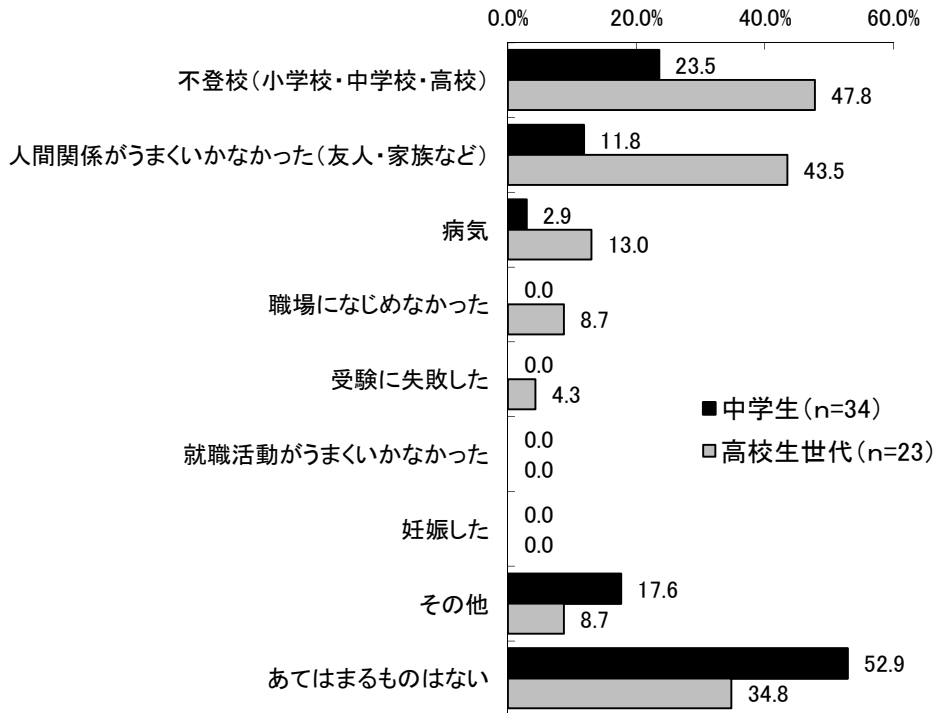
図表-33 性別 外出を普段しなくなってからの期間 (単位: %)

		標本数(人)	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上	無回答
全体		57	8.8	22.8	33.3	24.6	7.0	3.5	-
性別	中学生:男性	19	15.8	31.6	26.3	21.1	5.3	-	-
	中学生:女性	15	6.7	26.7	46.7	13.3	-	6.7	-
	高校生世代:男性	11	9.1	9.1	27.3	36.4	18.2	-	-
	高校生世代:女性	10	-	20.0	30.0	40.0	-	10.0	-
	高校生世代:その他	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-

(5) 外出を普段しなくなったきっかけ

問13-1③ 【問13で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態になったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-34 外出を普段しなくなったきっかけ



外出を普段しなくなったきっかけは、中学生では、「あてはまるものはない」(52.9%)の割合が最も高く、具体的なきっかけとしては「不登校(小学校・中学校・高校)」(23.5%)、「人間関係がうまくいかなかった」(11.8%)となっている。

高校生世代では、「不登校(小学校・中学校・高校)」(47.8%)、「人間関係がうまくいかなかった」(43.5%)となっている。

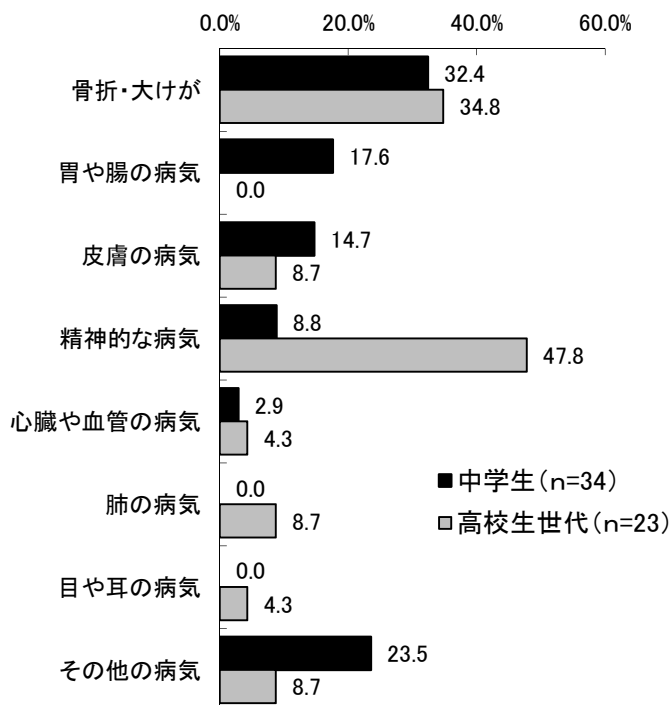
図表-35 性別 外出を普段しなくなったきっかけ (単位: %)

		標本数(人)	不登校(小学校・中学校・高校)	受験に失敗した	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかった	人間関係がうまくいかなかった(友人・家族など)	病気	妊娠した	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		57	33.3	1.8	-	3.5	24.6	7.0	-	14.0	45.6	1.8
性別	中学生:男性	19	10.5	-	-	-	5.3	-	-	26.3	57.9	5.3
	中学生:女性	15	40.0	-	-	-	20.0	6.7	-	6.7	46.7	-
	高校生世代:男性	11	36.4	9.1	-	-	27.3	9.1	-	-	54.5	-
	高校生世代:女性	10	50.0	-	-	20.0	50.0	10.0	-	20.0	20.0	-
	高校生世代:その他	2	100.0	-	-	-	100.0	50.0	-	-	-	-

(6) 病気やけがの経験（外出を普段しない人）

問13-1④ 【問13で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－36 病気やけがの経験（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、病気やけがの経験をたずねたところ、中学生は「骨折・大けが」(32.4%)の割合が最も高く、次いで「胃や腸の病気」(17.6%)、「皮膚の病気」(14.7%)となっている。高校生世代では、「精神的な病気」(47.8%)の割合が最も高く、次いで「骨折・大けが」(34.8%)となっている。

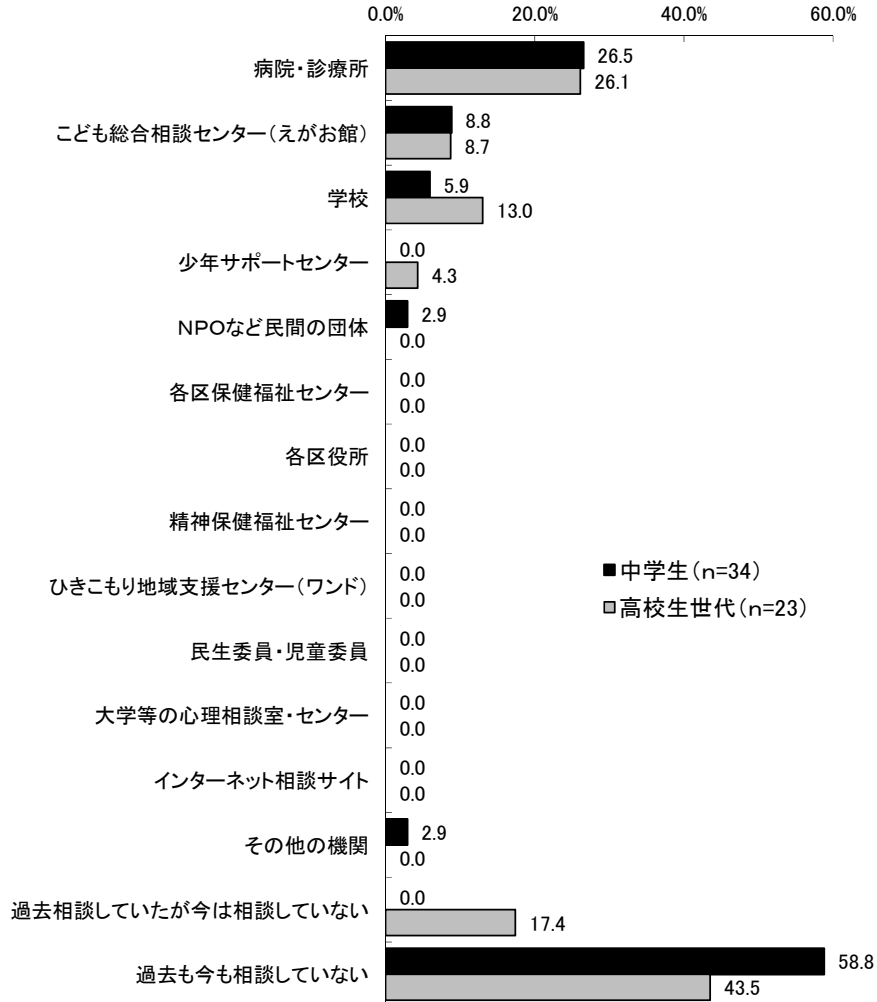
図表－37 性別 病気やけがの経験（外出を普段しない人）（単位：%）

		標本数（人）	心臓や血管の病気	肺の病気	胃や腸の病気	精神的な病気	目や耳の病気	皮膚の病気	骨折・大けが	その他の病気	無回答
全体		57	3.5	3.5	10.5	24.6	1.8	12.3	33.3	17.5	31.6
性別	中学生：男性	19	-	-	21.1	5.3	-	10.5	42.1	31.6	31.6
	中学生：女性	15	6.7	-	13.3	13.3	-	20.0	20.0	13.3	40.0
	高校生世代：男性	11	-	-	-	27.3	9.1	9.1	27.3	-	45.5
	高校生世代：女性	10	-	20.0	-	70.0	-	10.0	50.0	20.0	10.0
	高校生世代：その他	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-

(7) 相談先（外出を普段しない人）

問13-1⑤ 【問13で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態について以下の関係機関に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－38 相談先（外出を普段しない人）

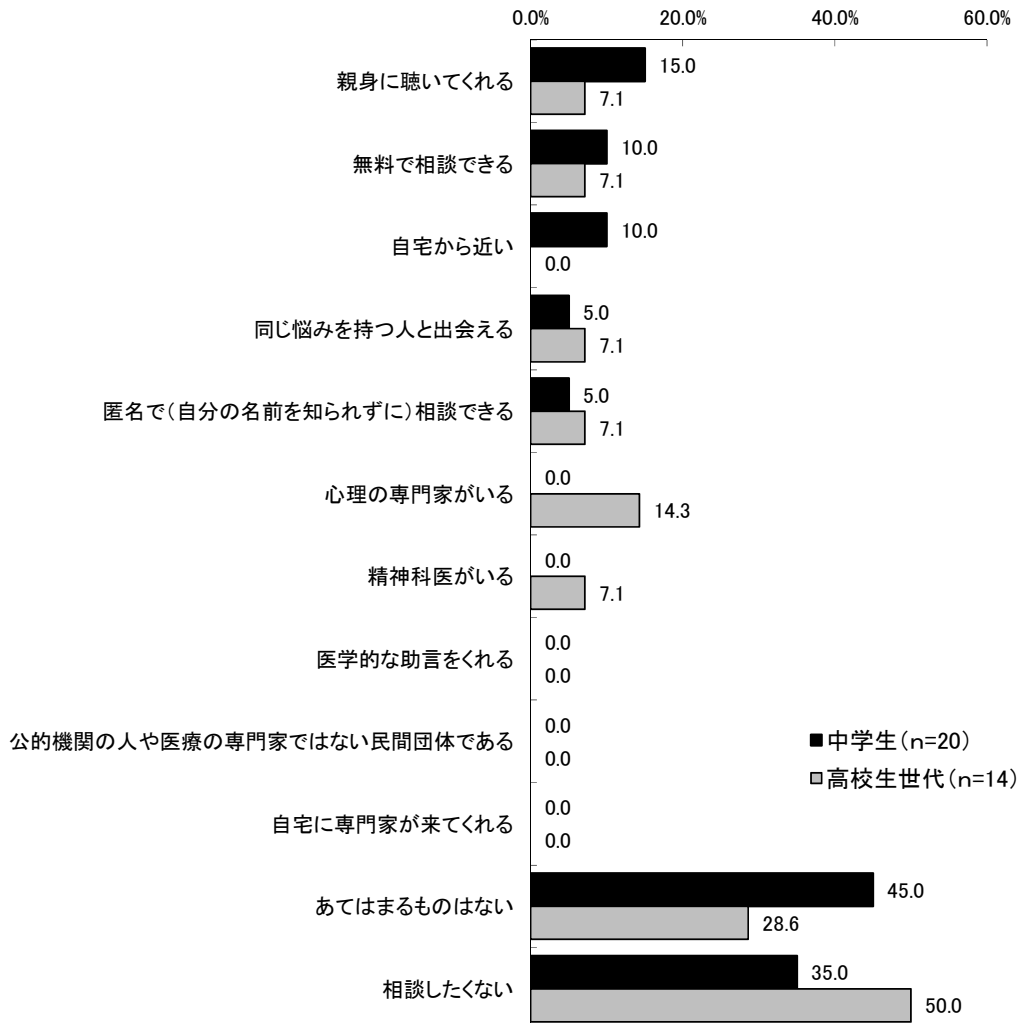


外出を普段しない人に、現在の状態についての相談先をたずねたところ、中学生・高校生世代ともに、「過去も今も相談していない」（中学生：58.8%、高校生世代：43.5%）の割合が高くなっている。具体的な相談先としては、中学生は「病院・診療所」（26.5%）、「こども総合相談センター（えがお館）」（8.8%）、高校生世代では「病院・診療所」（26.1%）、「学校」（13.0%）となっている。

(8) 相談したい機関（外出を普段しない人）

問13-1⑥ 【上記⑤で「14」または「15」を選んだ方にうかがいます。】現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図表-39 相談したい機関（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、相談したい機関をたずねたところ、中学生では、「あてはまるものはない」(45.0%)の割合が最も高く、次いで「相談したくない」(35.0%)となっている。具体的なものとしては「親身に聴いてくれる」(15.0%)、「無料で相談できる」「自宅から近い」(10.0%)となっている。

高校生世代では、「相談したくない」(50.0%)の割合が最も高く、次いで「あてはまるものはない」(28.6%)となっている。具体的なものとしては「心理の専門家がいる」(14.3%)となっている。

(9) 相談したくない理由

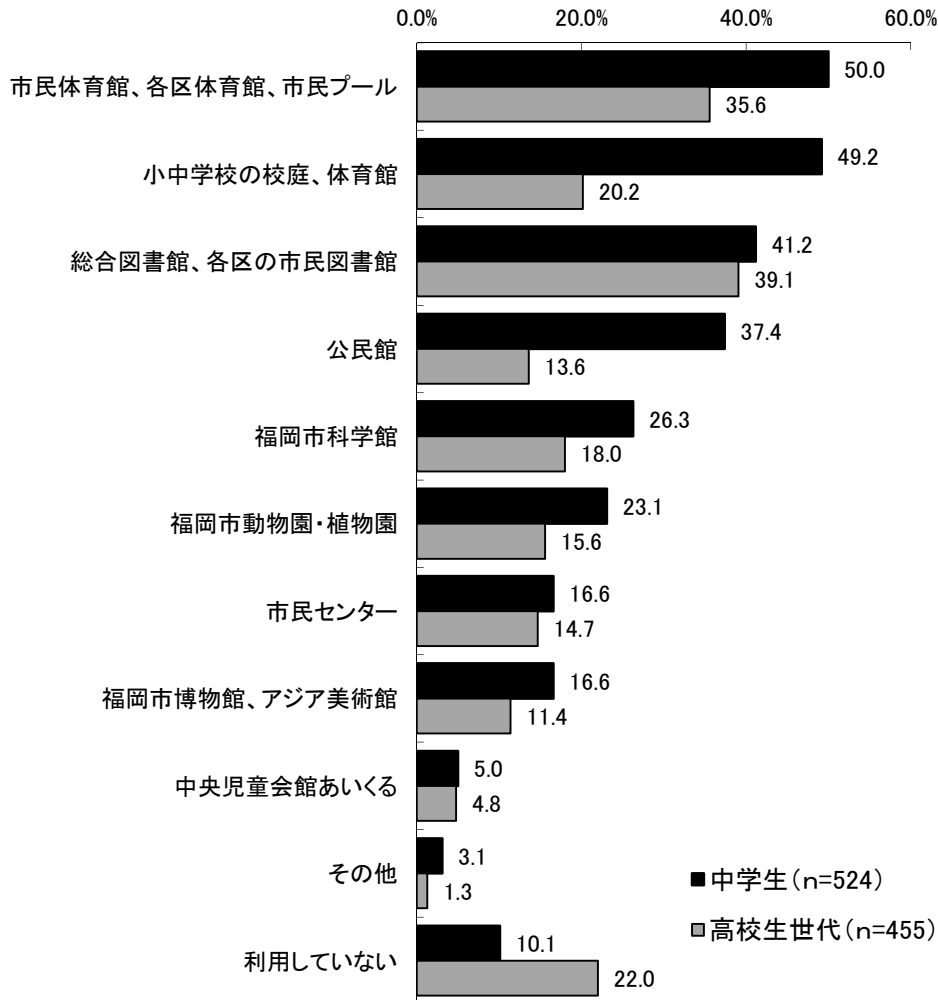
問13-1⑦ 【上記⑥で「12」を選んだ方にうかがいます。】相談したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

相談したくない理由（中学生：7人、高校生世代7人）は、中学生では、「相手にうまく話せないから」「相談しても解決できないと思うから」「自分のことを知られたくないから」（ともに3人）、高校生世代では、「相手にうまく話せないから」「相談しても解決できないと思うから」（ともに5人）などとなっている。

9. 利用した公共施設

問14 あなたが過去1年間に、学校の授業や部活動以外で利用したことがある公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-40 利用した公共施設



過去1年間に利用した公共施設は、中学生では、「市民体育館、各区体育館、市民プール」(50.0%)の割合が最も高く、次いで「小中学校の校庭、体育館」(49.2%)、「総合図書館、各区の市民図書館」(41.2%)となっている。

高校生世代では、「総合図書館、各区の市民図書館」(39.1%)の割合が最も高く、「市民体育館、各区体育館、市民プール」(35.6%)、「利用していない」(22.0%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生では、「公民館」の割合が約13ポイント増加し、「総合図書館、各区の市民図書館」は約6ポイント減少、「市民体育館、各区体育館、市民プール」は約7ポイント減少している。

高校生世代では、「公民館」「市民センター」の割合が約5ポイント増加している。

性別にみると、中学生の女性では他に比べて「公民館」（41.6%）の割合が高くなっている。

図表－４１ 前回比較・性別 利用した公共施設（単位：％）

	標本数（人）	公民館	市民センター	総合図書館、各区の市民図書館	市民体育館、各区体育館、市民プール	小中学校の校庭、体育館	福岡市動物園・植物園	福岡市博物館、アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館	その他	利用していない	
全体	986	26.4	15.9	40.2	43.1	35.7	19.6	14.2	4.9	22.4	2.3	15.5	
世代別	中学生今回	524	37.4	16.6	41.2	50.0	49.2	23.1	16.6	5.0	26.3	3.1	10.1
	中学生前回	431	24.1	12.5	47.6	57.1	44.5		1.9		4.9	10.7	
	高校生世代今回	455	13.6	14.7	39.1	35.6	20.2	15.6	11.4	4.8	18.0	1.3	22.0
	高校生世代前回	367	8.2	9.8	40.6	37.9	16.9		0.8		2.2	25.9	
	無回答	7	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-
性別	中学生：男性	256	33.2	14.5	36.3	52.3	50.0	18.4	12.9	4.3	25.4	4.3	11.3
	中学生：女性	262	41.6	19.1	45.8	48.1	48.9	27.5	19.8	5.7	27.5	1.9	9.2
	高校生世代：男性	216	13.4	14.8	38.0	44.4	24.1	14.8	6.9	4.2	14.4	1.4	21.8
	高校生世代：女性	225	14.7	15.1	40.0	27.1	17.3	16.9	16.4	5.8	20.9	1.3	21.8
	高校生世代：その他	3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3
	無回答	24	16.7	12.5	37.5	29.2	16.7	12.5	12.5	-	20.8	4.2	12.5

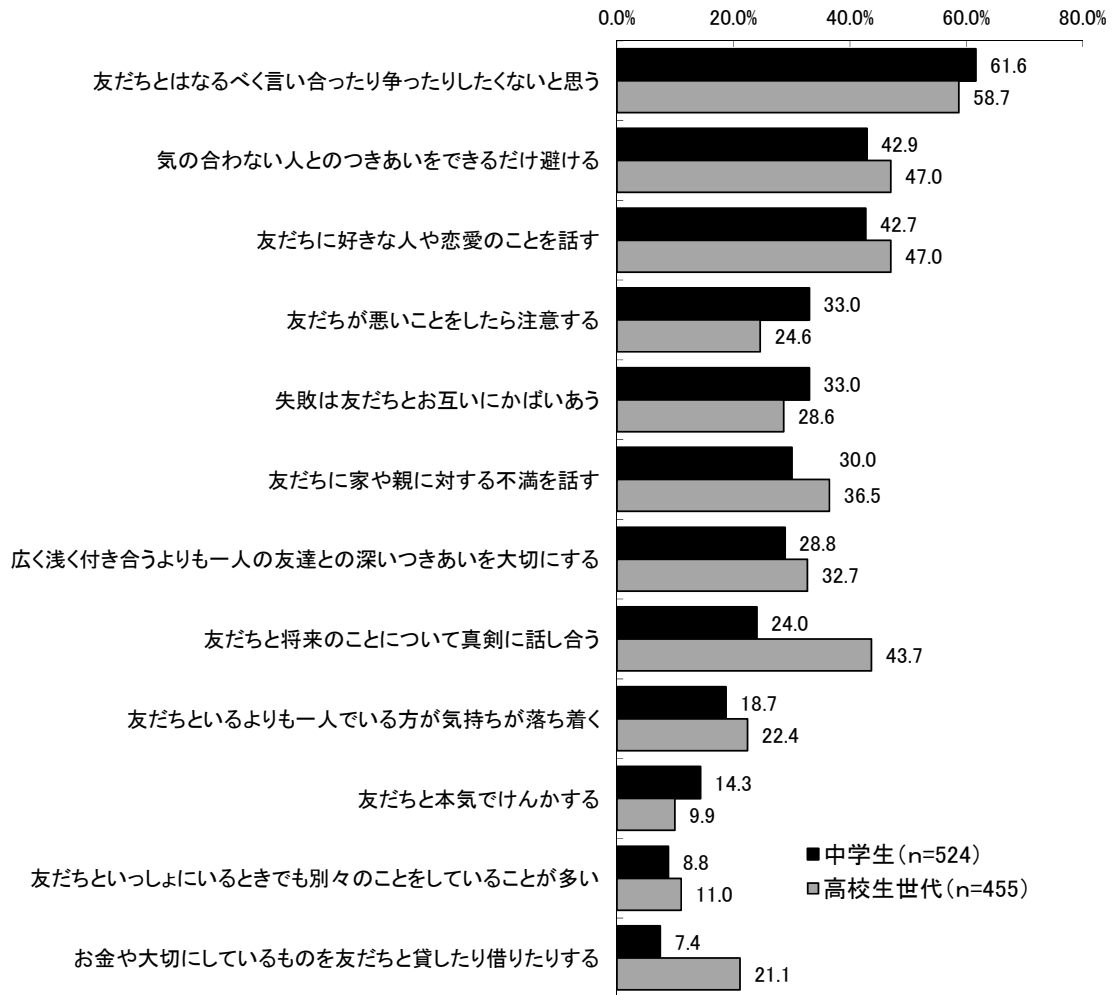
※「福岡市科学館」「福岡市動物園・植物園」「福岡市博物館・アジア美術館」は今回調査で新規で追加された項目

第4章 生活意識と環境

1. 友だちづきあいについて

問15 あなたと友だちとのつきあいの中で、次のようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-42 友だちづきあいについて



友だちづきあいについて、中学生では、「友だちとはなるべく言い合ったり争ったりしたくないと思う」(61.6%)の割合が最も高く、次いで「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」(42.9%)、「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」(42.7%)となっている。

高校生世代でも、「友だちとはなるべく言い合ったり争ったりしたくないと思う」(58.7%)の割合が最も高く、ついで「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」(ともに47.0%)、「友だちと将来のことについて真剣に話し合う」(43.7%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生では、「友だちに家や親に対する不満を話す」の割合が約6ポイント増加し、「友だちが悪いことをしたら注意する」の割合が約5ポイント減少している。

高校生世代では、「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」の割合が5ポイント増加している。

性別にみると、高校生世代の女性では他に比べて「友だちに家や親に対する不満を話す」(47.1%)、「友だちと将来のことについて真剣に話し合う」(51.6%)の割合が高くなっている。

図表－４３ 前回比較・性別 友だちづきあいについて (単位：%)

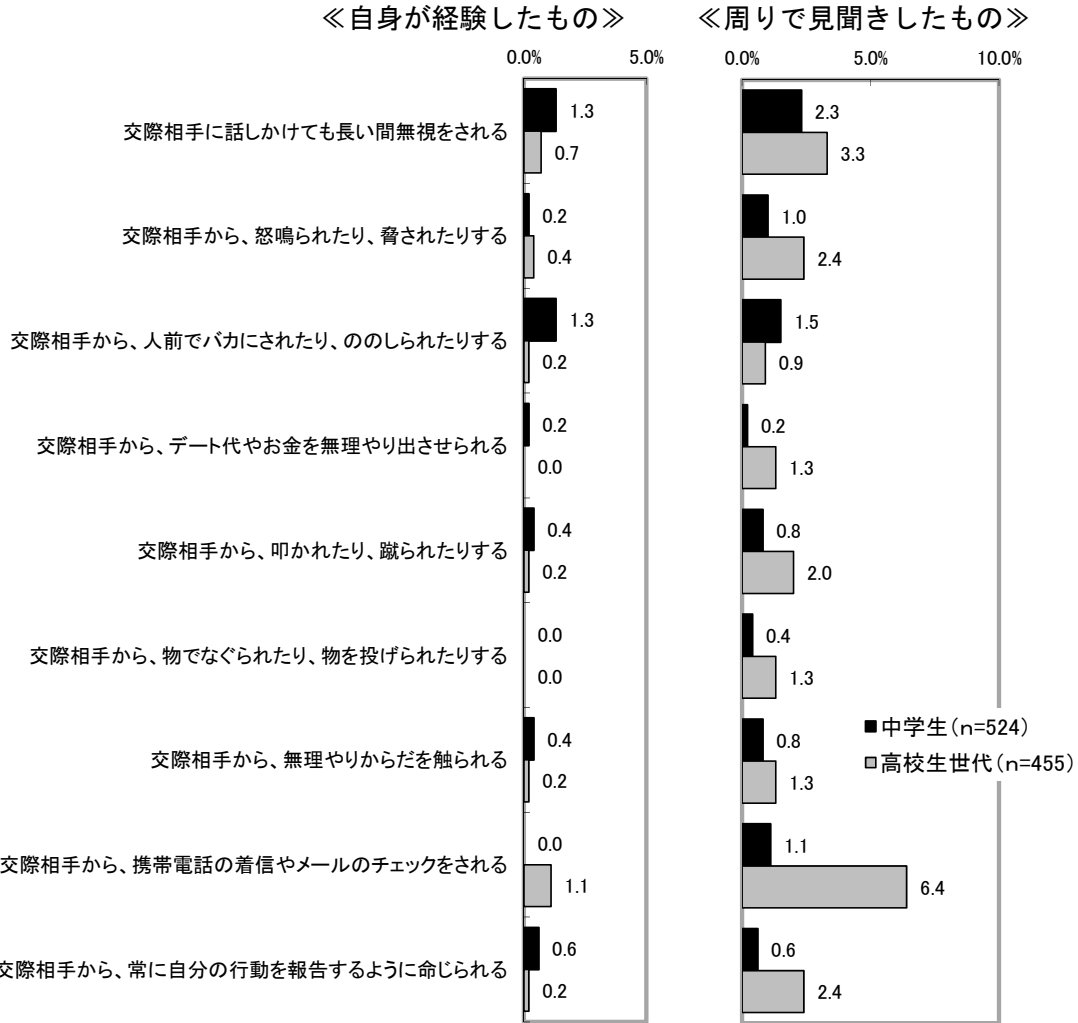
		標本数(人)	友だちに好きな人や恋愛の話を話す	友だちに家や親に対する不満を話す	友だちと将来のことについて真剣に話し合う	お金を友だちと貸したり借りたりする	友だちと本気でけんかする	気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける	友だちが悪いことをしたら注意する	友だちが気持ちよくいる方が気持ちよく落ち着く	一人の友達との深いつきあいを大切にする	広く浅く付き合うより、時々でも別々のことをしていることが多い	友だちと争ったりしにくいと思う	友だちとはなるべく言い合ったりする	失敗は友だちとお互いにかばいあう
全体		986	44.5	32.9	33.0	13.7	12.2	44.8	29.1	20.4	30.4	9.7	60.2	31.0	
世代別	中学生今回	524	42.7	30.0	24.0	7.4	14.3	42.9	33.0	18.7	28.8	8.8	61.6	33.0	
	中学生前回	431	43.9	23.9	20.6	11.4	14.8	38.7	37.6	18.8	25.8	7.9	59.4	38.7	
	高校生世代今回	455	47.0	36.5	43.7	21.1	9.9	47.0	24.6	22.4	32.7	11.0	58.7	28.6	
	高校生世代前回	367	45.5	32.4	42.5	22.1	11.4	42.0	28.6	18.3	28.6	10.6	58.3	29.4	
	無回答	7	14.3	14.3	-	-	-	42.9	28.6	14.3	-	-	57.1	42.9	
性別	中学生:男性	256	29.7	19.5	17.6	6.6	8.6	37.9	32.4	13.3	18.4	7.0	61.3	30.5	
	中学生:女性	262	55.0	40.1	30.2	8.0	20.2	46.9	33.6	23.7	38.9	10.3	61.1	35.1	
	高校生世代:男性	216	36.6	25.5	35.2	18.1	6.5	43.1	20.4	17.6	25.9	11.1	52.3	23.6	
	高校生世代:女性	225	56.4	47.1	51.6	23.6	13.3	49.3	28.4	26.7	37.3	9.3	63.1	34.7	
	高校生世代:その他	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	100.0	100.0	66.7	66.7	-	
無回答		24	45.8	29.2	33.3	16.7	4.2	66.7	33.3	16.7	33.3	16.7	83.3	29.2	

2. 交際相手との関係について

(1) DV・デートDVの経験

問16 次のような行為を、あなた自身が経験したり、または周りの人の中で見たり聞いたりしたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-44 DV・デートDVの経験



DV・デートDVに関する各選択肢の経験がある中学生・高校生世代は、0.2%~1%弱となっている。

具体的な自身の経験としては、中学生では、「交際相手に話しかけても長い間無視をされる」(1.3%)、「交際相手から、人前でバカにされたり、ののしられたりする」(1.3%) などとなっており、高校生世代では、「交際相手から、携帯電話の着信やメールのチェックをされる」(1.1%) などとなっている。

周りで見聞きしたものについても、中学生では、「交際相手に話しかけても長い間無視をされる」(2.3%)、「交際相手から、人前でバカにされたり、ののしられたりする」(1.5%) などとなっており、高校生世代では、「交際相手から、携帯電話の着信やメールのチェックをされる」(6.4%)、「交際相手に話しかけても長い間無視をされる」(3.3%)、「交際相手から、怒鳴られたり、脅されたりする」(2.4%) などとなっている。

II 中学生・高校生等調査結果

図表－４５ 性別 DV・デートDVの経験（単位：％）

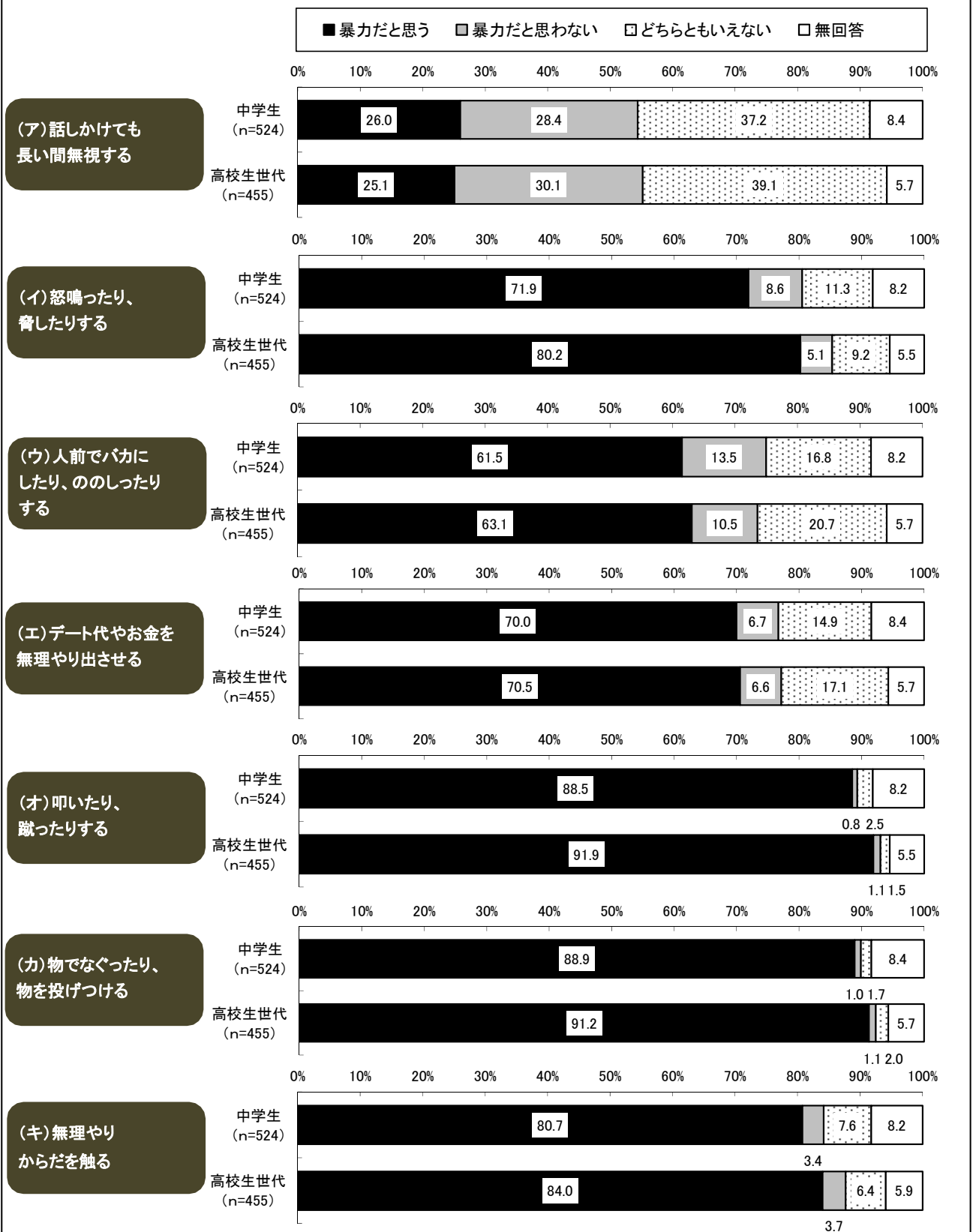
	標本数（人）	自身が経験したもの											
		長い交際相手無視に話しかけても	交際相手から、脅されたり怒鳴られたり	交際相手にされたり、人の前でバカにされたり	交際相手から、人前でバカにされたり	やお金を無理やり出させられる	交際相手から、デート代を無理やり出させられる	り、蹴られたり、叩かれたり	たり、蹴られたり、物を投げられたり	交際相手から、物でなぐられたり	交際相手から、無理やりからだを触られる	交際相手からの着信やメールのチェックをされる	命じられる
全体	986	1.0	0.3	0.8	0.1	0.3	-	0.3	0.5	0.4	97.3		
性別	中学生：男性	256	0.8	-	2.0	0.4	0.4	-	-	-	96.9		
	中学生：女性	262	1.9	0.4	0.8	-	0.4	-	0.8	-	96.6		
	高校生世代：男性	216	1.4	-	0.5	-	0.5	-	-	0.9	97.2		
	高校生世代：女性	225	-	0.9	-	-	-	-	0.4	1.3	98.2		
	高校生世代：その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
	無回答	24	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		

	標本数（人）	周りで見聞きしたもの											
		長い交際相手無視に話しかけても	交際相手から、脅されたり怒鳴られたり	交際相手にされたり、人の前でバカにされたり	交際相手から、人前でバカにされたり	やお金を無理やり出させられる	交際相手から、デート代を無理やり出させられる	り、蹴られたり、叩かれたり	たり、蹴られたり、物を投げられたり	交際相手から、物でなぐられたり	交際相手から、無理やりからだを触られる	交際相手からの着信やメールのチェックをされる	命じられる
全体	986	2.7	1.6	1.2	0.7	1.3	0.8	1.0	3.5	1.4	91.8		
性別	中学生：男性	256	1.6	1.6	2.3	-	0.8	0.8	-	0.4	-	95.3	
	中学生：女性	262	2.7	0.4	0.8	0.4	0.8	-	1.5	1.9	93.1		
	高校生世代：男性	216	4.2	0.9	0.9	1.9	1.4	-	0.9	5.6	88.4		
	高校生世代：女性	225	2.7	3.6	0.9	0.9	2.7	2.2	1.8	7.1	89.3		
	高校生世代：その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
	無回答	24	4.2	4.2	-	-	-	4.2	-	4.2	91.7		

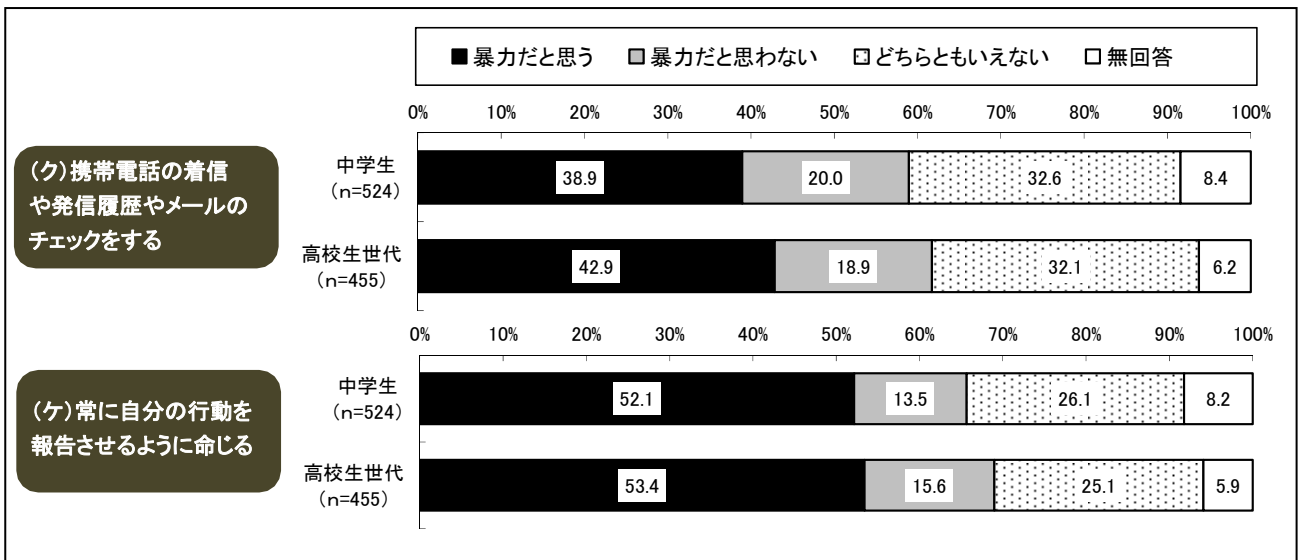
(2) DV・デートDVについて

問17 交際相手から以下のような行為があった場合、あなたはどのように思いますか。(ア)から(ケ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。※交際相手がいない場合は、交際相手がいる場合を想定してお答えください。

図表-46 DV・デートDVについて



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果



項目(ア)～(ケ)について暴力だと思うかどうかをたずねた。

「(ア) 話しかけても長い間無視をする」を「暴力だと思う」割合は、中学生で26.0%、高校生世代で25.1%であった。

「(イ) 怒鳴ったり、脅したりする」を「暴力だと思う」割合は、中学生で71.9%、高校生世代で80.2%であった。

「(ウ) 人前でバカにしたり、ののしったりする」を「暴力だと思う」割合は、中学生で61.5%、高校生世代で63.1%であった。

「(エ) デート代やお金を無理やり出させる」を「暴力だと思う」割合は、中学生で70.0%、高校生世代で70.5%であった。

「(オ) 叩いたり、蹴ったりする」を「暴力だと思う」割合は、中学生で88.5%、高校生世代で91.9%であった。

「(カ) 物でなぐったり、物を投げつける」を「暴力だと思う」割合は、中学生で88.9%、高校生世代で91.2%であった。

「(キ) 無理やりからだを触る」を「暴力だと思う」割合は、中学生で80.7%、高校生世代で84.0%であった。

「(ク) 携帯電話の着信や発信履歴やメールのチェックをする」を「暴力だと思う」割合は、中学生で38.9%、高校生世代で42.9%であった。

「(ケ) 常に自分の行動を報告させるように命じる」を「暴力だと思う」割合は、中学生で52.1%、高校生世代で53.4%であった。

性別にみると、高校生世代の女性では、他に比べて「(イ) 怒鳴ったり、脅したりする」を「暴力だと思う」割合が85.8%と高くなっている。

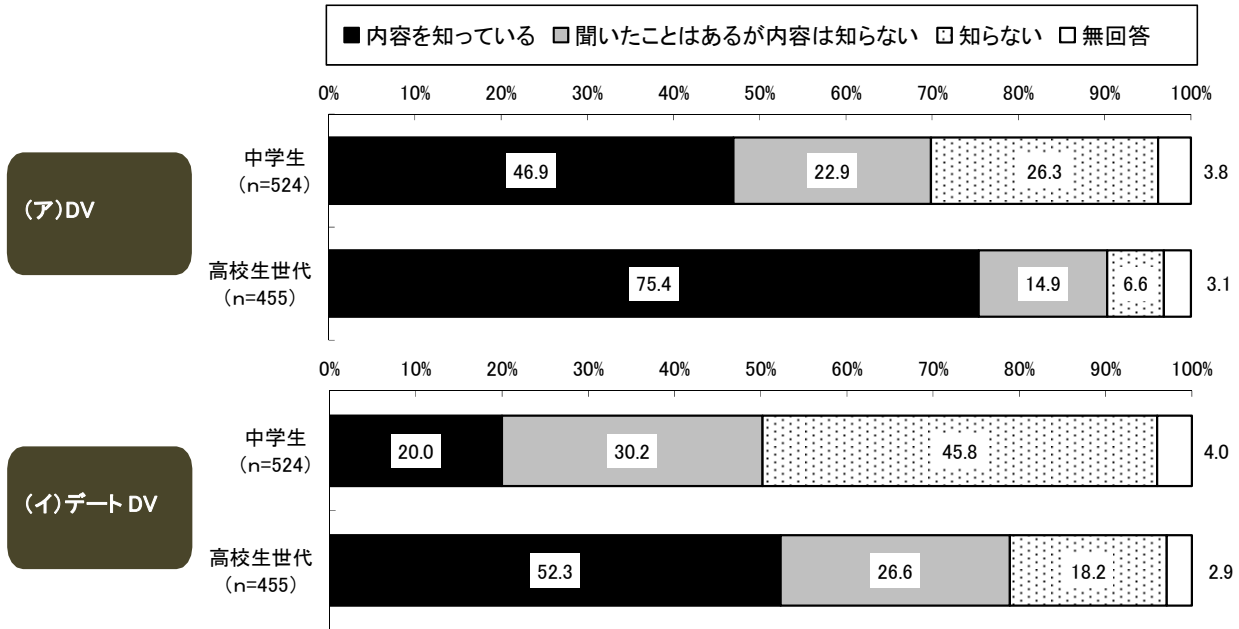
図表－47 性別 DV・デートDVについて（「暴力だと思う」の割合）（単位：%）

		標本数(人)	(ア) 話しかけても長い間無視をする	(イ) 怒鳴ったり、脅したりする	(ウ) ののしったりする	(エ) デート代やお金を無理やり出させる	(オ) 叩いたり、蹴ったりする	(カ) 物でなぐったり、物を投げつける	(キ) 無理やりからだを触る	(ク) 携帯電話の着信や発信履歴やメールのチェックをする	(ケ) 常に自分の行動を報告させるように命じる
全体		986	25.5	75.5	62.0	70.0	89.9	89.8	81.8	40.8	52.5
性別	中学生:男性	256	24.2	66.4	60.2	68.8	85.9	85.5	74.2	33.6	48.4
	中学生:女性	262	27.9	76.7	62.2	70.6	90.8	92.0	87.0	43.9	55.7
	高校生世代:男性	216	26.4	75.5	61.6	71.8	89.4	88.0	79.6	42.1	56.5
	高校生世代:女性	225	23.6	85.8	65.8	69.8	95.6	95.6	88.9	44.0	51.6
	高校生世代:その他	3	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3
	無回答	24	20.8	62.5	50.0	62.5	75.0	75.0	62.5	41.7	37.5

(3) 「DV」「デートDV」という言葉の認知度

問18 「DV」「デートDV」という言葉について、あなたはどの程度知っていますか。(ア)(イ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

図表-48 「DV」「デートDV」という言葉の認知度



「(ア) DV」という言葉について、「内容を知っている」割合は、中学生で46.9%、高校生世代で75.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」割合は、中学生で22.9%、高校生世代で14.9%、「知らない」割合は、中学生で26.3%、高校生世代で6.6%となっている。

「(イ) デートDV」という言葉について、「内容を知っている」割合は、中学生で20.0%、高校生世代で52.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」割合は、中学生で30.2%、高校生世代で26.6%、「知らない」割合は、中学生で45.8%、高校生世代で18.2%となっている。

いずれの言葉も、高校生世代の方が中学生より認知度が高い。

性別にみると、いずれの言葉も、高校生世代の女性で認知度が高い。

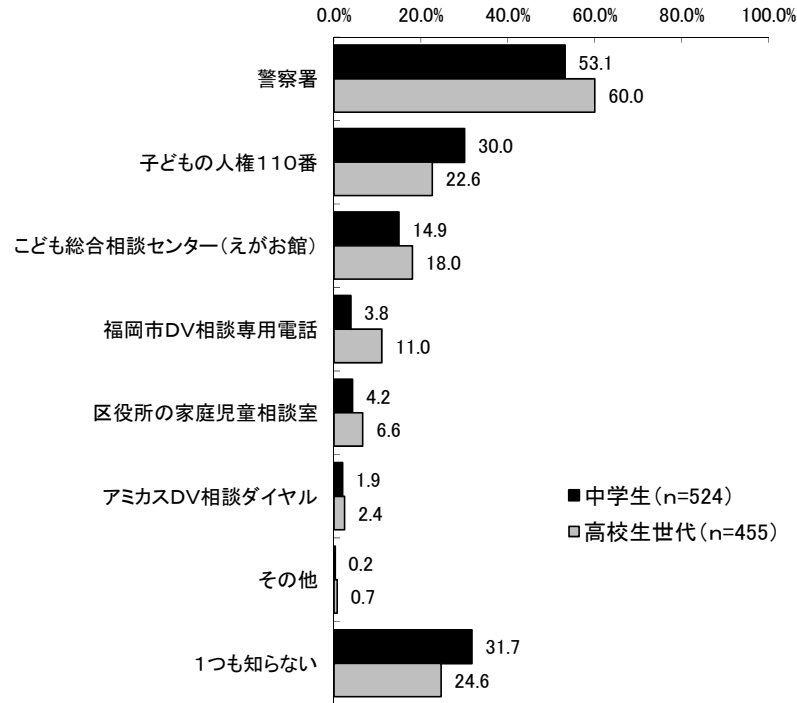
図表-49 性別 「DV」「デートDV」という言葉の認知度 (単位: %)

	標本数(人)	(ア)DV				(イ)デートDV				
		内容を 知っている	は聞 いた こと はあ るが 内容	知 ら ない	無 回 答	内容を 知っている	は聞 いた こと はあ るが 内容	知 ら ない	無 回 答	
全体	986	60.0	19.3	17.1	3.5	35.1	28.3	33.1	3.5	
性別	中学生:男性	256	38.3	24.2	32.4	5.1	16.4	29.7	48.8	5.1
	中学生:女性	262	54.6	22.1	20.6	2.7	23.3	30.5	43.1	3.1
	高校生世代:男性	216	69.4	16.7	9.7	4.2	47.7	25.5	23.1	3.7
	高校生世代:女性	225	81.8	13.3	3.6	1.3	57.8	27.6	13.3	1.3
	高校生世代:その他	3	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	無回答	24	58.3	16.7	12.5	12.5	29.2	25.0	33.3	12.5

(4) 交際相手からの暴力に関する相談先の認知度

問19 交際相手からの暴力に関することを相談できる場所を、あなたは知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-50 交際相手からの暴力に関する相談先の認知度



交際相手からの暴力に関する相談先の認知度は、中学生・高校生世代ともに、「警察署」(中学生：53.1%、高校生世代：60.0%)の割合が最も高く、次いで「子どもの人権110番」(中学生：30.0%、高校生世代：22.6%)、「こども総合相談センター(えがお館)」(中学生：14.9%、高校生世代：18.0%) などとなっている。「一つも知らない」の割合は、中学生で31.7%、高校生世代で24.6%であった。

性別にみると、高校生世代の女性は、他に比べて「福岡市DV相談専用電話」(13.8%)、「こども総合相談センター(えがお館)」(24.0%)の割合が高くなっている。

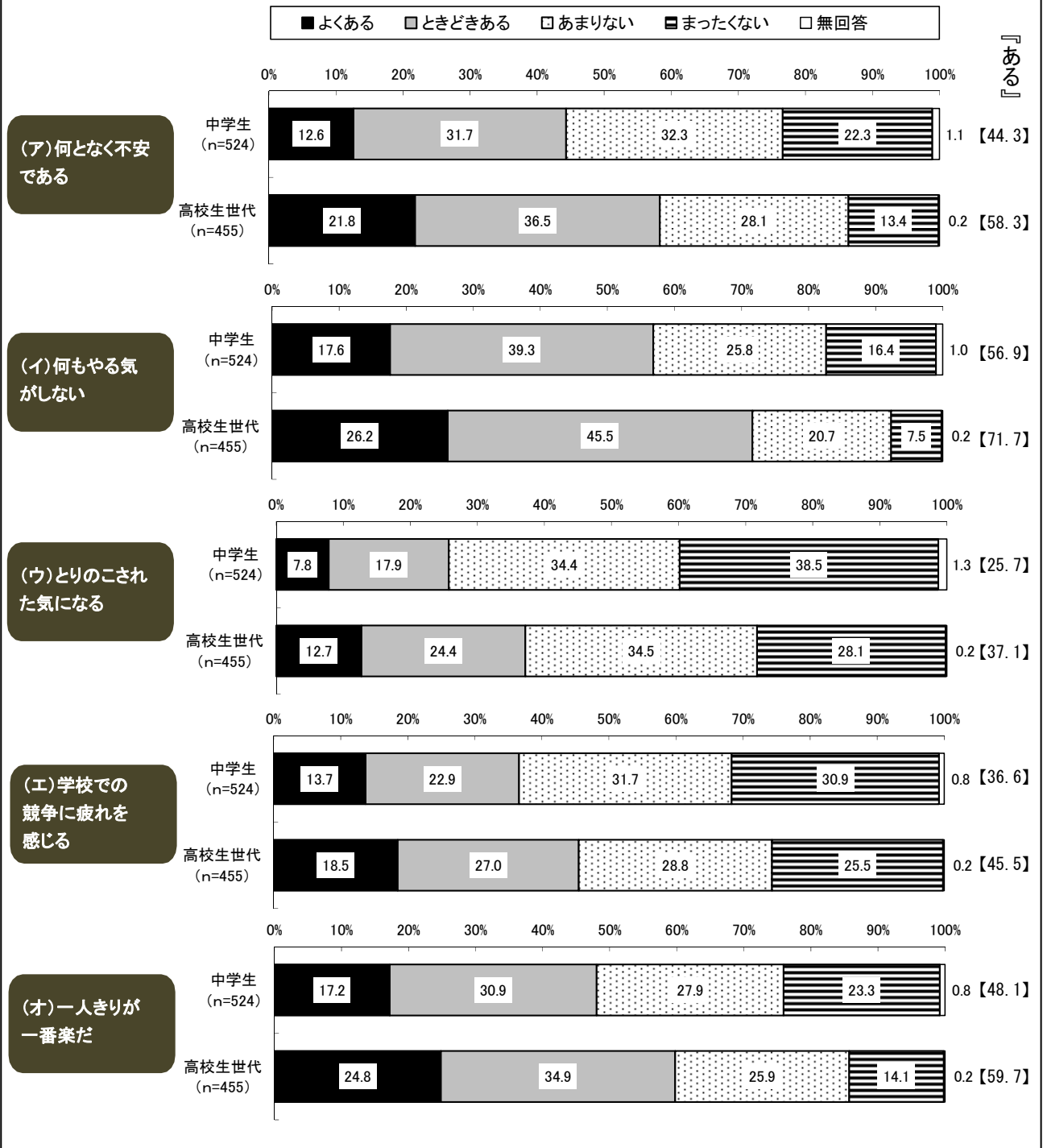
図表-51 性別 交際相手からの暴力に関する相談先の認知度 (単位：%)

		標本数(人)	福岡市DV相談専用電話	ルアミカスDV相談ダイヤル	区役所の家庭児童相談室	こども総合相談センター(えがお館)	子どもの人権110番	警察署	その他	一つも知らない	無回答
全体		986	7.1	2.1	5.3	16.2	26.5	56.0	0.5	28.4	6.4
性別	中学生:男性	256	3.5	2.3	3.5	11.7	30.9	53.9	-	32.4	9.4
	中学生:女性	262	4.2	1.5	5.0	17.9	28.6	52.3	0.4	30.9	5.3
	高校生世代:男性	216	8.8	2.3	4.2	12.0	21.8	58.3	-	25.5	6.5
	高校生世代:女性	225	13.8	2.7	8.9	24.0	23.6	61.8	1.3	24.0	2.7
	高校生世代:その他	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-
	無回答	24	-	-	4.2	8.3	25.0	45.8	4.2	20.8	20.8

3. 無気力感や気分の減退

問22 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください

図表-52 無気力感や気分の減退



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

無気力感や気分の減退について、『ある』（「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合）の割合をみると、

- 「(ア) 何となく不安である」は、中学生で44.3%、高校生世代で58.3%、
 - 「(イ) 何もやる気がしない」は、中学生で56.9%、高校生世代で71.7%、
 - 「(ウ) とりのこされたような気になる」は、中学生で25.7%、高校生世代で37.1%、
 - 「(エ) 学校での競争に疲れを感じる」は、中学生で36.6%、高校生世代で45.5%、
 - 「(オ) 一人きりが一番楽だ」は、中学生で48.1%、高校生世代で59.7%となっている。
- いずれの項目も、高校生世代の方が中学生より『ある』の割合が高い。

前回調査と比較すると、いずれの世代でも、「(ア) 何となく不安である」「(イ) 何もやる気がしない」の『ある』の割合が約3～5ポイント増加している。中学生は「(オ) 一人きりが一番楽だ」の『ある』の割合が約5ポイント増加している。

性別にみると、いずれの項目も、高校生世代の女性では『ある』の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、ひきこもりの状況にある者（〔狭義のひきこもり〕〔準ひきこもり〕〔広義のひきこもり〕）は、一般群に比べて、いずれの項目でも『ある』割合が高くなっている。

図表－53 前回比較・性別・ひきこもりの状況別
無気力感や気分の減退（『ある』の割合）（単位：％）

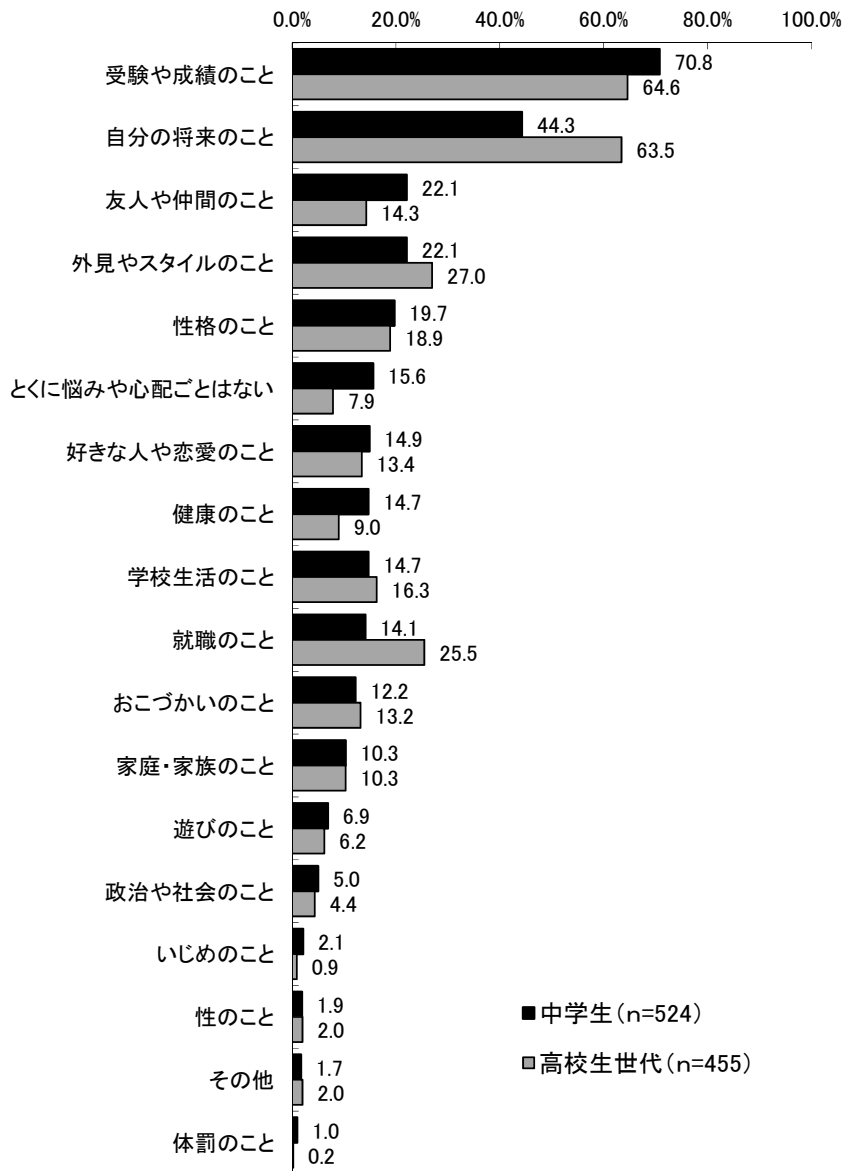
		標本数 (人)	で(ア) ある 何となく不安	し(イ) ない 何もやる気が	た(ウ) よう な 気 に な る	に(エ) 疲 れ を 感 じ る 学 校 で の 競 争	番(オ) 楽 だ 一 人 き り が
全体		986	50.8	63.8	31.1	40.8	53.6
世代別	中学生今回	524	44.3	56.9	25.7	36.6	48.1
	中学生前回	431	39.7	53.1	27.6	36.5	42.7
	高校生世代今回	455	58.3	71.7	37.1	45.5	59.7
	高校生世代前回	367	55.0	66.5	36.0	43.6	59.1
性別	中学生:男性	256	36.3	49.6	15.6	27.3	44.5
	中学生:女性	262	52.0	64.1	34.7	45.0	51.9
	高校生世代:男性	216	52.8	70.3	31.5	42.6	54.2
	高校生世代:女性	225	65.4	74.6	43.6	49.8	65.3
	高校生世代:その他	3	100.0	66.7	100.0	66.6	100.0
	無回答	24	33.3	50.0	29.2	37.5	45.8
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	15	73.3	80.0	66.6	46.6	93.3
	準ひきこもり	25	84.0	80.0	40.0	72.0	68.0
	広義のひきこもり	40	80.0	80.0	50.0	62.5	77.5
	一般群	920	49.6	63.3	30.5	40.3	52.2
	無回答	26	50.0	57.7	23.1	26.9	65.4

4. 悩みや心配ごとの相談相手

(1) 悩みや心配ごと

問23 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-54 悩みや心配ごと



悩みや心配ごとは、中学生では、「受験や成績のこと」(70.8%)の割合が最も高く、次いで「自分の将来のこと」(44.3%)、「友人や仲間のこと」「外見やスタイルのこと」(ともに22.1%)となっている。

高校生世代では、「受験や成績のこと」(64.6%)の割合が最も高く、次いで「自分の将来のこと」(63.5%)、「外見やスタイルのこと」(27.0%)、「就職のこと」(25.5%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、高校生世代の「とくに悩みや心配ごとはない」の割合が約7ポイント減少している。

性別にみると、女性は男性に比べて「外見やスタイルのこと」の割合が高く、中学生の女性は「友人や仲間のこと」(32.8%)、高校生世代の女性は「自分の将来のこと」(67.6%)の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、「狭義のひきこもり」に分類される15人のうち9人が「受験や成績のこと」、9人が「自分の将来のこと」、6人が「就職のこと」と回答している。

図表－55 前回比較・性別 悩みや心配ごと（単位：％）

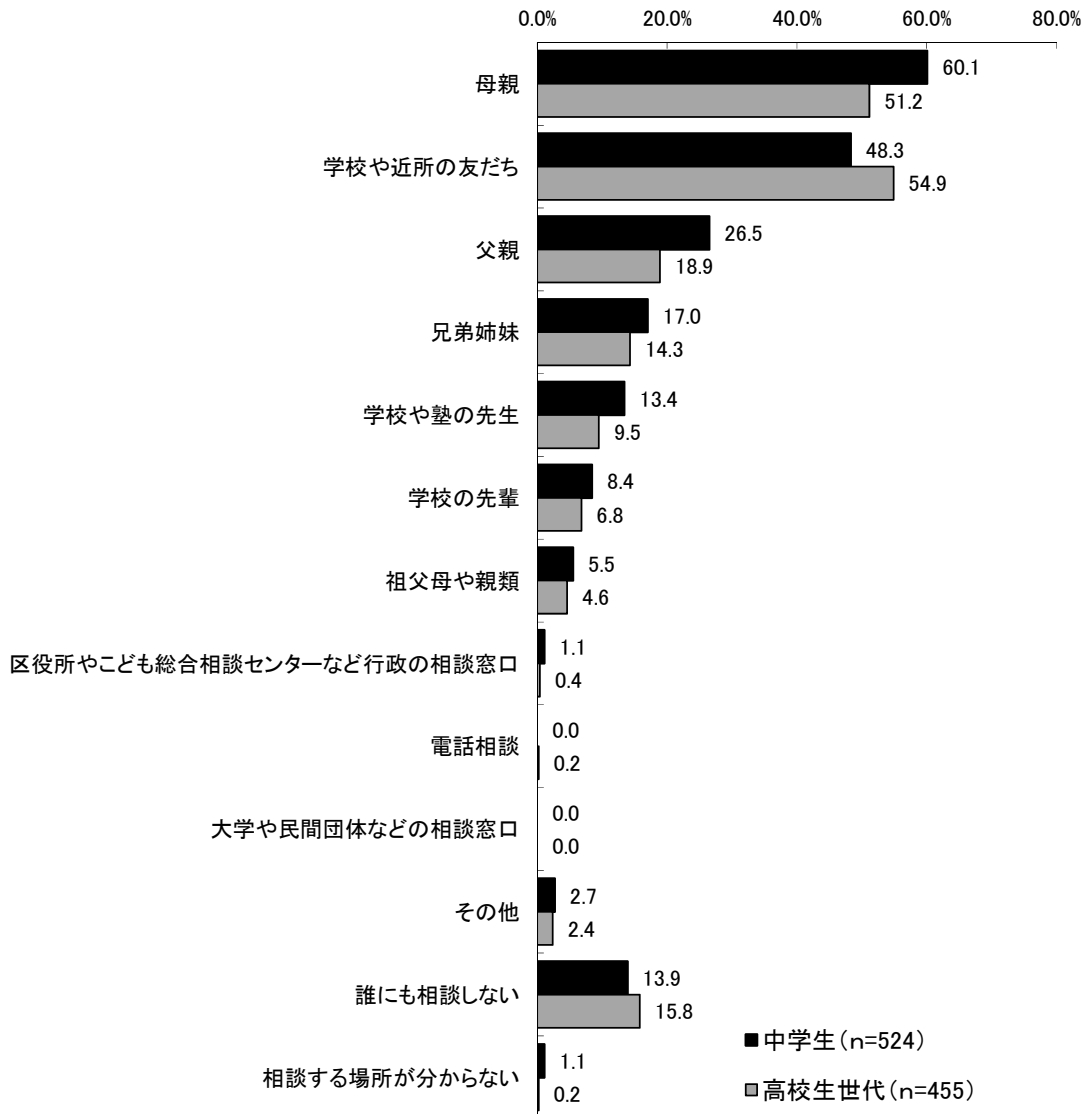
		標本数（人）	受験や成績のこと	就職のこと	自分の将来のこと	家庭・家族のこと	友人や仲間のこと	好きな人や恋愛のこと	おこづかいのこと	遊びのこと	性格のこと
全体		986	67.8	19.3	53.1	10.2	18.4	14.1	12.6	6.5	19.2
世代別	中学生今回	524	70.8	14.1	44.3	10.3	22.1	14.9	12.2	6.9	19.7
	中学生前回	431	64.3	20.6	38.7	11.4	23.2	15.3	15.5	8.8	18.3
	高校生世代今回	455	64.6	25.5	63.5	10.3	14.3	13.4	13.2	6.2	18.9
	高校生世代前回	367	60.2	28.1	56.4	9.3	17.2	10.6	11.7	5.4	19.1
性別	中学生：男性	256	65.6	14.8	40.6	7.0	10.9	9.8	13.3	6.6	13.7
	中学生：女性	262	75.2	13.7	47.7	13.0	32.8	19.5	11.1	6.9	25.6
	高校生世代：男性	216	63.9	27.3	58.3	6.9	7.4	11.1	9.7	4.6	12.5
	高校生世代：女性	225	65.3	23.6	67.6	13.8	21.3	15.6	16.4	7.1	25.3
	高校生世代：その他	3	33.3	33.3	66.7	-	-	33.3	33.3	-	66.7
無回答	24	75.0	12.5	62.5	12.5	12.5	12.5	8.3	12.5	4.2	
ひきこもりの状況別の	狭義のひきこもり	15	60.0	40.0	60.0	13.3	13.3	26.7	26.7	-	33.3
	準ひきこもり	25	52.0	20.0	56.0	16.0	16.0	8.0	16.0	16.0	20.0
	広義のひきこもり	40	55.0	27.5	57.5	15.0	15.0	15.0	20.0	10.0	25.0
	一般群	920	68.7	18.8	53.0	10.1	18.7	14.3	12.2	6.4	19.0
	無回答	26	57.7	23.1	50.0	7.7	11.5	3.8	15.4	3.8	15.4

		標本数（人）	健康のこと	性のこと	外見やスタイルのこと	政治や社会のこと	学校生活のこと	体罰のこと	いじめのこと	その他	とくに悩みや心配ごとはない
全体		986	12.0	1.9	24.2	4.7	15.5	0.6	1.5	1.8	12.1
世代別	中学生今回	524	14.7	1.9	22.1	5.0	14.7	1.0	2.1	1.7	15.6
	中学生前回	431	11.8	2.6	21.3	6.0	17.9	3.2	4.9	2.1	13.9
	高校生世代今回	455	9.0	2.0	27.0	4.4	16.3	0.2	0.9	2.0	7.9
	高校生世代前回	367	9.8	2.5	28.1	4.4	14.7	0.3	0.5	3.0	14.4
性別	中学生：男性	256	16.0	1.2	8.6	5.1	8.2	0.4	2.0	-	22.3
	中学生：女性	262	13.4	2.3	35.1	5.0	21.0	1.5	2.3	3.4	9.5
	高校生世代：男性	216	8.8	1.4	13.0	3.2	15.7	0.5	0.5	1.9	8.8
	高校生世代：女性	225	8.0	2.2	40.0	5.8	16.4	-	1.3	2.2	7.6
	高校生世代：その他	3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
無回答	24	16.7	4.2	25.0	-	20.8	-	-	-	4.2	
ひきこもりの状況別の	狭義のひきこもり	15	13.3	-	6.7	6.7	26.7	-	6.7	-	13.3
	準ひきこもり	25	16.0	4.0	16.0	-	12.0	-	4.0	-	8.0
	広義のひきこもり	40	15.0	2.5	12.5	2.5	17.5	-	5.0	-	10.0
	一般群	920	12.0	2.0	25.0	4.8	15.8	0.7	1.4	1.8	12.2
	無回答	26	7.7	-	15.4	3.8	3.8	-	-	3.8	11.5

(2) 悩みや心配ごとの相談相手

問24 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－56 悩みや心配ごとの相談相手



悩みや心配ごとの相談相手は、中学生は、「母親」（60.1％）の割合が最も高く、次いで「学校や近所の友だち」（48.3％）、「父親」（26.5％）となっている。

高校生世代は、「学校や近所の友だち」（54.9％）の割合が最も高く、次いで「母親」（51.2％）、「父親」（18.9％）となっている。「誰にも相談しない」の割合は、中学生で13.9％、高校生世代で15.8％となっている。

II 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生は「父親」「母親」の割合がそれぞれ約7ポイント増加している。高校生世代は「学校や近所の友だち」の割合が約6ポイント減少している。

性別にみると、中学生の男性は他に比べて「父親」(35.2%)の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、ひきこもりの状況にある者〔狭義のひきこもり〕〔準ひきこもり〕〔広義のひきこもり〕は、一般群に比べて、「誰にも相談しない」の割合が高くなっている。

図表－57 前回比較・性別 悩みや心配ごとの相談相手 (単位：%)

		標本数 (人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母や親類	学校の先輩	学校や近所の友だち	学校や塾の先生
全体		986	23.1	56.0	15.7	5.2	7.7	51.2	11.6
世代別	中学生今回	524	26.5	60.1	17.0	5.5	8.4	48.3	13.4
	中学生前回	431	19.7	53.4	13.9	5.1	8.4	45.7	9.3
	高校生世代今回	455	18.9	51.2	14.3	4.6	6.8	54.9	9.5
	高校生世代前回	367	16.1	48.8	12.0	4.9	7.6	60.8	7.9
性別	中学生:男性	256	35.2	55.9	14.1	6.3	8.6	37.9	12.1
	中学生:女性	262	18.7	64.5	20.2	4.6	8.4	58.0	14.9
	高校生世代:男性	216	23.1	43.5	12.0	6.0	6.5	51.4	12.0
	高校生世代:女性	225	16.0	58.7	17.3	3.6	7.6	58.7	6.2
	高校生世代:その他	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
	無回答	24	12.5	54.2	4.2	8.3	4.2	50.0	16.7
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	15	6.7	46.7	-	13.3	-	33.3	6.7
	準ひきこもり	25	28.0	64.0	16.0	12.0	4.0	20.0	12.0
	広義のひきこもり	40	20.0	57.5	10.0	12.5	2.5	25.0	10.0
	一般群	920	23.3	56.0	15.9	4.9	8.0	52.6	11.7
	無回答	26	23.1	53.8	19.2	3.8	3.8	42.3	7.7

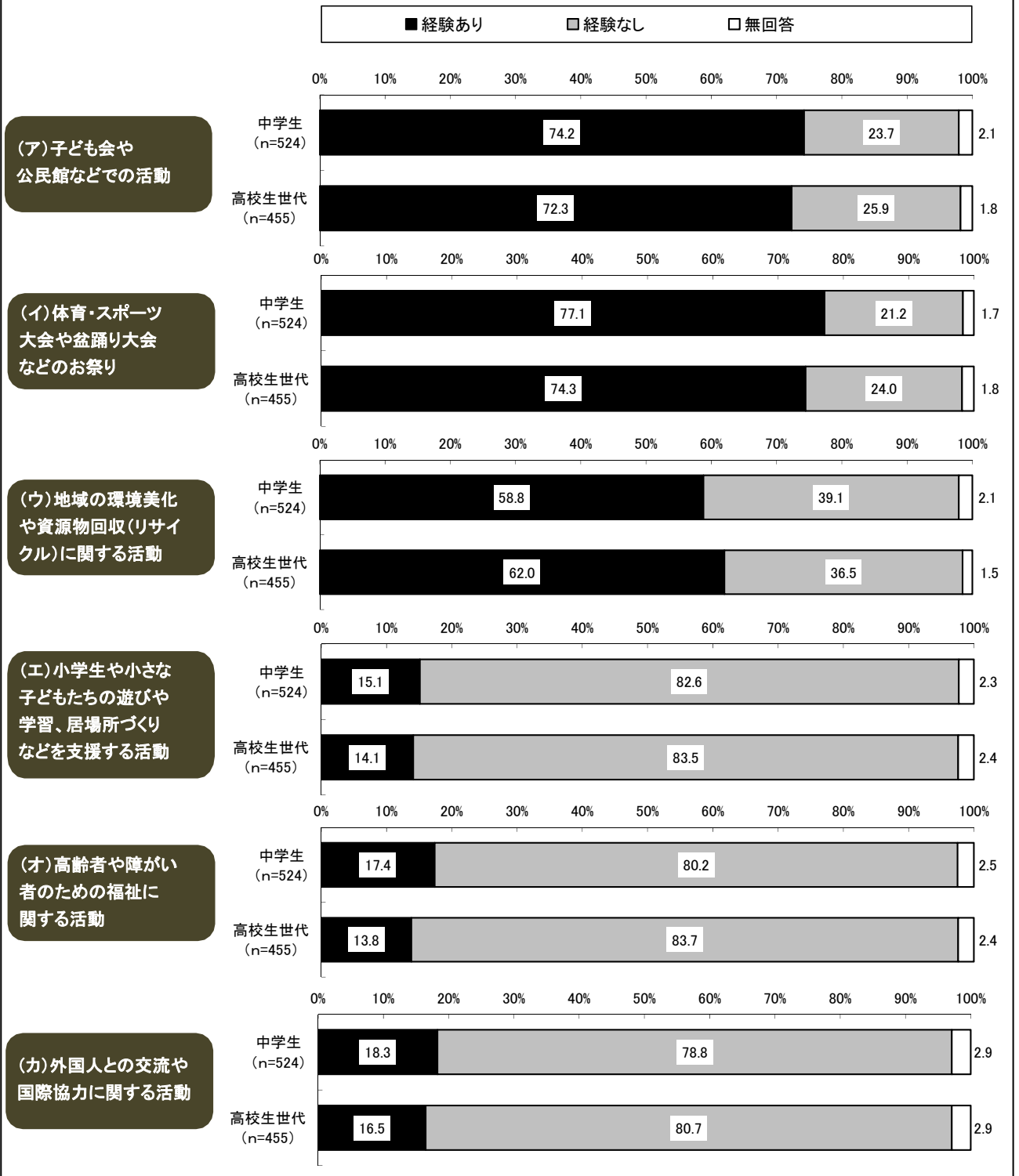
		標本数 (人)	窓口 センター など行政の 相談	区役所や 民間団体 などの相 談窓口	大学や 民間団 体などの 相談	電話 相談	その他	誰にも 相談し ない	相談 する場 所が分 からな い
全体		986	0.8	-	0.1	2.5	14.8	0.7	
世代別	中学生今回	524	1.1	-	-	2.7	13.9	1.1	
	中学生前回	431	0.0	0.0	0.2	4.9	15.8	1.9	
	高校生世代今回	455	0.4	-	0.2	2.4	15.8	0.2	
	高校生世代前回	367	0.0	0.0	0.0	1.1	15.0	1.9	
性別	中学生:男性	256	-	-	-	3.1	21.5	2.0	
	中学生:女性	262	1.9	-	-	2.3	6.9	0.4	
	高校生世代:男性	216	0.9	-	-	0.9	21.3	-	
	高校生世代:女性	225	-	-	0.4	3.6	10.7	0.4	
	高校生世代:その他	3	-	-	-	33.3	33.3	-	
	無回答	24	4.2	-	-	-	8.3	-	
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	15	-	-	-	13.3	33.3	6.7	
	準ひきこもり	25	4.0	-	-	-	20.0	4.0	
	広義のひきこもり	40	2.5	-	-	5.0	25.0	5.0	
	一般群	920	0.8	-	0.1	2.4	14.5	0.5	
	無回答	26	-	-	-	3.8	11.5	-	

5. 地域での活動やボランティア活動

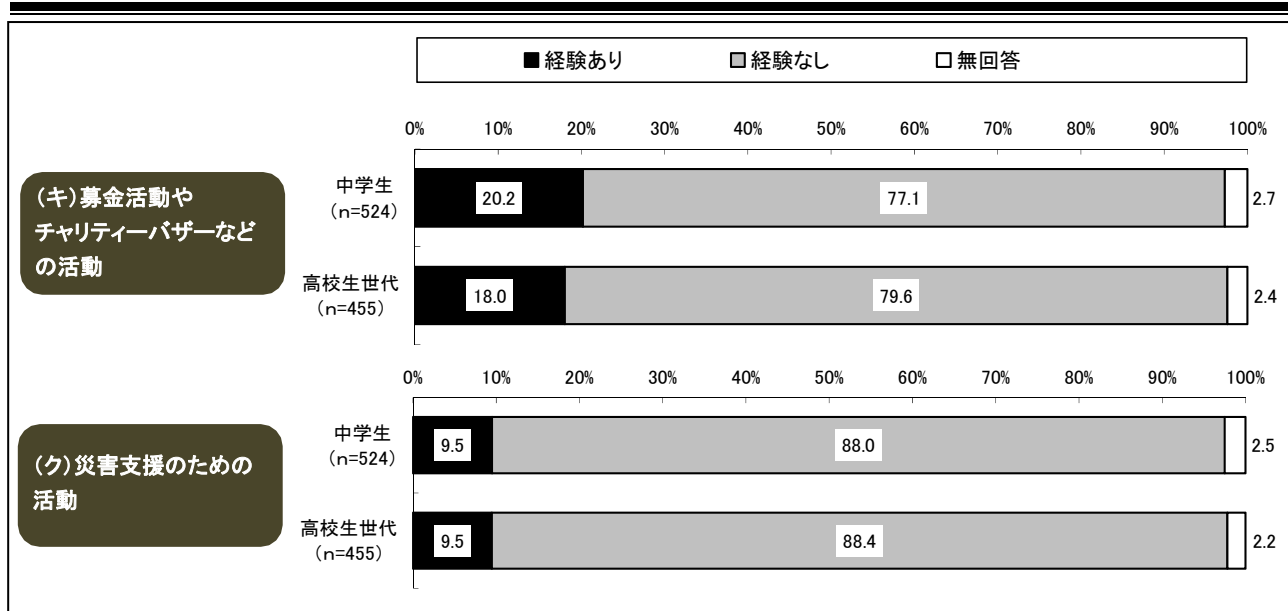
(1) 地域での活動やボランティア活動への参加経験

問29 次の(ア)から(キ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向を1つずつ選んでください

図表-58 地域での活動やボランティア活動の参加経験



II 中学生・高校生等調査結果



地域での活動やボランティア活動への参加経験者は、「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」が中学生で74.2%、高校生世代で72.3%、「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」が中学生で77.1%、高校生世代で74.3%、「(ウ) 地域の環境美化や資源物回収（リサイクル）に関する活動」が中学生で58.8%、高校生世代で62.0%、「(エ) 小学生や小さな子どもたちの遊びや学習、居場所づくりなどを支援する活動」が中学生で15.1%、高校生世代で14.1%、「(オ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」が中学生で17.4%、高校生世代で13.8%、「(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」が中学生で18.3%、高校生世代で16.5%、「(キ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」が中学生で20.2%、高校生世代で18.0%、「(ク) 災害支援のための活動」が中学生で9.5%、高校生世代で9.5%となっている。

前回調査と比較すると、高校生世代で、「(オ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」「(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」「(キ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」の参加経験者がそれぞれ約8~14ポイント減少している。

性別では大きな違いは見られなかった。

図表-59 前回比較・性別 地域活動等の参加経験（「経験あり」の割合）（単位：％）

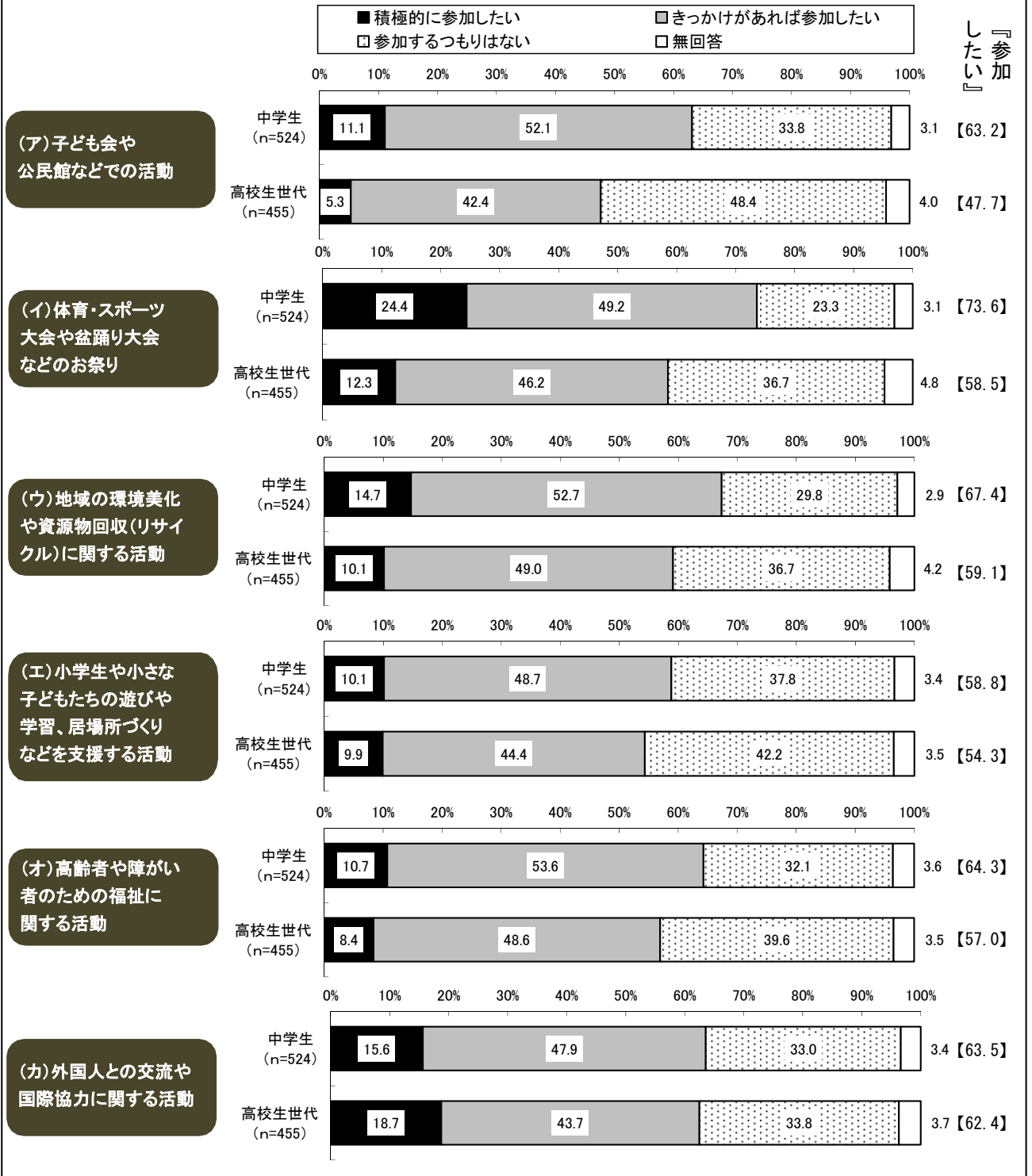
	標本数（人）	な(ア)での子ども会や公民館	祭(イ)や盆踊り大会などのお大	ル(ウ)に物回収の環境美化や	する(エ)場所づくりや遊びや学習、支援	動(オ)のための高齢者や障がい者	国(カ)際協力に外国人との交流や	テ(キ)ィー募金活動やチャリ	活(ク)災害支援のための	
全体	986	73.2	75.7	60.0	14.6	15.7	17.5	19.2	9.5	
世代別	中学生今回	524	74.2	77.1	58.8	15.1	17.4	18.3	20.2	9.5
	中学生前回	431	72.2	79.8	58.9		17.4	18.1	26.7	13.2
	高校生前回	455	72.3	74.3	62.0	14.1	13.8	16.5	18.0	9.5
	高校生今回	367	74.1	76.8	58.9		22.9	24.8	31.3	10.6
性別	中学生:男性	256	72.7	75.8	59.0	12.1	16.0	18.0	19.5	9.4
	中学生:女性	262	75.2	78.2	58.8	17.9	18.3	18.7	20.6	9.5
	高校生世代:男性	216	71.3	72.7	60.2	13.0	11.6	16.2	15.3	8.3
	高校生世代:女性	225	72.4	75.1	63.1	15.6	16.4	16.4	20.9	10.7
	高校生世代:その他	3	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-
	無回答	24	83.3	79.2	58.3	12.5	12.5	25.0	20.8	12.5

※ (エ) は今回調査の新規項目

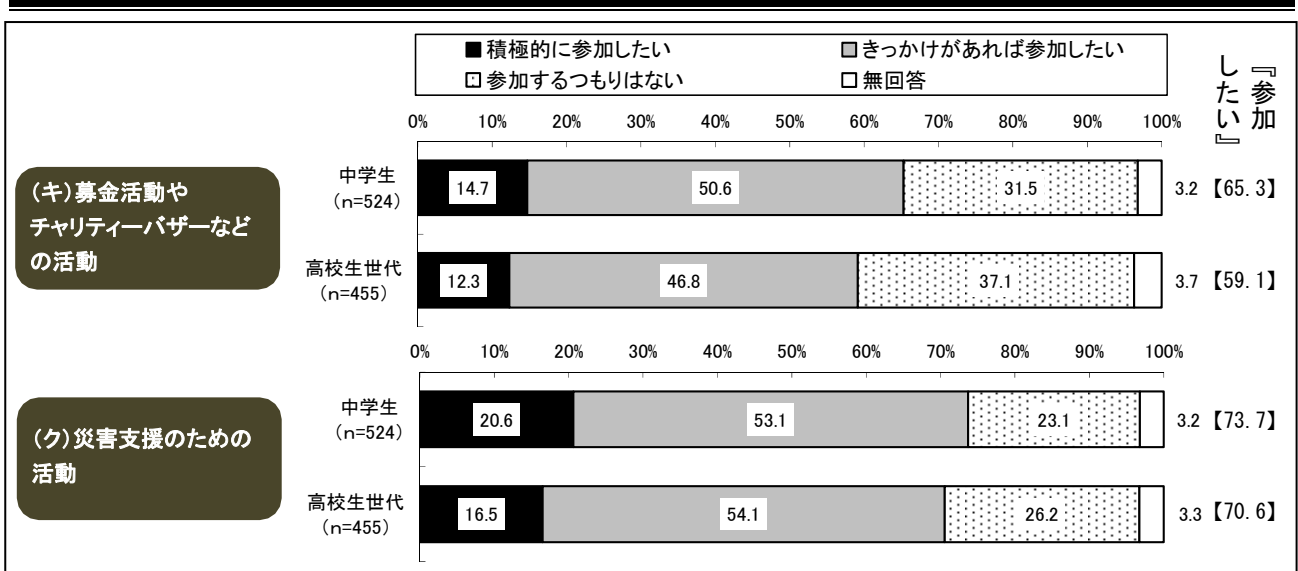
(2) 地域での活動やボランティア活動の参加意向

問29 次の(ア)から(キ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向を1つずつ選んでください

図表-60 地域での活動やボランティア活動の参加意向



II 中学生・高校生等調査結果



地域での活動やボランティア活動への参加意向がある者（「積極的に参加したい」と「きっかけがあれば参加したい」を合わせた割合）は、「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」が中学生で63.2%、高校生世代で47.7%、「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」が中学生で73.6%、高校生世代で58.5%、「(ウ) 地域の環境美化や資源物回収（リサイクル）に関する活動」が中学生で67.4%、高校生世代で59.1%、「(エ) 小学生や小さな子どもたちの遊びや学習、居場所づくりなどを支援する活動」が中学生で58.8%、高校生世代で54.3%、「(オ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」が中学生で64.3%、高校生世代で57.0%、「(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」が中学生で63.5%、高校生世代で62.4%、「(キ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」が中学生で65.3%、高校生世代で59.1%、「(ク) 災害支援のための活動」が中学生で73.7%、高校生世代で70.6%となっている。

前回調査と比較すると、高校生世代で、「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」「(オ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」「(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」「(キ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」の参加意向がそれぞれ約5～8ポイント減少している。

性別にみると、いずれの世代でも「(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」の参加意向がある者は女性の方が多い。

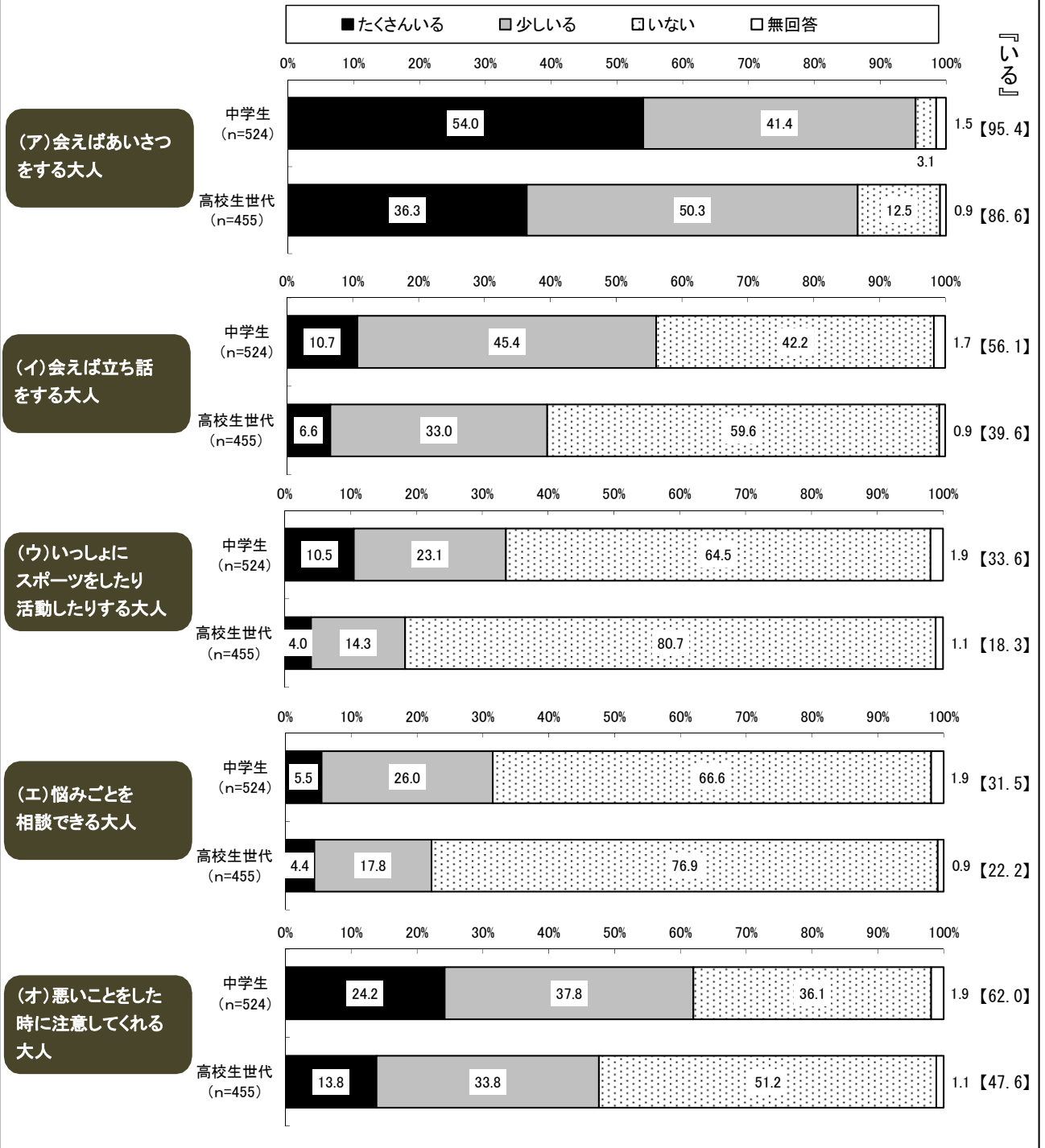
図表－61 前回比較・性別 地域活動等の参加意向（『参加したい』の割合）（単位：％）

	標本数 (人)	な(ア)	祭(イ)	ル(ウ)	す(エ)	動(オ)	国(カ)	テ(キ)	活(ク)	
		での子ども会や公民館	りや盆踊り大会などのお祭り	源(ウ)に物に関する(リ)環境美化や	居(エ)場所づくりの小学生や小さな子どもたちの遊びや学習、支援	の(オ)高齢者や障がい者に関する活動	際(カ)外国人との交流や	イ(キ)募金活動やチャリティーバザーなどの活動	動(ク)災害支援のための	
全体	986	55.8	66.4	63.4	56.5	60.6	62.7	62.2	71.9	
世代別	中学生今回	524	63.2	73.6	67.4	58.8	64.3	63.5	65.3	73.7
	中学生前回	431	62.7	76.8	68.0		67.7	67.5	67.5	74.9
	高校生前回	455	47.7	58.5	59.1	54.3	57.0	62.4	59.1	70.6
	高校生今回	367	47.7	64.0	61.6		61.6	67.3	67.1	73.6
性別	中学生:男性	256	62.9	73.8	68.4	57.8	61.4	62.1	63.2	72.7
	中学生:女性	262	62.6	72.9	65.6	59.1	66.4	64.5	66.8	74.0
	高校生世代:男性	216	51.4	59.7	56.9	50.0	52.4	58.4	56.0	66.6
	高校生世代:女性	225	44.0	57.8	61.8	57.7	60.9	66.7	62.3	74.2
	高校生世代:その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
	無回答	24	58.4	58.3	62.5	62.5	66.7	58.3	58.3	70.9

6. 近所の大人との関係

問30 あなたには、次のような関係の「近所の大人」はいますか。(ア)から(オ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

図表-62 近所の大人との関係



Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

近所の大人との関係について、『いる』（「たくさんいる」と「少しいる」を合わせた割合）は、「(ア) 会えばあいさつをする大人」が中学生で95.4%、高校生世代で86.6%、「(イ) 会えば立ち話をする大人」が中学生で56.1%、高校生世代で39.6%、「(ウ) いっしょにスポーツをしたり活動したりする大人」が中学生で33.6%、高校生世代で18.3%、「(エ) 悩みごとを相談できる大人」が中学生で31.5%、高校生世代で22.2%、「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」が中学生で62.0%、高校生世代で47.6%となっている。

『いる』の割合を前回調査と比較すると、中学生では、「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」が約5ポイント減少している。

高校生世代では、「(イ) 会えば立ち話をする大人」が約10ポイント、「(ウ) いっしょにスポーツをしたり活動したりする大人」が約6ポイント、「(エ) 悩みごとを相談する大人」が約5ポイント、「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」が約8ポイント減少している。

『いる』の割合を性別にみると、中学生の男性は他に比べて「(ウ) いっしょにスポーツをしたり活動したりする大人」（42.6%）と「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」（65.6%）の割合が高い。中学生の女性は他に比べて「(イ) 会えば立ち話をする大人」（60.3%）の割合が高い。

図表－63 前回比較・性別 近所の大人との関係（『いる』の割合）（単位：％）

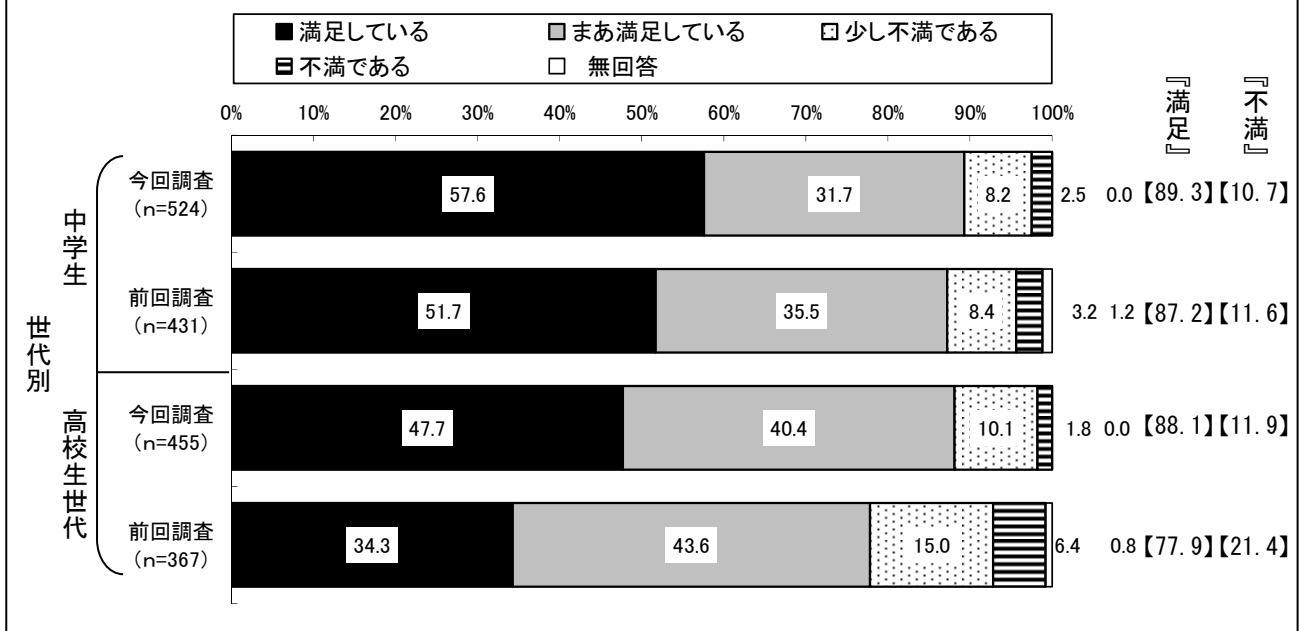
		標本数（人）	(ア) 会えばあいさつをする大人	(イ) 会えば立ち話をする大人	(ウ) いっしょにスポーツをしたり活動したりする大人	(エ) 悩みごとを相談できる大人	(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人
全体		986	91.1	48.5	26.6	27.2	55.4
世代別	中学生今回	524	95.4	56.1	33.6	31.5	62.0
	中学生前回	431	94.5	55.0	34.3	29.0	68.7
	高校生前回	455	86.6	39.6	18.3	22.2	47.6
	高校生今回	367	90.5	49.3	24.0	26.9	55.9
性別	中学生：男性	256	95.0	51.2	42.6	34.8	65.6
	中学生：女性	262	95.8	60.3	24.8	27.8	57.6
	高校生世代：男性	216	83.8	38.0	24.1	23.1	51.4
	高校生世代：女性	225	88.9	40.0	12.9	20.4	43.6
	高校生世代：その他	3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0
	無回答	24	91.7	62.5	25.0	37.5	75.0

第5章 家族や家庭

1. 家庭生活の満足度

問25 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

図表－64 家庭生活の満足度



家庭生活の満足度について、『満足』（「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合）の割合をみると、中学生は89.3%、高校生世代は88.1%となっている。
 前回調査と比較すると、いずれの世代でも『満足』の割合がやや増加している。
 性別にみると、いずれの世代も男性の方が『満足』の割合がやや高くなっている。

図表－65 性別 家庭生活の満足度（単位：％）

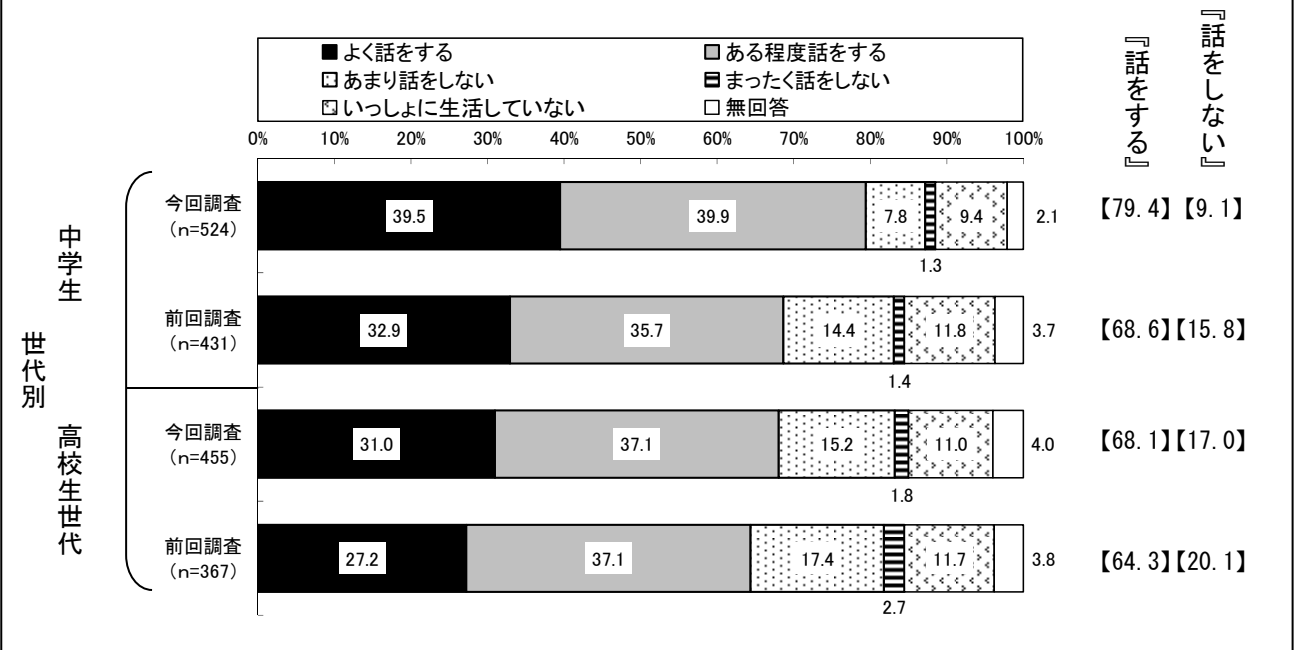
		標本数（人）	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	無回答	『満足』	『不満』
全体		986	52.9	35.6	9.1	2.1	0.2	88.5	11.2
性別	中学生：男性	256	58.2	33.6	5.9	2.3	-	91.8	8.2
	中学生：女性	262	57.6	29.8	9.9	2.7	-	87.4	12.6
	高校生世代：男性	216	44.4	48.1	7.4	-	-	92.5	7.4
	高校生世代：女性	225	50.2	33.3	12.9	3.6	-	83.5	16.5
	高校生世代：その他	3	66.7	-	33.3	-	-	66.7	33.3
	無回答	24	45.8	33.3	12.5	-	8.3	79.1	12.5

2. 親との会話

(1) 父親との会話の程度

問26 あなたはお父さん、お母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(○は1つ)【該当しない場合は回答不要です。】

図表－66 父親との会話の程度



父親との会話の状況について、『話をする』（「よく話をする」と「ある程度話をする」を合わせた割合）の割合は、中学生では79.4%、高校生世代では68.1%となっており、中学生の方が話をする割合が高い。

前回調査と比較すると、いずれの世代でも『話をする』の割合が増加しており、特に中学生は約11ポイント増加している。

性別にみると、中学生の男性は他に比べて『話をする』（84.3%）の割合が高くなっている。

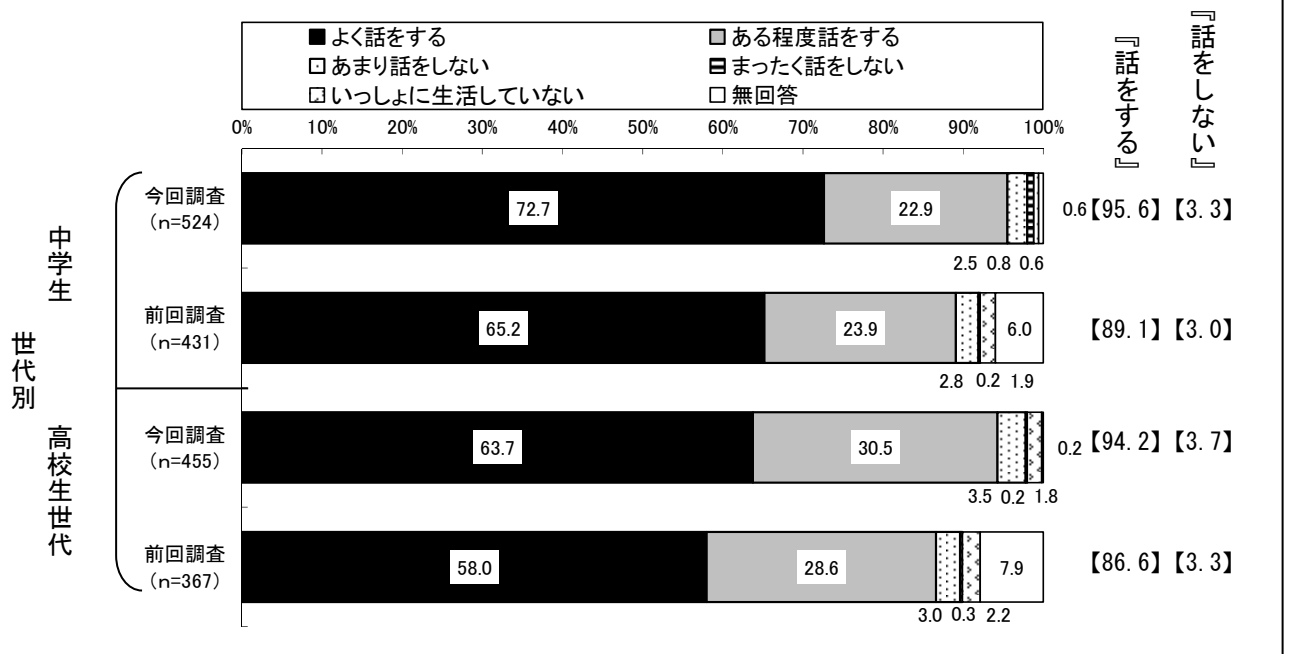
図表－67 性別 父親との会話の程度（単位：％）

		標本数（人）	よく話をする	ある程度話をする	あまり話をしない	まったく話をしない	いっしょに生活していない	無回答	『話をする』	『話をしない』
全体		986	35.7	38.4	11.2	1.5	10.0	3.1	74.1	12.7
性別	中学生：男性	256	44.1	40.2	6.6	1.2	5.5	2.3	84.3	7.8
	中学生：女性	262	35.9	38.2	9.2	1.5	13.4	1.9	74.1	10.7
	高校生世代：男性	216	28.7	40.3	16.2	0.9	9.3	4.6	69.0	17.1
	高校生世代：女性	225	34.2	32.0	14.7	2.7	12.9	3.6	66.2	17.4
	高校生世代：その他	3	-	66.7	33.3	-	-	-	66.7	33.3
	無回答	24	25.0	62.5	-	-	4.2	8.3	87.5	0.0

(2) 母親との会話の程度

問26 あなたはお父さん、お母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(○は1つ)【該当しない場合は回答不要です。】

図表－68 母親との会話の程度



母親との会話の状況について、『話をする』（「よく話をする」と「ある程度話をする」を合わせた割合）の割合は、中学生では95.6%、高校生世代では94.2%となっており、いずれの世代でも9割以上となっている。

前回調査と比較すると、いずれの世代でも『話をする』の割合が増加しており、特に中学生は約7ポイント増加している。

性別にみると、いずれの世代でも女性の方が「よく話をする」の割合が高くなっている。

図表－69 性別 母親との会話の程度（単位：％）

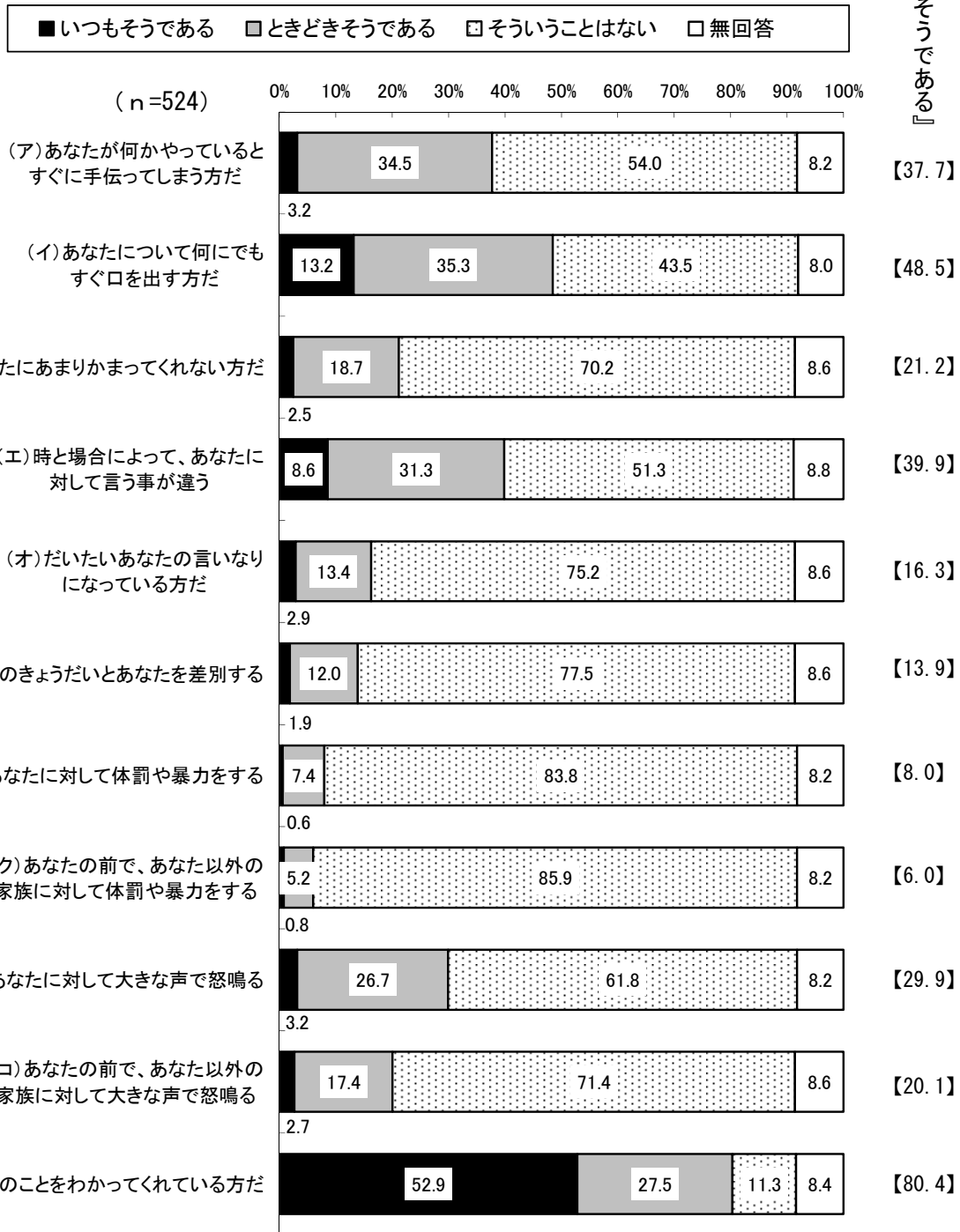
		標本数（人）	よく話をする	ある程度話をする	あまり話さない	まったく話さない	ない いっしょに生活してい	無回答	『話をする』	『話さない』
全体		986	68.6	26.3	2.9	0.5	1.1	0.6	94.9	3.4
性別	中学生：男性	256	66.4	28.5	3.5	0.8	0.4	0.4	94.9	4.3
	中学生：女性	262	78.6	17.6	1.5	0.8	0.8	0.8	96.2	2.3
	高校生世代：男性	216	50.5	41.2	6.0	-	2.3	-	91.7	6.0
	高校生世代：女性	225	76.0	20.4	1.3	0.4	1.3	0.4	96.4	1.7
	高校生世代：その他	3	100.0	-	-	-	-	-	100.0	0.0
無回答		24	70.8	20.8	-	-	-	8.3	91.6	0.0

3. 両親の日頃の様子

(1) 父親の日頃の様子（中学生）

問27 お父さんやお母さんの日ごろの様子についてうかがいます。次の（ア）から（キ）について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

図表－70 父親の日頃の様子（中学生）



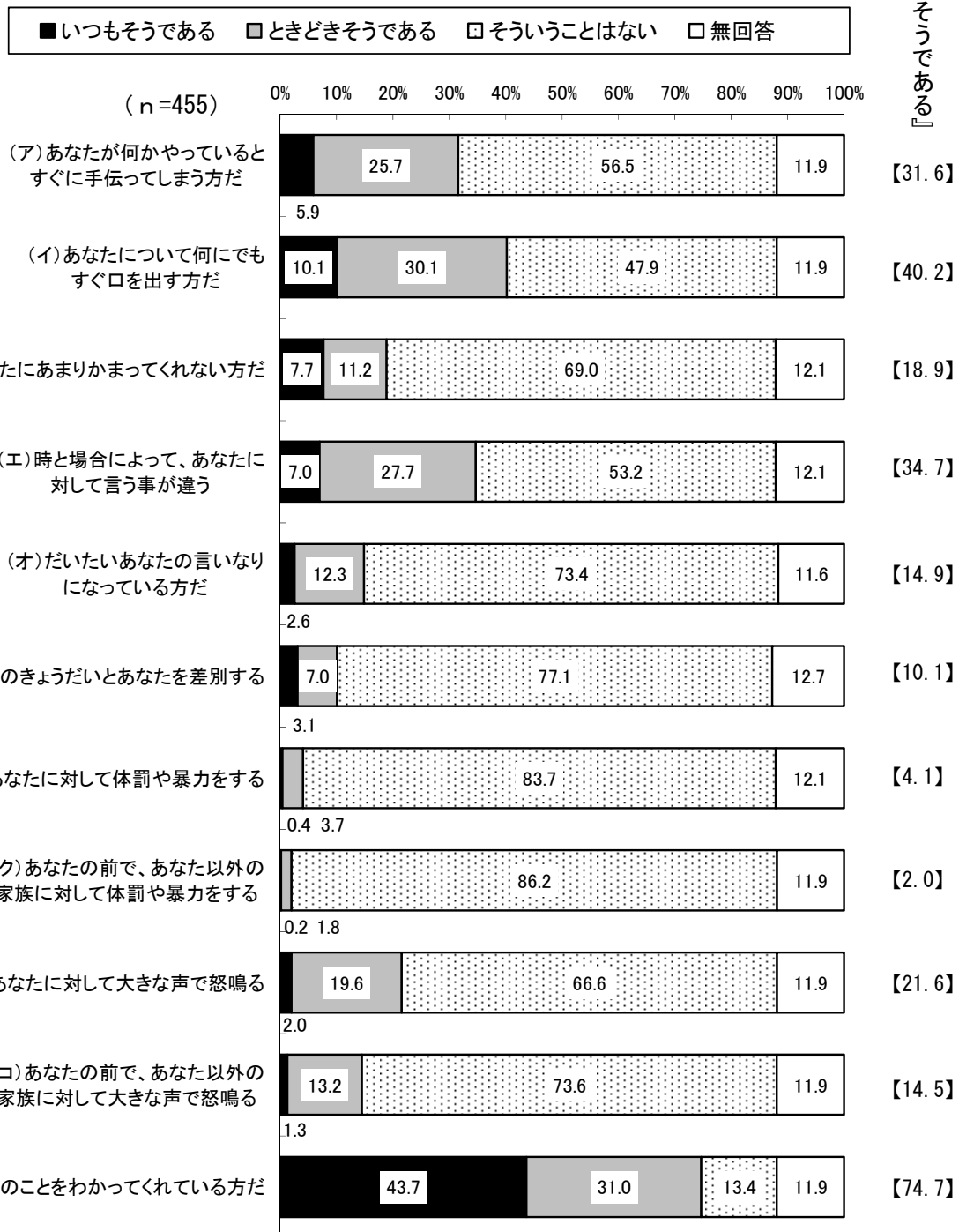
中学生に父親の日頃の様子についてたずねた。

『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）の割合をみると、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」が37.7%、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」が48.5%、「(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ」が21.2%、「(エ) 時と場合によって、あなたに対して言う事が違う」が39.9%、「(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ」が16.3%、「(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する」が13.9%、「(キ) あなたに対して体罰や暴力をする」が8.0%、「(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする」が6.0%、「(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る」が29.9%、「(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る」が20.1%、「(サ) あなたのことをわかってきている方だ」が80.4%となっている。

(2) 父親の日頃の様子（高校生世代）

問27 お父さんやお母さんの日ごろの様子についてうかがいます。次の（ア）から（キ）について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

図表－7 1 父親の日頃の様子（高校生世代）



高校生世代に父親の日頃の様子についてたずねた。

『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）の割合をみると、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」が31.6%、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」が40.2%、「(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ」が18.9%、「(エ) 時と場合によって、あなたに対して言う事が違う」が34.7%、「(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ」が14.9%、「(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する」が10.1%、「(キ) あなたに対して体罰や暴力をする」が4.1%、「(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする」が2.0%、「(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る」が21.6%、「(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る」が14.5%、「(サ) あなたのことをわかってきている方だ」が74.7%となっている。

『そうである』の割合を前回調査と比較すると、中学生では、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」の割合が約7ポイント、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」の割合が約5ポイント、「(サ) あなたのことをわかってきている方だ」の割合が約6ポイント増加している。

高校生世代では、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」の割合が約10ポイント増加している。

『そうである』の割合を性別にみると、中学生の男性では他に比べて「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」(45.7%)の割合が高くなっている。

図表ー72 前回比較・性別 父親のしつけの態度（『そうである』の割合）（単位：％）

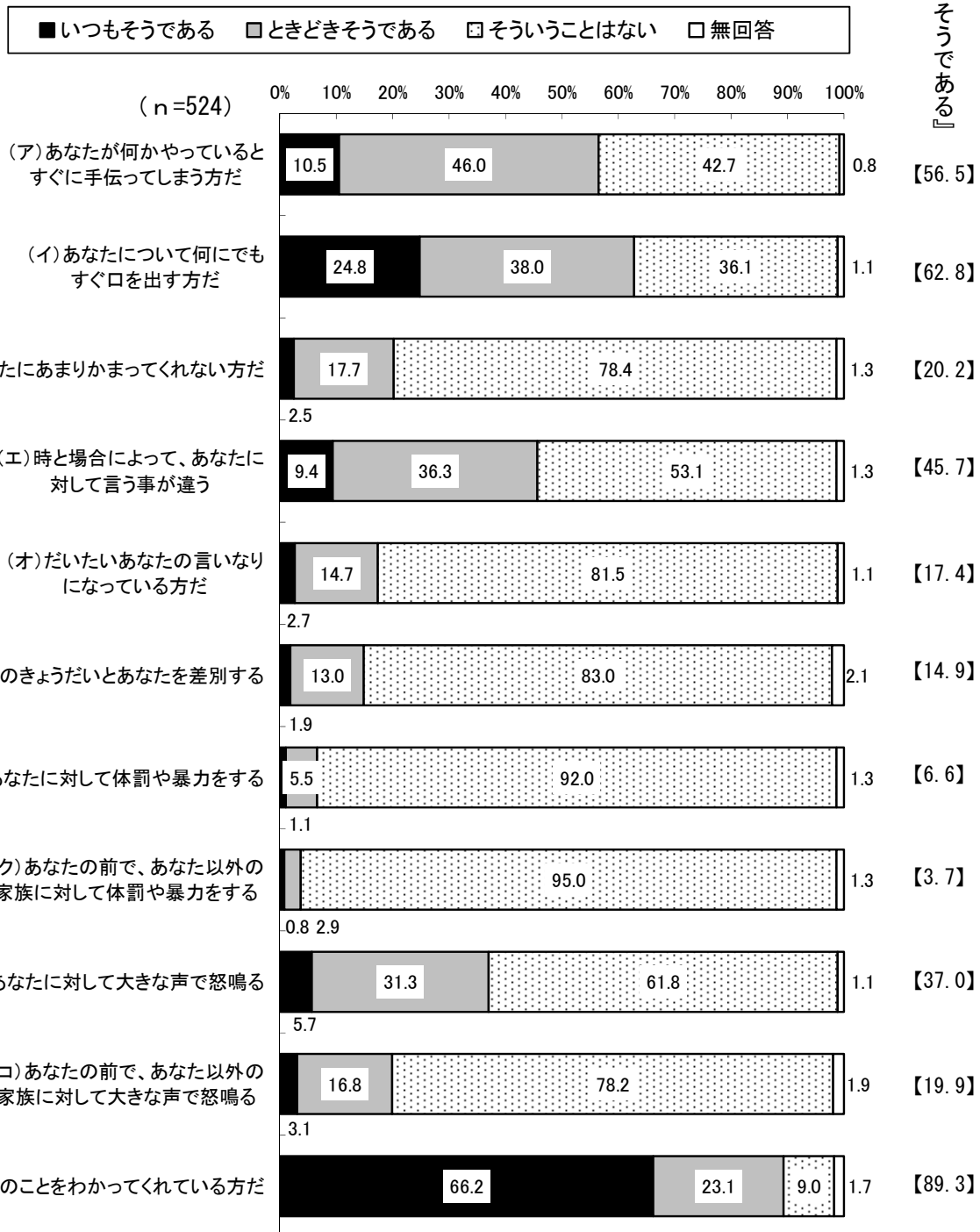
	標本数（人）	(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ	(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ	(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ	(エ) 時と場合によって、あなたに対して言う事が違う	(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ	(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する	(キ) あなたに対して体罰や暴力をする	(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする	(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る	(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る	(サ) あなたのことをわかってきている方だ	
全体	986	35.0	44.6	20.0	37.5	15.5	12.0	6.2	4.0	26.0	17.4	77.5	
世代別	中学生今回	524	37.7	48.5	21.2	39.9	16.3	13.9	8.0	6.0	29.9	20.1	80.4
	中学生前回	431	30.4	43.6	23.7	44.1	15.8		7.2				74.5
	高校生世代今回	455	31.6	40.2	18.9	34.7	14.9	10.1	4.1	2.0	21.6	14.5	74.7
	高校生世代前回	367	21.5	37.6	20.4	42.3	16.1		7.1				74.6
性別	中学生：男性	256	45.7	53.9	20.3	41.4	14.9	13.3	9.8	6.3	34.7	20.4	85.2
	中学生：女性	262	29.8	42.4	21.8	37.8	17.2	14.5	6.1	5.3	24.0	19.1	75.5
	高校生世代：男性	216	31.0	42.5	19.4	36.1	13.4	7.5	2.8	0.9	24.1	13.4	77.8
	高校生世代：女性	225	32.9	39.1	18.7	34.2	17.3	12.4	5.3	3.1	19.6	16.5	72.0
	高校生世代：その他	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.6
	無回答	24	33.3	41.6	16.7	37.5	8.3	12.5	8.3	4.2	37.5	16.6	66.7

※ (カ) (ク) (ケ) (コ) は、今回調査の新規項目

(3) 母親の日頃の様子 (中学生)

問27 お父さんやお母さんの日ごろの様子についてうかがいます。次の(ア)から(キ)について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

図表-73 母親の日頃の様子 (中学生)



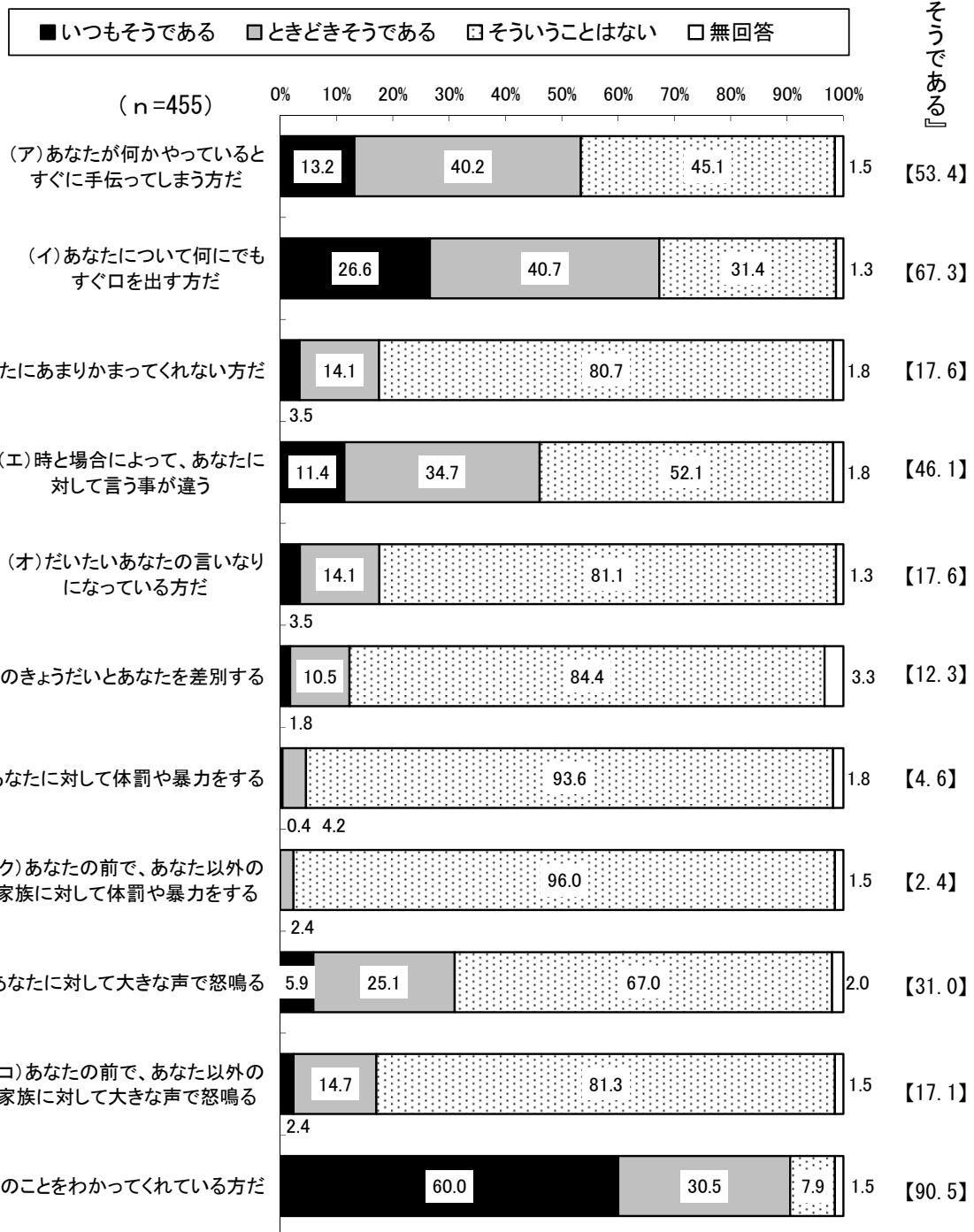
中学生に母親の日頃の様子についてたずねた。

『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）の割合をみると、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」が56.5%、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」が62.8%、「(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ」が20.2%、「(エ) 時と場合によって、あなたに対して言う事が違う」が45.7%、「(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ」が17.4%、「(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する」が14.9%、「(キ) あなたに対して体罰や暴力をする」が6.6%、「(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする」が3.7%、「(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る」が37.0%、「(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る」が19.9%、「(サ) あなたのことをわかってきている方だ」が89.3%となっている。

(4) 母親の日頃の様子（高校生世代）

問27 お父さんやお母さんの日ごろの様子についてうかがいます。次の（ア）から（キ）について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

図表－74 母親の日頃の様子（高校生世代）



高校生世代に母親の日頃の様子についてたずねた。

『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）の割合をみると、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」が53.4%、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」が67.3%、「(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ」が17.6%、「(エ) 時と場合によって、あなたに対して言う事が違う」が46.1%、「(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ」が17.6%、「(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する」が12.3%、「(キ) あなたに対して体罰や暴力をする」が4.6%、「(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする」が2.4%、「(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る」が31.0%、「(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る」が17.1%、「(サ) あなたのことをわかってきている方だ」が90.5%となっている。

『そうである』の割合を前回調査と比較すると、中学生では、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」の割合が9ポイント増加している。

高校生世代では、「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」の割合が約13ポイント増加している。

『そうである』の割合を性別にみると、中学生の男性では他に比べて「(ア) あなたが何かやっているとすぐに手伝ってしまう方だ」(62.5%)の割合が高くなっている。

図表-75 前回比較・性別 母親のしつけの態度（『そうである』の割合）（単位：％）

	標本数（人）	して(ア)まいる方だ	に(イ)でもすぐ口を出す方だ	ま(ウ)つてくれない方だ	事(エ)が違ふあなたに対して言う	言(オ)いなりにいたいあなたの方	い(カ)あなたを差別する	罰(キ)あなたに対して体	体(ク)あなたの前で、あ	き(ケ)あなたに対して大	大(コ)あなたの前で、あ	か(サ)あなたのこと	
全体	986	55.0	64.7	18.8	45.7	17.4	13.7	5.7	3.0	34.0	18.5	89.7	
世代別	中学生今回	524	56.5	62.8	20.2	45.7	17.4	14.9	6.6	3.7	37.0	19.9	89.3
	中学生前回	431	47.5	66.8	20.8	56.8	16.3		11.6				85.4
	高校生世代今回	455	53.4	67.3	17.6	46.1	17.6	12.3	4.6	2.4	31.0	17.1	90.5
	高校生世代前回	367	40.0	66.5	19.0	52.8	22.0		6.2				88.8
性別	中学生:男性	256	62.5	64.1	19.1	45.3	16.8	14.1	7.5	3.5	40.6	19.6	88.3
	中学生:女性	262	50.0	60.7	20.6	45.8	18.3	15.7	5.7	3.4	33.6	20.2	90.4
	高校生世代:男性	216	56.5	66.7	15.2	42.2	15.8	6.9	2.3	1.4	34.2	18.5	91.2
	高校生世代:女性	225	51.1	68.9	19.6	50.6	19.1	17.4	6.7	3.1	29.3	16.5	89.8
	高校生世代:その他	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	無回答	24	54.2	62.5	25.0	37.5	12.5	16.7	8.3	8.3	12.5	8.4	79.1

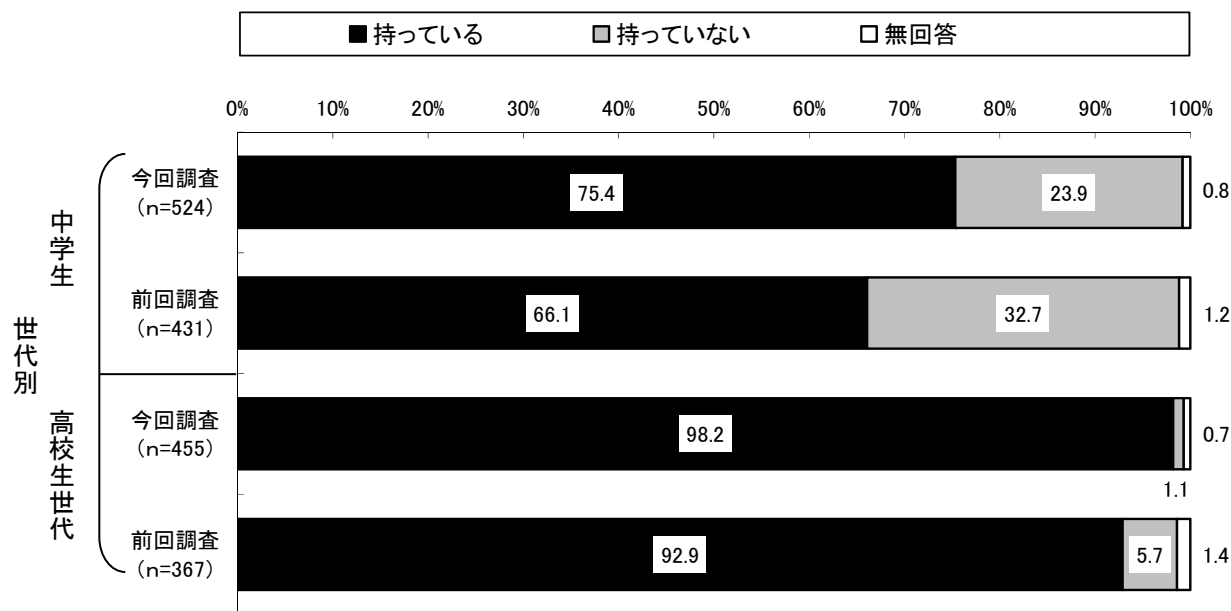
※(カ)(ク)(ケ)(コ)は、今回調査の新規項目

第6章 携帯電話やインターネットの使用状況

1. 携帯電話やスマートフォンなどの有無

問31 あなたは携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)

図表-76 携帯電話やスマートフォンなどの有無



携帯電話やスマートフォン、パソコンの所持率は、中学生が75.4%、高校生世代が98.2%となっており、高校生世代はほとんどが所持している。

前回調査と比較すると、いずれの世代でも所持率は上昇しており、特に中学生は約9ポイント増加している。

性別にみると、中学生の男性は他に比べて所持率が低い。

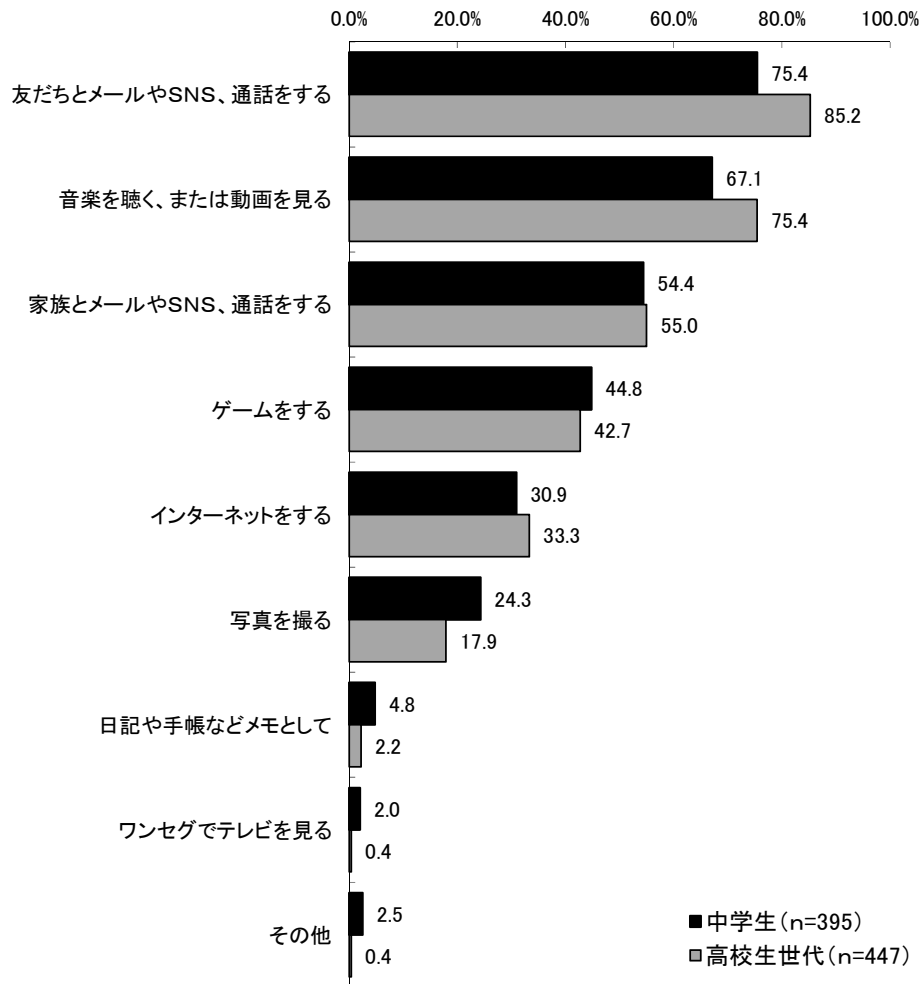
図表-77 性別 携帯電話やスマートフォンなどの有無 (単位: %)

		標本数 (人)	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		986	85.8	13.3	0.9
性別	中学生:男性	256	68.0	30.9	1.2
	中学生:女性	262	82.4	17.2	0.4
	高校生世代:男性	216	98.1	0.9	0.9
	高校生世代:女性	225	98.7	1.3	-
	高校生世代:その他	3	100.0	-	-
	無回答	24	79.2	8.3	12.5

2. 携帯電話やスマートフォンなどの使用目的

問31-1 【問31で「1」を選んだ方にうかがいます。】携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。(〇は3つまで)

図表-78 携帯電話やスマートフォンの使用目的



携帯電話やスマートフォンの使用目的は、中学生・高校生世代ともに、「友だちとメールやSNS、通話をする」(中学生：75.4%、高校生世代：85.2%)の割合が最も高く、次いで「音楽を聴く、または動画を見る」(中学生：67.1%、高校生世代：75.4%)、「家族とメールやSNS、通話をする」(中学生：54.4%、高校生世代：55.0%)、「ゲームをする」(中学生：44.8%、高校生世代：42.7%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、いずれの世代でも、「ゲームをする」の割合が17～20ポイント、「音楽を聴く、または動画を見る」が25～33ポイント増加している。

性別にみると、いずれの世代でも「ゲームをする」の割合は男性が高い。中学生の女性は「写真を撮る」(31.5%)の割合が高く、高校生世代の女性は「友だちとメールやSNS、通話をする」(90.5%)、「音楽を聴く、または動画を見る」(82.9%)の割合が高くなっている。

図表－79 前回比較・性別 携帯電話やスマートフォンなどの使用目的 (単位：%)

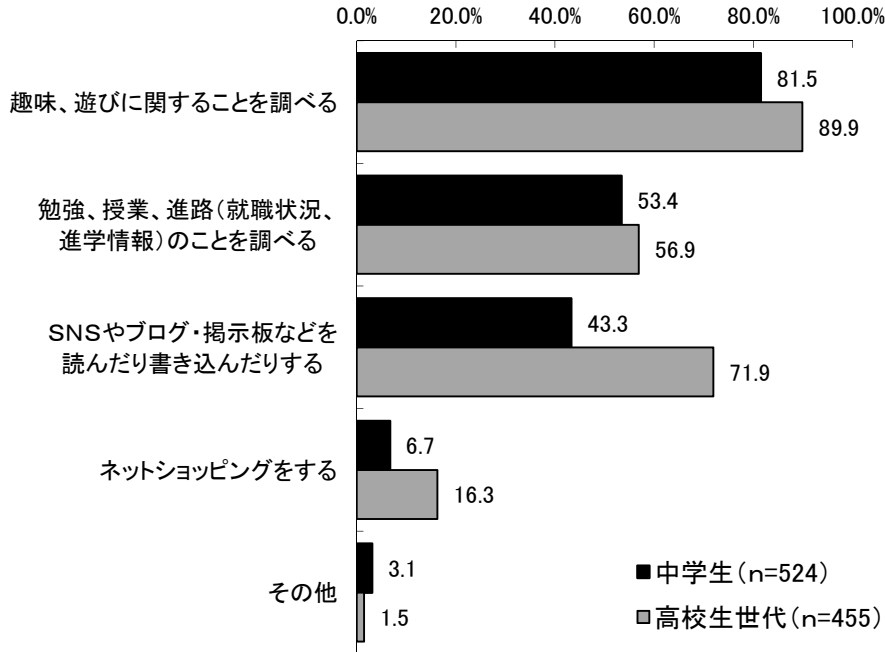
		標本数 (人)	家族とメールやSNS、 通話をする	友だちとメールやSNS 通話をする	ゲームをする	音楽を聴く、 または動画 を見る	インターネットをする	写真を撮る	日記や手帳などメモとし	ワンセグでテレビを見る	その他
全体		846	54.7	80.4	43.9	71.6	32.4	20.9	3.4	1.2	1.4
世代別	中学生今回	395	54.4	75.4	44.8	67.1	30.9	24.3	4.8	2.0	2.5
	中学生前回	285	57.9	65.3	28.1	34.4	31.2	25.3	5.3	3.9	7.0
	高校生世代今回	447	55.0	85.2	42.7	75.4	33.3	17.9	2.2	0.4	0.4
	高校生世代前回	341	49.9	87.1	22.9	50.4	44.9	23.8	2.6	2.3	2.6
	無回答	4	50.0	25.0	75.0	100.0	75.0	25.0	-	-	-
性別	中学生:男性	174	48.3	70.1	67.8	62.6	29.3	13.8	4.0	3.4	4.0
	中学生:女性	216	60.2	79.6	26.9	70.4	31.9	31.5	5.6	0.9	1.4
	高校生世代:男性	212	54.2	79.7	67.9	67.5	34.9	12.7	2.4	0.5	0.5
	高校生世代:女性	222	56.3	90.5	18.5	82.9	31.5	23.4	2.3	0.5	0.5
	高校生世代:その他	3	-	33.3	100.0	100.0	66.7	-	-	-	-
	無回答	19	47.4	78.9	36.8	78.9	42.1	31.6	-	-	-

3. インターネットの使用状況

(1) インターネットの使用目的

問32 あなたはインターネットを主にどのような目的で使用する事が多いですか。(〇は3つまで)

図表-80 インターネットの使用目的



インターネットの使用目的は、中学生では、「趣味、遊びに関することを調べる」(81.5%)の割合が最も高く、次いで「勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる」(53.4%)、「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(43.3%)となっている。

高校生世代では、「趣味、遊びに関することを調べる」(89.9%)の割合が最も高く、次いで「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(71.9%)、「勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる」(56.9%)となっている。

性別にみると、高校生世代の女性は他に比べて「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(81.3%)の割合が高い。

図表-81 性別 インターネットの使用目的(単位:%)

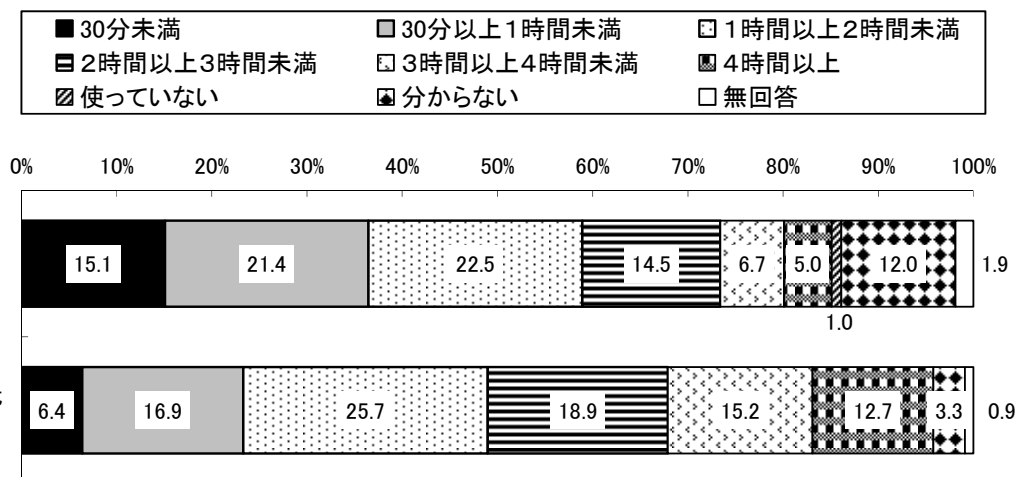
		標本数(人)	勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)の調べ	趣味、遊びに関することを調べる	ネットショッピングをする	SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする	その他	無回答
全体		986	55.1	85.2	11.1	56.4	2.3	3.3
性別	中学生:男性	256	48.0	80.1	4.7	27.0	2.7	8.2
	中学生:女性	262	58.8	82.4	8.8	58.8	3.4	2.7
	高校生世代:男性	216	53.7	89.8	17.6	62.0	1.4	0.9
	高校生世代:女性	225	60.0	89.8	14.2	81.3	1.8	-
	高校生世代:その他	3	33.3	100.0	33.3	100.0	-	-
	無回答	24	58.3	83.3	12.5	54.2	-	12.5

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

(2) インターネットやSNS等の1日あたり使用時間

問33① あなたは、平日1日あたりどれくらいインターネットやSNS（LINE、Facebook、twitterなど）を使用していますか。（○は1つ）

図表－82 インターネットやSNSの1日あたり使用時間



インターネットやSNSの1日あたり使用時間は、中学生では、「1時間以上2時間未満」（22.5％）の割合が最も高く、次いで「30分以上1時間未満」（21.4％）、「30分未満」（15.1％）、「2時間以上3時間未満」（14.5％）となっている。

高校生世代では、「1時間以上2時間未満」（25.7％）の割合が最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」（18.9％）、「30分以上1時間未満」（16.9％）、「3時間以上4時間未満」（15.2％）となっており、使用時間が中学生よりも長くなっている。

性別にみると、いずれの世代でも、男性に比べて女性の方が使用時間が長い傾向にある。

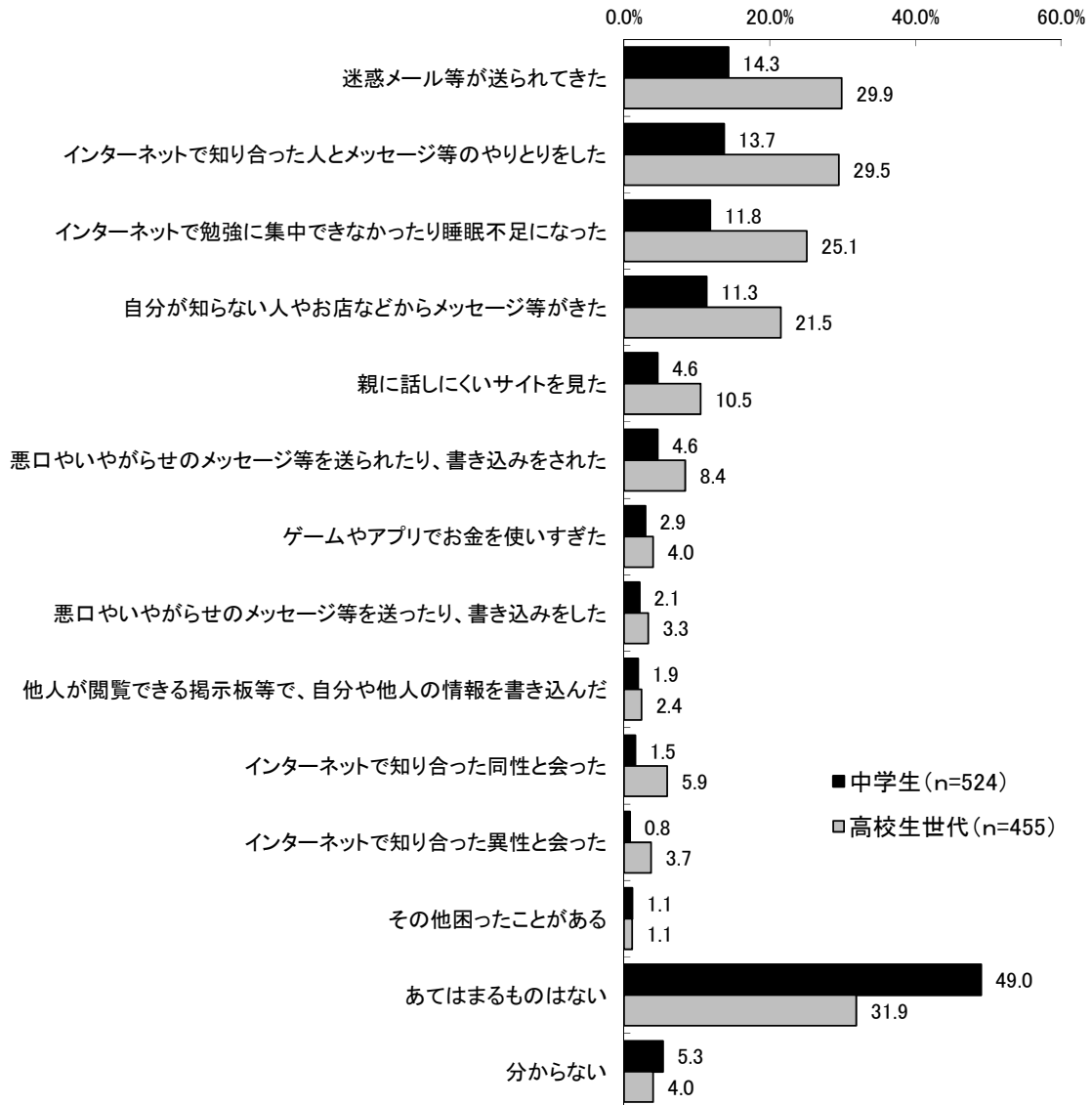
図表－83 性別 インターネットやSNSの1日あたり使用時間（単位：％）

		標本数（人）	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	使っていない	分からない	無回答
全体		986	11.2	19.3	23.9	16.5	10.5	8.5	0.5	7.9	1.6
性別	中学生：男性	256	18.4	20.7	18.4	10.9	6.3	4.7	2.0	16.4	2.3
	中学生：女性	262	12.2	22.5	26.0	17.9	7.3	5.0	-	7.6	1.5
	高校生世代：男性	216	6.5	19.9	30.1	16.7	15.3	8.8	-	1.9	0.9
	高校生世代：女性	225	6.2	13.8	22.7	20.9	15.1	16.4	-	4.9	-
	高校生世代：その他	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-
	無回答	24	8.3	16.7	20.8	20.8	4.2	8.3	-	4.2	16.7

(3) インターネットやSNS等の使用上の経験

問33② あなたは、インターネットやSNS（LINE、Facebook、twitter など）を使っていて以下のようなことを経験したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表-84 インターネットやSNS使用上の経験



インターネットやSNS使用上の経験は、中学生・高校生世代いずれも「あてはまるものはない」（中学生：49.0%、高校生世代：31.9%）の割合が最も高い。具体的な経験としては、いずれの世代でも、「迷惑メール等が送られてきた」（中学生：14.3%、高校生世代：29.9%）の割合が最も高く、次いで「インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをした」（中学生：13.7%、高校生世代：29.5%）、「インターネットで勉強に集中できなかつたり睡眠不足になった」（中学生：11.8%、高校生世代：25.1%）となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、高校生世代の女性では他に比べて、「自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきた」(27.1%)、「迷惑メール等が送られてきた」(35.1%)、「インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをした」(35.1%)の割合が高くなっている。

図表－８５ 性別 インターネットやSNS使用上の経験 (単位：%)

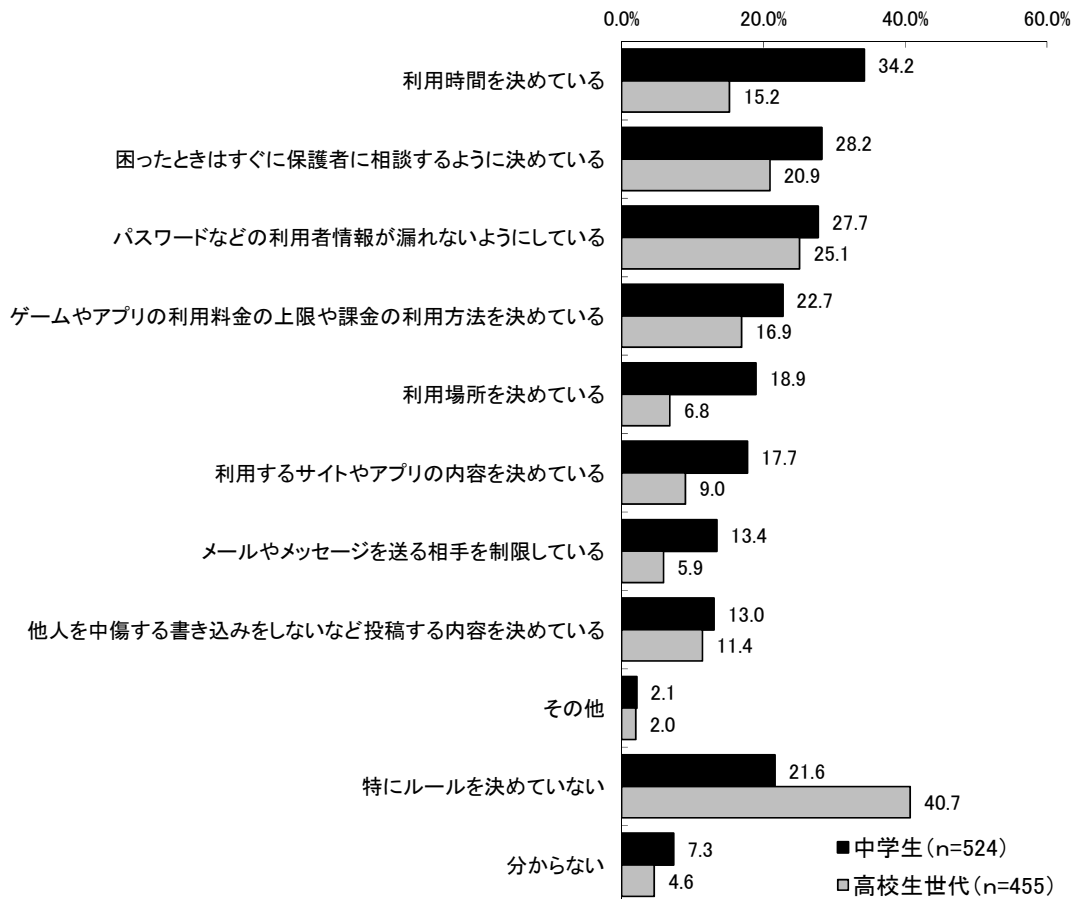
		標本数(人)	書き込みを送られたり、メッセージ等が送られたり	悪口やいやがらせのメッセージを送ったり、書き込みをした	悪口やいやがらせのメッセージを送ったり、書き込みをした	他人が閲覧できる掲示板などで、自分や他人の情報を書き込んだ	他人が閲覧できる掲示板などで、自分や他人の情報を書き込んだ	見親に話しにくいサイトを見た	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきた	迷惑メール等が送られてきた	インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをした
全体		986	6.4	2.6	2.1	7.4	3.4	16.1	21.6	20.9		
性別	中学生:男性	256	2.3	1.6	1.6	4.7	3.1	7.4	11.7	7.8		
	中学生:女性	262	6.5	2.7	2.3	4.2	2.7	14.1	16.4	19.1		
	高校生世代:男性	216	6.5	3.2	1.4	15.3	6.0	14.8	24.5	23.6		
	高校生世代:女性	225	10.2	2.7	3.6	5.8	1.8	27.1	35.1	35.1		
	高校生世代:その他	3	-	33.3	-	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7		
	無回答	24	12.5	4.2	-	8.3	4.2	33.3	29.2	16.7		

		標本数(人)	合った同性と会った	合った異性と会った	集中できなかったり睡眠不足になった	インターネットで勉強に	その他困ったことがある	あてはまるものはない	分からない	無回答
全体		986	3.5	2.1	18.1	1.1	40.9	4.8	7.7	
性別	中学生:男性	256	1.2	1.2	7.4	0.4	55.1	4.7	11.3	
	中学生:女性	262	1.5	0.4	15.3	1.9	43.5	6.1	7.3	
	高校生世代:男性	216	1.4	2.3	25.0	0.5	34.3	4.2	7.9	
	高校生世代:女性	225	9.8	4.4	24.0	1.8	30.2	4.0	2.7	
	高校生世代:その他	3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	
	無回答	24	8.3	4.2	37.5	-	25.0	4.2	20.8	

(4) インターネットやSNS等の使用上の家庭のルール

問34 あなたの家では、インターネットや SNS (LINE、Facebook、twitter など)、メールの使い方について何かルールはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-86 インターネットやSNS等の使用上の家庭のルール



インターネットやSNS等の使用上の家庭のルールは、中学生では、「利用時間を決めている」(34.2%)の割合が最も高く、次いで「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(28.2%)、「パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている」(27.7%)となっている。

高校生世代では、「特にルールを決めていない」(40.7%)の割合が最も高く、次いで「パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている」(25.1%)、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(20.9%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、中学生の女性は他に比べて、「利用時間を決めている」(36.3%)、「利用場所を決めている」(23.7%)、「利用するサイトやアプリの内容を決めている」(24.4%)、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(36.3%)の割合が高い。一方、高校生世代の男性は「特にルールを決めていない」(46.8%)の割合が最も高くなっている。

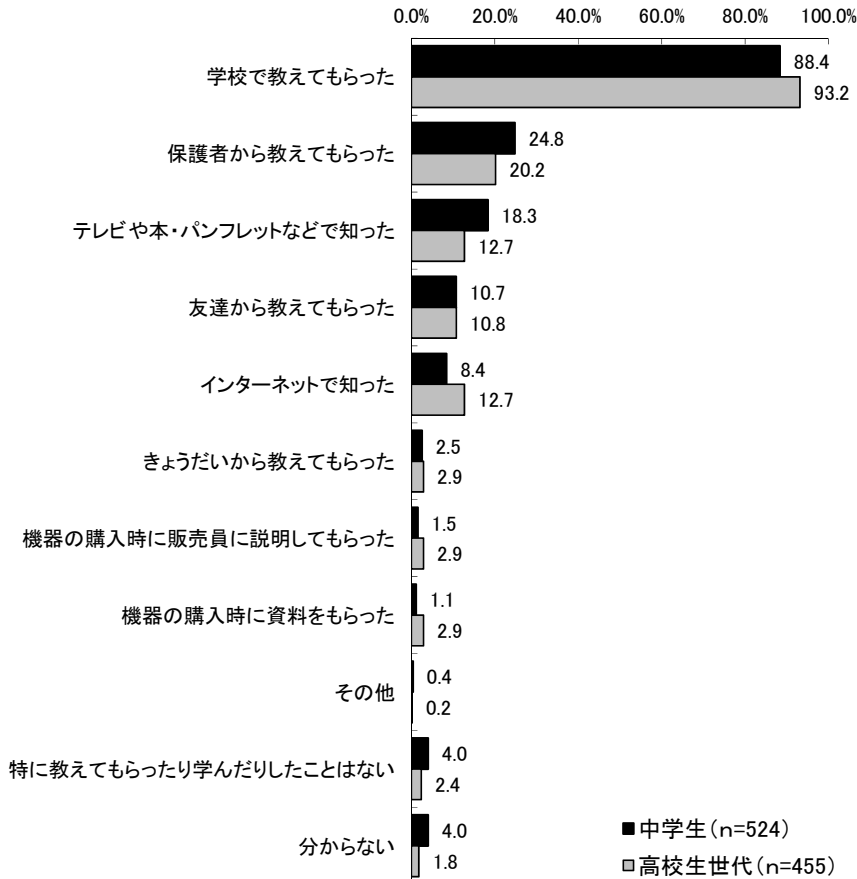
図表－８７ 性別 インターネットやSNS等の使用上の家庭のルール（単位：％）

	標本数（人）	利用時間を決めている	利用場所を決めている	メールやメッセージを送る相手を制限している	利用するサイトやアプリの内容を決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている	他人を中傷する書き込みを決めている
全体	986	25.2	13.3	9.9	13.7	12.3	26.4	20.0	24.7	2.0	30.3	6.2	2.8		
性別	中学生：男性	256	32.0	14.5	6.6	10.5	7.0	19.5	16.8	20.3	2.7	26.6	8.2	5.5	
	中学生：女性	262	36.3	23.7	19.8	24.4	18.7	35.1	28.2	36.3	1.5	17.2	6.1	1.5	
	高校生世代：男性	216	14.4	5.6	5.1	9.3	8.8	23.1	15.7	13.0	0.9	46.8	3.7	2.3	
	高校生世代：女性	225	16.9	8.4	7.1	8.4	13.8	28.0	18.2	28.9	3.1	35.1	4.9	-	
	高校生世代：その他	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	
無回答	24	8.3	4.2	8.3	16.7	16.7	16.7	20.8	16.7	-	20.8	16.7	20.8		

(5) インターネットの危険性について学んだ経験

問35 あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系やアダルトサイトなど）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－88 インターネットの危険性について学んだ経験



インターネットの危険性について学んだ経験は、中学生・高校生世代ともに、「学校で教えてもらった」（中学生：88.4%、高校生世代：93.2%）の割合が最も高く、次いで「保護者から教えてもらった」（中学生：24.8%、高校生世代：20.2%）「テレビや本・パンフレットなどで知った」（中学生：18.3%、高校生世代：12.7%）となっている。

図表－89 性別 インターネットの危険性について学んだ経験（単位：%）

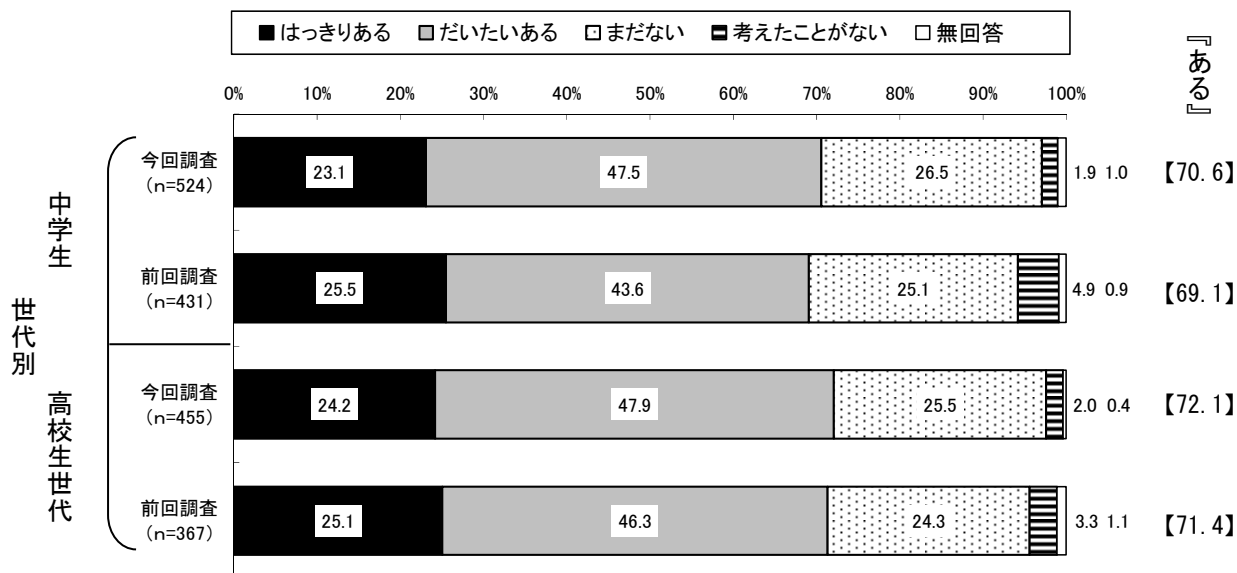
		標本数（人）	学校で教えてもらった	保護者から教えてもらった	きょうだいから教えてもらった	説明機器の購入時に販売員に	機器の購入時に資料をも	友達から教えてもらった	テレビや本・パンフレットなどで知った	インターネットで知った	その他	特に教えてもらったり学んだりしたことはない	分からない	無回答
全体		986	90.4	22.5	2.6	2.1	1.9	10.6	15.6	10.3	0.3	3.2	3.0	1.9
性別	中学生：男性	256	86.7	23.4	2.7	0.8	-	12.1	15.6	8.6	0.4	3.5	4.3	3.9
	中学生：女性	262	90.5	26.7	2.3	2.3	2.3	8.4	21.0	8.0	0.4	3.8	3.8	1.1
	高校生世代：男性	216	94.0	20.8	3.2	2.8	2.3	13.4	12.0	15.3	-	2.3	0.9	0.5
	高校生世代：女性	225	93.8	19.6	2.7	3.1	2.7	8.4	14.2	10.7	0.4	1.8	2.7	0.4
	高校生世代：その他	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
無回答		24	66.7	12.5	-	-	8.3	16.7	4.2	8.3	-	12.5	4.2	16.7

第7章 将来について

1. 将来の目標

問20 あなたは将来の目標がありますか。(○は1つ)

図表－90 将来の目標



将来の目標が『ある』（「はっきりある」と「だいたいある」を合わせた割合）の割合は、中学生では70.6%、高校生世代では72.1%になっている。前回調査と比較すると、『ある』の割合はやや増加している。

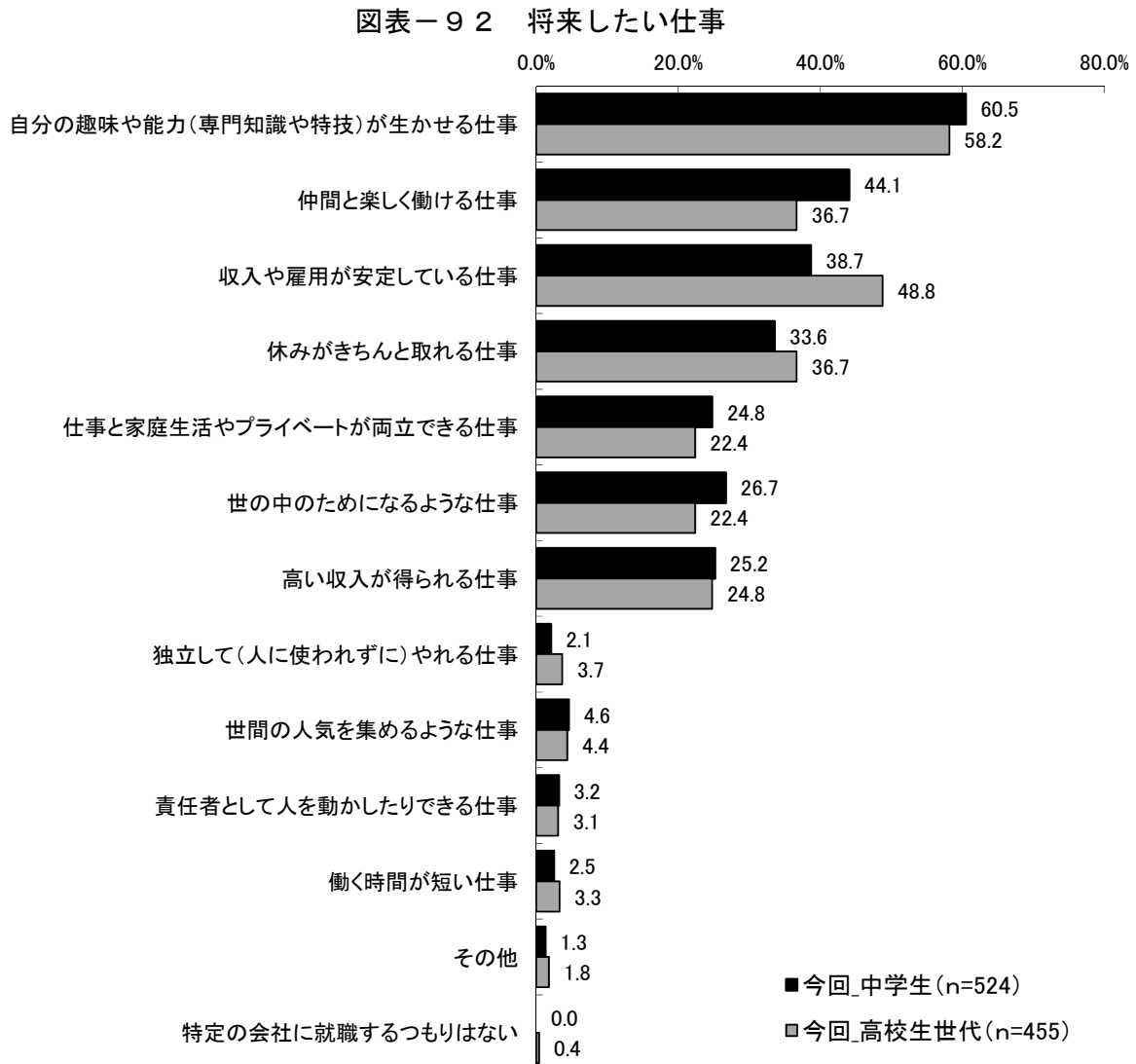
性別にみると、いずれの世代でも女性の方が『ある』の割合がやや高い。

図表－91 性別 将来の目標（単位：%）

		標本数（人）	はっきりある	だいたいある	まだない	考えたことがない	無回答	『ある』
全体		986	23.4	47.8	26.1	2.0	0.7	71.2
性別	中学生：男性	256	21.5	46.5	27.3	3.1	1.6	68.0
	中学生：女性	262	25.2	47.3	26.3	0.8	0.4	72.5
	高校生世代：男性	216	21.3	48.1	28.2	2.3	-	69.4
	高校生世代：女性	225	27.6	48.4	22.2	1.3	0.4	76.0
	高校生世代：その他	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6
	無回答	24	4.2	58.3	29.2	4.2	4.2	62.5

2. 将来したい仕事

問21 将来、あなたがつきたいと思う仕事は次のどれですか。(〇は3つまで)



将来したい仕事は、中学生は、「自分の趣味や能力(専門知識や特技)が生かせる仕事」(60.5%)の割合が最も高く、次いで「仲間と楽しく働ける仕事」(44.1%)、「収入や雇用が安定している仕事」(38.7%)となっている。

高校生世代は、「自分の趣味や能力(専門知識や特技)が生かせる仕事」(58.2%)の割合が最も高く、次いで「収入や雇用が安定している仕事」(48.8%)、「仲間と楽しく働ける仕事」「休みがきちんと取れる仕事」(36.7%)となっている。

Ⅱ 中学生・高校生等調査結果

前回調査と比較すると、中学生では、「休みがきちんと取れる仕事」の割合が約6ポイント、「世の中のためになるような仕事」が約7ポイント増加している。

高校生世代では、「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事」の割合が約5ポイント減少し、「休みがきちんと取れる仕事」が約13ポイント、「収入や雇用が安定している仕事」が約6ポイント、「高い収入が得られる仕事」が約8ポイント増加している。

性別にみると、中学生の女性は他に比べて「仲間と楽しく働ける仕事」（53.1％）の割合が高く、高校生世代の女性は「収入や雇用が安定している仕事」（55.6％）の割合が高くなっている。

図表－93 前回比較・性別 将来した仕事（単位：％）

	標本数（人）	仕事知識や特技や能力（専門）が生かせる	自分や趣味や能力（専門）が生かせる	仲間と楽しく働ける仕事	働く時間が短い仕事	休みがきちんと取れる仕事	収入や雇用が安定している仕事	高い収入が得られる仕事	仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事	責任者として人を動かしたりできる仕事	独立して（人に使われず）やれる仕事	世の中のためになるような仕事	世間の人気を集めるような仕事	その他	特定の会社に就職するつもりはない
全体	986	59.2	40.6	2.9	35.0	43.5	25.3	23.6	3.1	3.0	24.6	4.5	1.5	0.2	
世代別	中学生今回	524	60.5	44.1	2.5	33.6	38.7	25.2	24.8	3.2	2.1	26.7	4.6	1.3	0.0
	中学生前回	431	59.9	42.9	2.6	27.6	34.3	23.2	20.6	2.8	4.6	19.5	4.6	2.3	0.9
	高校生世代今回	455	58.2	36.7	3.3	36.7	48.8	24.8	22.4	3.1	3.7	22.4	4.4	1.8	0.4
	高校生世代前回	367	63.2	36.2	2.7	24.0	42.8	17.2	23.2	2.5	5.2	24.5	2.2	1.4	0.9
	無回答	7	28.6	28.6	14.3	28.6	57.1	57.1	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-
性別	中学生：男性	256	64.1	35.2	2.7	32.4	39.8	32.0	20.3	3.9	2.7	23.8	3.5	1.2	-
	中学生：女性	262	56.5	53.1	2.3	35.1	37.0	18.7	29.4	2.7	1.5	29.0	5.0	1.5	-
	高校生世代：男性	216	59.3	38.9	5.6	36.1	43.1	28.7	20.8	3.7	3.7	20.8	3.7	1.9	0.9
	高校生世代：女性	225	58.2	34.2	0.9	37.3	55.6	20.4	23.6	2.7	3.6	24.0	4.9	1.3	-
	高校生世代：その他	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-
	無回答	24	50.0	41.7	4.2	29.2	50.0	41.7	20.8	-	12.5	25.0	12.5	-	-

第8章 自由意見

問36 福岡市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

回答者286人から、378件の意見が挙げられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表－94 自由意見

分類	件数
中学校・高校について	102
公共施設について	93
交通、移動、安全	69
商業施設について	19
住みやすい（住環境）	14
ごみ・ペット・環境	12
相談、交流、情報	9
税金	8
保健、医療	5
仕事・就職について	4
経済的支援	4
その他	39

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

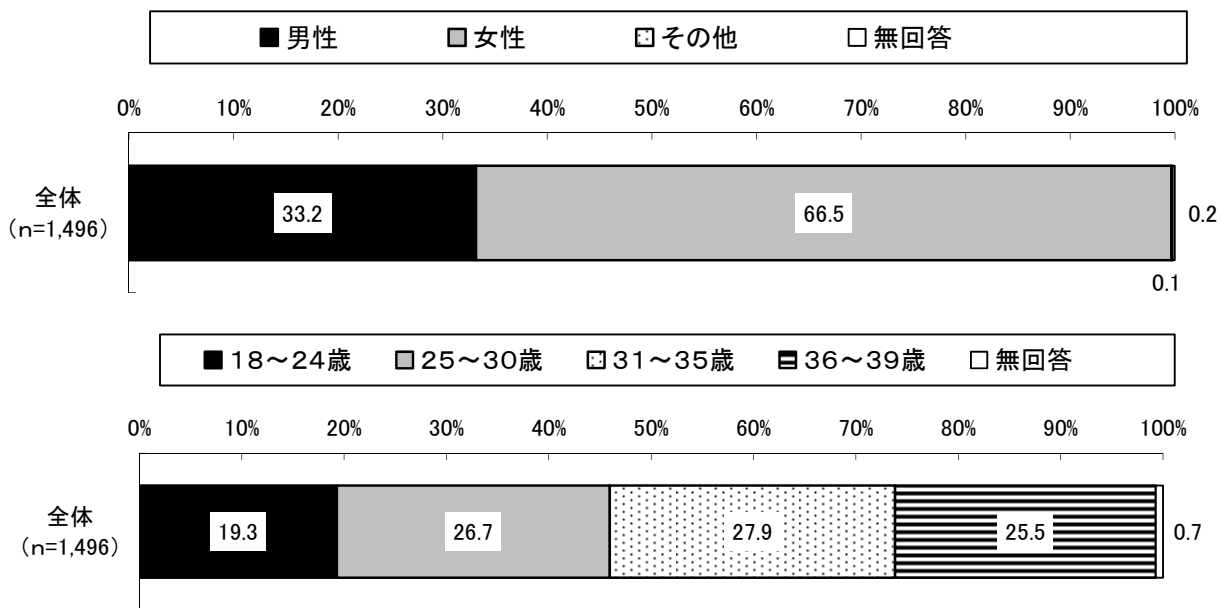
第1章 回答者及び家庭の概況

1. 回答者の基本属性

(1) 性別・年齢

問4 あなたの年齢、性別をご記入ください。（平成31年1月1日現在）

図表－95 性別・年齢

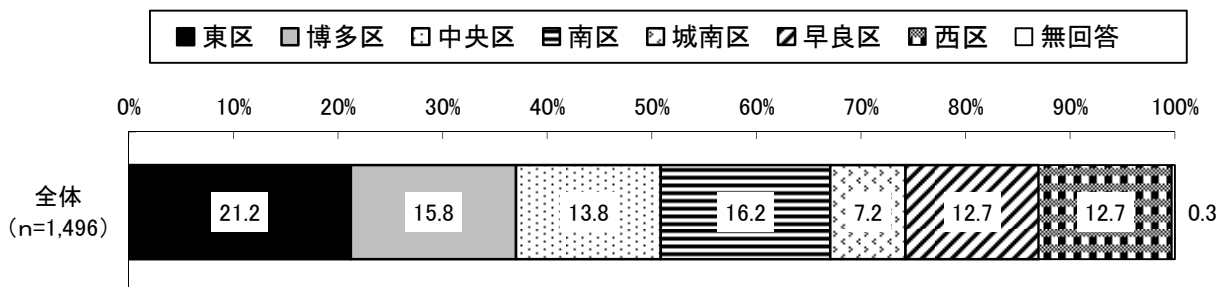


回答者の性別は男性33.2%、女性66.5%と女性が7割弱を占めている。
 年齢は、「31～35歳」（27.9%）の割合が最も高く、「25～30歳」（26.7%）、「36～39歳」（25.5%）、「18～24歳」（19.3%）となっている。

(2) 居住区

問1 あなたの住んでいる区を選んでください。（○は1つ）

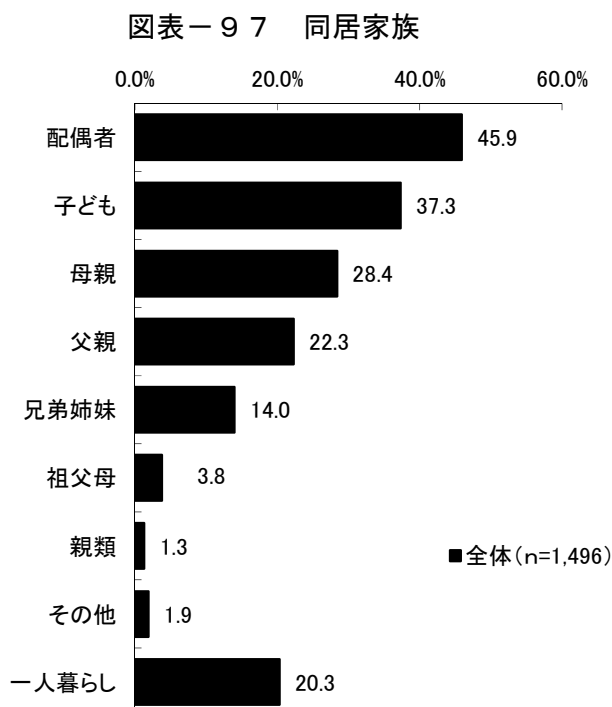
図表－96 居住区



回答者の居住区は、「東区」（21.2%）の割合が最も高く、次いで「南区」（16.2%）、「博多区」（15.8%）、「中央区」（13.8%）、「早良区」「西区」（ともに12.7%）、「城南区」（7.2%）となっている。

(3) 同居家族

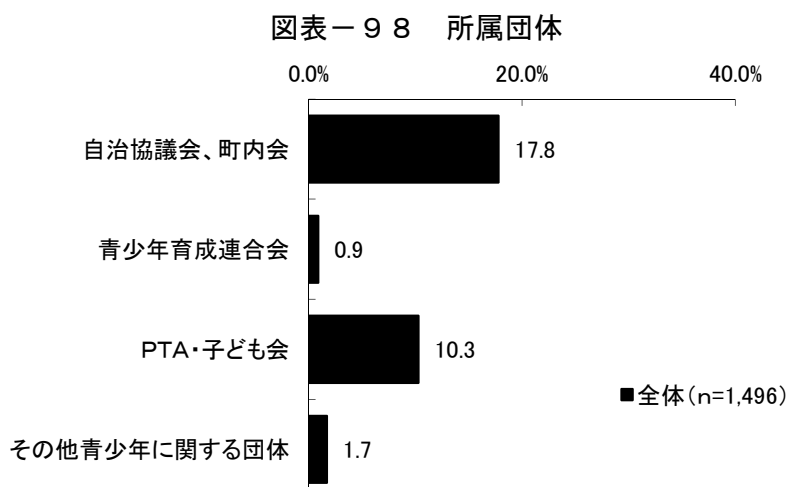
問2 あなたの同居の家族に、次にあげる方はいますか。あなたからの続柄で選んでください。(あてはまるものすべてに○)



回答者の同居家族は、「配偶者」(45.9%)の割合が最も高く、次いで「子ども」(37.3%)、「母親」(28.4%)、「父親」(22.3%)、「一人暮らし」(20.3%)となっている。

(4) 所属団体

問3 次にあげる団体やサークルのうち、あなたが加入しているものがありますか。(あてはまるものすべてに○)



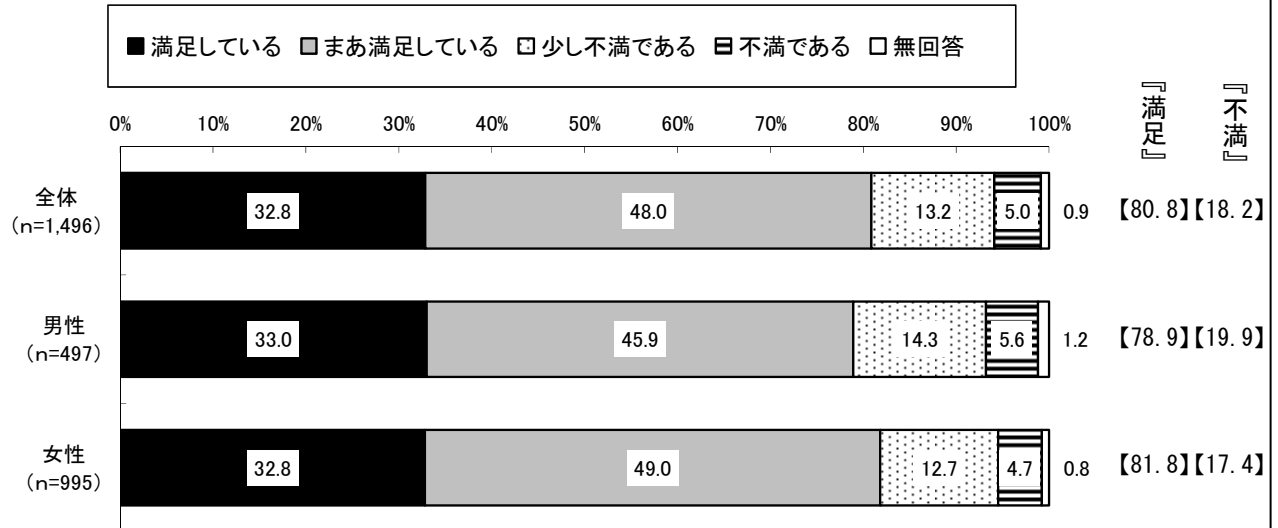
地域のなかで所属している団体は、「自治協議会、町内会」(17.8%)の割合が最も高く、次いで「PTA・子ども会」(10.3%)となっている。

第2章 日ごろの生活状況

1. 家庭生活の満足度

問5 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

図表-99 家庭生活の満足度



家庭生活の満足度について、『満足』（「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合）の割合をみると、全体では80.8%、男性では78.9%、女性では81.8%となっている。

年齢別にみると、18～24歳では他に比べて『満足』の割合がやや高くなっている。

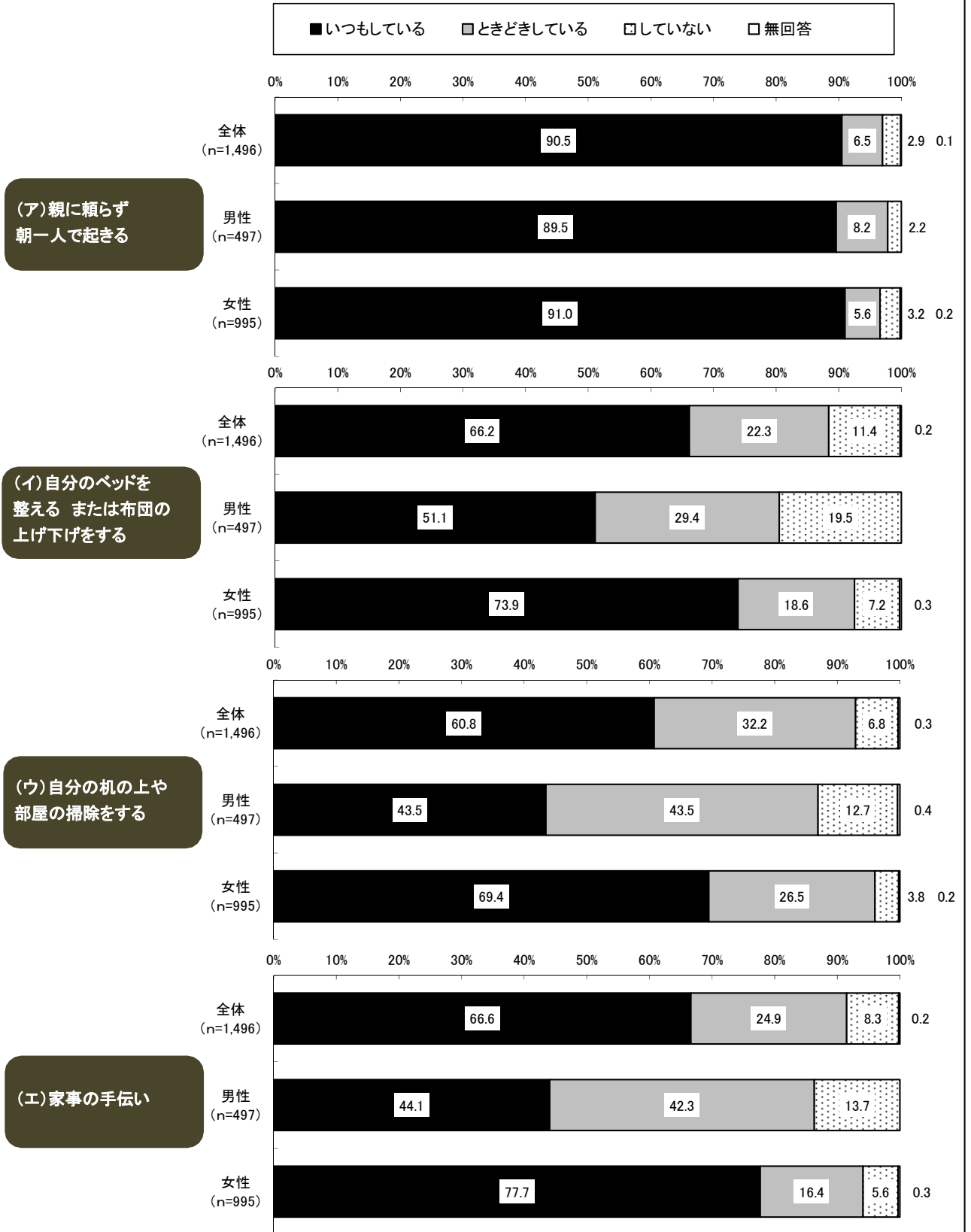
図表-100 年齢別 家庭生活の満足度（単位：%）

		標本数（人）	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	無回答	『満足』	『不満』
全体		1,496	32.8	48.0	13.2	5.0	0.9	80.8	18.2
年齢	18～24歳	288	41.7	44.8	9.4	3.5	0.7	86.5	12.9
	25～30歳	400	29.5	49.3	15.3	5.3	0.8	78.8	20.6
	31～35歳	417	32.9	48.9	11.8	5.3	1.2	81.8	17.1
	36～39歳	381	29.7	48.0	15.5	5.8	1.0	77.7	21.3
	無回答	10	30.0	50.0	20.0	-	-	80.0	20.0

2. 自分でしていること

問6 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。（ア）から（エ）のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

図表-101 自分でしていること



日常生活において自分で「いつもしている」割合をみると、「(ア) 親に頼らず朝一人で起きる」は男女いずれも約9割が「いつもしている」と回答しており、「(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする」は男性で51.1%、女性で73.9%、「(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする」は男性で43.5%、女性で69.4%、「(エ) 家事の手伝い」は男性で44.1%、女性で77.7%となっている。

年齢別にみると、いずれの項目も18～24歳は「いつもしている」の割合が他に比べて低い。36～39歳は他に比べて「(エ) 家事の手伝い」(77.2%)の割合が高くなっている。

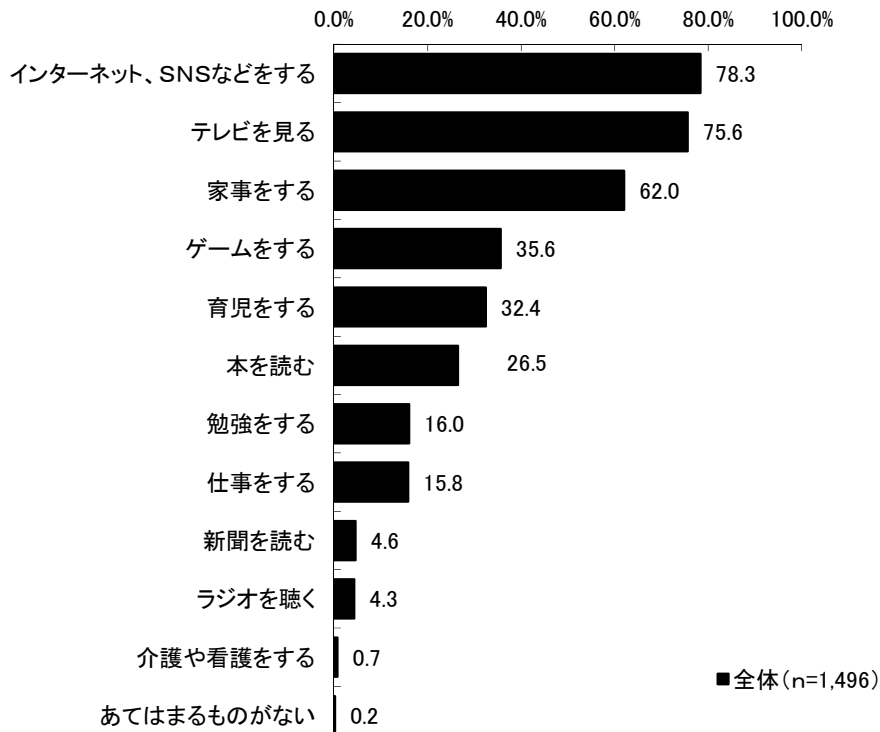
図表－102 年齢別 自分でしていること（「いつもしている」の割合）（単位：％）

		標本数 (人)	(ア) 親に頼らず朝一人で起きる	(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする	(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする	(エ) 家事の手伝い
全体		1,496	90.5	66.2	60.8	66.6
年齢	18～24歳	288	76.0	49.0	44.1	39.2
	25～30歳	400	90.3	66.5	58.8	66.5
	31～35歳	417	95.9	72.2	69.3	75.5
	36～39歳	381	95.8	72.4	65.9	77.2
	無回答	10	90.0	60.0	70.0	80.0

3. 自宅での過ごし方

問7 ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図表－103 自宅での過ごし方



自宅での過ごし方は、「インターネット、SNSなどをする」（78.3％）の割合が最も高く、次いで「テレビを見る」（75.6％）、「家事をする」（62.0％）となっている。

性別にみると、男性は「ゲームをする」（53.3％）、女性は「家事をする」（72.9％）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では「勉強をする」(29.5%)、「インターネット、SNSなどをする」(88.5%)、31～39歳では「育児をする」(31～35歳：44.4%、36～39歳：49.3%)、36～39歳では「家事をする」(73.5%)の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち10人が「ゲームをする」と回答している。

図表－104 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 自宅での過ごし方(単位：%)

		標本数(人)	テレビを見る	ラジオを聴く	本を読む	新聞を読む	ゲームをする	勉強をする	仕事をする	家事をする	育児をする	介護や看護をする	インターネット、SNSなどをする	あてはまるものがない	無回答
全体		1,496	75.6	4.3	26.5	4.6	35.6	16.0	15.8	62.0	32.4	0.7	78.3	0.2	0.2
性別	男性	497	68.4	4.4	30.6	6.6	53.3	19.5	19.1	40.0	19.7	0.2	78.5	-	0.2
	女性	995	79.3	4.2	24.5	3.6	26.7	14.4	14.1	72.9	38.7	0.9	78.2	0.3	0.2
	その他	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	100.0	66.7	-	100.0	-	-
年齢	18～24歳	288	71.5	5.6	20.8	3.8	44.8	29.5	9.0	30.9	5.2	0.3	88.5	-	-
	25～30歳	400	76.5	2.8	28.3	2.0	40.5	14.0	17.0	63.8	23.3	0.5	85.3	0.3	0.3
	31～35歳	417	76.0	4.3	26.9	6.2	33.8	13.9	16.5	71.0	44.4	0.5	71.7	0.5	-
	36～39歳	381	77.4	4.2	28.9	5.8	26.2	10.2	18.1	73.5	49.3	1.3	70.6	-	0.3
	無回答	10	70.0	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0	40.0	80.0	40.0	-	80.0	-	10.0
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	57.1	14.3	42.9	-	85.7	14.3	14.3	-	-	-	57.1	-	-
	準ひきこもり	4	25.0	-	-	25.0	100.0	25.0	25.0	-	-	-	100.0	-	-
	広義のひきこもり	11	45.5	9.1	27.3	9.1	90.9	18.2	18.2	-	-	-	72.7	-	-
	一般群	1,453	76.0	4.1	26.6	4.5	35.2	15.7	16.0	63.1	33.0	0.6	78.7	0.2	-
	無回答	32	68.8	12.5	25.0	6.3	34.4	31.3	3.1	34.4	18.8	3.1	65.6	-	9.4

※ひきこもりに関する定義は「Ⅰ 調査概要 7. 調査結果の見方」(p3)、ひきこもりの状況は p95参照

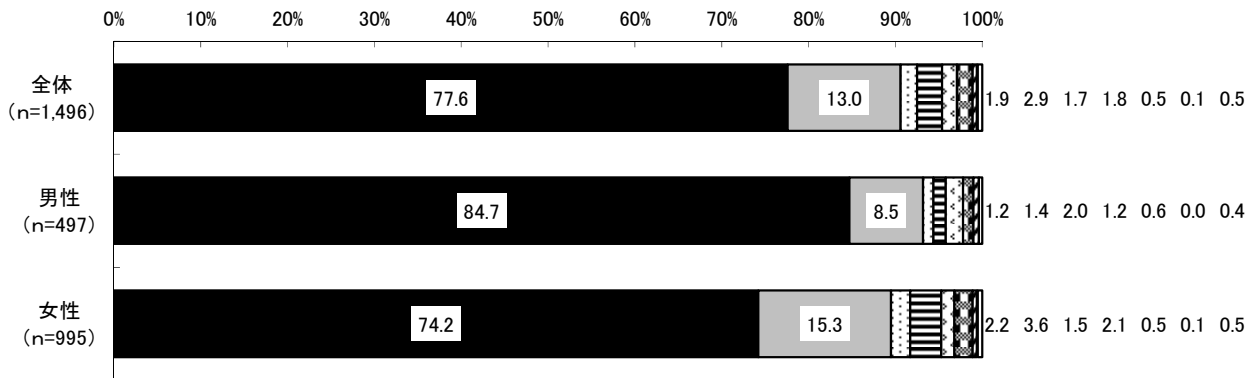
4. 普段の外出について

(1) 外出頻度

問8 ふだんどのくらい外出していますか。(もっとも近いもの1つに○)

図表－105 外出頻度

- 仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する
- ▣ 仕事(家事を含む)や学校で週に3～4日外出する
- ▨ 遊び等で頻繁に外出する
- ▩ 人付き合いのためにときどき外出する
- ▧ ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する (選択肢5)
- ▦ ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける (選択肢6)
- ▤ 自室からは出るが、家からは出ない (選択肢7)
- ▥ 自室からほとんど出ない (選択肢8)
- 無回答



普段の外出の頻度は、男女ともに、「仕事（家事を含む）や学校で平日は毎日外出する」の割合が7割強～8割強と大半を占めている。一方、「自室からは出るが、家からは出ない」（男性：0.6%、女性：0.5%）、「自室からほとんど出ない」（女性：0.1%）との回答もみられる。

年齢別では大きな違いはみられなかった。

図表－106 年齢別 外出頻度 (単位: %)

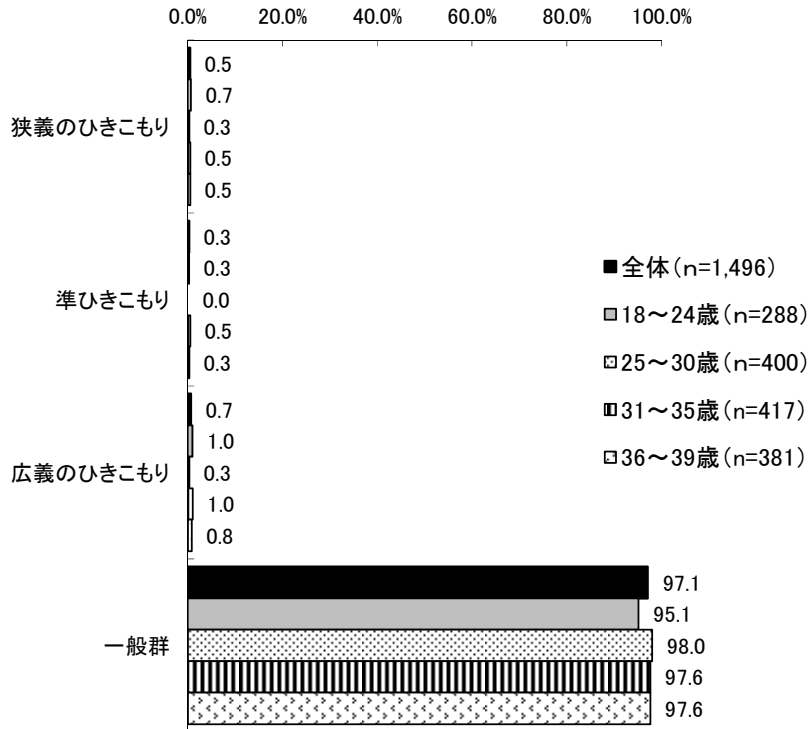
	標本数 (人)	年齢別 外出頻度 (単位: %)									
		仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する	仕事(家事を含む)や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人付き合いのためにときどき外出する	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	無回答	
全体	1,496	77.6	13.0	1.9	2.9	1.7	1.8	0.5	0.1	0.5	
年齢	18～24歳	288	75.3	17.7	1.4	2.4	1.0	1.4	0.3	-	0.3
	25～30歳	400	77.8	12.3	1.8	3.3	1.3	2.3	0.5	0.3	0.8
	31～35歳	417	78.9	10.3	1.4	4.1	2.2	2.6	0.2	-	0.2
	36～39歳	381	78.7	12.6	2.6	1.6	2.1	0.8	1.0	-	0.5
	無回答	10	40.0	40.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-

(2) ひきこもりの状況

問8（外出頻度）、問7（ふだん自宅できていること）などの回答から、ひきこもりの状況をまとめると以下ようになる。

※ひきこもりに関する定義は、「I 調査概要 7. 調査結果の見方」(P3) 参照

図表-107 ひきこもりの状況



ひきこもりの状況をみると、「広義のひきこもり」に分類される者は、いずれの年齢層でも1%以下となっている。青年等（18歳～39歳）全体の有効回答数（1,496人）のうち「広義のひきこもり」に分類される割合は0.74%（11人）であり、この出現率0.74%を市内18～39歳人口447,150人（平成31年1月末）にかけた「広義のひきこもり」推計人口は、3,308人となる。

現在の就業状況別にみると、派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者や無職の者は、ひきこもりの状況にある者が多い傾向にある。

図表-108 現在の就業状況別 ひきこもりの状況（単位：%）

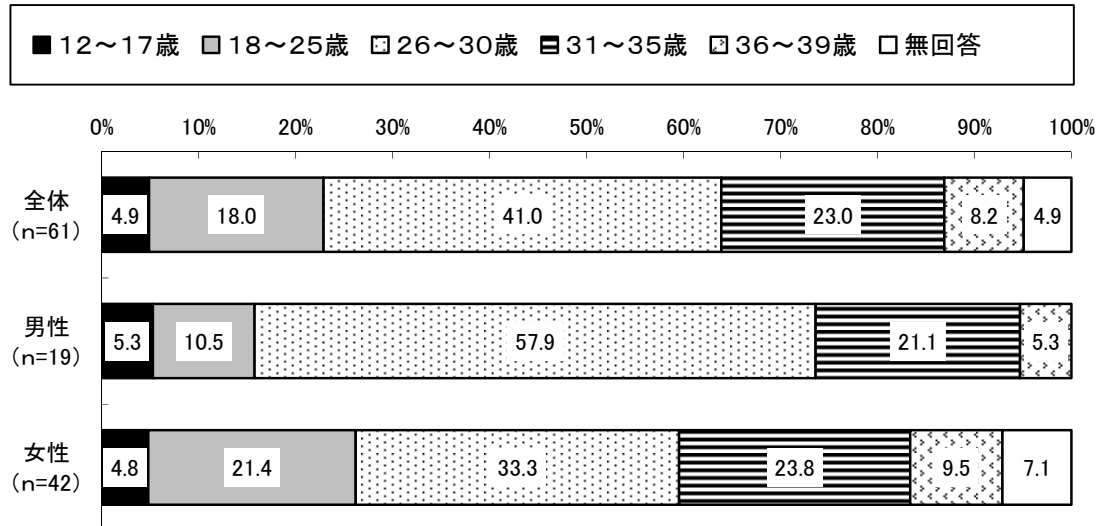
	標本数（人）	狭義のひきこもり	準ひきこもり	広義のひきこもり	一般群	無回答	
全体	1,496	0.5	0.3	0.7	97.1	2.1	
現在の就業状況	働いている(正社員)	701	0.1	-	0.1	99.3	0.6
	働いている(契約社員、派遣社員)	141	-	-	-	98.6	1.4
	働いている(パート・アルバイト(学生のアルバイト除く))	229	-	-	-	98.7	1.3
	自営業・自由業	46	-	-	-	100.0	-
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	-	-	-	99.4	0.6
	学生(予備校生、浪人含む)	127	0.8	0.8	1.6	97.6	0.8
	その他の仕事	9	-	-	-	100.0	-
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	6.7	-	6.7	86.7	6.7
	無職	54	7.4	5.6	13.0	83.3	3.7
	無回答	18	-	-	-	-	100.0

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(3) 外出を普段しなくなった年齢

問8-1① 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態になったのはあなたが何歳の頃ですか。（枠内に数字を記入）

図表－109 外出を普段しなくなった年齢



外出を普段しなくなった年齢は、「26～30歳」（41.0％）の割合が最も高く、次いで「31～35歳」（23.0％）、「18～25歳」（18.0％）となっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち5人が「26～30歳」、3人が「18～25歳」、同じく3人が「31～35歳」と回答している。

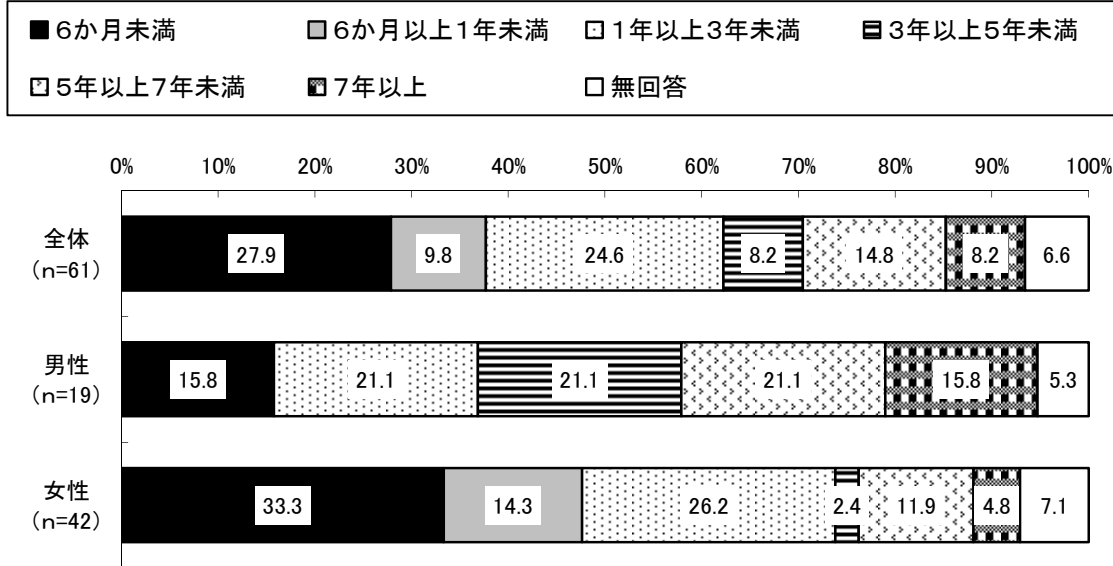
図表－110 年齢別・ひきこもりの状況別 外出を普段しなくなった年齢（単位：％）

		標本数 (人)	1 2 ～ 1 7 歳	1 8 ～ 2 5 歳	2 6 ～ 3 0 歳	3 1 ～ 3 5 歳	3 6 ～ 3 9 歳	無 回 答
全体		61	4.9	18.0	41.0	23.0	8.2	4.9
年齢	18～24歳	8	12.5	87.5	-	-	-	-
	25～30歳	17	5.9	17.6	64.7	-	-	11.8
	31～35歳	21	-	4.8	42.9	52.4	-	-
	36～39歳	15	6.7	-	33.3	20.0	33.3	6.7
ひきこもりの 状況別の	狭義のひきこもり	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-
	準ひきこもり	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-
	広義のひきこもり	11	-	27.3	45.5	27.3	-	-
	一般群	45	4.4	17.8	42.2	24.4	11.1	-
	無回答	5	20.0	-	20.0	-	-	60.0

(4) 外出を普段しなくなってからの期間

問8-1② 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態となってどのくらい経ちますか。(〇は1つ)

図表-111 外出を普段しなくなってからの期間



外出を普段しなくなってからの期間は、「6か月未満」(27.9%)の割合が最も高く、次いで「1年以上3年未満」(24.6%)、「5年以上7年未満」(14.8%)となっている。

性別にみると、男性の方が期間の長い人の割合が高くなっている

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち3人が「1年以上3年未満」、同じく3人が「3年以上5年未満」、同じく3人が「5年以上7年未満」、1人が「6か月以上1年未満」、同じく1人が「7年以上」と回答しており、一般群と比べて期間が長い傾向にある。

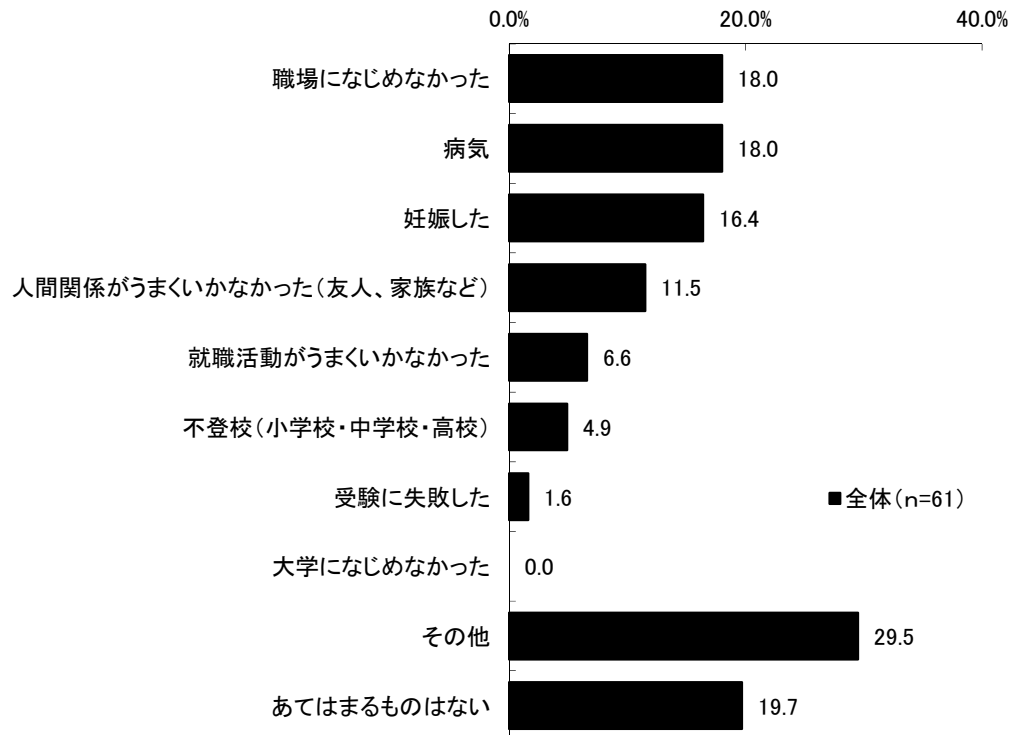
図表-112 年齢別・ひきこもりの状況別 外出を普段しなくなってからの期間 (単位: %)

		標本数(人)	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上	無回答
全体		61	27.9	9.8	24.6	8.2	14.8	8.2	6.6
年齢	18～24歳	8	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-
	25～30歳	17	29.4	11.8	41.2	-	-	5.9	11.8
	31～35歳	21	23.8	9.5	33.3	14.3	14.3	4.8	-
	36～39歳	15	26.7	6.7	-	6.7	26.7	20.0	13.3
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-
	準ひきこもり	4	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-
	広義のひきこもり	11	-	9.1	27.3	27.3	27.3	9.1	-
	一般群	45	35.6	11.1	26.7	4.4	13.3	8.9	-
	無回答	5	20.0	-	-	-	-	-	80.0

(5) 外出を普段しなくなったきっかけ

問8-1③ 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図表－113 外出を普段しなくなったきっかけ



外出を普段しなくなったきっかけは、「あてはまるものはない」（19.7%）の割合が最も高く、具体的なきっかけとしては「職場になじめなかった」「病気」（ともに18.0%）、「妊娠した」（16.4%）となっている。

性別にみると、男性は「あてはまるものはない」(36.8%)の割合が高い。

年齢別にみると、18～24歳では「あてはまるものはない」(50.0%)、25～30歳では「妊娠した」(29.4%)、36～39歳では「病気」(33.3%)の割合が高い。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち6人が「あてはまるものはない」、3人が「職場になじめなかった」、2人が「就職活動がうまくいかなかった」、2人が「人間関係がうまくいかなかった(友人、家族など)」と回答している。

図表-114 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 外出を普段しなくなったきっかけ(単位:%)

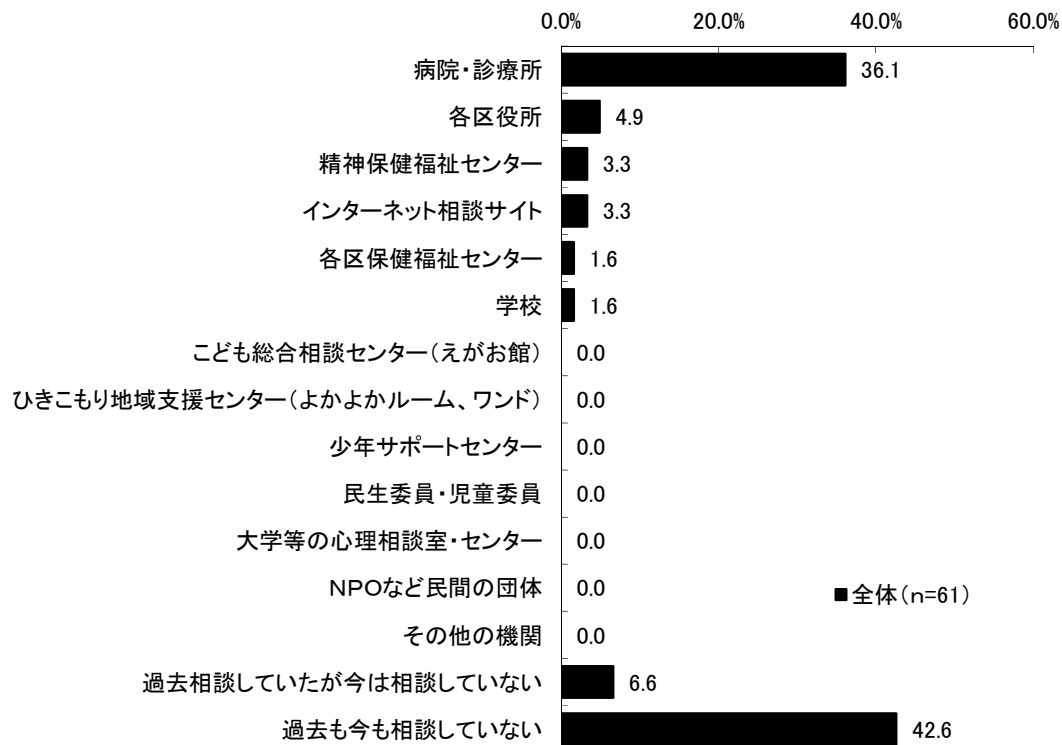
		標本数(人)	不登校(小学校・中学校・高校)	受験に失敗した	大学になじめなかった	就職活動がうまくいかなかった	職場になじめなかった	人間関係がうまくいかなかった(友人、家族など)	病気	妊娠した	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		61	4.9	1.6	-	6.6	18.0	11.5	18.0	16.4	29.5	19.7	6.6
性別	男性	19	-	-	-	10.5	21.1	5.3	26.3	-	10.5	36.8	5.3
	女性	42	7.1	2.4	-	4.8	16.7	14.3	14.3	23.8	38.1	11.9	7.1
年齢	18～24歳	8	12.5	-	-	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5	50.0	-
	25～30歳	17	11.8	5.9	-	5.9	23.5	11.8	5.9	29.4	35.3	-	17.6
	31～35歳	21	-	-	-	4.8	19.0	4.8	19.0	9.5	28.6	28.6	-
	36～39歳	15	-	-	-	13.3	13.3	20.0	33.3	20.0	33.3	13.3	6.7
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	-	-	14.3	42.9	28.6	-	-	14.3	42.9	-
	準ひきこもり	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	75.0	-
	広義のひきこもり	11	-	-	-	18.2	27.3	18.2	-	-	9.1	54.5	-
	一般群	45	6.7	2.2	-	4.4	17.8	11.1	22.2	22.2	35.6	13.3	-
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	80.0

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(6) 相談先（外出を普段しない人）

問8-1④ 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】現在の状態について以下の関係機関に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－115 相談先（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、現在の状態についての相談先をたずねたところ、「過去も今も相談していない」(42.6%)の割合が高くなっている。具体的な相談先としては、「病院・診療所」(36.1%)、各区役所(4.9%)などとなっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち8人が「過去も今も相談していない」と回答している。

図表－116 ひきこもりの状況別 相談先（外出を普段しない人）（単位：％）

		標本数（人）	病院・診療所	各区保健福祉センター	各区役所	精神保健福祉センター	こども総合相談センター（えがお館）	学校	ひきこもり地域支援センター（よかよかルーム、ワンド）	少年サポートセンター
全体		61	36.1	1.6	4.9	3.3	-	1.6	-	-
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	28.6	-	-	-	-	-	-	-
	準ひきこもり	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	広義のひきこもり	11	18.2	-	-	-	-	-	-	-
	一般群	45	42.2	2.2	6.7	4.4	-	2.2	-	-
	無回答	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-

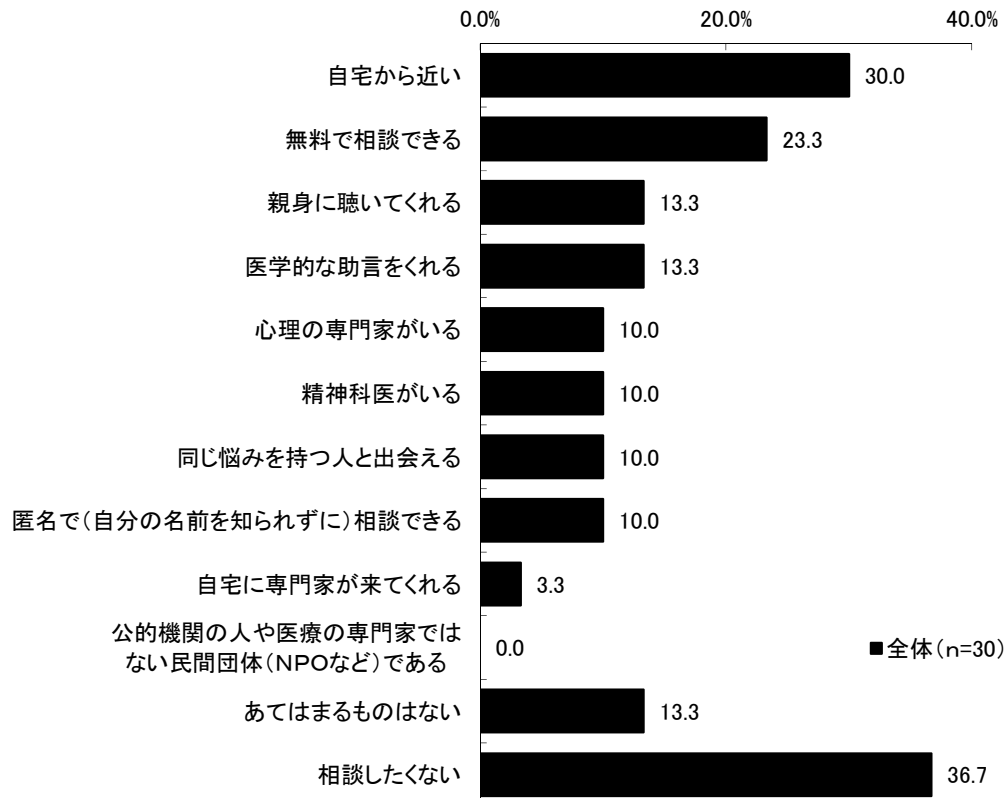
		標本数（人）	民生委員・児童委員	大学等の心理相談室・センター	NPOなど民間の団体	インターネット相談サイト	その他の機関	過去相談していたが今は相談していない	過去も今も相談していない	無回答
全体		61	-	-	-	3.3	-	6.6	42.6	8.2
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	-	-	14.3	-	-	57.1	-
	準ひきこもり	4	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	広義のひきこもり	11	-	-	-	9.1	-	-	72.7	-
	一般群	45	-	-	-	2.2	-	8.9	37.8	4.4
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	20.0	60.0

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(7) 相談したい機関（外出を普段しない人）

問8-1⑤ 【上記④で「14」または「15」を選んだ方にうかがいます。】現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－117 相談したい機関（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、相談したい機関をたずねたところ、「相談したくない」（36.7％）の割合が最も高くなっている。具体的なものとしては「自宅から近い」（30.0％）、「無料で相談できる」（23.3％）となっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される8人のうち4人が「相談したくない」と回答している。

図表－118 ひきこもりの状況別 相談したい機関（外出を普段しない人）（単位：％）

		標本数（人）	親身に聴いてくれる	医学的な助言をくれる	心理の専門家がいます	精神科医がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる	無料で相談できる
全体		30	13.3	13.3	10.0	10.0	10.0	10.0	23.3
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	4	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	準ひきこもり	4	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0
	広義のひきこもり	8	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5
	一般群	21	14.3	14.3	9.5	14.3	9.5	9.5	28.6
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-

		標本数（人）	公的機関の人や民間団体（NPOなど）である	自宅に専門家が来てくれる	自宅から近い	あてはまるものはない	相談したくない	無回答
全体		30	-	3.3	30.0	13.3	36.7	3.3
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	4	-	-	25.0	-	75.0	-
	準ひきこもり	4	-	-	25.0	25.0	25.0	-
	広義のひきこもり	8	-	-	25.0	12.5	50.0	-
	一般群	21	-	4.8	33.3	14.3	28.6	4.8
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-

(8) 相談したくない理由

問8-1⑥ 【上記⑤で「12」を選んだ方にうかがいます。】相談したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

相談したくない理由（11人）は、「その他」（6人）の回答が最も多く、内容としては「必要性を感じない」などが挙げられている。

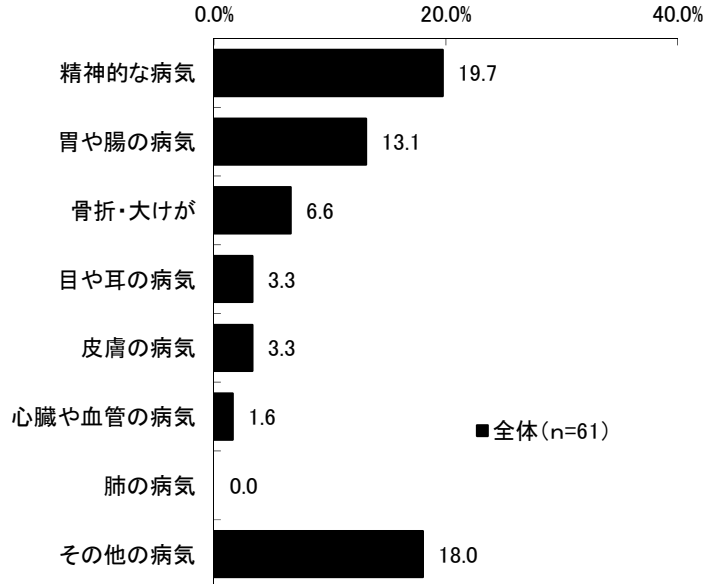
ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される4人のうち3人が「あてはまるものはない」、1人が「自分のことを知られたくないから」「何を聴かれるか不安だから」「相手にうまく話せないから」「お金がかかるから」と回答している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(9) 病気やけがの経験（外出を普段しない人）

問8-2① 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】 これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－119 病気やけがの経験（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、病気やけがの経験をたずねたところ、「精神的な病気」（19.7％）の割合が最も高く、次いで「その他の病気」（18.0％）、「胃や腸の病気」（13.1％）となっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち1人が「胃や腸の病気」、1人が「精神的な病気」、1人が「その他の病気」と回答している。

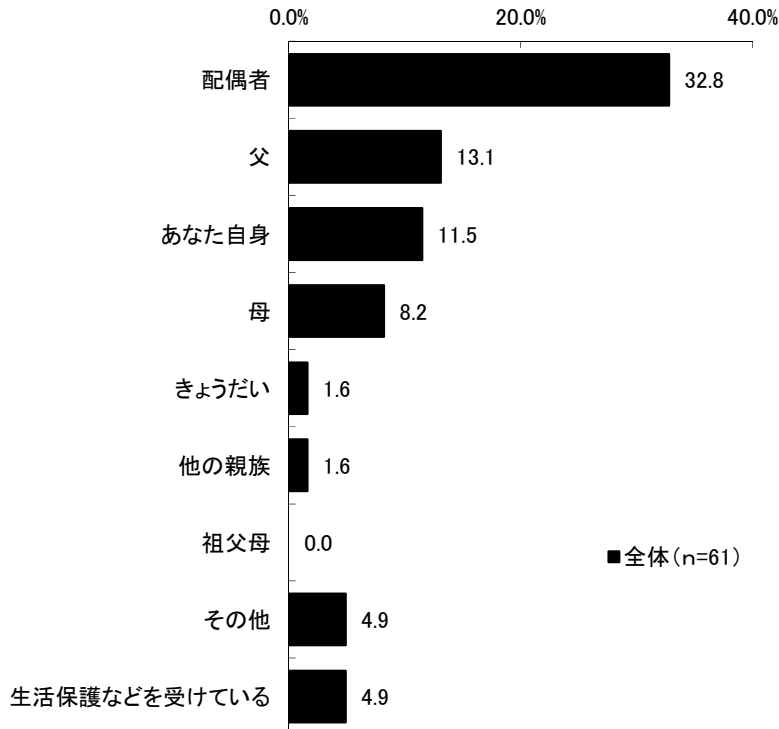
図表－120 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 病気やけがの経験（外出を普段しない人）（単位：％）

		標本数（人）	心臓や血管の病気	肺の病気	胃や腸の病気	精神的な病気	目や耳の病気	皮膚の病気	骨折・大けが	その他の病気	無回答
全体		61	1.6	-	13.1	19.7	3.3	3.3	6.6	18.0	57.4
性別	男性	19	-	-	21.1	15.8	5.3	5.3	10.5	15.8	57.9
	女性	42	2.4	-	9.5	21.4	2.4	2.4	4.8	19.0	57.1
年齢	18～24歳	8	12.5	-	-	25.0	-	-	-	37.5	62.5
	25～30歳	17	-	-	11.8	17.6	5.9	-	11.8	23.5	41.2
	31～35歳	21	-	-	9.5	14.3	-	-	9.5	4.8	76.2
	36～39歳	15	-	-	26.7	26.7	6.7	13.3	-	20.0	46.7
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	-	14.3	-	-	-	-	14.3	71.4
	準ひきこもり	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	75.0
	広義のひきこもり	11	-	-	9.1	9.1	-	-	-	9.1	72.7
	一般群	45	2.2	-	15.6	24.4	4.4	4.4	8.9	17.8	53.3
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	40.0	60.0

(10) 生計を立てている人（外出を普段しない人）

問8-2② 【問8で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担（または仕送り）している人をお答えください。（〇は1つ）

図表－121 生計を立てている人（外出を普段しない人）



外出を普段しない人に、家の生計を立てている人をたずねたところ、「配偶者」（32.8％）の割合が最も高く、次いで「父」（13.1％）、「あなた自身」（11.5％）となっている。

図表－122 性別・年齢別 生計を立てている人（外出を普段しない人）（単位：％）

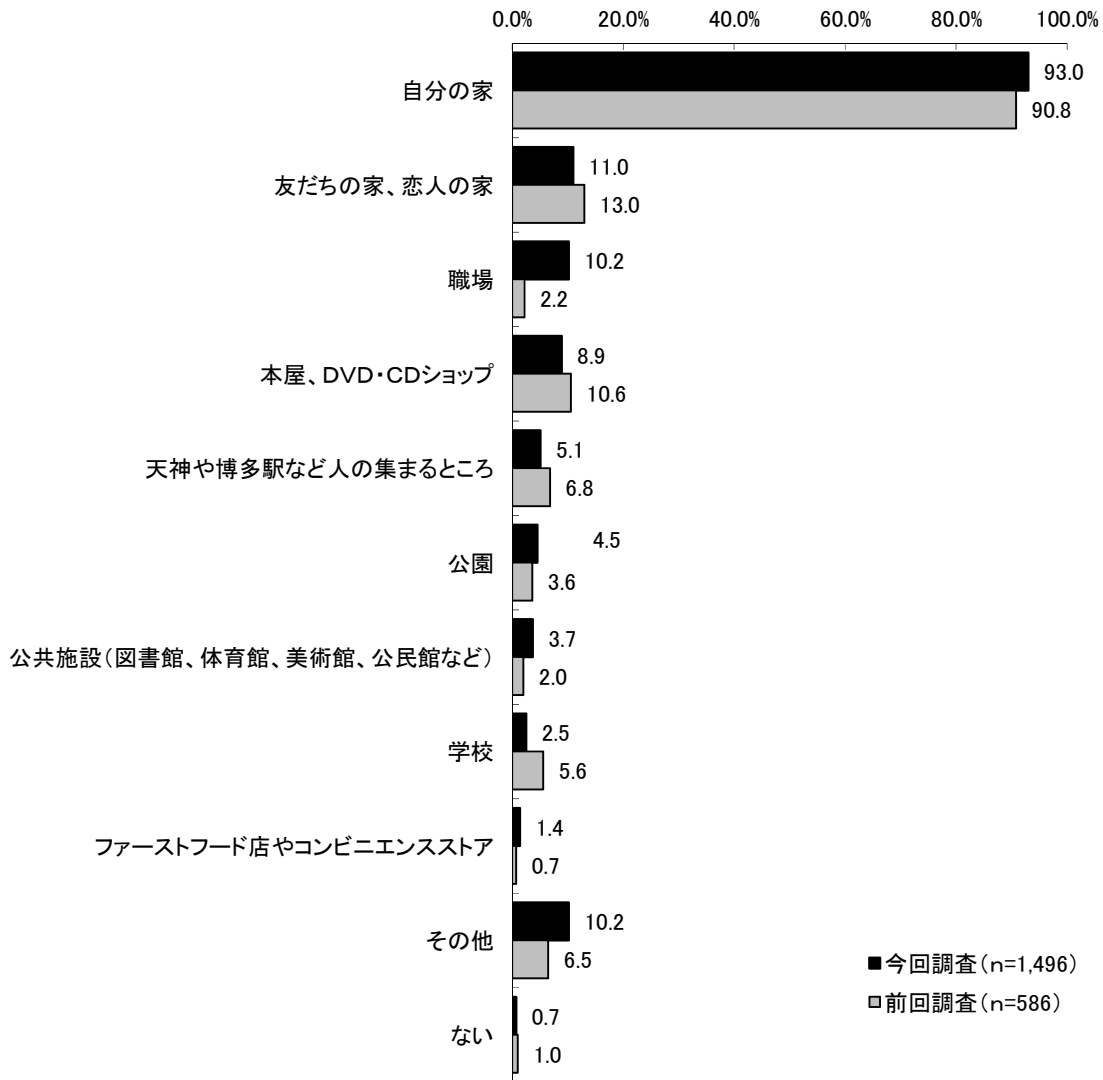
		標本数 (人)	あなた 自身	父	母	配偶 者	き ょう だ い	祖 父 母	他 の 親 族	そ の 他	生活 保 護 な ど を 受 け て い る	無 回 答
全体		61	11.5	13.1	8.2	32.8	1.6	-	1.6	4.9	4.9	21.3
性別	男性	19	15.8	21.1	5.3	5.3	5.3	-	5.3	-	10.5	31.6
	女性	42	9.5	9.5	9.5	45.2	-	-	-	7.1	2.4	16.7
年齢	18～24歳	8	-	37.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	37.5
	25～30歳	17	17.6	11.8	-	41.2	-	-	-	5.9	-	23.5
	31～35歳	21	9.5	4.8	9.5	42.9	-	-	-	4.8	-	28.6
	36～39歳	15	13.3	13.3	13.3	20.0	6.7	-	6.7	6.7	20.0	-

5. 居心地のいい場所

(1) 居心地のいい場所

問9 あなたが居心地のいい場所はどこですか。（○は2つまで）

図表－123 居心地のいい場所



居心地のいい場所は、「自分の家」(93.0%)の割合が9割以上と最も高く、次いで、「友だちの家、恋人の家」(11.0%)、「職場」(10.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「職場」の割合は約8ポイント増加している。

性別では大きな違いは見られなかった。

年齢別にみると、30歳以下では、他より「友だちの家、恋人の家」が高く、31歳以上では、他より「職場」がやや高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち9人が「自分の家」、2人が「友だちの家、恋人の家」、同じく2人が「公共施設（図書館、体育館、美術館、公民館など）」、1人が「公園」と回答している。

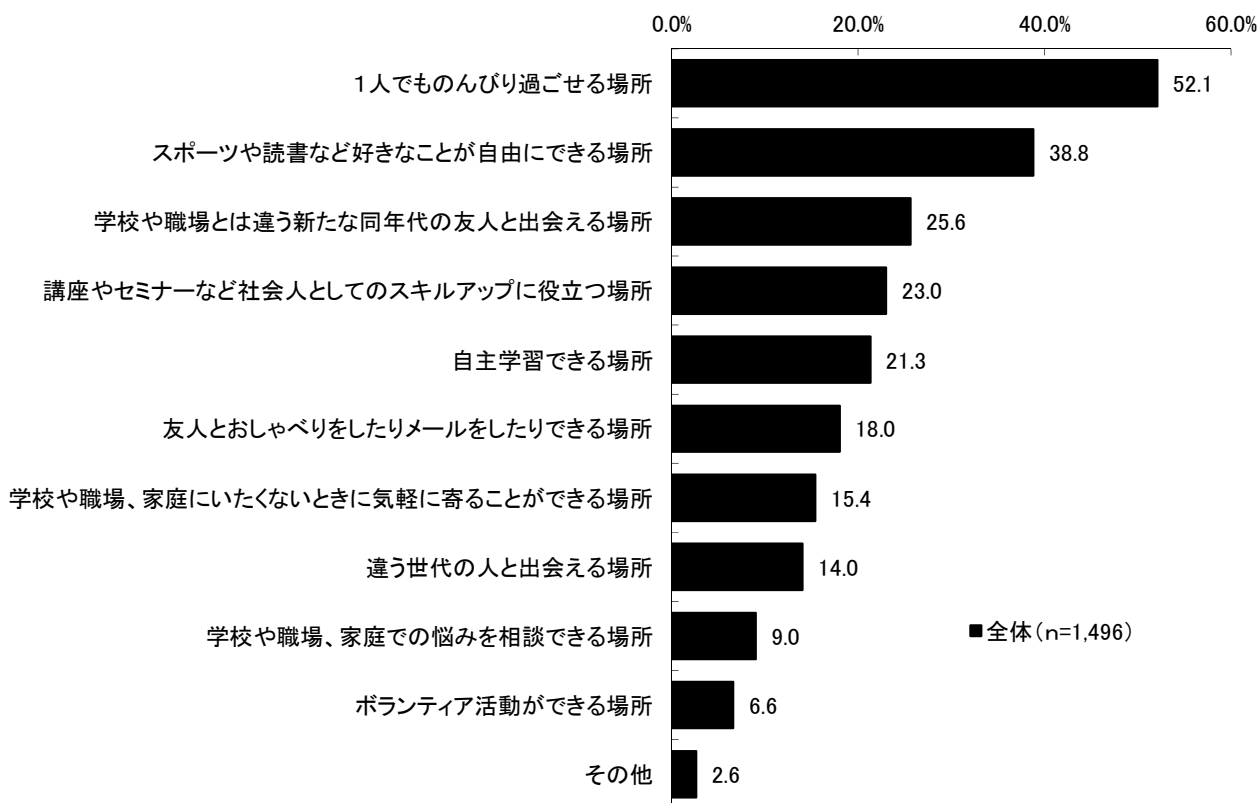
図表－124 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 居心地のいい場所（単位：％）

		標本数（人）	自分の家	友だちの家、恋人の家	職場	学校	ファーストフード店やコンビニエンスストア	公園	本屋、DVD・CDショップ	天神や博多駅など人の集まるところ	公共施設（図書館、美術館、公民館など）	その他	ない	無回答
全体		1,496	93.0	11.0	10.2	2.5	1.4	4.5	8.9	5.1	3.7	10.2	0.7	3.0
性別	男性	497	91.8	10.3	11.9	3.2	2.2	5.2	8.7	5.2	3.4	6.6	0.8	2.4
	女性	995	93.6	11.5	9.3	2.1	0.9	4.2	8.9	5.0	3.9	12.0	0.7	3.3
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	3	100.0	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
年齢	18～24歳	288	93.4	18.8	4.9	10.8	1.0	3.5	11.1	5.6	1.4	8.3	1.0	1.4
	25～30歳	400	92.3	14.5	9.3	1.0	2.0	4.5	10.3	5.5	3.8	10.8	1.3	3.5
	31～35歳	417	93.0	7.4	11.8	0.5	1.0	4.8	7.7	5.8	3.1	12.9	0.5	3.6
	36～39歳	381	93.2	5.5	13.4	-	1.3	5.2	7.1	3.4	6.3	7.9	0.3	3.1
	無回答	10	100.0	10.0	10.0	-	10.0	-	10.0	20.0	-	10.0	-	-
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	71.4	14.3	-	-	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-
	準ひきこもり	4	100.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
	広義のひきこもり	11	81.8	18.2	-	-	-	9.1	-	-	18.2	-	-	-
	一般群	1,453	93.0	10.9	10.3	2.5	1.4	4.6	9.2	5.1	3.6	10.2	0.8	3.1
	無回答	32	96.9	12.5	9.4	3.1	-	-	-	9.4	3.1	12.5	-	-

(2) あればいいと思う場所

問9-1 問9の選択肢以外で、あればいいと思う場所はどんな場所ですか。（あてはまるものすべてに○）

図表－125 あればいいと思う場所



あればいいと思う場所は、「1人でものんびり過ごせる場所」(52.1%)の割合が最も高く、次いで「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」(38.8%)、「学校や職場とは違う新たな年代の友人と出会える場所」(25.6%)、「講座やセミナーなど社会人としてのスキルアップに役立つ場所」(23.0%)、「自主学習できる場所」(21.3%)となっている。

性別にみると、男性は女性に比べて「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（46.9％）の割合が高く、女性は男性に比べて「友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所」（21.6％）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、30歳以下では、他より「1人でものんびり過ごせる場所」の割合がやや高く、5割を超えている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち6人が「1人でものんびり過ごせる場所」、3人が「自主学習できる場所」、1人が「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」、1人が「友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所」、1人が「違う世代の人と出会える場所」と回答している。

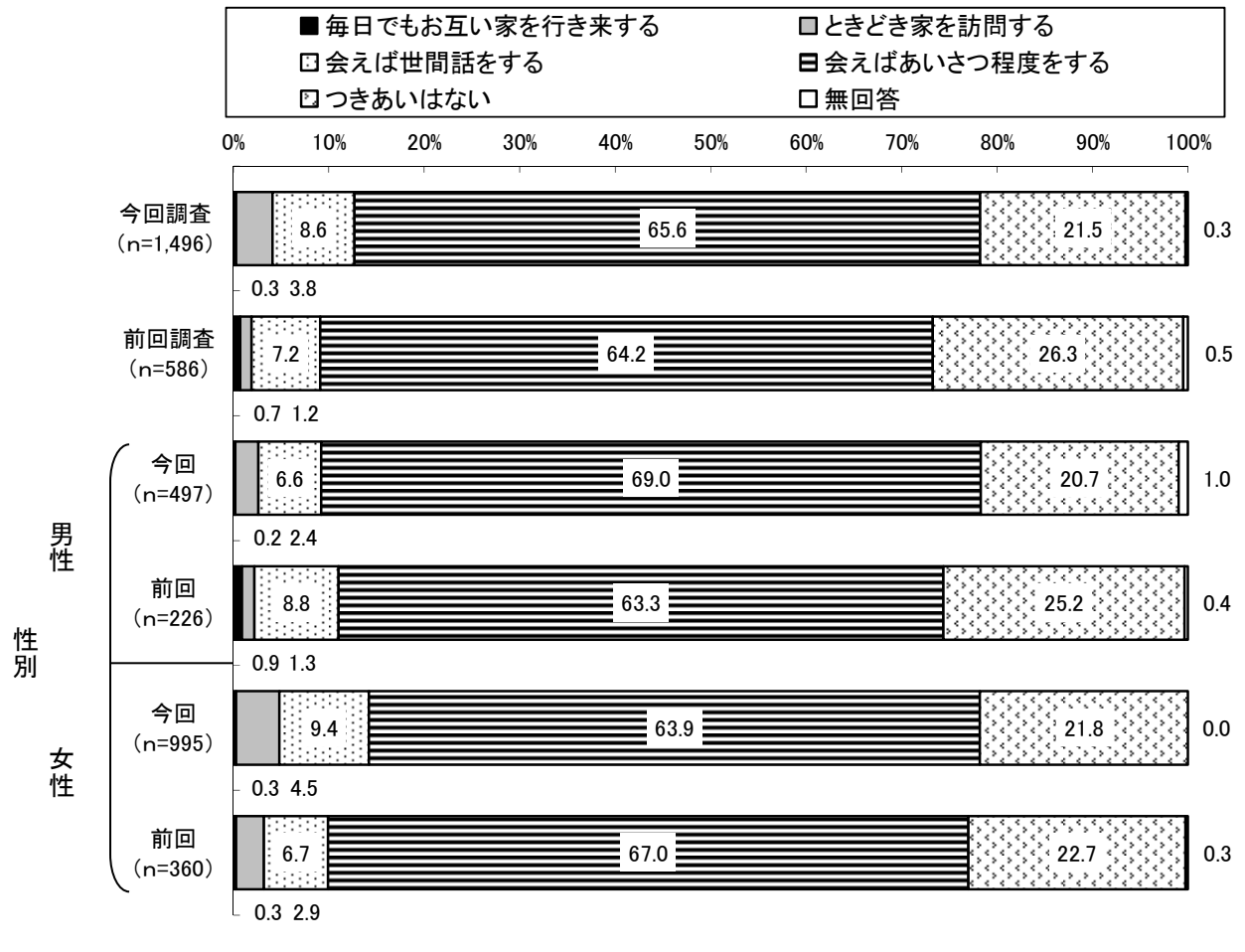
図表－126 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 あればいいと思う場所（単位：％）

	標本数（人）	自主学習できる場所	人に役立つ場所	講座やセミナーなど社会的役割としてのスキルアップ	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所	ボランティア活動ができる場所	な同年代の友人と出会う新たな場所	学校や職場とは違う新しい場所	違う世代の人と出会える場所	1人でものんびり過ごせる場所	学校や職場、家庭での悩みを相談できる場所	くなく職場、家庭に気軽にできる場所	学校や職場、家庭にいた	その他	無回答
全体	1,496	21.3	23.0	38.8	18.0	6.6	25.6	14.0	52.1	9.0	15.4	2.6	10.6			
性別	男性	497	24.7	20.3	46.9	10.9	6.2	21.9	13.3	49.3	7.8	12.1	2.8	11.5		
	女性	995	19.6	24.3	34.8	21.6	6.8	27.4	14.3	53.7	9.5	17.0	2.5	9.9		
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3		
年齢	18～24歳	288	27.1	11.1	41.0	26.7	8.3	25.7	13.2	56.3	7.3	16.3	0.7	10.8		
	25～30歳	400	20.8	23.0	40.3	16.8	6.0	30.8	14.8	55.3	10.0	17.0	3.5	9.8		
	31～35歳	417	20.1	29.7	39.6	15.6	6.2	24.2	14.1	49.2	8.4	14.4	3.6	10.3		
	36～39歳	381	18.1	24.4	34.9	15.5	6.6	21.8	13.4	48.6	9.4	14.2	2.1	11.5		
	無回答	10	40.0	30.0	30.0	20.0	-	20.0	20.0	70.0	30.0	10.0	-	10.0		
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	14.3	-	-	14.3	-	-	-	57.1	-	-	-	14.3		
	準ひきこもり	4	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-	-	25.0		
	広義のひきこもり	11	27.3	-	9.1	9.1	-	-	9.1	54.5	-	-	-	18.2		
	一般群	1,453	21.1	23.4	39.0	18.2	6.6	25.9	14.0	52.6	9.0	15.7	2.6	10.1		
	無回答	32	25.0	12.5	37.5	12.5	9.4	21.9	12.5	31.3	12.5	6.3	3.1	28.1		

6. 近所づきあいの程度

問10 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。（○は1つ）

図表－127 近所づきあいの程度



近所づきあいの状況について、全体では「会えばあいさつ程度する」（65.6％）の割合が最も高く、次いで、「つきあいはない」（21.5％）、「会えば世間話する」（8.6％）となっている。前回調査と比較すると、「つきあいはない」の割合が約5ポイント減少している。性別にみると、女性は男性より「会えば世間話する」（9.4％）の割合がやや高い。年齢別にみると、30歳以下では、他に比べて「つきあいはない」の割合が高い。

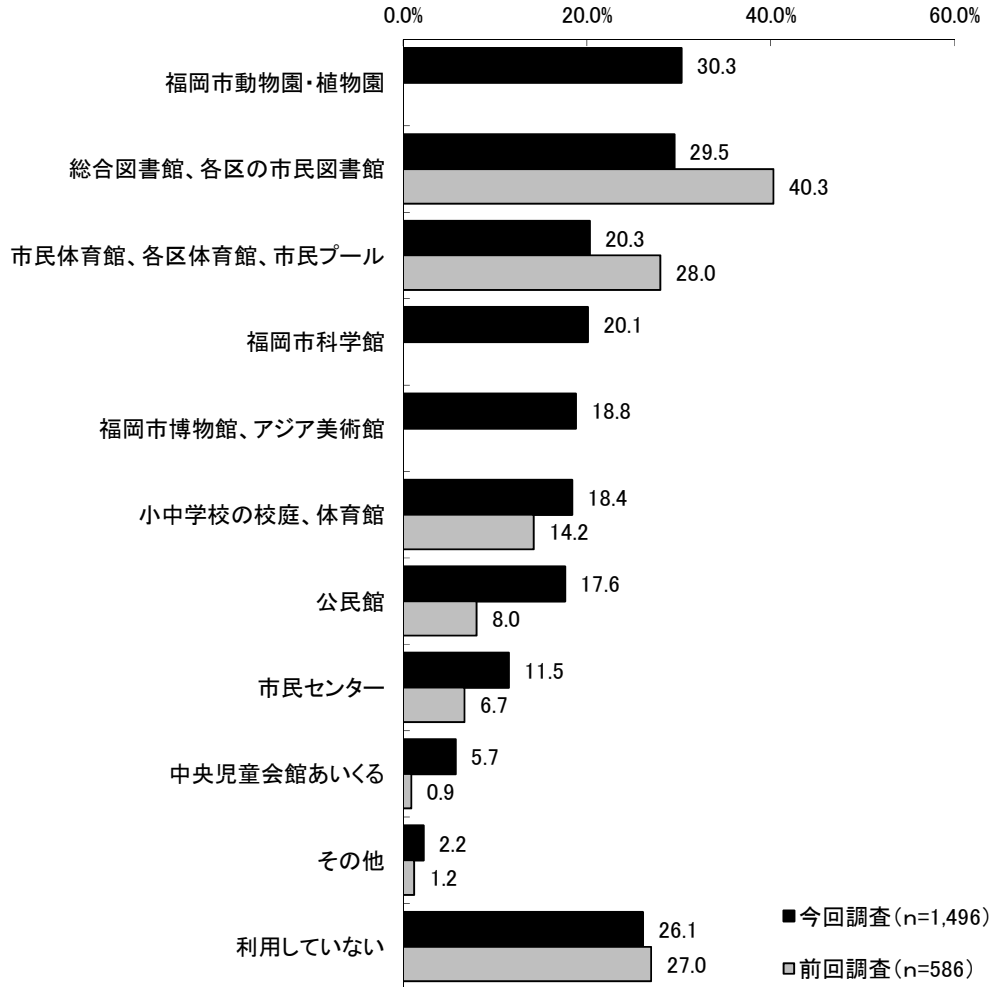
図表－128 年齢別 近所づきあいの程度（単位：％）

年齢	標本数（人）	毎日でもお互い家を行き来する	ときどき家を訪問する	会えば世間話をする	会えばあいさつ程度をする	つきあいはない	無回答
全体	1,496	0.3	3.8	8.6	65.6	21.5	0.3
18～24歳	288	0.7	1.4	5.2	68.8	23.6	0.3
25～30歳	400	-	1.8	6.5	63.0	28.5	0.3
31～35歳	417	0.5	4.6	8.6	67.4	18.5	0.5
36～39歳	381	-	7.1	13.4	63.5	15.7	0.3
無回答	10	-	-	-	80.0	20.0	-

7. 利用した公共施設

問11 あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

図表－129 利用した公共施設



※「福岡市科学館」「福岡市動物園・植物園」「福岡市博物館・アジア美術館」は今回調査で新規で追加された項目

過去1年間に利用した公共施設は、「福岡市動物園・植物園」(30.3%)の割合が最も高く、次いで「総合図書館、各区の市民図書館」(29.5%)、「市民体育館、各区体育館、市民プール」(20.3%)となっている。「利用していない」の割合は26.1%となっている。

前回調査と比較すると、「総合図書館、各区の市民図書館」の割合は約11ポイント、「市民体育館、各区体育館、市民プール」の割合は約8ポイント減少している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

性別にみると、男性は女性に比べて「利用していない」（31.4％）の割合が高い。

年齢別にみると、36～39歳では、他に比べて「公民館」（28.9％）、「小中学校の校庭、体育館」（32.3％）の割合が高くなっている。

図表－130 性別・年齢別 利用した公共施設（単位：％）

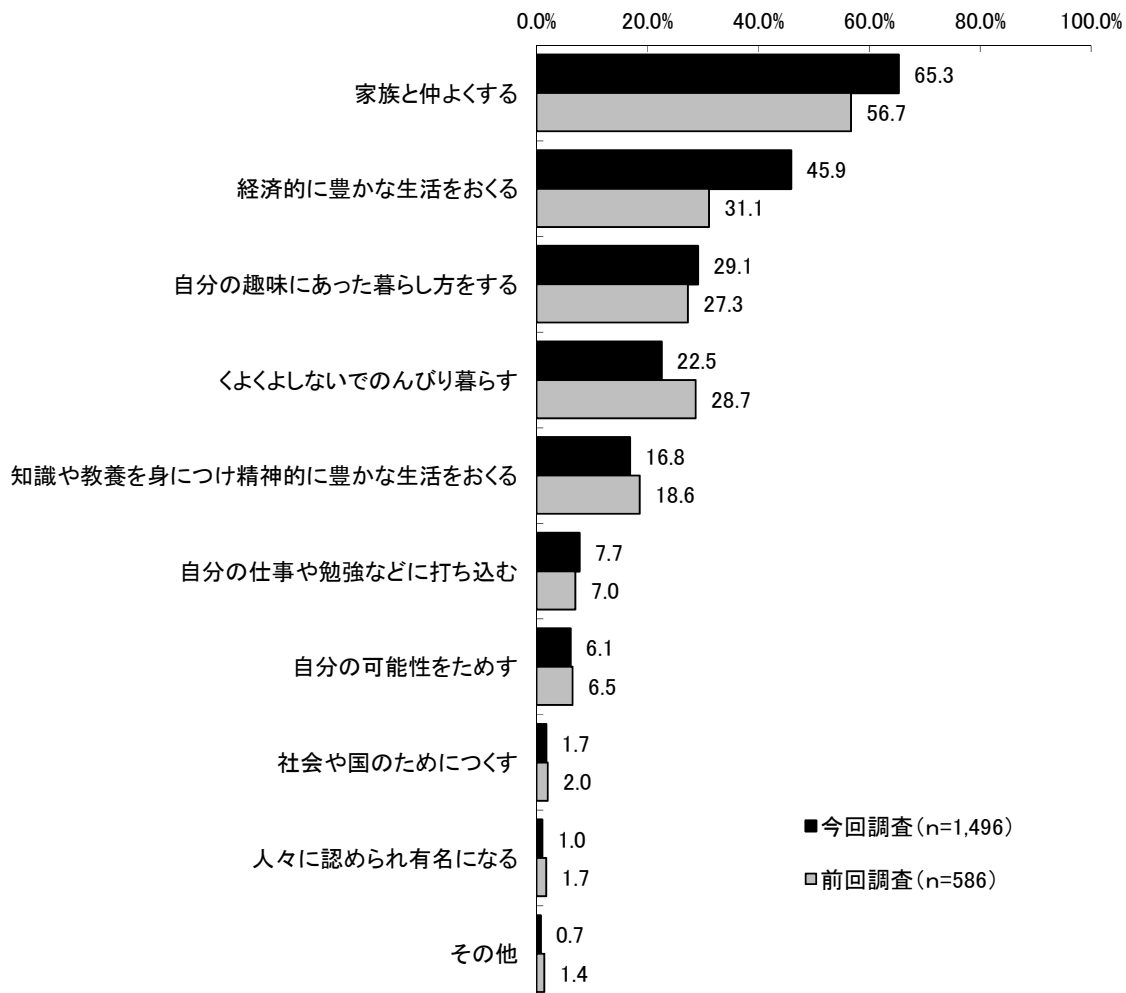
		標本数（人）	公民館	市民センター	総合図書館、各区の市民図書館	市民体育館、市民プール	小中学校の校庭、体育館	福岡市動物園・植物園	福岡市博物館、アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館	その他	利用していない	無回答
全体		1,496	17.6	11.5	29.5	20.3	18.4	30.3	18.8	5.7	20.1	2.2	26.1	2.1
性別	男性	497	10.7	8.7	24.5	22.9	16.7	23.9	14.9	3.8	14.9	2.2	31.4	3.8
	女性	995	21.1	13.0	32.0	19.0	19.4	33.6	20.8	6.7	22.6	2.2	23.4	1.3
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-
年齢	18～24歳	288	9.0	10.8	29.9	20.8	12.2	15.3	12.8	1.7	13.9	2.1	33.3	1.7
	25～30歳	400	10.5	6.8	22.8	14.8	7.8	27.0	18.8	4.8	16.0	1.5	32.3	3.8
	31～35歳	417	20.1	14.1	29.3	21.3	20.6	36.5	21.6	8.9	20.9	3.4	20.9	1.9
	36～39歳	381	28.9	13.9	36.0	24.4	32.3	38.8	20.5	6.6	27.8	1.8	19.9	1.0
	無回答	10	20.0	20.0	50.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	30.0	-	30.0	-

第3章 生活意識と環境

1. 暮らし方の希望

問12 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は2つまで)

図表-131 暮らし方の希望



暮らし方の希望としては、「家族と仲良くする」(65.3%)の割合が最も高く、次いで「経済的に豊かな生活をおくる」(45.9%)、「自分の趣味にあった暮らし方をする」(29.1%)、「くよくよしないでのんびり暮らす」(22.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「家族と仲良くする」の割合は約9ポイント、「経済的に豊かな生活をおくる」の割合は約15ポイント増加している。一方で「くよくよしないでのんびり暮らす」は約6ポイント減少している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

性別にみると、男性は女性に比べて「自分の趣味にあった暮らし方をする」（32.6%）や「経済的に豊かな生活をおくる」（50.5%）の割合が高く、女性は男性に比べて「家族と仲良くする」（68.9%）、「くよくよしないでのんびり暮らす」（24.8%）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、31歳以上では、他に比べて「家族と仲良くする」の割合が高く、30歳以下では、他に比べて「自分の趣味にあった暮らし方をする」の割合が高くなっている。

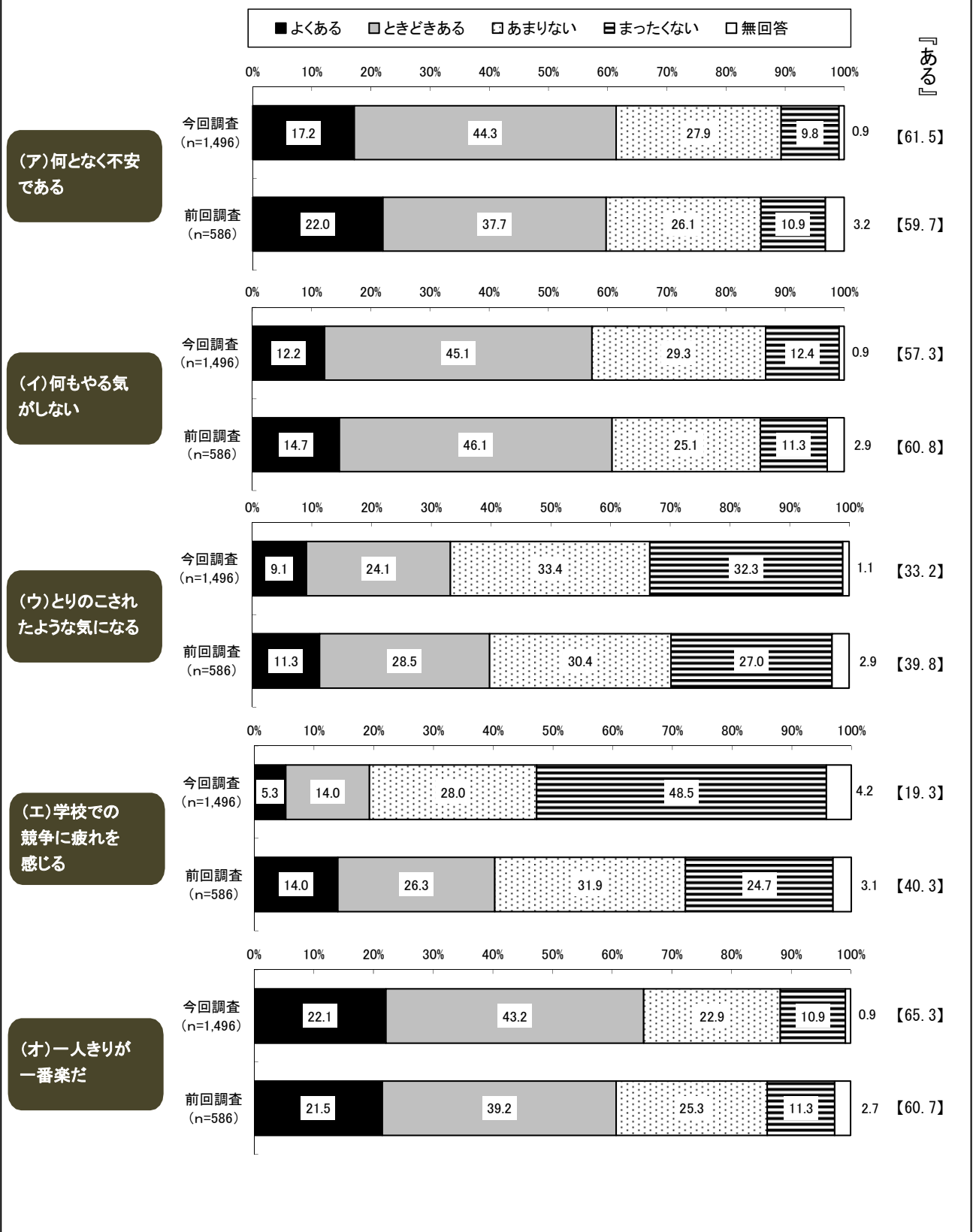
図表－132 性別・年齢別 暮らし方の希望（単位：%）

		標本数（人）	家族と仲良くする	くよくよしないでのんびり暮らす	自分の仕事や勉強などに打ち込む	社会や国のためにつくす	自分の趣味にあった暮らし方をする	知識や教養を身につけ精神的に豊かな生活をおくる	経済的に豊かな生活をおくる	自分の可能性をためす	人々に認められ有名になる	その他	無回答
全体		1,496	65.3	22.5	7.7	1.7	29.1	16.8	45.9	6.1	1.0	0.7	0.5
性別	男性	497	57.9	18.1	10.3	2.2	32.6	14.1	50.5	8.0	1.8	1.0	1.0
	女性	995	68.9	24.8	6.4	1.4	27.2	18.1	43.6	5.1	0.6	0.6	0.3
	その他	1	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	3	100.0	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-
年齢	18～24歳	288	50.7	24.0	10.4	1.4	38.5	14.2	44.4	7.3	1.7	-	0.3
	25～30歳	400	61.0	23.0	6.3	1.8	33.0	17.3	46.0	7.0	1.0	1.3	0.5
	31～35歳	417	72.7	18.2	8.4	1.2	24.5	18.5	48.2	5.5	1.4	1.0	0.7
	36～39歳	381	72.7	26.0	6.0	2.4	23.1	16.0	44.6	5.0	-	0.5	0.3
	無回答	10	70.0	10.0	20.0	-	20.0	30.0	30.0	-	-	-	10.0

2. 無気力感や気分の減退

問13 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください

図表-133 無気力感や気分の減退



Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

無気力感や気分の減退について、『ある』（「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合）の割合をみると、

「(ア) 何となく不安である」は、61.5%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「(イ) 何もやる気がしない」は、57.3%であり、前回調査からやや減少している。

「(ウ) とりのこされたような気になる」は、33.2%であり、前回調査から約7ポイント減少している。

「(エ) 学校での競争に疲れを感じる」は、19.3%であり、前回調査から約20ポイント減少している。

「(オ) 一人きりが一番楽だ」は、65.3%であり、前回調査から約5ポイント増加している。

性別にみると、「(ア) 何となく不安である」「(イ) 何もやる気がしない」「(ウ) とりのこされたような気になる」は、女性は男性に比べて『ある』の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「(イ) 何もやる気がしない」の『ある』の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向にある。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち10人(90.9%)が「(イ) 何もやる気がしない」気持ちが『ある』(よくある18.2%、ときどきある72.7%)、8人(72.8%)が「(ア) 何となく不安である」気持ちが『ある』(よくある36.4%、ときどきある36.4%)、6人(54.6%)が「(ウ) とりのこされたような気になる」気持ちが『ある』(よくある36.4%、ときどきある18.2%)と回答している。

現在の就業状況別に『ある』の割合をみると、「(ア) 何となく不安である」は、派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者と無職の者で高く、「(イ) 何もやる気がしない」は、学生や無職の者でやや高く、「(ウ) とりのこされたような気になる」はその他の仕事と無職の者で高く、「(エ) 学校での競争に疲れを感じる」は、学生や派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者で高くなっている。

図表-134 性別・年齢別・ひきこもりの状況別・就業状況別
無気力感や気分の減退(『ある』の割合)(単位: %)

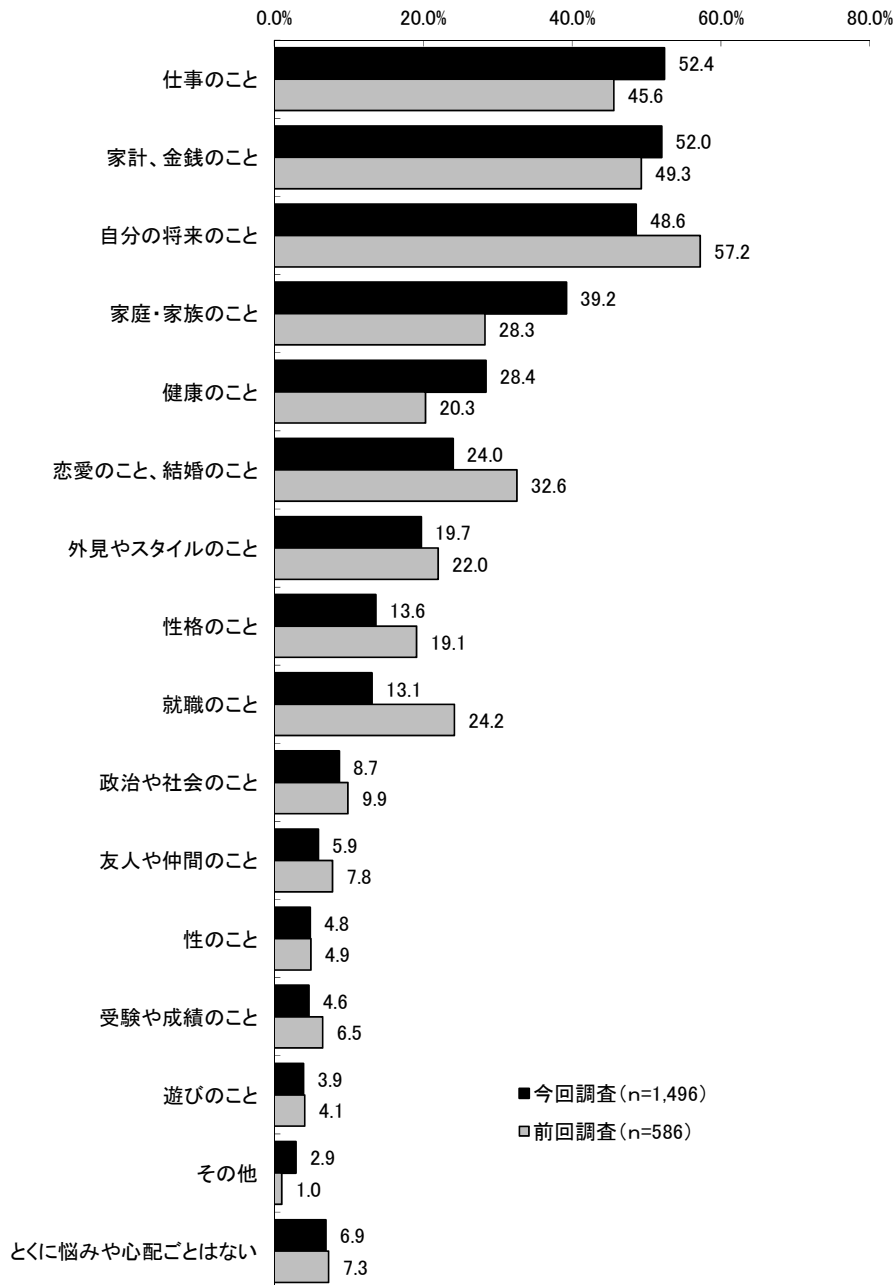
		標本数(人)	る(ア) 何となく不安である	い(イ) 何もやる気がしない	う(ウ) とりのこされたような気になる	れ(エ) 学校での競争に疲れを感じる	だ(オ) 一人きりが一番楽
全体		1,496	61.5	57.3	33.2	19.3	65.3
性別	男性	497	57.3	50.9	31.6	22.1	65.4
	女性	995	63.5	60.5	33.9	18.0	65.2
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	66.6	66.7	66.7	0.0	33.3
年齢	18~24歳	288	63.2	66.4	33.7	24.7	66.6
	25~30歳	400	63.8	59.8	37.1	17.8	64.5
	31~35歳	417	60.9	54.7	30.2	19.1	66.7
	36~39歳	381	58.5	51.5	32.1	17.3	63.3
	無回答	10	60.0	40.0	40.0	10.0	70.0
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	71.4	85.7	57.2	28.6	71.5
	準ひきこもり	4	-	-	50.0	-	75.0
	広義のひきこもり	11	72.8	90.9	54.6	18.2	72.8
	一般群	1,453	61.8	57.7	33.3	19.3	65.6
	無回答	32	40.6	34.4	25.0	18.7	46.9
現在の就業状況	働いている(正社員)	701	56.6	54.4	30.3	20.4	66.5
	働いている(契約社員、派遣社員)	141	75.2	61.7	39.7	20.6	65.9
	働いている(パート・アルバイト(学生のアルバイト除く))	229	62.0	55.0	34.5	15.3	66.3
	自営業・自由業	46	58.7	54.3	32.6	8.6	67.4
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	58.9	62.2	35.9	9.6	61.6
	学生(予備校生、浪人含む)	127	65.3	67.8	29.9	31.5	62.2
	その他の仕事	9	77.7	55.5	66.6	11.1	44.4
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	93.4	66.7	40.0	33.3	66.7
	無職	54	85.1	68.5	51.8	27.8	74.1
	無回答	18	33.4	22.3	5.6	11.1	27.8

3. 悩みや心配ごとの相談相手

(1) 悩みや心配ごと

問14 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－135 悩みや心配ごと



悩みや心配ごとは、「仕事のこと」（52.4％）の割合が最も高く、次いで「家計、金銭のこと」（52.0％）、「自分の将来のこと」（48.6％）、「家庭・家族のこと」（39.2％）となっている。

前回調査と比較すると、「仕事のこと」の割合は約7ポイント、「家庭・家族のこと」の割合は約11ポイント増加し、「自分の将来のこと」の割合は約9ポイント減少している。

性別にみると、男性は女性に比べて「仕事のこと」(56.1%)の割合が高く、女性は男性に比べ「家庭・家族のこと」(42.9%)、「家計・金銭のこと」(55.1%)、「外見やスタイルのこと」(25.4%)の割合が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では、「受験や成績のこと」(14.9%)、「就職のこと」(32.6%)の割合が高く、25～30歳では、「恋愛のこと、結婚のこと」(35.3%)の割合が高くなっている。

図表－136 性別・年齢別 悩みや心配ごと (単位：%)

		標本数(人)	仕事のこと	受験や成績のこと	就職のこと	自分の将来のこと	家庭・家族のこと	友人や仲間のこと	恋愛のこと、結婚のこと	家計、金銭のこと	遊びのこと
全体		1,496	52.4	4.6	13.1	48.6	39.2	5.9	24.0	52.0	3.9
性別	男性	497	56.1	4.6	11.9	48.5	31.6	4.8	20.3	45.9	5.8
	女性	995	50.6	4.5	13.8	48.6	42.9	6.5	25.8	55.1	3.0
	その他	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-
年齢	18～24歳	288	41.0	14.9	32.6	58.3	18.4	7.6	32.6	43.1	5.6
	25～30歳	400	61.0	1.3	12.5	55.5	39.3	7.0	35.3	54.5	4.8
	31～35歳	417	55.6	2.6	6.0	38.1	46.8	5.0	17.7	53.5	3.1
	36～39歳	381	48.8	2.6	6.8	45.7	47.2	4.7	12.3	54.6	2.9
	無回答	10	40.0	-	10.0	40.0	20.0	-	30.0	50.0	-

		標本数(人)	性格のこと	健康のこと	性的なこと	外見やスタイルのこと	政治や社会のこと	その他	とくに悩みや心配ごとはない	無回答
全体		1,496	13.6	28.4	4.8	19.7	8.7	2.9	6.9	0.7
性別	男性	497	11.1	28.6	5.4	8.2	9.7	1.2	9.1	1.0
	女性	995	14.9	28.4	4.4	25.4	8.2	3.8	5.7	0.5
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
年齢	18～24歳	288	16.3	20.8	4.9	24.0	4.5	1.4	5.6	0.3
	25～30歳	400	18.8	25.5	5.3	22.8	9.8	2.3	7.8	0.5
	31～35歳	417	8.9	31.2	5.8	15.1	11.3	4.1	6.2	1.0
	36～39歳	381	11.5	34.1	3.4	18.6	8.1	3.7	7.3	0.5
	無回答	10	10.0	30.0	-	-	-	-	20.0	10.0

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち5人が「自分の将来のこと」、4人が「仕事のこと」、4人が「就職のこと」、4人が「家計、金銭のこと」と回答している。

現在の就業状況別にみると、無職の者は、「自分の将来のこと」（63.0%）と「就職のこと」（50.0%）の割合が高くなっている。

図表－137 ひきこもりの状況別・就業状況別 悩みや心配ごと（単位：%）

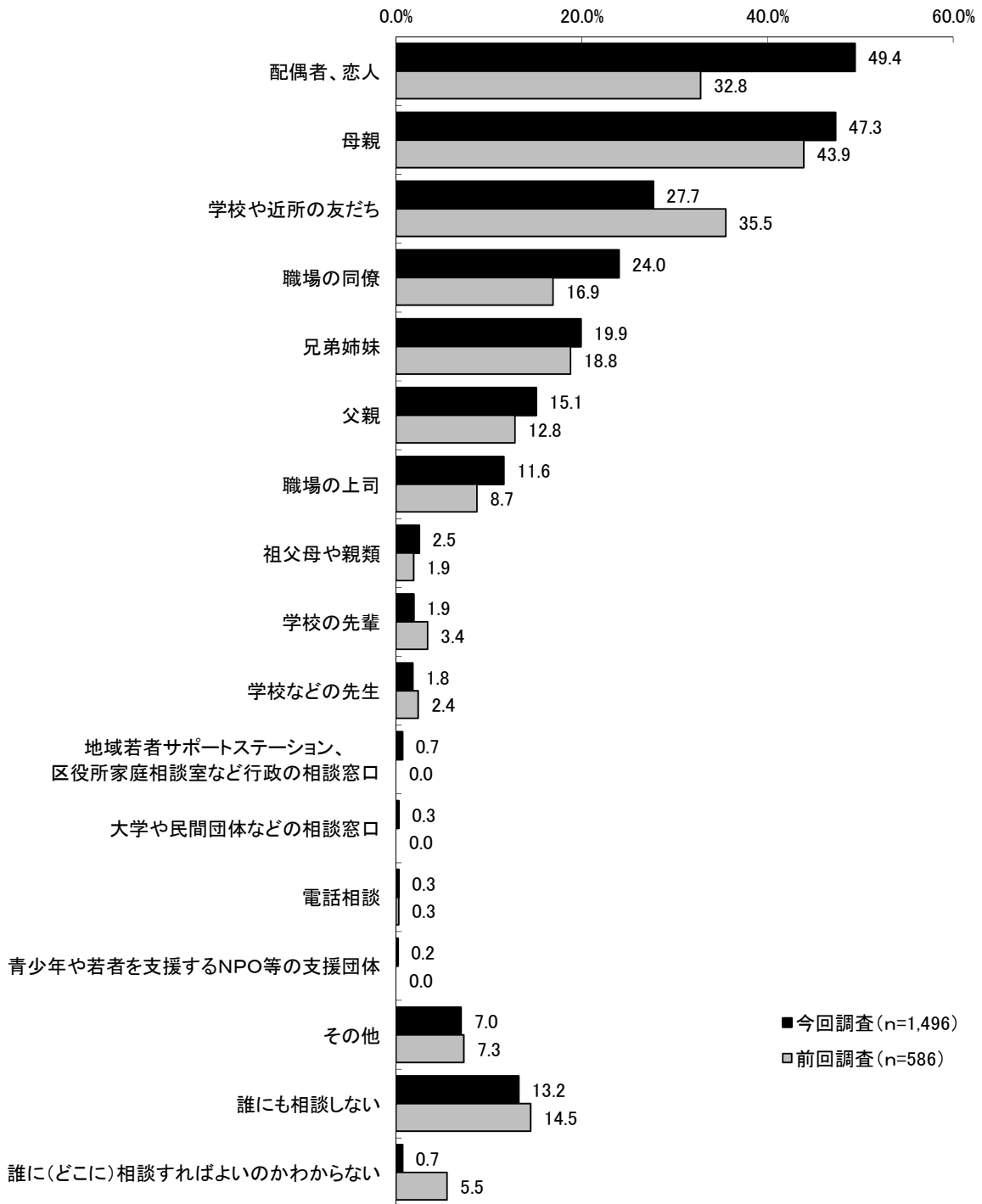
		標本数（人）	仕事のこと	受験や成績のこと	就職のこと	自分の将来のこと	家庭・家族のこと	友人や仲間のこと	恋愛のこと、結婚のこと	家計、金銭のこと	遊びのこと
全体		1,496	52.4	4.6	13.1	48.6	39.2	5.9	24.0	52.0	3.9
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	28.6	14.3	42.9	57.1	28.6	-	14.3	42.9	-
	準ひきこもり	4	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-
	広義のひきこもり	11	36.4	9.1	36.4	45.5	27.3	-	9.1	36.4	-
	一般群	1,453	53.1	4.4	12.7	48.8	39.8	5.8	24.1	52.5	4.0
	無回答	32	28.1	12.5	21.9	40.6	15.6	12.5	25.0	34.4	3.1
現在の就業状況	働いている（正社員）	701	67.3	2.9	2.1	46.9	38.9	4.3	28.4	47.2	4.1
	働いている（契約社員、派遣社員）	141	57.4	0.7	12.8	63.1	41.8	4.3	34.0	59.6	4.3
	働いている（パート・アルバイト（学生のアルバイト除く））	229	46.3	2.6	14.4	47.2	45.4	5.7	21.0	68.1	2.6
	自営業・自由業	46	50.0	-	2.2	39.1	43.5	6.5	15.2	54.3	8.7
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	20.5	1.3	14.7	32.7	56.4	7.7	2.6	59.6	1.9
	学生（予備校生、浪人含む）	127	18.1	29.1	54.3	63.8	10.2	8.7	22.0	30.7	5.5
	その他の仕事	9	44.4	-	22.2	33.3	33.3	-	33.3	33.3	11.1
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	66.7	-	33.3	53.3	46.7	20.0	46.7	66.7	-
	無職	54	57.4	1.9	50.0	63.0	35.2	14.8	22.2	57.4	5.6
	無回答	18	11.1	11.1	16.7	33.3	5.6	16.7	16.7	33.3	-

		標本数（人）	性格のこと	健康のこと	性のこと	外見やスタイルのこと	政治や社会のこと	その他	とにかく悩みや心配ごとは	無回答
全体		1,496	13.6	28.4	4.8	19.7	8.7	2.9	6.9	0.7
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-
	準ひきこもり	4	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	広義のひきこもり	11	-	-	9.1	9.1	-	-	18.2	-
	一般群	1,453	13.9	28.9	4.9	20.0	8.8	3.0	6.6	0.5
	無回答	32	6.3	15.6	-	9.4	6.3	-	15.6	9.4
現在の就業状況	働いている（正社員）	701	12.7	27.5	4.3	16.7	9.0	1.7	7.6	0.6
	働いている（契約社員、派遣社員）	141	17.7	31.9	7.8	25.5	11.3	4.3	3.5	-
	働いている（パート・アルバイト（学生のアルバイト除く））	229	16.6	30.1	4.8	22.7	7.9	1.7	6.1	0.9
	自営業・自由業	46	10.9	43.5	13.0	21.7	15.2	4.3	8.7	2.2
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	9.0	30.8	1.9	16.0	5.8	10.3	9.6	-
	学生（予備校生、浪人含む）	127	15.7	21.3	3.9	23.6	6.3	1.6	4.7	-
	その他の仕事	9	-	22.2	11.1	44.4	11.1	-	22.2	-
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	13.3	26.7	-	33.3	6.7	-	-	-
	無職	54	20.4	29.6	9.3	27.8	13.0	3.7	1.9	-
	無回答	18	-	5.6	-	-	-	-	16.7	16.7

(2) 悩みや心配ごとの相談相手

問15 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－138 悩みや心配ごとの相談相手



悩みや心配ごとの相談相手は、「配偶者・恋人」（49.4％）の割合が最も高く、次いで「母親」（47.3％）、「学校や近所の友だち」（27.7％）、「職場の同僚」（24.0％）となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者・恋人」の割合は約17ポイント、「職場の同僚」は約7ポイント増加し、「学校や近所の友だち」の割合は約8ポイント減少している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

性別にみると、男性は女性に比べて「誰にも相談しない」（19.9%）の割合が高く、女性は男性に比べて「母親」（55.9%）、「配偶者、恋人」（53.2%）、「兄弟姉妹」（24.6%）、「学校や近所の友だち」（32.3%）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では「学校や近所の友だち」（41.3%）の割合が高く、36～39歳では「配偶者、恋人」（61.9%）の割合が高くなっている。

図表－139 性別・年齢別 悩みや心配ごとの相談相手（単位：%）

		標本数（人）	父親	母親	配偶者、恋人	兄弟姉妹	祖父母や親類	職場の上司	職場の同僚	学校の先輩	学校や近所の友だち
全体		1,496	15.1	47.3	49.4	19.9	2.5	11.6	24.0	1.9	27.7
性別	男性	497	16.7	30.0	41.6	10.5	1.4	14.5	23.1	2.4	18.5
	女性	995	14.4	55.9	53.2	24.6	3.0	10.2	24.5	1.6	32.3
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	3	-	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3
年齢	18～24歳	288	17.4	51.7	26.7	17.7	3.1	9.7	14.9	5.9	41.3
	25～30歳	400	16.8	49.5	45.3	20.8	3.5	12.8	25.3	1.3	29.5
	31～35歳	417	15.8	49.2	57.6	21.3	2.6	13.9	27.8	0.7	23.0
	36～39歳	381	11.0	38.6	61.9	18.6	0.8	9.2	25.7	0.8	20.2
	無回答	10	10.0	80.0	50.0	40.0	-	10.0	10.0	-	40.0

		標本数（人）	学校などの先生	NPO等や若者支援する団体	青少年や若者の相談窓口	地域若者サポートステーション、行政区役所、家庭相談	大学や民間団体などの相談窓口	電話相談	その他	誰にも相談しない	誰に（どこに）相談すればいいのかから相談すれ	無回答
全体		1,496	1.8	0.2	0.7	0.3	0.3	7.0	13.2	0.7	1.1	
性別	男性	497	1.4	0.6	0.2	0.2	-	3.0	19.9	1.0	1.6	
	女性	995	2.0	-	0.9	0.4	0.5	8.9	9.8	0.6	0.8	
	その他	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢	18～24歳	288	3.1	-	0.3	1.0	0.3	5.6	14.6	1.7	1.0	
	25～30歳	400	1.8	-	0.3	-	-	6.5	12.8	0.3	1.0	
	31～35歳	417	1.9	0.5	1.4	0.2	-	8.2	11.8	0.5	1.7	
	36～39歳	381	0.8	0.3	0.5	0.3	1.0	7.6	14.4	0.8	0.5	
	無回答	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち7人（63.6%）が「誰にも相談しない」と回答している。

現在の就業状況別にみると、派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者や無職の者は他に比べて、「誰にも相談しない」（派遣会社などに登録しているが現在は働いていない：26.7%、無職：27.8%）の割合が高くなっている。

図表－140 ひきこもりの状況別・就業状況別 悩みや心配ごとの相談相手（単位：%）

		標本数（人）	父親	母親	配偶者、恋人	兄弟姉妹	祖父母や親類	職場の上司	職場の同僚	学校の先輩	学校や近所の友だち
全体		1,496	15.1	47.3	49.4	19.9	2.5	11.6	24.0	1.9	27.7
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	準ひきこもり	4	-	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-
	広義のひきこもり	11	9.1	27.3	-	-	-	-	-	9.1	-
	一般群	1,453	15.3	47.2	50.3	20.0	2.5	11.8	24.6	1.9	27.5
	無回答	32	6.3	56.3	25.0	25.0	-	6.3	3.1	-	46.9
現在の就業状況	働いている(正社員)	701	17.1	43.8	50.8	17.4	1.1	17.0	33.1	0.6	21.7
	働いている(契約社員、派遣社員)	141	6.4	46.1	44.7	19.9	3.5	5.0	27.0	0.7	22.7
	働いている(パート・アルバイト(学生のアルバイト除く))	229	14.4	50.2	53.7	23.1	3.9	12.2	28.4	1.3	28.8
	自営業・自由業	46	15.2	34.8	52.2	13.0	-	15.2	21.7	2.2	17.4
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	12.8	62.2	84.6	27.6	5.8	1.3	1.9	0.6	34.6
	学生(予備校生、浪人含む)	127	18.1	46.5	17.3	21.3	2.4	3.9	3.9	13.4	59.1
	その他の仕事	9	22.2	66.7	11.1	11.1	-	11.1	11.1	-	22.2
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	13.3	53.3	33.3	26.7	13.3	-	20.0	-	46.7
	無職	54	14.8	44.4	16.7	18.5	1.9	5.6	3.7	1.9	16.7
無回答	18	11.1	55.6	22.2	22.2	-	5.6	-	-	50.0	

		標本数（人）	学校などの先生	NPO等や若者支援団体	青少年や若者を支援する	地域若者サポーター	シヨク、行政の相談窓口	室など、行政の相談窓口	談大、窓学や民間団体などの相談	電話相談	その他	誰にも相談しない	ば誰よにののかわから相談すれ	無回答
全体		1,496	1.8	0.2	0.7	0.3	0.3	7.0	13.2	0.7	1.1			
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	7	-	-	-	14.3	-	-	71.4	-	-			
	準ひきこもり	4	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-			
	広義のひきこもり	11	-	-	-	9.1	-	-	63.6	-	-			
	一般群	1,453	1.9	0.2	0.7	0.3	0.3	7.2	12.7	0.8	0.9			
	無回答	32	-	-	-	-	-	3.1	15.6	-	9.4			
現在の就業状況	働いている(正社員)	701	0.1	0.1	-	-	0.1	6.7	13.6	0.3	1.0			
	働いている(契約社員、派遣社員)	141	1.4	-	0.7	-	-	10.6	16.3	0.7	-			
	働いている(パート・アルバイト(学生のアルバイト除く))	229	4.4	-	1.7	1.3	0.4	6.1	11.8	1.3	-			
	自営業・自由業	46	-	2.2	-	-	-	6.5	15.2	2.2	6.5			
	専業主婦・主夫、家事手伝い	156	1.9	-	1.9	-	0.6	10.3	3.2	-	-			
	学生(予備校生、浪人含む)	127	8.7	-	0.8	1.6	0.8	1.6	14.2	1.6	1.6			
	その他の仕事	9	-	-	-	-	-	11.1	11.1	-	-			
	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	-	-	-	-	6.7	6.7	26.7	-	-			
	無職	54	-	1.9	1.9	-	-	11.1	27.8	3.7	1.9			
無回答	18	-	-	-	-	-	-	11.1	-	16.7				

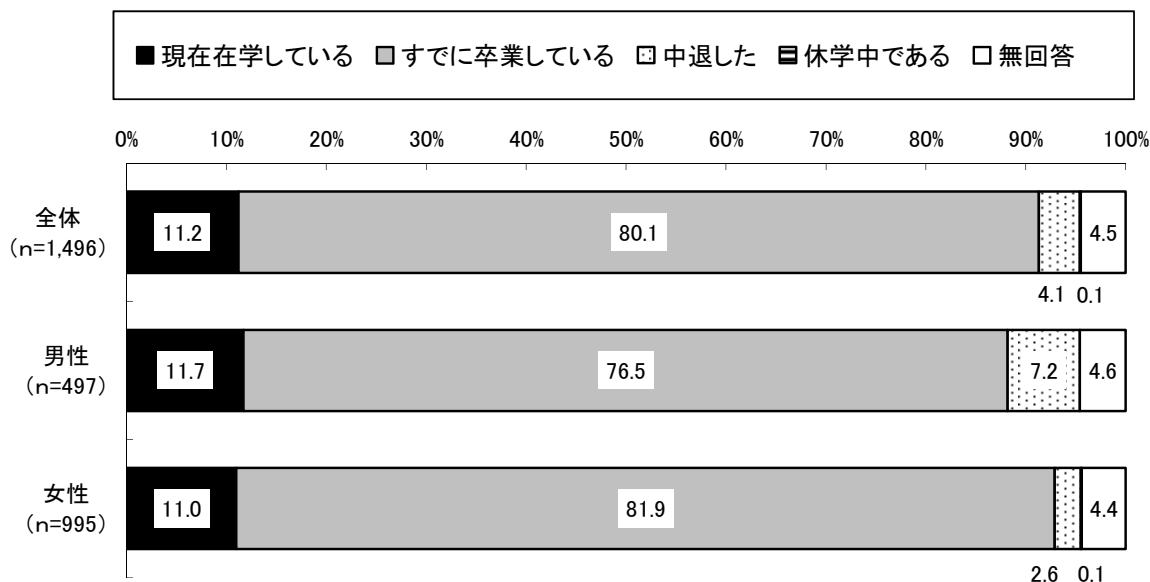
第4章 就業・就学状況について

1. 仕事や就学等の状況

(1) 現在の就学状況

問16① 現在の就学状況、学歴、現在の就業状況はどのようになっていますか。（○はそれぞれ1つ）

図表－141 現在の就学状況



現在の就学状況は、全体では「すでに卒業している」（80.1％）の割合が最も高く、次いで「現在在学している」（11.2％）、「中退した」（4.1％）、「休学中である」（0.1％）となっている。性別にみると、男性は女性に比べて「中退した」（7.2％）の割合が高くなっている。年齢別にみると、18～24歳は「現在在学している」が5割弱となっている。

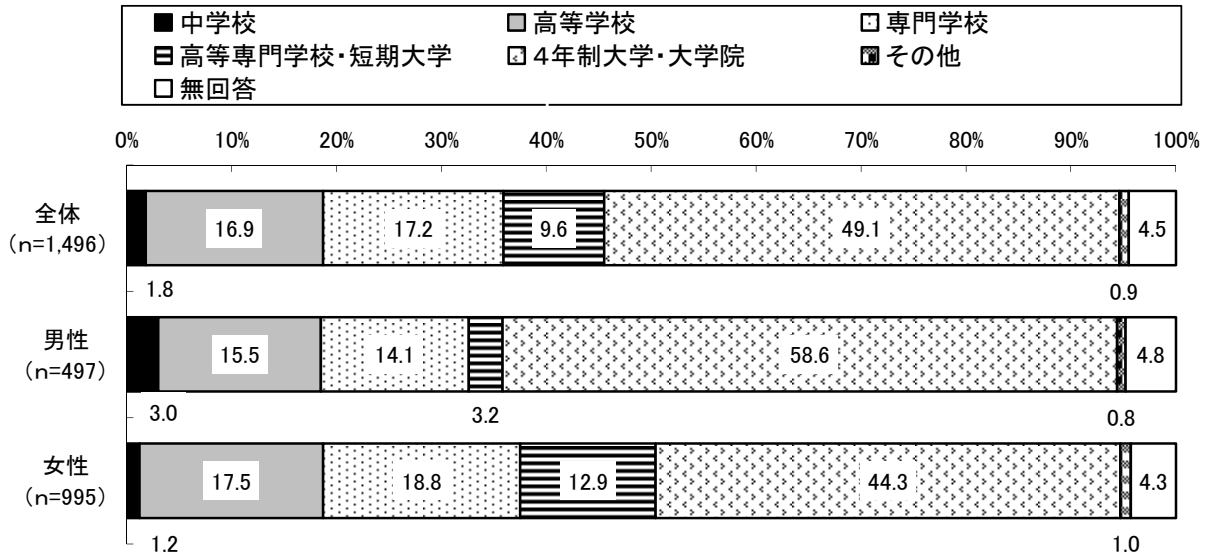
図表－142 年齢別 現在の就学状況（単位：％）

		標本数（人）	現在在学している	すでに卒業している	中退した	休学中である	無回答
全体		1,496	11.2	80.1	4.1	0.1	4.5
年齢	18～24歳	288	46.9	46.2	5.6	0.3	1.0
	25～30歳	400	3.8	86.5	5.8	-	4.0
	31～35歳	417	3.4	87.3	3.4	-	6.0
	36～39歳	381	0.8	91.3	2.4	-	5.5
	無回答	10	-	70.0	-	-	30.0

(2) 最終学歴

問16② 現在の就学状況、学歴、現在の就業状況はどのようになっていますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表-143 最終学歴



最終学歴は、全体では「4年制大学・大学院」(49.1%)の割合が最も高く、次いで「専門学校」(17.2%)、「高等学校」(16.9%)、「高等専門学校・短期大学」(9.6%)、「中学校」(1.8%)となっている。

性別にみると、男性は女性に比べて「4年制大学・大学院」(58.6%)の割合が高く、女性は男性に比べて「高等専門学校・短期大学」(12.9%)の割合が高い。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される11人のうち6人が「4年制大学・大学院」、3人が「高等学校」、1人が「専門学校」「高等専門学校・短期大学」と回答している。

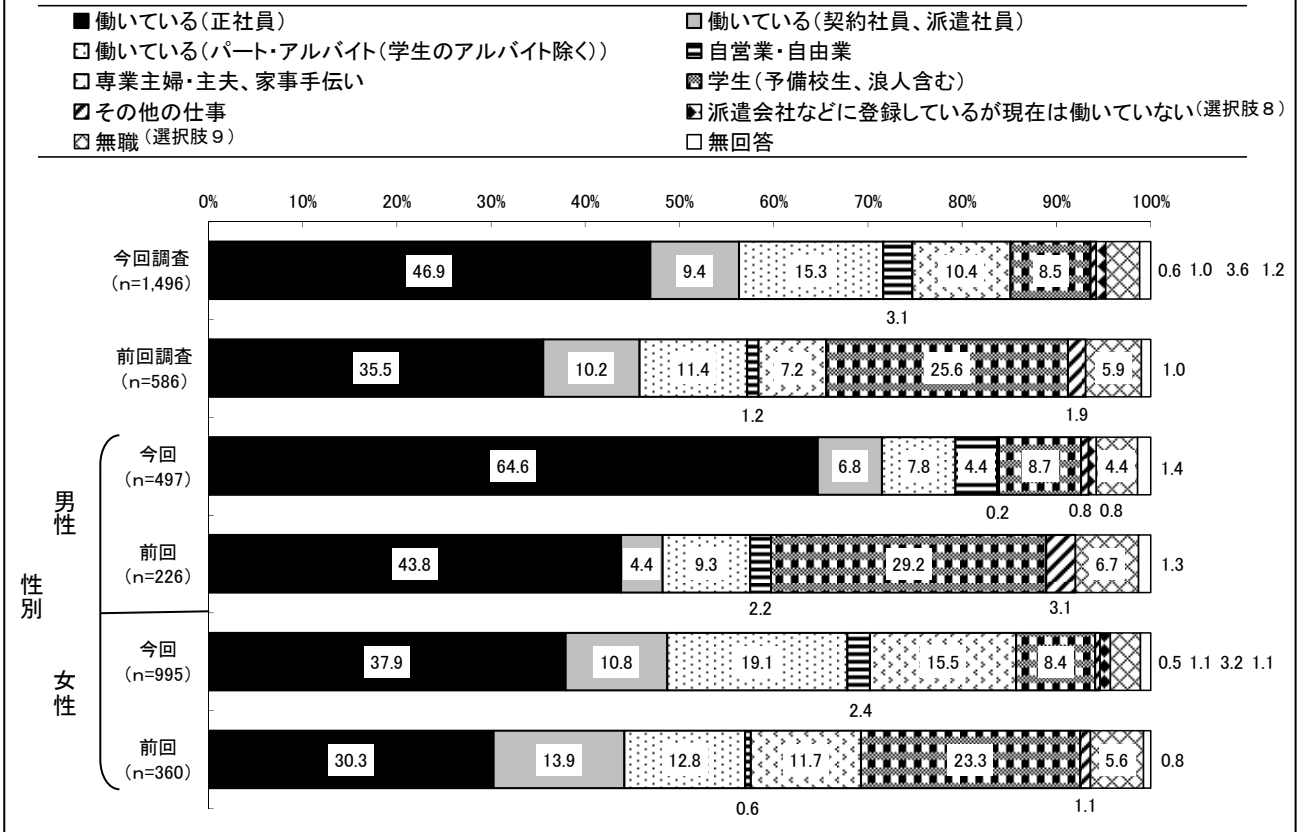
図表-144 ひきこもりの状況別 最終学歴 (単位: %)

		標本数 (人)	中学校	高等学校	専門学校	高等専門学校・短期大学	4年制大学・大学院	その他	無回答
全体		1,496	1.8	16.9	17.2	9.6	49.1	0.9	4.5
状況別のひきこもりの	狭義のひきこもり	7	-	28.6	14.3	14.3	42.9	-	-
	準ひきこもり	4	-	25.0	-	-	75.0	-	-
	広義のひきこもり	11	-	27.3	9.1	9.1	54.5	-	-
	一般群	1,453	1.7	17.1	17.3	9.8	49.2	0.8	4.1
	無回答	32	6.3	6.3	15.6	3.1	40.6	6.3	21.9

(3) 現在の就業状況

問16③ 現在の就学状況、学歴、現在の就業状況はどのようになっていますか。(○はそれぞれ1つ)

図表－145 現在の就業状況



現在の就業状況は、全体では「働いている（正社員）」（46.9％）の割合が最も高く、次いで「働いている（パート・アルバイト（学生のアバイト除く）」（15.3％）、「専業主婦・主夫、家事手伝い」（10.4％）となっている。

前回調査と比較すると、「働いている（正社員）」の割合が約11ポイント増加している。

青年等（18歳～39歳）全体の有効回答数（1,496人）のうち、働いておらず主婦(夫)でも学生でもない『無業』の者の割合は4.61％（69人）（派遣会社などに登録しているが現在は働いていない1.0％、無職3.6％）であり、この出現率4.61％を市内18～39歳人口447,150人（平成31年1月末）にかけた『無業』の者の推計人口は、20,613人となる。

性別にみると、男性は「働いている（正社員）」の割合が64.6%、女性は37.9%となっており、いずれも前回調査と比較すると、男性では約21ポイント、女性では約8ポイント増加している。最終学歴が中学校の者では、他に比べて「無職」（14.8%）の割合が高くなっている。

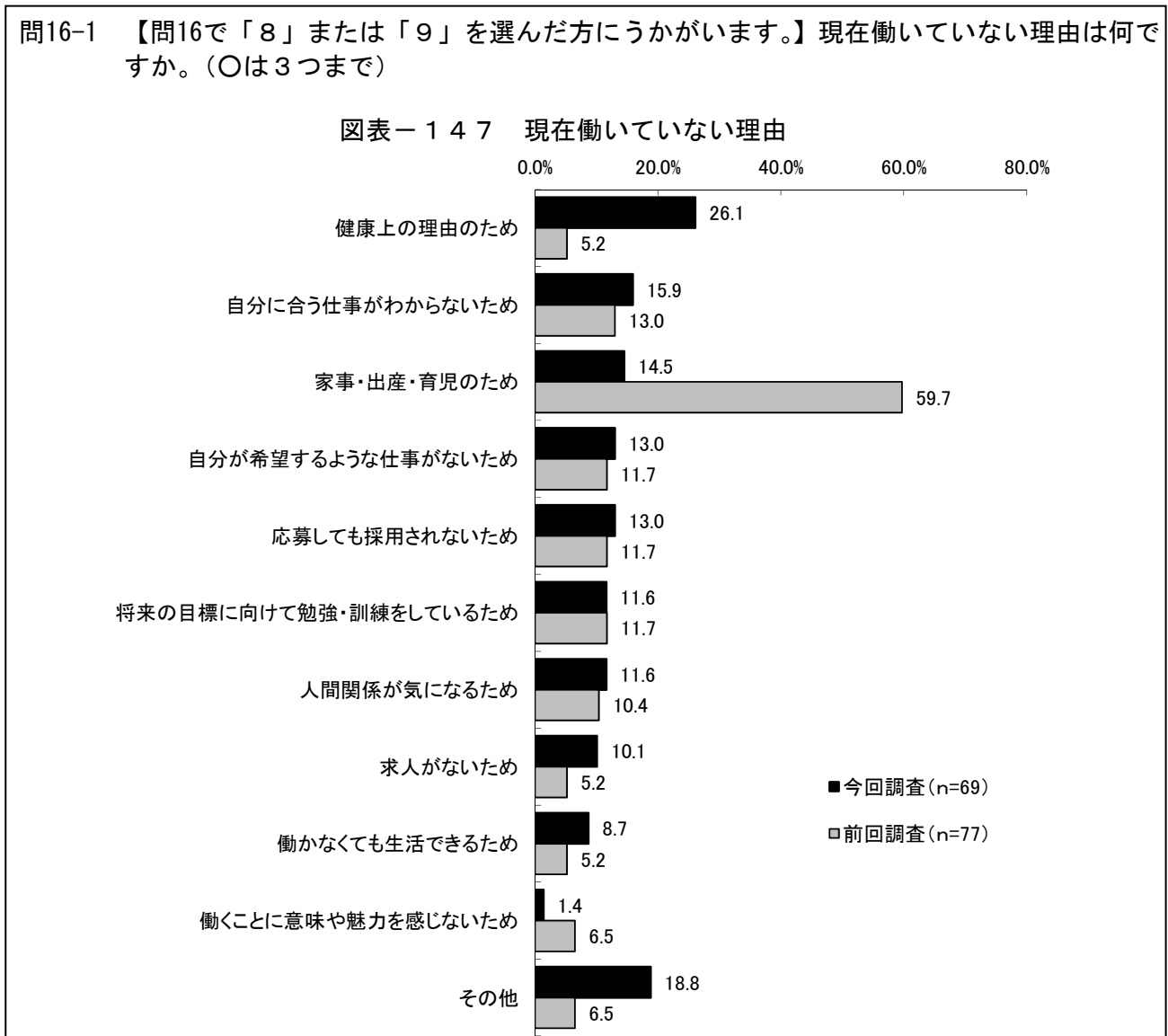
図表－146 年齢別・最終学歴別 現在の就業状況（単位：％）

		標本数（人）	働いている（正社員）	派遣社員、働いている（契約社員）	アルバイト除く（学生のアパート・バール）	自営業・自由業	専業主婦・主夫、家事手	学生（予備校生、浪人含む）	その他の仕事	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	無職	無回答
全体		1,496	46.9	9.4	15.3	3.1	10.4	8.5	0.6	1.0	3.6	1.2
年齢	18～24歳	288	28.1	5.9	16.3	0.7	1.7	38.9	0.7	1.0	3.1	3.5
	25～30歳	400	57.3	10.8	12.5	3.0	8.3	2.5	0.5	2.0	3.3	-
	31～35歳	417	50.1	10.8	13.4	5.0	13.2	1.2	1.0	0.2	3.8	1.2
	36～39歳	381	46.7	9.2	19.7	2.9	16.0	-	0.3	0.8	4.2	0.3
	無回答	10	40.0	10.0	10.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0
最終学歴別	中学校	27	37.0	3.7	22.2	11.1	7.4	-	-	-	14.8	3.7
	高等学校	253	32.4	13.8	24.5	5.1	11.1	3.2	1.2	1.6	6.7	0.4
	専門学校	257	45.1	7.8	19.8	2.3	13.6	4.7	0.4	0.8	4.7	0.8
	高等専門学校・短期大学	144	41.0	7.6	20.8	4.2	16.7	3.5	-	3.5	2.1	0.7
	4年制大学・大学院	734	54.4	9.4	8.9	1.6	8.3	13.4	0.4	0.4	2.2	1.1
	その他	14	14.3	-	14.3	7.1	-	21.4	14.3	-	14.3	14.3
	無回答	67	49.3	7.5	19.4	7.5	9.0	1.5	-	1.5	-	4.5

2. 現在働いていない人の状況

(1) 現在働いていない理由

問16-1 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】現在働いていない理由は何ですか。（〇は3つまで）



現在働いていない人（『無業』の者69人）が現在働いていない理由は、「健康上の理由のため」（26.1％）の割合が最も高く、次いで「自分に合う仕事が見つからないため」（15.9％）、「家事・出産・育児のため」（14.5％）となっている。

前回調査と比較すると、「家事・出産・育児のため」の割合が約45ポイント減少している。（ただし前回調査の調査対象年齢（18～30歳）と今回調査の対象年齢（18～39歳）は異なる）

性別にみると、男性は女性に比べて「応募しても採用されない」（23.1%）、「将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため」（23.1%）の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、「広義のひきこもり」に分類される8人のうち4人が「応募しても採用されない」と回答している。

図表－148 性別・年齢別・ひきこもりの状況別 現在働いていない理由（単位：％）

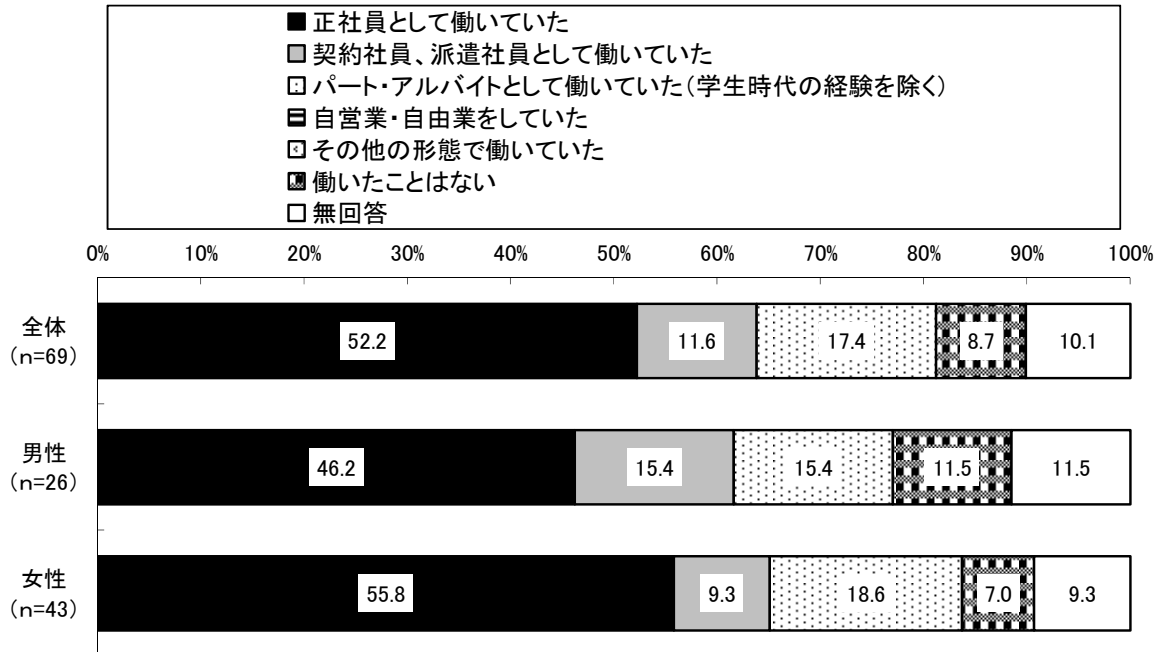
		標本数（人）	自分が希望するような仕事がないため	自分に合う仕事がないため	応募しても採用されないため	求人がないため	働くことに意味や魅力を感じないため	家事・出産・育児のため	将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため	働かなくても生活できるため	人間関係が気になるため	健康上の理由のため	その他	無回答
全体		69	13.0	15.9	13.0	10.1	1.4	14.5	11.6	8.7	11.6	26.1	18.8	7.2
性別	男性	26	15.4	7.7	23.1	15.4	-	-	23.1	7.7	3.8	30.8	11.5	11.5
	女性	43	11.6	20.9	7.0	7.0	2.3	23.3	4.7	9.3	16.3	23.3	23.3	4.7
年齢	18～24歳	12	8.3	16.7	8.3	16.7	-	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	25～30歳	21	4.8	23.8	4.8	4.8	-	23.8	4.8	14.3	14.3	19.0	19.0	9.5
	31～35歳	17	23.5	5.9	17.6	5.9	-	23.5	11.8	-	11.8	23.5	23.5	11.8
	36～39歳	19	15.8	15.8	21.1	15.8	5.3	-	10.5	10.5	10.5	47.4	21.1	-
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	5	20.0	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	40.0	-	-
	準ひきこもり	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3
	広義のひきこもり	8	12.5	12.5	50.0	12.5	-	-	12.5	-	12.5	25.0	-	12.5
	一般群	58	13.8	15.5	8.6	10.3	1.7	17.2	12.1	8.6	10.3	25.9	20.7	6.9
	無回答	3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(2) 現在働いていない人の就業経験

問16-2① 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】あなたは今までに働いていたことはありますか。（もっともあてはまるものに1つに○）

図表－149 現在働いていない人の就業経験



現在働いていない人（『無業』の者69人）の就業経験は、全体では「正社員として働いていた」（52.2%）の割合が最も高く、次いで「パート・アルバイトとして働いていた（学生時代の経験を除く）」（17.4%）、「契約社員、派遣社員として働いていた」（11.6%）となっている。

ひきこもりの状況別にみると、現在働いていない人で〔広義のひきこもり〕に分類される8人のうち2人が「正社員として働いていた」、2人が「契約社員、派遣社員として働いていた」、2人が「パート・アルバイトとして働いていた（学生時代の経験を除く）」と回答している。

現在の就業状況別にみると、派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者（15人）の53.3%、無職の者（54人）の51.9%が「正社員として働いていた」と回答しており、『無業』の者（69人）（派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者及び無職の者）の81.2%に、何らかの就業経験があった。

図表－150 年齢別・ひきこもりの状況別・就業状況別

現在働いていない人の就業経験（単位：%）

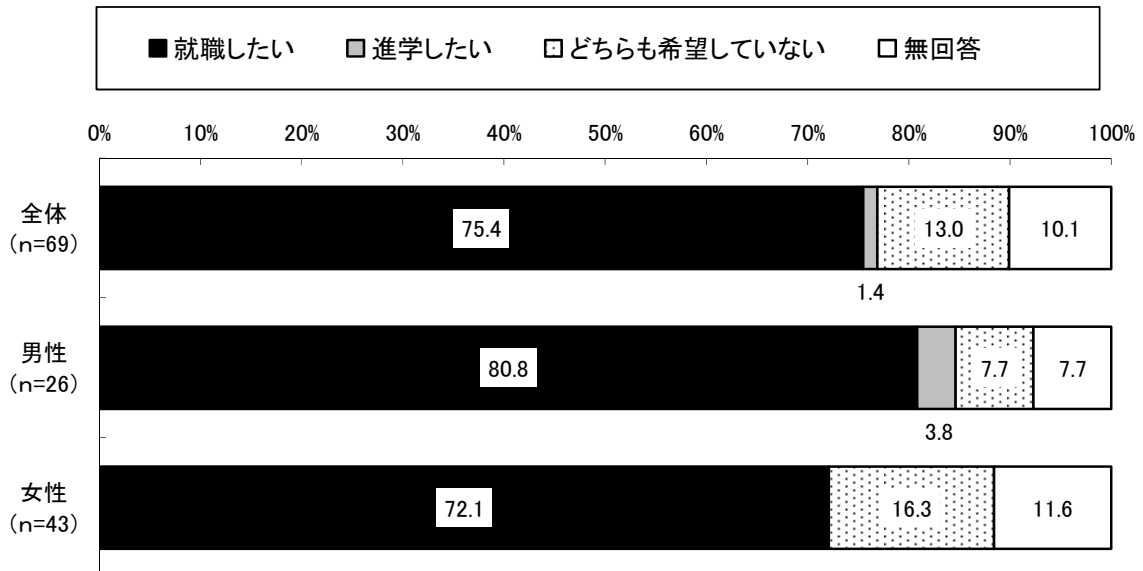
		標本数（人）	正社員として働いていた	契約社員、派遣社員として働いていた	パート・アルバイトとして働いていた（学生時代の経験を除く）	自営業・自由業をしていた	その他の形態で働いていた	働いたことはない	無回答
全体		69	52.2	11.6	17.4	-	-	8.7	10.1
年齢	18～24歳	12	50.0	8.3	25.0	-	-	8.3	8.3
	25～30歳	21	57.1	4.8	19.0	-	-	9.5	9.5
	31～35歳	17	35.3	29.4	11.8	-	-	5.9	17.6
	36～39歳	19	63.2	5.3	15.8	-	-	10.5	5.3
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0
	準ひきこもり	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
	広義のひきこもり	8	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0
	一般群	58	55.2	10.3	17.2	-	-	10.3	6.9
	無回答	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3
現在の就業状況	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	53.3	20.0	13.3	-	-	-	13.3
	無職	54	51.9	9.3	18.5	-	-	11.1	9.3

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(3) 現在働いていない人の就業・進学希望

問16-2② 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】現在就職又は進学を希望していますか。（○は1つ）

図表-151 現在働いていない人の就業・進学希望



現在働いていない人（『無業』の者69人）の就業・進学希望は、全体では「就職したい」（75.4%）の割合が最も高く、次いで「どちらも希望していない」（13.0%）、「進学したい」（1.4%）となっている。

年齢別にみると、25～30歳では他に比べて「どちらも希望していない」（23.8％）の割合が高くなっている。

ひきこもりの状況別にみると、〔広義のひきこもり〕に分類される8人のうち7人（87.5％）が「就職したい」と回答している。

現在の就業状況別にみると、『無業』の者（69人）の75.4％（派遣会社などに登録しているが現在は働いていない者の60.0％、無職の者の79.6％）が「就職したい」と回答している。

図表－152 年齢別・ひきこもりの状況別・就業状況別
現在働いていない人の就業・進学希望（単位：％）

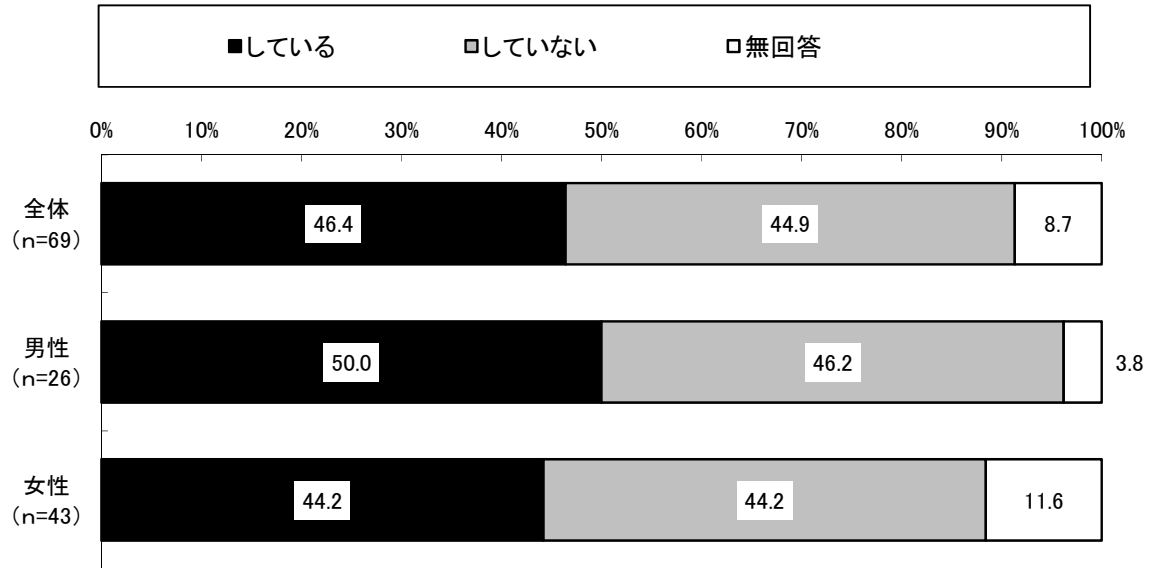
		標本数（人）	就職したい	進学したい	どちらも希望していない	無回答
全体		69	75.4	1.4	13.0	10.1
年齢	18～24歳	12	75.0	－	8.3	16.7
	25～30歳	21	66.7	－	23.8	9.5
	31～35歳	17	82.4	－	5.9	11.8
	36～39歳	19	78.9	5.3	10.5	5.3
ひきこもりの状況別	狭義のひきこもり	5	80.0	－	－	20.0
	準ひきこもり	3	100.0	－	－	－
	広義のひきこもり	8	87.5	－	－	12.5
	一般群	58	74.1	1.7	15.5	8.6
	無回答	3	66.7	－	－	33.3
現在の就業状況	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	15	60.0	－	20.0	20.0
	無職	54	79.6	1.9	11.1	7.4

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(4) 現在働いていない人の就職活動の有無

問16-2③ 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】現在就職活動をしていますか。（○は1つ）

図表－153 現在働いていない人の就職活動の有無



現在働いていない人（『無業』の者69人）の就職活動の有無は、全体では「している」（46.4％）と「していない」（44.9％）が同程度であった。

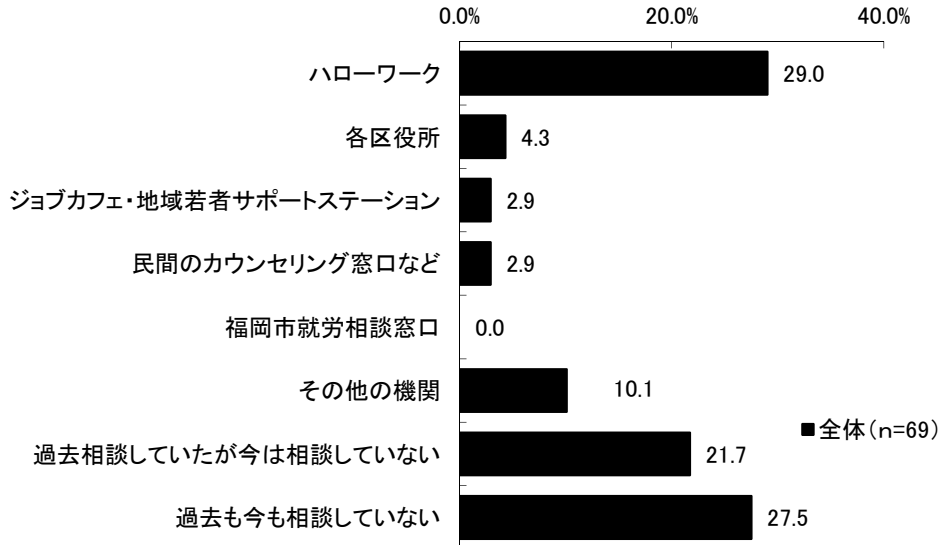
図表－154 年齢別 現在働いていない人の就職活動の有無（単位：％）

		標本数 (人)	している	していない	無回答
全体		69	46.4	44.9	8.7
年齢	18～24歳	12	50.0	33.3	16.7
	25～30歳	21	57.1	33.3	9.5
	31～35歳	17	35.3	58.8	5.9
	36～39歳	19	42.1	52.6	5.3

(5) 現在働いていない人の相談先

問16-2④ 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】現在の状態や就職活動の悩みについて相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表－155 現在働いていない人の相談先



現在働いていない人(『無業』の者69人)の現在の状態や就職活動の悩みに関する相談先は、「ハローワーク」(29.0%)の割合が最も高く、次いで「過去も今も相談していない」(27.5%)、「過去相談していたが今は相談していない」(21.7%)となっている。

図表－156 性別・年齢別 現在働いていない人の相談先 (単位：%)

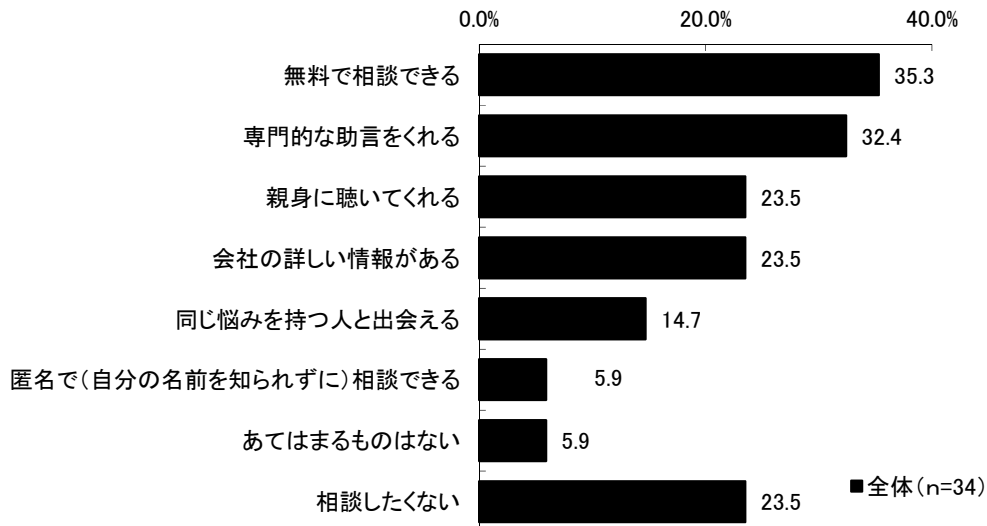
		標本数(人)	ハローワーク	ジョブカフェ・地域若者サポートステーション	福岡市就労相談窓口	各区役所	民間のカウンセリング窓口など	その他の機関	過去相談していたが今は相談していない	過去も今も相談していない	無回答
全体		69	29.0	2.9	-	4.3	2.9	10.1	21.7	27.5	10.1
性別	男性	26	30.8	3.8	-	3.8	-	11.5	19.2	30.8	3.8
	女性	43	27.9	2.3	-	4.7	4.7	9.3	23.3	25.6	14.0
年齢	18～24歳	12	41.7	-	-	-	-	-	16.7	16.7	25.0
	25～30歳	21	33.3	-	-	-	-	14.3	19.0	28.6	9.5
	31～35歳	17	11.8	5.9	-	5.9	-	11.8	23.5	41.2	5.9
	36～39歳	19	31.6	5.3	-	10.5	10.5	10.5	26.3	21.1	5.3

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(6) 現在働いていない人の相談先の希望

問16-2⑤ 【上記④で「7」または「8」を選んだ方にうかがいます。】現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－157 現在働いていない人の相談先の希望



現在働いていない人（『無業』の者69人）のうち現在の状態や就職活動の悩みに関して相談していない人に、相談先の希望をたずねたところ、「無料で相談できる」（35.3%）の割合が最も高く、次いで「専門的な助言をくれる」（32.4%）、「親身に聴いてくれる」「会社の詳しい情報がある」（ともに23.5%）となっている。一方、「相談したくない」も23.5%となっている。

現在の就業状況別にみると、無職の者の30.8%が「相談したくない」と回答している。

図表－158 性別・年齢別・就労状況別 現在働いていない人の相談先の希望（単位：%）

		標本数 (人)	親身に聴いてくれる	専門的な助言をくれる	会社の詳しい情報がある	同じ悩みを持つ人と出会える	匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	無料で相談できる	あてはまるものはない	相談したくない	無回答
全体		34	23.5	32.4	23.5	14.7	5.9	35.3	5.9	23.5	-
性別	男性	13	23.1	38.5	23.1	23.1	7.7	46.2	7.7	15.4	-
	女性	21	23.8	28.6	23.8	9.5	4.8	28.6	4.8	28.6	-
年齢	18～24歳	4	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-
	25～30歳	10	10.0	40.0	20.0	20.0	-	30.0	10.0	30.0	-
	31～35歳	11	36.4	27.3	27.3	18.2	-	27.3	-	27.3	-
	36～39歳	9	33.3	33.3	33.3	11.1	22.2	55.6	-	11.1	-
就業状況	派遣会社などに登録しているが現在は働いていない	8	12.5	37.5	12.5	37.5	-	50.0	12.5	-	-
	無職	26	26.9	30.8	26.9	7.7	7.7	30.8	3.8	30.8	-

(7) 現在働いていない人の相談したくない理由

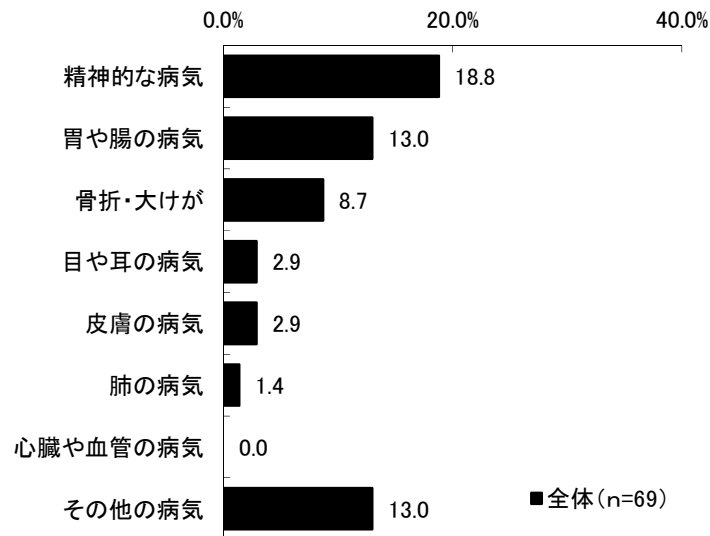
問16-2⑥ 【上記⑤で「8」を選んだ方にうかがいます。】相談したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在働いていない人（『無業』の者69人）で現在の状態や就職活動の悩みに関して相談していない人のうち、相談したいと思っていない人（8人）にその理由をたずねたところ、「相談しても解決できないと思うから」「相手にうまく話せないから」（ともに3人）、「自分のことを知られたくないから」（2人）、「何を聴かれるか不安だから」（1人）となっている。

(8) 現在働いていない人の病気やけがの経験

問16-3① 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表－159 現在働いていない人の病気やけがの経験



現在働いていない人（『無業』の者69人）の病気やけがの経験は、「精神的な病気」（18.8%）の割合が最も高く、次いで「胃や腸の病気」「その他の病気」（ともに13.0%）となっている。

図表－160 性別・年齢別 現在働いていない人の病気やけがの経験（単位：%）

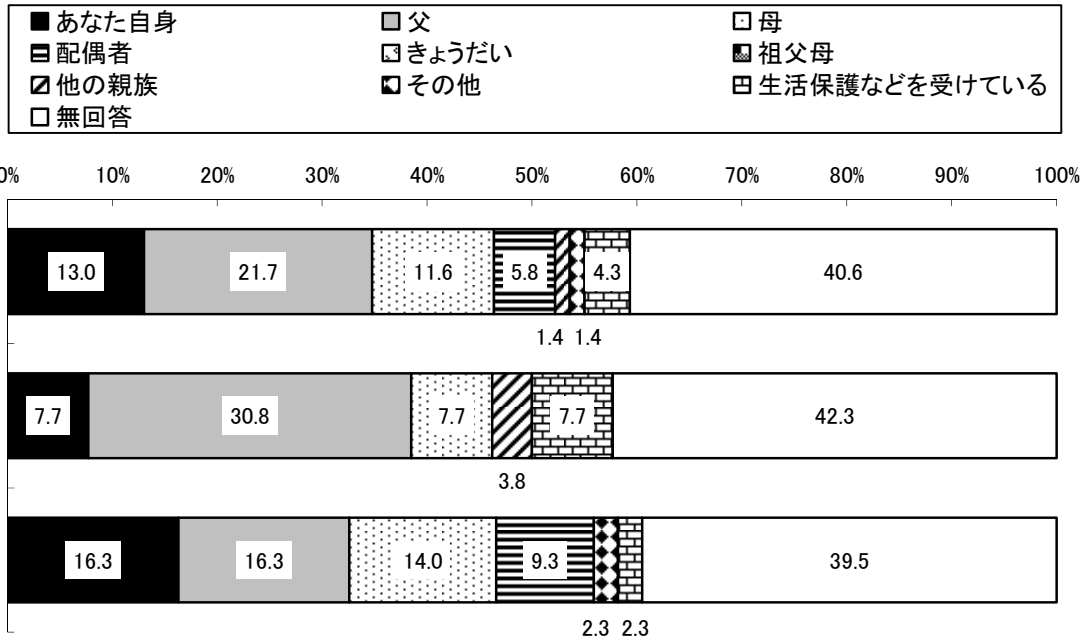
		標本数（人）	心臓や血管の病気	肺の病気	胃や腸の病気	精神的な病気	目や耳の病気	皮膚の病気	骨折・大けが	その他の病気	無回答
全体		69	-	1.4	13.0	18.8	2.9	2.9	8.7	13.0	62.3
性別	男性	26	-	-	15.4	19.2	7.7	3.8	7.7	7.7	61.5
	女性	43	-	2.3	11.6	18.6	-	2.3	9.3	16.3	62.8
年齢	18～24歳	12	-	-	-	16.7	-	-	25.0	25.0	58.3
	25～30歳	21	-	-	9.5	9.5	-	-	4.8	14.3	66.7
	31～35歳	17	-	5.9	11.8	29.4	-	5.9	11.8	11.8	52.9
	36～39歳	19	-	-	26.3	21.1	10.5	5.3	-	5.3	68.4

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

(9) 現在働いていない人の家の生計を立てている人

問16-3② 【問16で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。】あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担（または仕送り）している人をお答えください。（○は1つ）

図表－161 現在働いていない人の家の生計を立てている人



現在働いていない人（『無業』の者69人）の家の生計を立てている人は、「父」（21.7％）の割合が最も高く、次いで「あなた自身」（13.0％）、「母」（11.6％）となっている。

図表－162 年齢別 現在働いていない人の家の生計を立てている人（単位：％）

	標本数（人）	あなた自身	父	母	配偶者	きょうだい	祖父母	他の親族	その他	生活保護などを受けている	無回答
全体	69	13.0	21.7	11.6	5.8	-	-	1.4	1.4	4.3	40.6
年齢	18～24歳	12	8.3	41.7	16.7	-	-	-	-	-	33.3
	25～30歳	21	19.0	14.3	14.3	9.5	-	-	4.8	-	38.1
	31～35歳	17	5.9	35.3	11.8	5.9	-	-	-	5.9	35.3
	36～39歳	19	15.8	5.3	5.3	5.3	-	-	5.3	-	10.5

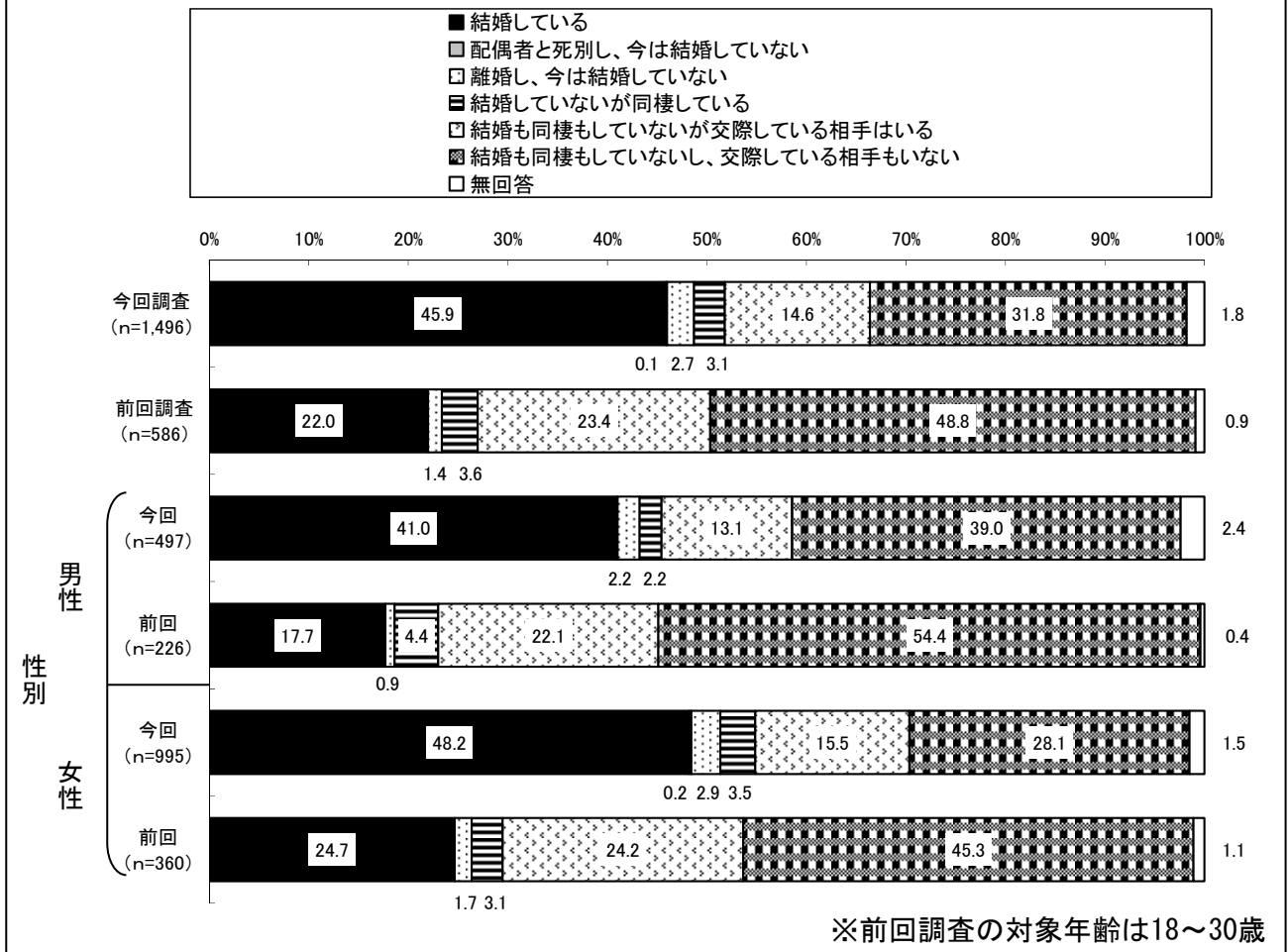
第5章 結婚と子育て

1. 結婚

(1) 婚姻状況

問17 あなたは、現在、結婚していますか。(〇は1つ)

図表-163 婚姻状況



婚姻状況は、全体では「結婚している」(45.9%)の割合が最も高く、次いで「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」(31.8%)、「結婚も同棲もしていないが交際している相手はある」(14.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「結婚している」の割合は約24ポイント増加している。

(ただし前回調査の調査対象年齢(18～30歳)と今回調査の対象年齢(18～39歳)は異なる)

性別にみると、男女ともに「結婚している」の割合は増加しており、男性では約23ポイント、女性では約24ポイント増加している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

年齢別にみると、31歳以上では「結婚している」の割合が6割を超えている。

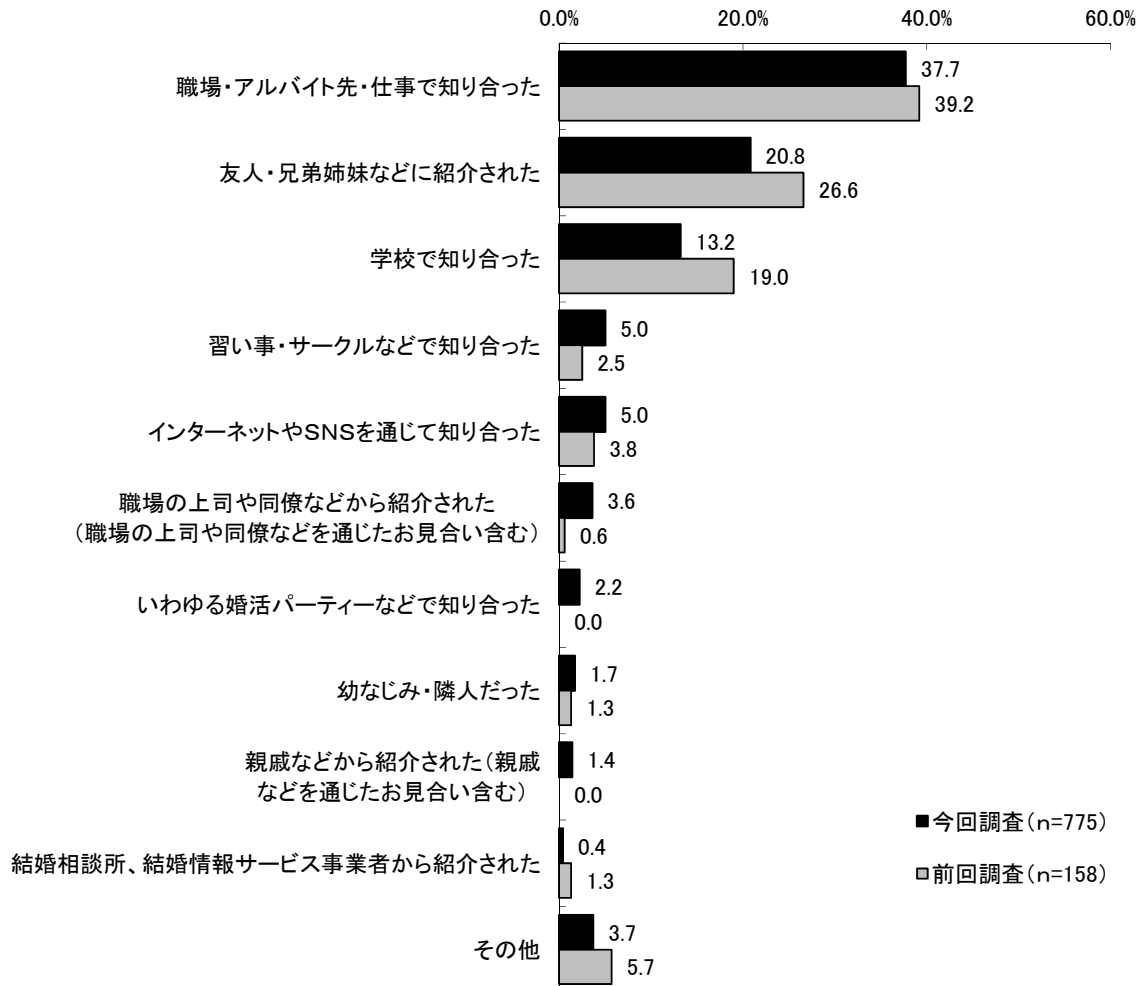
図表－164 年齢別 婚姻状況（単位：％）

		標本数（人）	結婚している	配偶者と死別し、今は結婚していない	離婚し、今は結婚していない	結婚していないが同棲している	結婚も同棲もしていないが、実際している相手はない	結婚も同棲もしていないし、実際している相手もない	無回答
全体		1,496	45.9	0.1	2.7	3.1	14.6	31.8	1.8
年齢	18～24歳	288	7.6	0.3	0.3	3.5	26.4	60.1	1.7
	25～30歳	400	36.0	0.3	2.0	6.5	18.5	35.8	1.0
	31～35歳	417	62.6	—	2.6	1.7	9.1	21.8	2.2
	36～39歳	381	66.7	—	5.2	1.0	7.9	17.1	2.1
	無回答	10	50.0	—	—	—	10.0	30.0	10.0

(2) 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ

問17-1 【問17で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】結婚・同棲している（していた）人について、どういうきっかけで相手と出会いましたか。（○は1つ）

図表-165 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ



配偶者・パートナーと出会ったきっかけは、「職場・アルバイト先・仕事で知り合った」(37.7%)の割合が最も高く、次いで「友人・兄弟姉妹などに紹介された」(20.8%)、「学校で知り合った」(13.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「友人・兄弟姉妹などに紹介された」「学校で知り合った」の割合が約6ポイント減少している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

年齢別にみると、36～39歳では他に比べて「職場・アルバイト先・仕事で知り合った」（43.9%）の割合が高くなっている。

図表－166 年齢別 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ（単位：％）

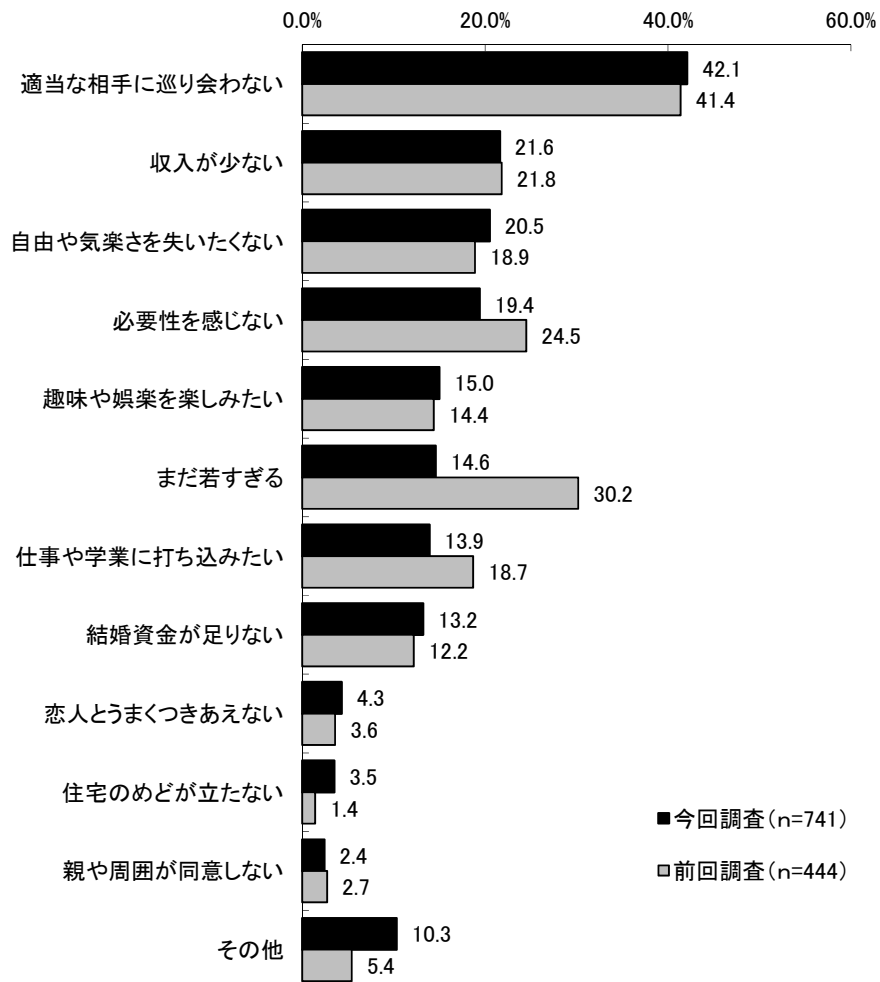
		標本数（人）	幼なじみ・隣人だった	学校で知り合った	習い事・サークルなどで知り合った	職場・アルバイト先・仕事で知り合った	友人・兄弟姉妹などに紹介された	インターネットやSNSを通じて知り合った
全体		775	1.7	13.2	5.0	37.7	20.8	5.0
年齢	18～24歳	34	2.9	11.8	-	35.3	20.6	8.8
	25～30歳	179	2.8	18.4	7.8	33.5	18.4	6.1
	31～35歳	279	0.7	13.3	3.9	34.1	22.9	4.7
	36～39歳	278	1.8	10.1	5.0	43.9	19.8	4.3
	無回答	5	-	-	-	60.0	40.0	-

		標本数（人）	親戚などから紹介されたお見合い（含む）	職場の上司や同僚などから紹介されたお見合い（含む）	結婚相談所、結婚情報サービス事業者から紹介された	どいわゆる婚活パーティーなど	その他	無回答
全体		775	1.4	3.6	0.4	2.2	3.7	5.3
年齢	18～24歳	34	-	2.9	-	2.9	5.9	8.8
	25～30歳	179	1.1	2.8	0.6	2.2	2.8	3.4
	31～35歳	279	0.7	3.9	0.4	2.9	5.7	6.8
	36～39歳	278	2.5	4.0	0.4	1.4	2.2	4.7
	無回答	5	-	-	-	-	-	-

(3) 結婚していない理由

問17-2 【問17で「4」～「6」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】まだ結婚していない人について、その理由は何ですか。(〇は3つまで)

図表-167 結婚していない理由



結婚していない理由は、「適当な相手に巡り会わない」(42.1%)の割合が最も高く、次いで「収入が少ない」(21.6%)、「自由や気楽さを失いたくない」(20.5%)、「必要性を感じない」(19.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「必要性を感じない」「仕事や学業に打ち込みたい」の割合が約5ポイント減少している。

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

性別にみると、男性は女性に比べて「収入が少ない」（31.1％）の割合が高くなっている。
 年齢別にみると、25～30歳では他に比べて「結婚資金が足りない」（20.2％）の割合が高くなっている。

図表－168 性別・年齢別 結婚していない理由（単位：％）

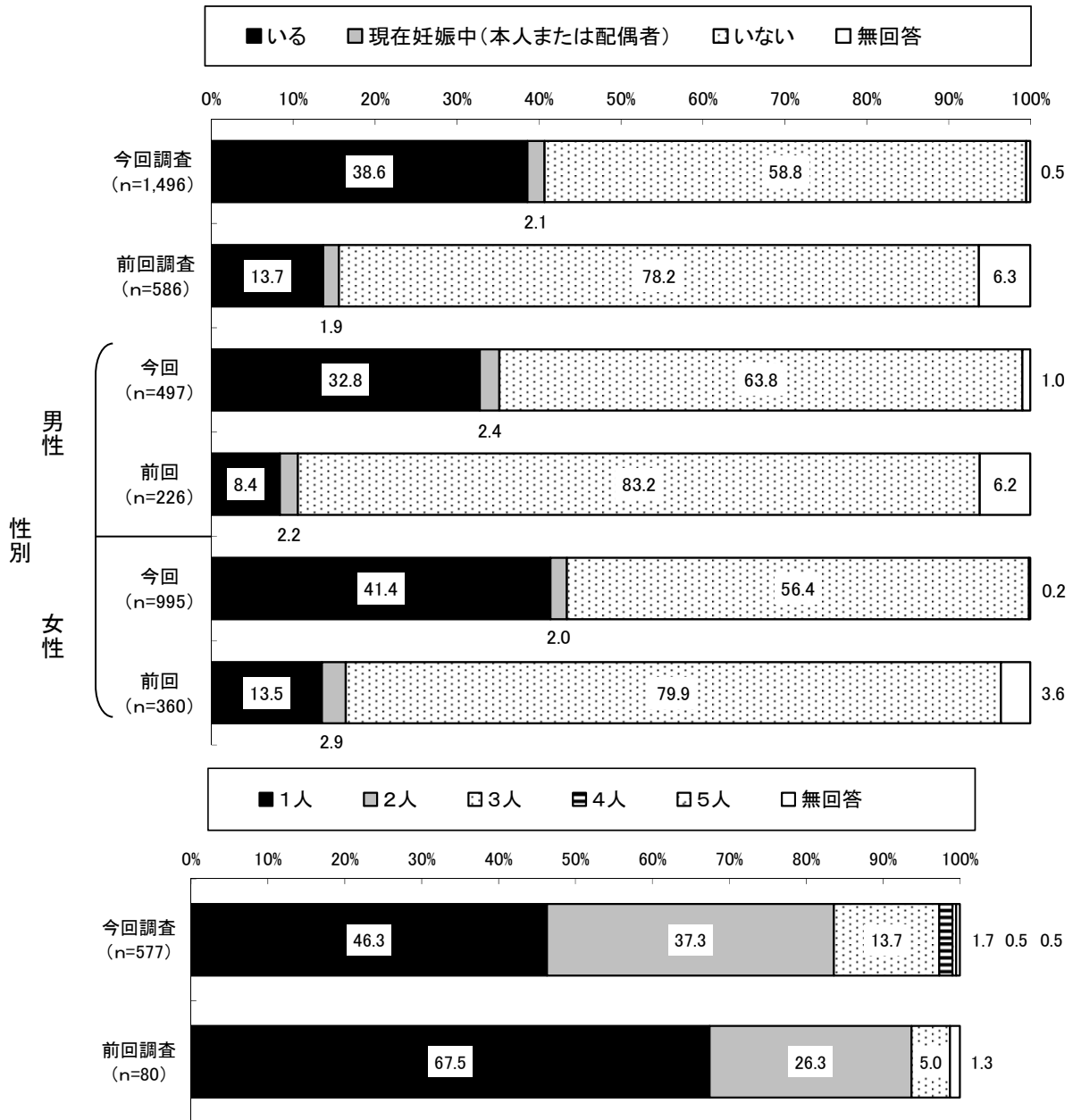
	標本数（人）	まだ若すぎる	必要性を感じない	仕事や学業に打ち込みた	趣味や娯楽を楽しみたい	自由や気楽さを失いたくない	適当な相手に巡り会わない	恋人とうまくつきあえない	収入が少ない	結婚資金が足りない	住宅のめどが立たない	親や周囲が同意しない	その他	無回答	
全体	741	14.6	19.4	13.9	15.0	20.5	42.1	4.3	21.6	13.2	3.5	2.4	10.3	7.8	
性別	男性	270	14.8	22.6	13.0	18.5	21.1	40.0	4.8	31.1	15.9	4.1	1.9	7.0	5.6
	女性	469	14.5	17.3	14.3	13.0	20.0	43.3	4.1	16.0	11.7	3.2	2.8	12.2	9.2
	その他	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢	18～24歳	259	37.5	21.2	21.2	18.1	19.3	39.0	3.9	17.0	9.7	1.9	1.9	6.6	6.2
	25～30歳	243	4.1	16.0	9.9	15.2	16.9	41.6	4.5	23.9	20.2	4.9	1.6	9.5	11.5
	31～35歳	136	0.7	17.6	11.0	13.2	25.0	45.6	5.1	24.3	10.3	0.7	2.2	16.2	6.6
	36～39歳	99	-	24.2	8.1	9.1	26.3	47.5	4.0	23.2	9.1	8.1	6.1	14.1	4.0
	無回答	4	-	50.0	25.0	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0

2. 子ども

(1) 子どもの有無と人数

問18 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

図表-169 子どもの有無と人数



※前回調査の対象年齢は18~30歳

子どもの有無は、全体では「いない」(58.8%)の割合が最も高く、次いで「いる」(38.6%)、「現在妊娠中(本人または配偶者)」(2.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「いる」の割合は約25ポイント増加している。(ただし前回調査の調査対象年齢(18~30歳)と今回調査の対象年齢(18~39歳)は異なる)

子どもの人数は、「1人」(46.3%)の割合が最も高く、次いで「2人」(37.3%)、「3人」(13.7%)、「4人」(1.7%)、「5人」(0.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「1人」の割合は約21ポイント減少し、「2人」の割合は10ポイント増加している。(ただし前回調査の調査対象年齢(18~30歳)と今回調査の対象年齢(18~39歳)は異なる)

Ⅲ 青年等（18～39歳）調査結果

子どもの有無を年齢別にみると、31歳以上では「いる」の割合が5割を超えている。
 子どもの人数を年齢別にみると、年齢層が上がるにつれて子どもの人数も多くなっている。

図表－170 年齢別 子どもの有無と人数（単位：％）

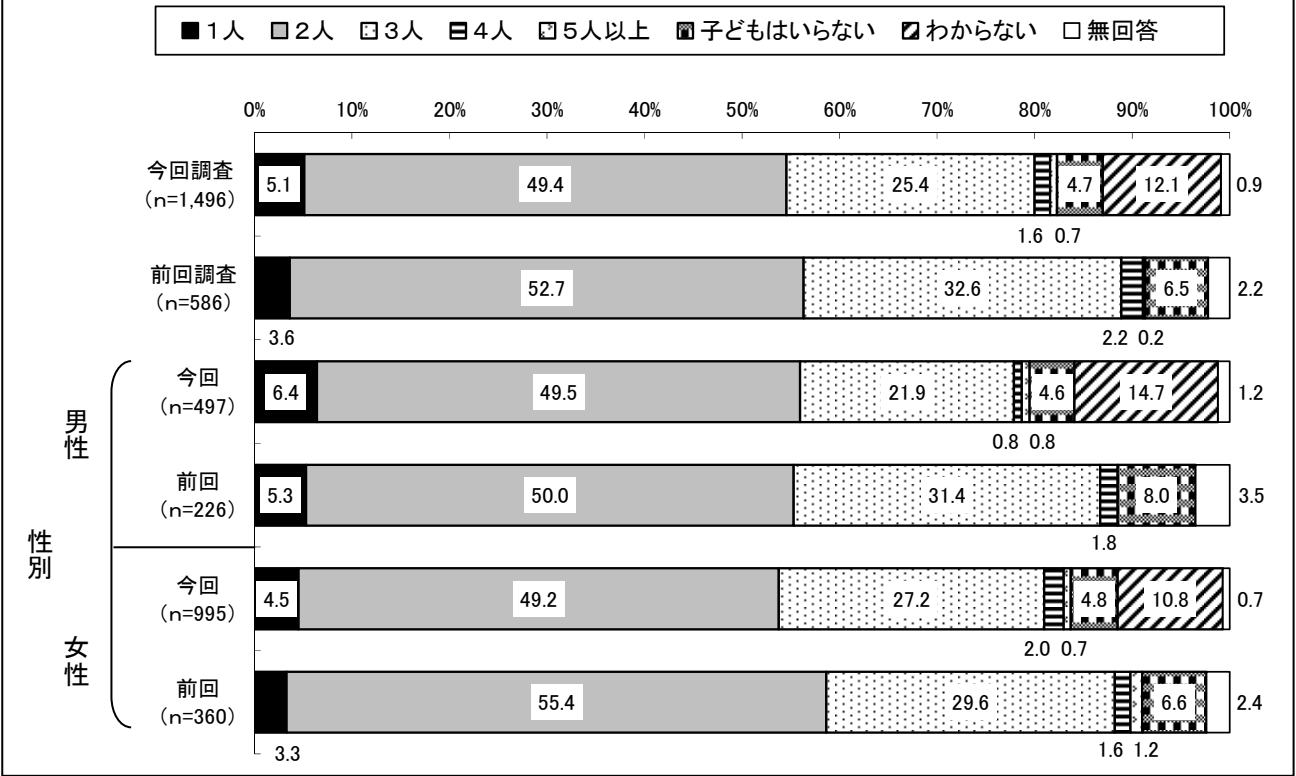
		標本数（人）	いる	配現在妊 偶在娠中 者（本人または	いない	無回答
全体		1,496	38.6	2.1	58.8	0.5
年齢	18～24歳	288	6.6	0.7	92.4	0.3
	25～30歳	400	26.0	1.5	72.0	0.5
	31～35歳	417	51.1	4.8	43.4	0.7
	36～39歳	381	61.9	1.0	36.7	0.3
	無回答	10	50.0	-	50.0	-

		標本数（人）	1人	2人	3人	4人	5人	無回答
全体		577	46.3	37.3	13.7	1.7	0.5	0.5
性別	男性	163	52.1	31.3	16.0	-	-	0.6
	女性	412	43.7	39.8	12.9	2.4	0.7	0.5
	無回答	2	100.0	-	-	-	-	-
年齢	18～24歳	19	73.7	10.5	10.5	-	-	5.3
	25～30歳	104	68.3	26.9	4.8	-	-	-
	31～35歳	213	47.4	38.0	10.8	1.9	0.9	0.9
	36～39歳	236	32.6	43.6	20.8	2.5	0.4	-
	無回答	5	80.0	20.0	-	-	-	-

(2) 理想の子どもの数

問19 あなたの理想としては、子どもは何人が望ましいですか。(〇は1つ)

図表-171 理想の子どもの数



理想の子どもの数は、全体では「2人」(49.4%)の割合が最も高く、次いで「3人」(25.4%)、「わからない」(12.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「3人」の割合が約7ポイント減少している。

性別にみると、男性では「3人」の割合が約10ポイント減少している。

年齢別にみると、30歳以下では他に比べて「2人」の割合が高く、5割を超えている。

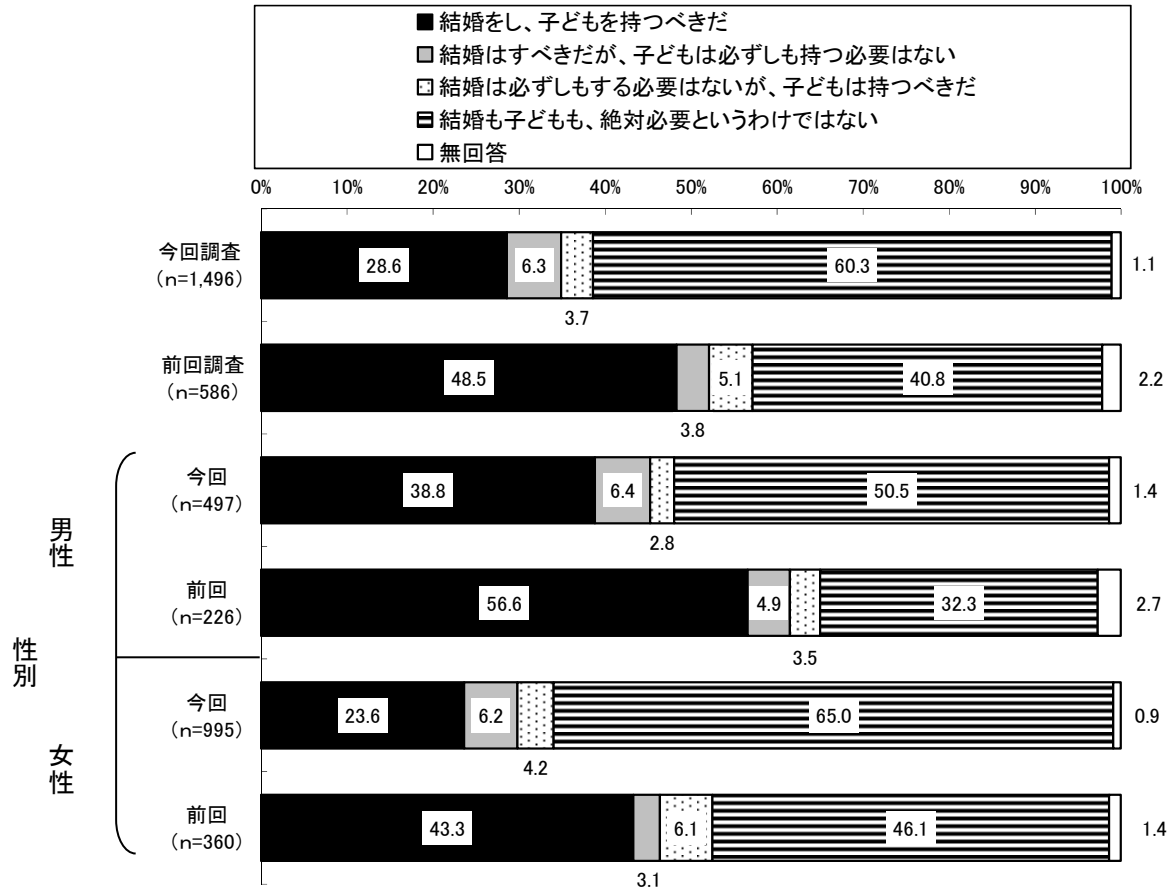
図表-172 年齢別 理想の子どもの数 (単位: %)

		標本数(人)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	わからない	無回答
全体		1,496	5.1	49.4	25.4	1.6	0.7	4.7	12.1	0.9
年齢	18~24歳	288	3.8	54.5	21.2	0.3	0.7	5.2	13.9	0.3
	25~30歳	400	4.5	52.0	26.8	1.8	0.8	4.8	9.0	0.5
	31~35歳	417	5.5	45.1	26.6	2.6	1.0	5.8	12.0	1.4
	36~39歳	381	6.0	47.0	26.5	1.3	0.5	3.4	14.4	0.8
	無回答	10	20.0	70.0	-	-	-	-	-	10.0

3. 結婚や出産についての考え

問20 結婚や出産について、あなたはどのような考えを持っていますか。（○は1つ）

図表－173 結婚や出産についての考え



結婚や出産についての考えは、全体では「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」（60.3%）の割合が最も高く、次いで「結婚をし、子どもを持つべきだ」（28.6%）、「結婚はすべきだが、子どもは必ずしも持つ必要はない」（6.3%）、「結婚は必ずしもする必要はないが、子どもは持つべきだ」（3.7%）となっている。

前回調査と比較すると、「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」の割合が約20ポイント増加している。（ただし前回調査の調査対象年齢（18～30歳）と今回調査の対象年齢（18～39歳）は異なる）。

性別にみると、男女ともに「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」の割合が増加しており、男性は約18ポイント、女性は約19ポイント増加している。

年齢別にみると、25～35歳では、他に比べて「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」（25～30歳：61.5%、31～35歳：62.1%）の割合が高くなっている。

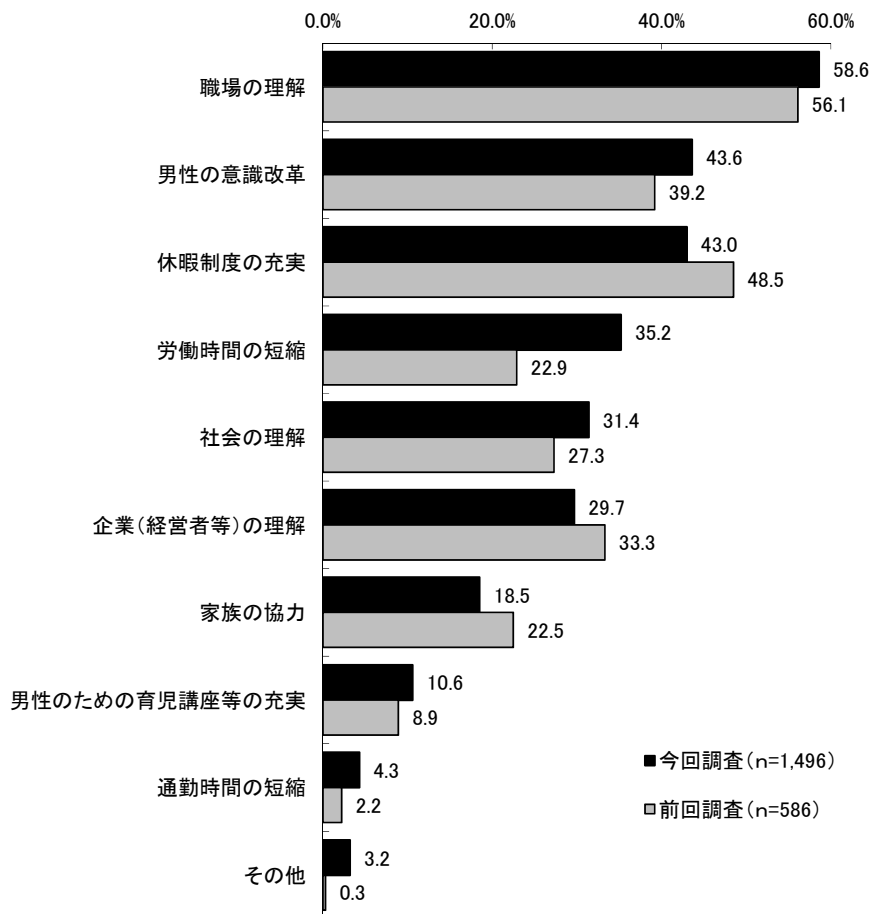
図表－174 年齢別 結婚や出産についての考え（単位：％）

		標本数（人）	結婚をし、子どもを持つべきだ	結婚は必ずしも持つが、子どもは必要ない	結婚は必ずしもする必要はないが、子どもを持つべきだ	結婚も子どもも、絶対必要ではない	無回答
全体		1,496	28.6	6.3	3.7	60.3	1.1
年齢	18～24歳	288	30.9	7.6	1.7	59.0	0.7
	25～30歳	400	27.0	7.3	3.5	61.5	0.8
	31～35歳	417	27.1	5.3	4.3	62.1	1.2
	36～39歳	381	30.7	5.2	5.0	57.7	1.3
	無回答	10	10.0	10.0	-	70.0	10.0

4. 男性の子育てに必要なこと

問21 あなたは、男性が子育てに積極的に関わるために特に必要なものは何だと思えますか。（○は3つまで）

図表－175 男性の子育てに必要なこと



男性の子育てに必要なことは、「職場の理解」(58.6%)の割合が最も高く、次いで「男性の意識改革」(43.6%)、「休暇制度の充実」(43.0%)、「労働時間の短縮」(35.2%)となっている。前回調査と比較すると、「労働時間の短縮」の割合が約12ポイント増加している。

性別にみると、男性では、女性に比べて「労働時間の短縮」（44.7%）や「休暇制度の充実」（48.9%）の割合が高く、女性では、男性に比べて「男性の意識改革」（51.2%）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では他に比べて「休暇制度の充実」（53.5%）の割合が高くなっている。

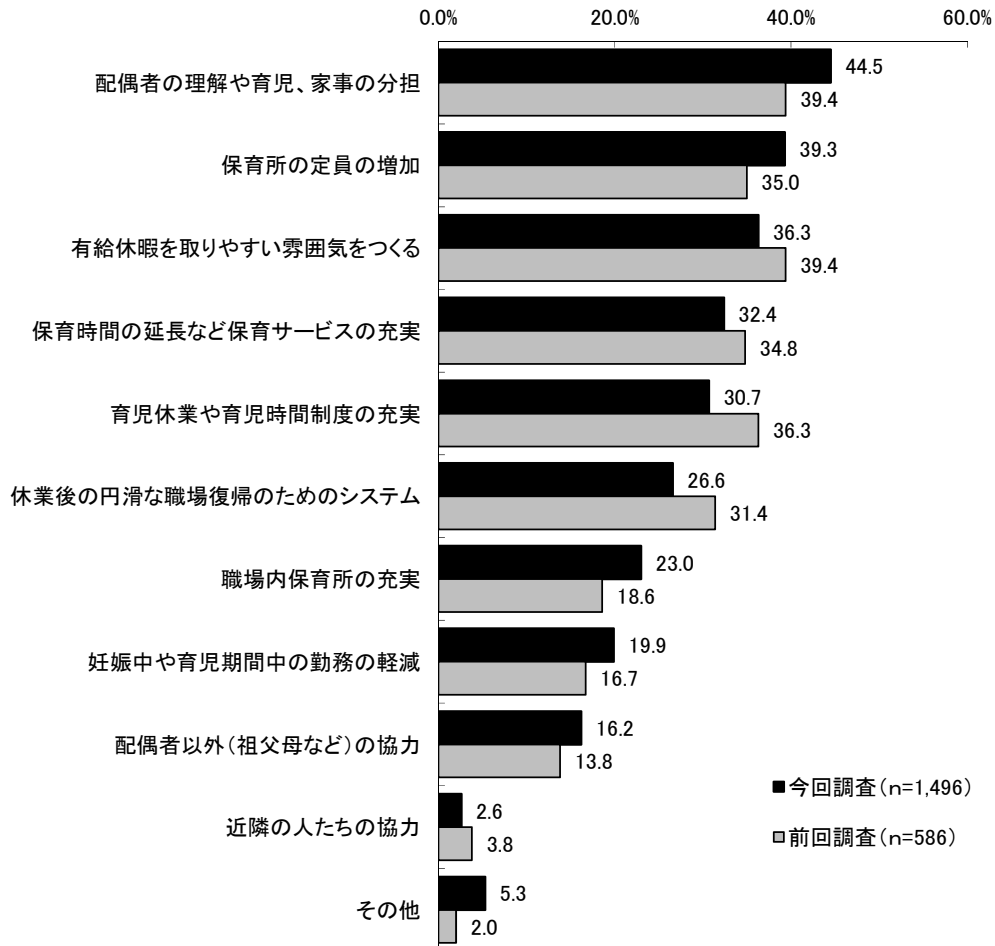
図表－176 性別・年齢別 男性の子育てに必要なこと（単位：%）

		標本数 (人)	労働時間の短縮	休暇制度の充実	通勤時間の短縮	男性の意識改革	男性の意識改革の充実のための育児講座等	家族の協力	企業（経営者等）の理解	職場の理解	社会の理解	その他	無回答
全体		1,496	35.2	43.0	4.3	43.6	10.6	18.5	29.7	58.6	31.4	3.2	0.7
性別	男性	497	44.7	48.9	7.6	28.4	6.4	17.9	28.6	53.1	27.2	4.4	1.0
	女性	995	30.6	40.1	2.7	51.2	12.7	18.8	30.1	61.4	33.5	2.6	0.6
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	66.7	66.7	33.3	-	-
年齢	18～24歳	288	28.5	53.5	3.8	37.2	11.1	22.2	26.7	61.1	32.6	3.1	0.3
	25～30歳	400	35.8	42.5	3.8	43.0	10.8	21.5	32.0	61.0	31.8	2.0	0.5
	31～35歳	417	39.3	42.0	5.3	47.0	11.0	15.3	27.6	55.6	30.5	3.4	1.2
	36～39歳	381	35.7	36.7	4.5	45.4	9.7	15.7	31.5	57.5	30.7	4.5	0.8
	無回答	10	20.0	40.0	-	40.0	-	30.0	40.0	60.0	50.0	-	-

5. 子育てと仕事の両立に必要なこと

問22 子育てと仕事を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

図表－177 子育てと仕事の両立に必要なこと



子育てと仕事の両立に必要なことは、「配偶者の理解や育児、家事の分担」（44.5％）の割合が最も高く、次いで「保育所の定員の増加」（39.3％）、「有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる」（36.3％）、「保育時間の延長など保育サービスの充実」（32.4％）となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者の理解や育児、家事の分担」の割合が約5ポイント、「保育所の定員の増加」の割合が約4ポイント増加している。

性別にみると、女性は男性に比べて「配偶者の理解や育児、家事の分担」(53.9%)の割合が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では他に比べて、「育児休業や育児時間制度の充実」(38.5%)、「休業後の円滑な職場復帰のためのシステム」(35.4%)、「有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる」(43.4%)の割合が高く、25～30歳では他に比べて、「保育所の定員の増加」(46.0%)の割合が高くなっている。

図表－178 性別・年齢別 子育てと仕事の両立に必要なこと (単位：%)

		標本数(人)	保育所の定員の増加	保育時間の延長など保育サービスの充実	職場内保育所の充実	妊娠中や育児期間中の勤務の軽減	育児休業や育児時間制度の充実	休業後の円滑な職場復帰のためのシステム	有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる	配偶者の理解や育児、家事の分担	配偶者以外(祖父母など)の協力	近隣の人たちの協力	その他	無回答
全体		1,496	39.3	32.4	23.0	19.9	30.7	26.6	36.3	44.5	16.2	2.6	5.3	1.2
性別	男性	497	39.4	35.2	20.1	16.7	30.2	27.4	42.9	25.8	16.3	2.2	5.4	1.2
	女性	995	39.1	31.0	24.5	21.5	31.0	26.3	32.9	53.9	16.3	2.8	5.2	1.2
	その他	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	3	100.0	33.3	-	-	-	-	100.0	33.3	-	-	-	-
年齢	18～24歳	288	36.5	24.0	25.0	20.5	38.5	35.4	43.4	38.9	11.8	2.8	2.8	-
	25～30歳	400	46.0	33.5	25.0	21.3	31.8	25.8	33.0	45.3	16.0	2.5	5.3	1.0
	31～35歳	417	39.1	36.2	20.6	19.9	26.6	23.7	34.1	44.4	17.0	2.6	6.2	1.4
	36～39歳	381	34.1	33.3	22.0	17.8	28.6	24.1	37.0	48.6	18.9	2.6	6.3	2.1
	無回答	10	60.0	40.0	20.0	20.0	10.0	20.0	30.0	30.0	20.0	-	-	-

第6章 自由意見

問23 就職や結婚、地域のことなどで、日ごろお感じになっていること、また、福岡市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

回答者488人から、667件の意見が挙げられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表－179 自由意見

分類	件数
子育て支援	197
仕事・就職	109
公共施設	61
道路環境	54
経済的支援	42
イベント等出会いの場の提供・結婚について	38
社会環境・地域	31
交通マナー、安心・安全	27
税金	23
住みやすい（住環境）	22
ごみ・ペット・環境	17
その他	46

IV 監修を終えて

IV 監修を終えて

福岡大学人文学部
准教授 添田祥史

青少年の意識と行動調査の結果から、中学生・高校生等及び青年等に関わる施策や支援を進めるにあたって、下記の視点を踏まえることが必要といえよう。

1. 中高生・高校生等に対する調査結果について

①スマートフォン・SNS等の普及と若者の意識・行動の変化

中学生・高校生世代にとって、スマートフォンは、大人同様（もしくはそれ以上に）、生活上なくてはならないものとなりつつある。そうした認識のもとで、今回の調査結果から、彼・彼女たちの意識と行動を読み解く必要がある。

携帯電話やスマートフォンなどの所持率は、中学生が75.4%、高校生世代が98.2%であった（図表-76）。高校生世代はほとんどが所持している状況であり、中学生でも女性の所有率は8割を超えている（図表-77）。インターネットやSNS等の使用時間が1日あたり1時間未満という回答は、中学生で約37%、高校生世代で約23%にすぎない（図表-82）。

スマートフォンなどの使用目的は、家族や友人とメールやSNS、通話をする、音楽を聴く、動画を見るといった目的が前回調査同様多かったが、「ゲームをする」という回答が前回調査より増えており、男性では7割弱に上っている（図表-79）。ネット配信型のゲームアプリの普及が影響していると思われる。インターネットの使用目的は、調べものが最も多いが、「SNSやブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする」という回答が中学生で4割、高校生世代で7割を超えている（図表-80）。もはやネット空間は中学生・高校生世代にとって生活の一部となっていることを、認識する必要がある。

②自分と相手を守ることへの支援・啓発

「友だちとはなるべく言い合ったり争ったりしたくないと思う」、「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」という回答が多く、「友だちというよりも一人である方が気持ちが落ち着く」という回答も約2割あった（図表-42）。教育社会学者の土井隆義によれば、いまの若い世代は、周囲から浮いてしまわないよう神経を張りつめ、その場の空気を読みながら生きているという。本調査でもそうした傾向が垣間見えた。

また、回答者の約2割が放課後や休日を「ひとりだけで過ごすことが多い」と答え（図表-21）、高校生世代の男性では約3割が、休日をひとりで過ごしている（図表-22）。中学生・高校生世代ともに、「1人でものんびり過ごせる場所」のニーズは5割に及ぶ（図表-25）。「学校や家庭にいたくないときに気軽に寄ることはできる場所」は女性のニーズが高かった（図表-26）。一人でも居ていい場所、学校とは違う新たな友人関係のづくり直しが可能な場が必要なのもかもしれない。

デートDVとメディアリテラシーに関する啓発・教育の重要性も指摘したい。

交際相手からの暴力に関する相談先を「一つも知らない」との回答が中学生で約3割、高校生で2割強に及んでいる（図表-50）。中高生・高校生世代をデートDV被害から守るため、予防や啓発活動のさらなる充実と、事案が生じた場合に支援機関につなげられる体制づくりが求められる。

インターネットなどの使用について、「特にルールを決めていない」家庭が中学生では約2割存在し、高校生では約4割に及んだ（図表-86）。大人による搾取や勧誘、有害情報から身を守るとともに、SNSの浸透によって情報を発信・拡散する側にも立つようになった中学生・高校生世代が他人を傷つけてしまわないよう、メディアリテラシーに関するさらなる教育・啓発が望まれる。

③中学生・高校生世代にとっての公共施設利用の意味

中学生までは比較的なじみのあった公共施設であっても、高校生世代になると利用率が下がる（図表-40）。高校生世代の公共施設利用は、彼・彼女たちの自己形成と社会参加につながるという観点から積極的に評価できる。公民館、市民センター、小中学校の校庭・体育館、中央児童会館など、前回より高校生世代の利用率が上がっている公共施設もあり、今後とも、高校生世代の公共施設の活用を促していく必要がある。

若者にとっては、家庭と学校がリアルな生活の全てであるといっていよい。そうした私的空間から一歩足を踏み出し、公共空間である公共施設に足を運ぶこと自体が、自己形成と社会参加の大事な足がかりとなる。スマートフォンが普及し、バーチャルな世界での交流が容易になっているように見えるが、若者たちの交友関係は狭く閉じやすい。ネット空間での大人との接点は、リスクを伴う場合も少なくない。

中学生・高校生世代は、進路や友人関係の悩み、外見・性格の様々なコンプレックスなどを抱える時期でもある（図表-54）。家族や学校での仲間関係以外の人間関係だからこそ、つぶやける悩みや痛みがあるかもしれない、リアルな公共空間に身を置くことは、若者の危機を受けとめ、必要な支援へとつなぐ発見・相談の場ともなり得る。たとえ直接の相談相手になることはなくても、多感な時期に多様な生き方に接することが、励みとなる場合もある。

④ひきこもりの状況にある中学生・高校生世代への支援

ほとんど外出しない〔狭義のひきこもり〕は、中学生・高校生世代ともに1%強（中学生1.3%、高校生世代1.2%）、〔広義のひきこもり〕は、中学生4.6%、高校生世代2.8%であった（図表-29）。

きっかけは、「不登校」、「人間関係がうまくいかなかった」との回答が多いが、「あてはまるものはない」も多かった（図表-34）。選択肢に当てはまらない複雑な課題に直面している可能性もあるが、本人が自分の状態や今に至る理由を言語化できない状況にあるのかもしれない。

高校生世代の場合、約半数が精神的な病気の経験があった（図表-36）。支援にあたっては、教育や福祉の機関だけでなく、医療などの専門家との連携・協力が必要であることが窺える。中学生では6割弱、高校生世代では4割強が、過去も今も相談先につながっていない状況にある（図表-38）。相談したい機関をたずねたところ、「あてはまるものはない」「相談したくない」という回答が際立って多かった（図表-39）。実際の支援においては、そのスタートに立ってもらうこと自体が難しいことを窺い知る結果である。

2. 青年等に対する調査結果について

①希望する暮らしがかなえられる環境づくり

青年等（18～39歳）の約8割は、家庭での生活に満足している（図表-99）。希望する暮らしとしては、「家族と仲よくする」、「経済的に豊かな生活をおくる」という回答が多かった（図表-131）。

前回調査と比較すると、「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」の割合が約20ポイント増加している（図表-173）。今回調査（18～39歳）と前回調査（18～30歳）の単純比較はできないが、若者の中に、結婚することや子どもを持つことを必須とはしない考えが広がりを見せており、結婚や出産は当人の自由意志に委ねるべきである。ただし、理想とする子どもの数（図表-171）と実際の子どもの数（図表-169）には明らかなギャップがある。育児や将来への不安から子どもを持つことに希望がもてないという判断に至ることを防ぎ、子どもを安心して生み育てられるよう、経済的負担の軽減や子育て支援の充実などを進めていく必要がある。

②ひきこもりや無業の状態にある若者に「届く」支援の充実

今回の調査では、〔広義のひきこもり〕に分類される回答者が11人（0.74%）いた。そのうち7人が悩みや心配ごとを「誰にも相談しない」（図表-140）、8人が今の状態を「過去も今も相談していない」（図表-116）と回答している。相談したい機関をたずねたところ、4人が「相談したくない」と回答し、その理由は、「自分のことを知られたくないから」「何を聴かれるか不安だから」「相手にうまく話せないから」「お金がかかるから」という回答であった。

一方で、無業（働いておらず学生でも主婦(夫)でもない）状態にある者（69人）のうち75.4%が「就職したい」と回答し（図表-151）、そのうち〔広義のひきこもり〕の状態にある8人のうち7人が「就職したい」と回答している（図表-152）。

「就職したい」などのニーズがありながらも、自ら相談に出向くなど再スタートのための一歩を踏み出すこと自体の難しさを窺い知れる結果であり、そうした状態にある若者や家族からの相談を幅広く受け付け、早期に把握し、さまざまな機関と連携しながらアプローチができるような支援や連携体制づくりが必要といえよう。ただし、今回の青年等調査で〔広義のひきこもり〕に該当する回答数（11人）はサンプル数として限界があるため、別途、社会生活上の困難を有する若者や家族等の当事者、又は当事者に近い支援者に的を絞った調査によって実態やニーズを把握し、施策を検討していくことが望まれる。

V 参考資料（使用した調査票）

福岡市青少年の意識と行動調査

(中学生・高校生等 ※お子様ご本人)

〔調査票の記入について〕

- ※ ご回答いただいた内容は、福岡市の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。
- ◇ 中学生・高校生等**ご本人**が、あなた自身の気持ちで回答してください。
- ◇ この調査票は、あなたが初めから終わりまで通して回答してください。
- ◇ あなたは、住民基本台帳から無作為で選ばれました。対象者として選ばれたことには、特別の理由はありません。
- ◇ 調査票には、あなたの氏名を記入する必要はありません。
- ◇ 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- ◇ 答えが「2つまで」と書いてある場合は、〇は1つでもかまいません。
- ◇ 答えが「3つまで」と書いてある場合は、〇は1つでも2つでもかまいません。
- ◇ 記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**2月20日(水)まで**にご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ◇ この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先 福岡市子ども未来局子ども部総務企画課
 電話：711-4170 FAX：733-5534
 担当：福井、徳久

あなたのことについて

- 問1 あなたの住んでいる区を選んでください。(〇は1つ)**
1. 東区 3. 中央区 5. 城南区 7. 西区
 2. 博多区 4. 南区 6. 早良区
- 問2 兄弟・姉妹の人数をご記入ください。(あてはまるものすべてに〇。人数も記入)**
1. 兄 () 人 3. 弟 () 人 5. いない (自分1人)
 2. 姉 () 人 4. 妹 () 人
- 問3 同居している家族について選んでください。(あてはまるものすべてに〇)**
1. 父親 4. 祖父・祖母
 2. 母親 5. おじ・おば
 3. 兄弟・姉妹 6. その他 (具体的に)
- 問4 あなたは、地域の中で何か所属しているものがありますか。(あてはまるものすべてに〇)**
1. 自治協議会、町内会 3. 子ども会
 2. 青少年育成連合会 4. その他青少年に関する団体
- 問5 あなたの性別を選んでください。(〇は1つ)**
1. 男性 2. 女性 3. その他

ふだんのことについて

- 問6 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。枠内に数字を記入してください。(時間は24時間制で記入してください)**
- 寝る時刻 時 分 起きる時刻 時 分
- 【24時間制で記入 例：午後10時～22時】
- 問7 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。(ア) から (エ) のそれぞれについて、1つずつ選んでください。**

	いつもしている	ときどきしている	していない
(ア) 親に頼らず朝一人で起きる	1	2	3
(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする	1	2	3
(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする	1	2	3
(エ) 家事の手伝い	1	2	3

問8 ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビを見る
2. ラジオを聴く
3. 本を読む
4. 新聞を読む
5. ゲームをする
6. 勉強をする
7. 仕事をする
8. 家事をする
9. 育児をする
10. 介護や看護をする
11. インターネット、SNSなどをする
12. あてはまるものがない

問9 あなたの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。(ア)から(ケ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

	なし	30分以内	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間くらい	5時間以上
(ア) 学校での部活動の時間	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 家庭での勉強時間	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 学習塾の時間	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 学校以外のクラブ活動、けいごとの時間	1	2	3	4	5	6	7
(オ) テレビ、ビデオを見る時間	1	2	3	4	5	6	7
(カ) ゲームをする時間	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 携帯電話、スマートフォンやパソコンを使う時間	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 読書をする時間	1	2	3	4	5	6	7
(ケ) 趣味や遊びの時間 (上記以外)	1	2	3	4	5	6	7

問10 あなたは、学校が休みの日は主にどのように過ごすごうですか。(○は3つまで)

1. テレビ、ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ
2. ゲームをする
3. 本や雑誌を読む
4. 買い物に行く
5. ピアノ、ギターなど楽器を演奏する
6. 携帯電話、スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNSをする
7. 家族で団らんする
8. 自宅で勉強をする
9. 塾に行く
10. カラオケボックスへ行く
11. ゲームセンターへ行く
12. ボランティア活動や地域での活動をする
13. 友だちと会う
14. 部活動やけいごごとをする
15. 公園や海、川、野原、空地などで遊ぶ
16. ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ
17. なんとなく過ごす
18. その他 ()

問11 あなたは日ごろ、放課後や学校が休みの日には、誰とどのように過ごすごうが一番多いですか。それぞれ主なもの2つまで選んで、下の欄の□の中に番号を記入してください。

1. 家族
2. 学校の友だち
3. 塾やけいごごとの友だち
4. 近所の友だちや幼なじみ
5. ゲームセンターなどの遊び友だち
6. 彼氏や彼女
7. メールや携帯電話で知り合った友だち
8. その他 ()
9. ひとりだけで過ごすことが多い

《放課後は》 → □ □ □ □ □ □ 《休みの日は》 → □ □ □ □ □ □

問 12 あなたが居心地のいい場所はどこですか。(○は2つまで)

1. 自分の家
2. 友だちの家
3. 学校
4. 学習塾
5. 部活動の場所、けいこごとの場所
6. 公園
7. ファーストフード店やコンビニエンスストア
8. ゲームセンター
9. カラオケボックス
10. 本屋、DVD・CD ショップ
11. 天神や博多駅など人の集まるところ
12. 公共施設 (図書館、体育館、美術館など)
13. その他 ()
14. ない

問 12-1 問 12 の選択肢以外で、あればいいと思う場所はどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主学习できる場所
2. 学校や学習塾以外で勉強を教えてくれる人がいる場所
3. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所
4. 友人とおしゃべりしたりメールをしたりできる場所
5. ボランティア活動ができる場所
6. 学校とは違う新たな同世代の友人と出会える場所
7. 違う世代の人と出会える場所
8. 1人でものんびり過ごせる場所
9. 学校や家庭での悩みを相談できる場所
10. 学校や家庭にいたくないときに気軽に寄ることができる場所
11. その他 ()

問 13 ふだんどのくらい外出していますか。(もっとも近いもの1つに○)

1. 仕事 (家事を含む) や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事 (家事を含む) や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人付き合いのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

⇒問 14へ

問 13 で「5～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 13-1 ①現在の状態になったのはあなたが何歳の頃ですか。(枠内に数字を記入)

歳

②現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(○は1つ)

1. 6か月未満
2. 6か月以上1年未満
3. 1年以上3年未満
4. 3年以上5年未満
5. 5年以上7年未満
6. 7年以上

③現在の状態になつたきつかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 不登校 (小学校・中学校・高校)
2. 受験に失敗した
3. 就職活動がうまくいかなかった
4. 職場になじめなかった
5. 人間関係がうまくいかなかった (友人・家族など)
6. 病気 (病名:)
7. 妊娠した
8. その他 ()
9. あてはまるものはない

④これまでに以下の病氣やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 心臓や血管の病氣
2. 肺の病氣
3. 胃や腸の病氣
4. 精神的な病氣
5. 目や耳の病氣
6. 皮膚の病氣
7. 骨折・大けが
8. その他の病氣

⑤現在の状態について以下の関係機関に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病院・診療所
2. 各区保健福祉センター
3. 各区役所
4. 精神保健福祉センター
5. こども総合相談センター (えがお館)
6. 学校
7. ひきこもり地域支援センター (ワンド)
8. 少年サポートセンター
9. 民生委員・児童委員
10. NPO など民間の団体
11. 大学等の心理相談室・センター
12. インターネット相談サイト
13. その他の機関

14. 過去相談していたが今は相談していない
15. 過去も今も相談していない

上記⑤で「14」または「15」を選んだ方にうかがいます。

⑥現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親身に聴いてくれる
2. 医学的な助言をくれる
3. 心理の専門家がいる
4. 精神科医がいる
5. 同じ悩みを持つ人と出会える
6. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
7. 無料で相談できる
8. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPO など)である
9. 自宅に専門家が来てくれる
10. 自宅から近い
11. あてはまるものはない
12. 相談したくない

上記⑥で「12」を選んだ方にうかがいます。

⑦相談したくない理由は何かですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分を知られたくないから
2. 何を聴かれるか不安だから
3. 相手にうまく話せないから
4. 相談していることを人に知られたくないから
5. 相談しても解決できなと思うから
6. お金がかかるから
7. 相談機関が近くにないから
8. その他 ()
9. あてはまるものはない

すべての方にうかがいます。

問 14 あなたが過去1年間に、学校の授業や部活動以外で利用したことがある公共施設はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館、各区の市民図書館
4. 市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市動物園・植物園
7. 福岡市博物館、アジア美術館
8. 中央児童会館あいくる
9. 福岡市科学館
10. その他 ()
11. 利用していない

友だちや交際相手との関係について

問 15 あなたと友だちとのつきあひの中で、次のようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友だちに好きな人や恋愛のことを話す
2. 友だちに家や親に対する不満を話す
3. 友だちと将来のことについて真剣に話し合う
4. お金や大切にしているものを友だちと貸したり借りたりする
5. 友だちと本気でけんかする
6. 気の合わない人とのつきあひをできるだけ避ける
7. 友だちが悪いことをしたら注意する
8. 友だちといえるよりも一人でいる方が気持ち悪く落ち着く
9. 広く浅く付き合うよりも、一人の友だちとの深いつきあひを大切にしている
10. 友だちといっしょにいるときでも別々のことをしていることが多い
11. 友だちとはなるべく言い合ったり争ったりしたくないと思う
12. 失敗は友だちとお互いにかばいあう

問 16 次のような行為を、あなた自身が経験したり、または周りの人の中で見たり聞いたりしたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

《①あなた自身が経験したもの》

1. 交際相手に話しかけても長い間無視をされる
2. 交際相手から、怒鳴られたり、脅されたりする
3. 交際相手から、人前でバカにされたり、ののしられたりする
4. 交際相手から、デート代やお金を無理やり出させられる
5. 交際相手から、叩かれたり、蹴られたりする
6. 交際相手から、物でなぐられたり、物を投げられたりする
7. 交際相手から、無理やりからだを触られる
8. 交際相手から、携帯電話の着信や発信履歴やメールのチェックをされる
9. 交際相手から、常に自分の行動を報告するように命じられる

《②あなたの周りの人の中で見たり聞いたりしたもの》

1. 交際相手に話しかけても長い間無視をされる
2. 交際相手から、怒鳴られたり、脅されたりする
3. 交際相手から、人前でバカにされたり、ののしられたりする
4. 交際相手から、デート代やお金を無理やり出させられる
5. 交際相手から、叩かれたり、蹴られたりする
6. 交際相手から、物でなぐられたり、物を投げられたりする
7. 交際相手から、無理やりからだを触られる
8. 交際相手から、携帯電話の着信や発信履歴やメールのチェックをされる
9. 交際相手から、常に自分の行動を報告するように命じられる

問 17 交際相手から以下のような行為があった場合、あなたはどのように感じますか。(ア) から (ケ) に
ついてそれぞれ1つずつ選んでください。

※交際相手がいない場合は、交際相手がいる場合を想定してお答えください。

	暴力だと 思う	暴力だと 思わない	どちらとも いえない
(ア) 話しかけても長い間無視をする	1	2	3
(イ) 怒鳴ったり、脅したりする	1	2	3
(ウ) 人前でバカにしたり、ののしかったりする	1	2	3
(エ) デート代やお金を無理やり出させる	1	2	3
(オ) 叫んだり、蹴ったりする	1	2	3
(カ) 物でなぐったり、物を投げつける	1	2	3
(キ) 無理やりからだを触る	1	2	3
(ク) 携帯電話の着信や発信履歴やメールのチェックをする	1	2	3
(ケ) 常に自分の行動を報告させるように命じる	1	2	3

問 18 「DV」「デートDV」という言葉について、あなたはどの程度知っていますか。(ア) (イ) につい
てそれぞれ1つずつ選んでください。

	内容を 知っている	内容 は知らない が	知 らない
(ア) DV	1	2	3
(イ) デートDV	1	2	3

問 19 交際相手からの暴力に関することを相談できる場所を、あなたは知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 福岡市DV相談専用電話
2. アミカスDV相談ダイヤル
3. 区役所の家庭児童相談室
4. こども総合相談センター (えがお館)
5. 子どもの人権110番
6. 警察署
7. その他 (具体的に)
8. 1つも知らない

あなたが日ごろ考えていることについて

問 20 あなたは将来の目標がありますか。(○は1つ)

1. はっきりある
2. だいたいある
3. まだない
4. 考えたことがない

問 21 将来、あなたがきたいと思う仕事は次のどれですか。(○は3つまで)

1. 自分の趣味や能力 (専門知識や特技) が生かせる仕事
2. 仲間と楽しく働ける仕事
3. 働く時間が短い仕事
4. 休みがきちんとして取れる仕事
5. 収入や雇用が安定している仕事
6. 高い収入が得られる仕事
7. 仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事
8. 責任者として人を動かしたりできる仕事
9. 独立して (人に使われずに) やれる仕事
10. 世の中のためになるような仕事
11. 世間の人気を集めるような仕事
12. その他 ()
13. 特定の会社に就職するつもりはない (アルバイト、フリーターなど)

問 22 あなたは日ごろ、次の (ア) から (オ) のような気持ち (無気力感や気分の変遷) になることがどの
くらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく ある	しきりに ある	あまり ない	まっ たく ない
(ア) 何となく不安である	1	2	3	4
(イ) 何もやる気がしない	1	2	3	4
(ウ) とりのこされたような気になる	1	2	3	4
(エ) 学校での競争に疲れを感じる	1	2	3	4
(オ) 一人きりが一番楽だ	1	2	3	4

問23 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 受験や成績のこと
2. 就職のこと
3. 自分の将来のこと
4. 家庭・家族のこと
5. 友人や仲間のこと
6. 好きな人や恋愛のこと
7. おこづかいのこと
8. 遊びのこと
9. 性格のこと
10. 健康のこと
11. 性のこと
12. 外見やスタイルのこと
13. 政治や社会のこと
14. 学校生活のこと
15. 体罰のこと
16. いじめのこと
17. その他 ()
18. とくに悩みや心配ごとはない

問24 あなたは悩みや心配ごとを誰(何)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親
2. 母親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母や親類
5. 学校の先輩
6. 学校や近所の友だち
7. 学校や塾の先生
8. 区役所や子ども総合相談センターなど行政の相談窓口
9. 大学や民間団体などの相談窓口
10. 電話相談(具体的に:)
11. その他 ()
12. 誰にも相談しない
13. 相談する場所が分からない

家庭について

問25 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. まあ満足している
3. 少し不満である
4. 不満である

問26 あなたはお父さん、お母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(○は1つ)
【該当しない場合は回答不要です。】

《①お父さんと》

1. よく話をする
2. ある程度話をする
3. あまり話をしない
4. まったく話をしない
5. いっしょに生活していない

《②お母さんと》

1. よく話をする
2. ある程度話をする
3. あまり話をしない
4. まったく話をしない
5. いっしょに生活していない

問27 お父さんやお母さんの日ごろの様子についてうかがいます。
次の(ア)から(キ)について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

	お父さんは			お母さんは		
	い つ も で あ る	と き と き で あ る	そ う い う こ と は な い	い つ も で あ る	と き と き で あ る	そ う い う こ と は な い
(ア) あなたが何かやっているとすぐ手伝わってしまう方だ	1	2	3	1	2	3
(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ	1	2	3	1	2	3
(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ	1	2	3	1	2	3
(エ) 時と場合によって、あなたに対して言うことが違う	1	2	3	1	2	3
(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ	1	2	3	1	2	3
(カ) あなたのきょうだいとあなたを差別する	1	2	3	1	2	3
(キ) あなたに対して体罰や暴力をする	1	2	3	1	2	3
(ク) あなたの前で、あなた以外の家族に対して体罰や暴力をする	1	2	3	1	2	3
(ケ) あなたに対して大きな声で怒鳴る	1	2	3	1	2	3
(コ) あなたの前で、あなた以外の家族に対して大きな声で怒鳴る	1	2	3	1	2	3
(サ) あなたのことをわかってくれている方だ	1	2	3	1	2	3

就学・就業の状況について

問28 あなたの現在の所属または状況を選んでください(○は1つ)

1. 中学生
2. 高校生
3. 専門学校
4. 高等専門学校
5. 仕事をしている
6. 無職
7. その他 ()

問29で「5」または「6」を選んだ方にうかがいます。

問28-1 あなたが最後に卒業(中退)した、または現在在学している学校はどれですか。(○は1つ)

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専門学校
4. 高等専門学校
5. その他 ()

問 28 で「6」を選んだ方にうかがいます。

問 28-2 これまでに以下の病氣やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 心臓や血管の病氣
2. 肺の病氣
3. 胃や腸の病氣
4. 精神的な病氣
5. 目や耳の病氣
6. 皮膚の病氣
7. 骨折・大けが
8. その他の病氣

問 28 で「6」を選んだ方にうかがいます。

問 28-3 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多額家計を負担(または仕送り)している人をお答えください。(○は1つ)

1. あなた自身
2. 父
3. 母
4. 配偶者
5. きょうだい
6. 祖父母
7. 他の親族
8. その他
9. 生活保護などを受けている

問 28 で「6」を選んだ方にうかがいます。

問 28-4 ①あなたは今までに働いていたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 正社員として働いていた
2. 契約社員、派遣社員として働いていた
3. パート・アルバイトとして働いていた(学生時代の経験を除く)
4. 自営業・自由業をしていた
5. その他の形態で働いていた
6. 働いたことはない

③現在就職又は進学を希望していますか。(○は1つ)

1. 就職したい
2. 進学したい
3. どちらも希望していない

④現在就職活動をしていますか。(○は1つ)

1. している
2. していない

④現在の状態や就職活動の悩みについて相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワーク
2. ジョブカフェ・地域若者サポートステーション
3. 福岡市就労相談窓口
4. 各区役所
5. 民間のカウンセリング窓口など
6. その他の機関

7. 過去相談していたが今は相談していない
8. 過去も今も相談していない

上記④で「7」または「8」を選んだ方にうかがいます。

⑤どのような機関なら相談したいと思えますか(あてはまるものすべてに○)

1. 親身に聴いてくれる
2. 専門的な助言をくれる
3. 会社の詳しい情報がある
4. 同じ悩みを持つ人と出会える
5. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
6. 無料で相談できる
7. あてはまるものはない
8. 相談したくない

上記⑤で「8」を選んだ方にうかがいます。

⑥相談したくない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

1. 自分のことを知られたくないから
2. 何を聴かれるか不安だから
3. 相手にうまく話せないから
4. 相談していることを人に知られたくないから
5. 相談しても解決できなと思うから
6. お金がかかるから
7. その他()
8. あてはまるものはない

地域での活動やボランティア活動について

問 29 次の(ア)から(キ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向を1つずつ選んでください。

	今までの参加経験の有無		今後の参加意向		
	経験あり	経験なし	積極的に参加したい	บ้าง参加したい	参加するつもりはない
(ア) 子ども会や公民館などでの活動	1	2	1	2	3
(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り	1	2	1	2	3
(ウ) 地域の環境美化や資源物回収(リサイクル)に関する活動	1	2	1	2	3
(エ) 小学生や小さな子どもたちの遊びや学習、居場所づくりなどを支援する活動	1	2	1	2	3
(オ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動	1	2	1	2	3
(カ) 外国人との交流や国際協力に関する活動	1	2	1	2	3
(キ) 募金活動やチャリティイベントなどの活動	1	2	1	2	3
(ク) 災害支援のための活動	1	2	1	2	3

問 30 あなたには、次のような関係の「近所の大人」はいますか。(ア) から (オ) のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

	たくさんいる	少しいる	いない
(ア) 会えばあいさつをする大人	1	2	3
(イ) 会えば立ち話をする大人	1	2	3
(ウ) いっしょにスポーツをしたり活動したりする大人	1	2	3
(エ) 悩みごとを相談できる大人	1	2	3
(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人	1	2	3

携帯電話やインターネットの使用状況について

問 31 あなたは携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)

- ┌──┐
└──┘
↓
1. 持っている 2. 持っていない

問 31-1 携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。(○は3つまで)

1. 家族とメールやSNS(LINE, Facebook, twitter など)、通話をする
2. 友だちとメールやSNS(LINE, Facebook, twitter など)、通話をする
3. ゲームをする
4. 音楽を聴く、または動画を見る
5. インターネットをする
6. 写真を撮る
7. 日記や手帳などメモとして
8. ワンセグでテレビを見る
9. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 32 あなたはインターネットを主にどのような目的で使用することが多いですか。(○は3つまで)

1. 勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる
2. 趣味、遊びに関することを調べる
3. ネットショッピングをする
4. SNS(LINE, Facebook, twitter など)やブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする
5. その他 ()

問 33 ①あなたは、平日1日あたりどれくらいインターネットやSNS(LINE, Facebook, twitter など)を使用していますか。(○は1つ)

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上
7. 使っていない
8. 分からない

②あなたは、インターネットやSNS(LINE, Facebook, twitter など)を使っていて以下のようなことを経験したことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送られたり、書き込みをされたことがある
 2. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送ったり、書き込みをしたことがある
 3. 他人が閲覧できる掲示板等で、自分や他人の情報(名前、写真、メールアドレスなど)を書き込んだことがある
 4. 親に話にくいサイトを見たことがある
 5. ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある
 6. 自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきたことがある
 7. 迷惑メール等が送られてきたことがある
 8. インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをしたことがある
 9. インターネットで知り合った同性と会ったことがある
 10. インターネットで知り合った異性と会ったことがある
 11. インターネットにのめり込んで勉強に集中できなくなったり睡眠不足になったりしたことがある
- ある ()
12. その他困ったことがある(具体的に:)
 13. あてはまるものはない
 14. 分からない

問 34 あなたの家では、インターネットやSNS(LINE, Facebook, twitter など)、メールの使い方について何かルールがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用時間を決めている
2. 利用場所を決めている
3. メールやメッセージを送る相手を制限している
4. 利用するサイトやアプリの内容を決めている
5. 他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど送信・投稿する内容を決めている
6. パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている
7. ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている
8. 困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている
9. その他 ()
10. 特にルールを決めていない
11. 分からない

問 35 あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系やアダルトサイトなど）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校で教えてもらった
2. 保護者から教えてもらった
3. きょうだいから教えてもらった
4. 機器の購入時に販売員に説明してもらった
5. 機器の購入時に資料をもらった
6. 友達から教えてもらった
7. テレビや本・パンフレットなどで知った
8. インターネットで知った
9. その他 ()
10. 特に教えてもらったり学んだりしたことはない
11. 分からない

問 36 福岡市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

福岡市への意見・要望

--

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに投函してください。

福岡市青少年の意識と行動調査

(18～39歳の方)

[調査票の記入について]

※ ご回答いただいた内容は、福岡市の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

- ◇ 18～39歳の方**ご本人**が、あなた自身の気持ちで書いてください。
- ◇ この調査票は、あなたが初めから終わりまで通して回答してください。
- ◇ あなたは、住民基本台帳から無作為で選ばれました。対象者として選ばれたことには、特別の理由はありません。
- ◇ 調査票には、あなたの氏名を記入する必要はありません。
- ◇ 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- ◇ 答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。
- ◇ 答えが「2つまで」と書いてある場合は、○は1つでもかまいません。
- ◇ 答えが「3つまで」と書いてある場合は、○は1つでも2つでもかまいません。
- ◇ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**2月20日(水)まで**にご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ◇ この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先

福岡市子ども未来局こども部総務企画課
 電話：711-4170 FAX：733-5534
 担当：福井、徳久

あなたのことについて

問1 あなたの住んでいる区を選んでください。(○は1つ)

- 1. 東区 3. 中央区 5. 城南区 7. 西区
- 2. 博多区 4. 南区 6. 早良区

問2 あなたの同居の家族に、次にあげる方はいますか。あなたからの続柄を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 配偶者 4. 子ども 7. 親類
- 2. 父親 5. 祖父母 8. その他 ()
- 3. 母親 6. 兄弟姉妹 9. 一人暮らし

問3 次にあげる団体やサークルのうち、あなたが加入しているものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自治協議会、町内会 3. PTA・子ども会
- 2. 青少年育成連合会 4. その他青少年に関する団体

問4 あなたの年齢、性別をご記入ください。(平成31年1月1日現在)

《年齢》(枠内に数字を記入)

[] 歳

《性別》(○は1つ)

- 1. 男性 2. 女性 3. その他

ふだんの生活について

問5 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

- 1. 満足している 3. 少し不満である
- 2. まあ満足している 4. 不満である

問6 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。(ア)から(エ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

	いつもしている	ときどきしている	していない
(ア) 親に頼らず朝一人で起きる	1	2	3
(イ) 自分のベッドを整えるまたは布団の上げ下げをする	1	2	3
(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする	1	2	3
(エ) 家事の手伝い	1	2	3

問7 ふだん自宅にいる時に、よくしていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビを見る
2. ラジオを聴く
3. 本を読む
4. 新聞を読む
5. ゲームをする
6. 勉強をする
7. 仕事をする
8. 家事をする
9. 育児をする
10. 介護や看護をする
11. インターネット、SNSなどをする
12. あてはまるものがない

問8 ふだんどのくらい外出していますか(もっとも近いもの1つに○)

1. 仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事(家事を含む)や学校で週に3~4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人付き合いのためときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自宅からは出るが、家からは出ない
8. 自宅からほとんど出ない

⇒問9へ

問8で「5」~「8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問8-1 ①現在の状態になったのはあなたが何歳の頃ですか。(枠内に数字を記入)

歳

②現在の状態となったどのくらい経ちますか。(○は1つ)

1. 6か月未満
2. 6か月以上1年未満
3. 1年以上3年未満
4. 3年以上5年未満
5. 5年以上7年未満
6. 7年以上

③現在の状態になったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 不登校(小学校・中学校・高校)
2. 受験に失敗した
3. 大学になじめなかった
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場になじめなかった
6. 人間関係がうまくいかなかった(友人、家族など)
7. 病気(病名:)
8. 妊娠した
9. その他()
10. あてはまるものはない

問8で「5」~「8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

④現在の状態について以下の関係機関に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病院・診療所
2. 各区保健福祉センター
3. 各区役所
4. 精神保健福祉センター
5. 子ども総合相談センター(えがお館)
6. 学校
7. ひきこもり地域支援センター(よかよかルーム、ワンド)
8. 少年サポートセンター
9. 民生委員・児童委員
10. 大学等の心理相談室・センター
11. NP0など民間の団体
12. インターネット相談サイト
13. その他の機関
14. 過去相談していたが今は相談していない
15. 過去も今も相談していない

上記④で「14」または「15」を選んだ方にうかがいます。

⑤現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親身に聞いてくれる
2. 医学的な助言をくれる
3. 心理の専門家がいます
4. 精神科医がいます
5. 同じ悩みを持つ人と出会える
6. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
7. 無料で相談できる
8. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NP0など)である
9. 自宅に専門家が来てくれる
10. 自宅から近い
11. あてはまるものはない
12. 相談したくない

上記⑤で「12」を選んだ方にうかがいます。

⑥ 相談したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分のことを知られたいくないから
2. 何を聴かれるか不安だから
3. 相手にうまく話せないから
4. 相談していることを人に知られたいくないから
5. 相談しても解決できないと思うから
6. お金がかかるから
7. 相談機関が近くにないから
8. その他 ()
9. あてはまるものはない

→問8で「5」～「8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問8-2 ①これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 心臓や血管の病気
2. 肺の病気
3. 胃や腸の病気
4. 精神的な病気
5. 目や耳の病気
6. 皮膚の病気
7. 骨折・大けが
8. その他の病気

②あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担(または仕送り)している人をお答えください。(○は1つ)

1. あなた自身
2. 父
3. 母
4. 配偶者
5. きょうだい
6. 祖父母
7. 他の親族
8. その他
9. 生活保護などを受けている

すべての方にうかがいます。

問9 あなたの居心地のいい主な場所はどこですか。(○は2つまで)

1. 自分の家
2. 友だちの家、恋人の家
3. 職場
4. 学校
5. ファーストフード店やコンビニエンスストア
6. 公園
7. 本屋、DVD・CDショップ
8. 天神や博多駅など人の集まるところ
9. 公共施設(図書館、体育館、美術館、公民館など)
10. その他 ()
11. ない

問9-1 問9の選択肢以外で、あればいいなと思う場所はどのような場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主学習できる場所
2. 講座やセミナーなど社会人としてのスキルアップに役立つ場所
3. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所
4. 友人とおしゃべりをしたりメールをしたりできる場所
5. ボランティア活動ができる場所
6. 学校や職場とは違う新たな同年代の友人と出会える場所
7. 違う世代の人と出会える場所
8. 1人でものんびり過ごせる場所
9. 学校や職場、家庭での悩みを相談できる場所
10. 学校や職場、家庭にいたくないときに気軽に寄ることができ場所
11. その他 ()

問10 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(○は1つ)

1. 毎日でもお互い家を行き来する
2. ときどき家を訪問する
3. 会えば世間話をする
4. 会えばあいさつ程度をする
5. つきあいはない

問11 あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館、各区の市民図書館
4. 市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市動物園・植物園
7. 福岡市博物館、アジア美術館
8. 中央児童会館あいくる
9. 福岡市科学館
10. その他 ()
11. 利用していない

あなたが日ごろ考えていることについて

問12 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は2つまで)

1. 家族と仲よくする
2. くよくよしないでのんびり暮らす
3. 自分の仕事や勉強などに打ち込む
4. 社会や国のためにつくす
5. 自分の趣味にあった暮らし方をする
6. 知識や教養を身につけて精神的に豊かな生活をおくる
7. 経済的に豊かな生活をおくる
8. 自分の可能性をためす
9. 人々に認められ有名になる
10. その他 ()

問13 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
(ア) 何となく不安である	1	2	3	4
(イ) 何もやる気がしない	1	2	3	4
(ウ) とりのこされたような気になる	1	2	3	4
(エ) 学校での競争に疲れを感じる	1	2	3	4
(オ) 一人きりが一番楽だ	1	2	3	4

問14 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事のこと
2. 受験や成績のこと
3. 就職のこと
4. 自分の将来のこと
5. 家庭・家族のこと
6. 友人や仲間のこと
7. 恋愛のこと、結婚のこと
8. 家計、金銭のこと
9. 遊びのこと
10. 性格のこと
11. 健康のこと
12. 性のこと
13. 外見やスタイルのこと
14. 政治や社会のこと
15. その他 ()
16. とくに悩みや心配ごとはない

問15 あなたは悩みや心配ごとを誰(何)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親
2. 母親
3. 配偶者、恋人
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母や親類
6. 職場の上司
7. 職場の同僚
8. 学校の先輩
9. 学校や近所の友だち
10. 学校などの先生
11. 青少年や若者を支援する NPO 等の支援団体
12. 地域若者サポートステーション、区役所家庭相談室など行政の相談窓口
13. 大学や民間団体などの相談窓口
14. 電話相談(具体的に:)
15. その他 ()
16. 誰にも相談しない
17. 誰に(どこに)相談すればよいかわからない

就業・就学状況について

問16 現在の就学状況、学歴、現在の就業状況はどのようになっていますか。(○はそれぞれ1つ)

《①現在の就学状況》

1. 現在在学している
2. すでに卒業している
3. 中退した
4. 休学中である

《②学歴》

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専門学校
4. 高等専門学校・短期大学
5. 4年制大学・大学院
6. その他

《③現在の就業状況》

1. 働いている(正社員)
 2. 働いている(契約社員、派遣社員)
 3. 働いている(パート・アルバイト(学生のアルバイト除く))
 4. 自営業・自由業
 5. 専業主婦・主夫、家事手伝い
 6. 学生(予備校生、浪人含む)
 7. その他の仕事
 8. 派遣会社などに登録しているが現在は働いていない
 9. 無職
- ⇒問17へ

問16で「8」または「9」を選んだ方にかがいます。

問16-1 現在働いていない理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 自分が希望するような仕事がないため
2. 自分に合う仕事が見つからないため
3. 応募しても採用されないため
4. 求人がないため
5. 働くことに意味や魅力を感じないため
6. 家事・出産・育児のため
7. 将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため
8. 働かなくても生活できるため
9. 人間関係が気になるため
10. 健康上の理由のため
11. その他 ()

問16で「8」または「9」を選んだ方にかがいます。

問16-2 ①あなたは今までに働いていたことはありますか。(もともとあてはまるものに1つに○)

1. 正社員として働いていた
2. 契約社員、派遣社員として働いていた
3. パート・アルバイトとして働いていた(学生時代の経験を除く)
4. 自営業・自由業をしていた
5. その他の形態で働いていた
6. 働いたことはない

問 16 で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。

②現在就職又は進学を希望していますか。(Oは1つ)

- 1. 就職したい
- 2. 進学したい
- 3. どちらも希望していない

③現在就職活動をしていますか。(Oは1つ)

- 1. している
- 2. していない

④現在の状態や就職活動の進捗について相談していますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. ハローワーク
- 2. ジョブカフェ・地域若者サポートステーション
- 3. 福岡市就労相談窓口
- 4. 各区役所
- 5. 民間のカウンセリング窓口など
- 6. その他の機関

- 7. 過去相談していたが今は相談していない
- 8. 過去も今も相談していない

上記④で「7」または「8」を選んだ方にうかがいます。

⑤ 現在の状態についてどのような機関なら相談したいと思えますか。

(あてはまるものすべてにO)

- 1. 親身に聞いてくれる
- 2. 専門的な助言をくれる
- 3. 会社の詳しい情報がある
- 4. 同じ悩みを持つ人と出会える
- 5. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
- 6. 無料で相談できる
- 7. あてはまるものはない
- 8. 相談したくない

上記⑤で「8」を選んだ方にうかがいます。

⑥ 相談したくない理由は何か。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 自分のことを知られたくないから
- 2. 何を職かれるか不安だから
- 3. 相手にうまく話せないから
- 4. 相談していることを人に知られたくないから
- 5. 相談しても解決できないと思うから
- 6. お金がかかるから
- 7. その他 ()
- 8. あてはまるものはない

問 16 で「8」または「9」を選んだ方にうかがいます。

問 16-3 ①これまでに以下の病気やけがをしたことがありますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 心臓や血管の病気
- 2. 肺の病気
- 3. 胃や腸の病気
- 4. 精神的な病気
- 5. 目や耳の病気
- 6. 皮膚の病気
- 7. 骨折・大けが
- 8. その他の病気

②あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担(または仕送り)している人をお答えください。(Oは1つ)

- 1. あなた自身
- 2. 父
- 3. 母
- 4. 配偶者
- 5. きょうだい
- 6. 祖父母
- 7. 他の親族
- 8. その他
- 9. 生活保護などを受けている

結婚や子どもについて

問 17 あなたは、現在、結婚していますか。(Oは1つ)

- 1. 結婚している
- 2. 配偶者と死別し、今は結婚していない
- 3. 離婚し、今は結婚していない
- 4. 結婚していないが同棲している
- 5. 結婚も同棲もしていないが交際している相手はいる
- 6. 結婚も同棲もしていないし、交際している相手もいない

問 17 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 17-1 結婚・同棲している(していた)人について、どういきかっかで相手と出金しましたか。

(Oは1つ)

- 1. 幼なじみ・隣人だった
- 2. 学校で知り合った
- 3. 習い事・サークルなどで知り合った
- 4. 職場・アルバイト先・仕事で知り合った
- 5. 友人・兄弟姉妹などに紹介された
- 6. インターネットやSNS(LINE, Facebook, twitter など)を通じて知り合った
- 7. 親戚などから紹介された(親戚などを通じてお見合い含む)
- 8. 職場の上司や同僚などから紹介された(職場の上司や同僚などを通じてお見合い含む)
- 9. 結婚相談所、結婚情報サービス事業者から紹介された
- 10. いわゆる婚活パーティーなどで知り合った
- 11. その他 ()

↓

問 17 で「4」～「6」のいずれれかを選んだ方にかがいます。

問 17-2 まだ結婚していない人について、その理由は何か。 (○は3つまで)

1. まだ若すぎる
2. 必要性を感じない
3. 仕事や学業に打ち込みたい
4. 趣味や娯楽を楽しみたい
5. 自由や気楽さを失いたくない
6. 適当な相手に巡り会わない
7. 恋人とうまくつきあえない
8. 収入が少なくない
9. 結婚資金が足りない
10. 住宅のめどが立たない
11. 親や周囲が同意しない
12. その他 ()

すべての方にかがいます。

問 18 あなたには、お子さんがいらしゃいますか。 (○は1つ)

1. いる 人
2. 現在妊娠中 (本人または配偶者)
3. いない

問 19 あなたの理想としては、子どもは何人が望ましいですか。 (○は1つ)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. 子どもはいらない
7. わからない

問 20 結婚や出産について、あなたはどのような考えを持っていますか。 (○は1つ)

1. 結婚をし、子どもを持つべきだ
2. 結婚はすべきだが、子どもは必ずしも持つ必要はない
3. 結婚は必ずしもする必要はないが、子どもは持つべきだ
4. 結婚も子どもも、絶対必要というわけではない

問 21 あなたは、男性が子育てに積極的に関わるために必要なものは何だと思えますか。 (○は3つまで)

1. 労働時間の短縮
2. 休暇制度の充実
3. 通勤時間の短縮
4. 男性の意識改革
5. 男性のための育児講座等の充実
6. 家族の協力
7. 企業(経営者等)の理解
8. 職場の理解
9. 社会の理解
10. その他 ()

問 22 子育てと仕事を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (○は3つまで)

1. 保育所の定員の増加
2. 保育時間の延長など保育サービスの充実
3. 職場内保育所の充実
4. 妊娠中や育児期間中の勤務の軽減
5. 育児休業や育児時間制度の充実
6. 休業後の円滑な職場復帰のためのシステム
7. 有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる
8. 配偶者の理解や育児、家事の分担
9. 配偶者以外(祖父母など)の協力
10. 近隣の人たちの協力
11. その他 ()

問 23 就職や結婚、地域のことなどで、日ごろお感じになっていること、また、福岡市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございます。
同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに投函してください。

青少年の意識と行動調査報告書
【中学生・高校生等、青年等(18～39歳)】

令和元年9月

発行 福岡市 こども未来局

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092)711-4170

FAX (092)733-5534